西鹽田時報

第一號

發行人　小池清喜
編輯人　曲尾重德
長野縣小縣郡西鹽田村大字塚
發行所　西鹽田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

時報の創刊に就て

西鹽田村長　黒坂重市郎

村民の皆様!!

新年お目出度う御座います新春と共に氣分を改めて日本再建の爲めに御奮闘をお願申します

文化生活を進めて參りますには各種團体毎に通信機關紙があれば都合が良いのであります。本村に於ては從來西鹽田青年團報と西鹽田村報の二機關紙が發行されて居た事は皆様御存じの通りであります

偶々昨年十月の村會に於て經營維持の点に就て研究されました結果本村の情勢から二機關紙を併合發行する方がより以上効果的だと思ふから理事者に於て適當に斡旋せよとの希望でありました

村の輿論を反映する村會の意向が明確にされましたので其希望に副ふ覺悟を定め末尾記事に付村民の聲を聞き施策の參考とし文化の向上進展に寄與して頂きたいと希望する次第であります

終りに望み青年團の擽まざる努力に依り、時報の益々發展せん事を期待して擱筆致します。

挨拶

青年團長　小池清喜

偉大な業績を殘されて今回退任なされた小池團長の後を受けて團長と云ふ重責を汚すことゝなり誠に身の無能なることを痛切に感ずると同時に深く心に期してゐる事がある勿論お引受けした以上は無實任な事は豪もしたくない。私は自分にとつてどんな苦しい事でも喜んで耐え忍ぶと云ふ決意しか持つていない。

現在私の考えている事は青年團の方向を明るくする事及び核心づけることこれだけである。それともう一つ大事な事は當村に於ける農民委員會の問題であると思ふ。私としても今どうとも云えないけれど新しい農村には農民組織と云うものゝ必要な事は世界史的必然性をおびていると信ずるが故にその健全な發展を待望して止まない。

私は今自分のやつている全生活がすべて私の信ずる人間愛から出發しているとを考える私達の學問も政治も教育もそれに伴う生活も只自分のためにやるのではなくて人間愛から出發せねばならないと思うそしてこの人間愛は一つの道德を含んでいる事をつけ加えておきたい。

尚團員皆様にお願いしたい事は我々は我々の青年團であると云う自覺の下に一人一人がその責任を果し美しい明るい農村に育てゝ行きたいと云う氣持で進みたいものです。

最後に新しい時報を村當局及び農民委員會との諒解の下に發刊出來た事を心から嬉しく思つていると同時にその發展充實を期して行きたいと痛感しています。その点村民各位におかせられても御鞭撻の程宜しく御願ひ致します。

○……○

退任の御挨拶

前團長　小池恭正

昨年五月男女青年團が、一本建てとして、本村西鹽田青年團が、結成されましてより八ケ月の間、私の如き淺學非才、誠に取るに足らざる者がしたので、私の如き者が、不團長と云ふ要職を、汚して參りました。此の間皆様のさ肖の身も省みず、御引受致れる様な事を、一つも出來せんでした事は、私として誠に申譯なく此の点衷心より御詫び申上げます。

結成當時は皆様も既に御承知の如く全く世の中は混沌たる狀態に有りまして、當事私は復員間もない事でもあり、又其の様な身でもないので、強く御辭退致しましたのですが、當時種々な事情がありまして學識的にも、人格的にも中心に、團員一致一層村團發展の爲め努力されん事を望みなお今後共相變らず、御指導御鞭韃の程を切に御願ひ致す次第であります。誠に愚言ではありますが、紙面をもちまして私の退任の御挨拶に代へたひと存じます。

協定案

一、本村社會教育の向上普及を計り併せて各種團体の通信機關として西鹽田時報を發行する事

二、西鹽田時報の發行編輯は西鹽田青年團專ら其任に當る事

三、西鹽田村は毎年度豫算の定むる處に依り發行費に對する助成金を交附する事（七割程度）

四、右の結果從來發行中の西鹽田青年團報と西鹽田村報は自發的に廢刊する事

春感

國民學校長　竹内敬吾

諸んで新春の御慶びを申上げます。

大いなる光みちくる朝明けに

學びの庭の匂ふ祈るもの

國家の現狀うたた深憂に堪えざるものがあります。さりながら「もちは餅屋」教育に關する所感の一端を綴りて、餘は他日を期したいと存じます。

偶誦に「十年の計を立てんとせば木を植えよ。百年の計を立てんとせば人を育てよ」とまさに至言でございませう。道途遙かしきりに文化國家の建設をさけび、道義國家の國立をいう、道義國家といい、いやしくも永遠なる立國の基礎が人を育てるにあるならば、今日の血肉は多少は殺ぐとも、明日の榮光に醫中自らなる樂しみを見出すような、高邁な見識がほしいと思われます。

○……○

悪虐法がつくられ、社會の安寧秩序維持の衣をまとつた暴力機構（警察）は勤勞大衆の政治運動、社會運動を極度に彈壓し、又愚民政策をもつて勞働者農民を今日の如く囁昧にあへば高利貸しの餌食となつて娘を賣りとばさねばならなかつた。そして年中生活に追ひまくられ稀に封建思想感情を內容とする浪花節、芝居等に僅の慰安を求めるのみ何一ッ近代的教養は身につけることなく、又封建的な惡習の下女や女工（而もこの資本主義の犧牲羊はホヅダ、キヤタの「女工哀史」にみる工場苦汁制の搾取に多く肺病になり鬼籍の人となつた）に出し一朝因で息子は丁稚奉公娘は下女や運命にあつた）これまで自分たちが至上至尊、現ツ神とまで教えられた萬世一系のありがたい天皇の下に資本主義と封建制の二頭の搾取に泣く幾百万プロレタリアート、零細農民の悲慘な奴隷的な生活がつゞけられた。

この故に明治の大御代となつてよりも今日まで、耕作農民は牛馬の如く貧困と窮乏のどん底に「三杯九ッ」という蔑稱を受けてきた。

こういう不合理な社會の搾取關係は暴力をもつて維持されたのだ山縣內閣の治安警察法等の普選に恐れて治安維持法等の諸惡法がつくられ、社會の安寧秩序維持の衣をまとつた暴力機構（警察）は勤勞大衆の政治運動、社會運動を極度に彈壓し、又愚民政策をもつて勞働者農民を今日の如く囁昧ならしめた、かつて內相床次思想善導の爲潤花節、講談を奬勵した事實を想起せよ。この封建的農地制度、高率地代の爲、農村に最低賃銀は確立されず農民の隷屬的勞働條件による貧困と過剰人口は都市に流出して產業の豫備軍（ルンペン）となり都市賃銀勞働者を又隷屬的勞働條件に置き、兩君は互にその生活を下へ下へと引き下げた。此の低廉勞働を武器としたのみ日本後進資本主義は世界に發展した。

かく、資本家、地主の日本全人民へ搾取と壓迫を加へるので國內は購買力を奪はれ、商品市場としての價値を失うので外へ向つて、植民地利潤を求める資本の要求を不可避的なものとし、强力な軍備を必要として、こゝに半封建制の上にたてられた世界無比の日本帝國主義が生れた。

昭和三年世界恐慌に行詰ると國內的解決はこの封建的搾取關係を捨てねばならぬ爲退けられ。この時既に日本帝國主義は軍閥ファッショにとつて倒的有利な爲小作利潤のみ狙はれて來た。

だがこの改革により土地への完全耕食と有閑地代生活は破滅に向ふ、民主々義の社會に人を搾取して生活する事は許されぬ、生活は勤勞所得の上にのみたつ。今世界農業恐慌に必至だ、ヨーロッパにはすでに國際資本主義の搾取があらはれてゐる、日本農業の國際的な關さは、この零細農經營に勞働力が多く投入され生產コストが高いところにあるそれがこれ迄は稅關、輸入制限の垣をもつて防いだが、これがない今日世界恐慌の前に日本農村はうちのめされる、こゝより農村の活き殘る道はのもこの爲だ、此のデマ教育、宣傳に全國民を戰爭熱に浮ほりたて、全東亞を侵略の毒牙にかけた日本野獸ファッショも國民を今日の敗戰地獄につきおとして、より高い思想の民主々義の前に降る、これまで自分達が教えこまれた天皇のため國家の爲死ねという事は資本の利潤のため死ねという事だ。こういうふうに日本の社會の底に戰犯東條、荒木を生む要素をもつてゐたこの社會的要因を徐かなければ今後も第二、第三の東條が生れてくる。

これまで自分達は暴虐支配者の絕無主義の鐵鎖につながれ人間性を忘れ迷彷の眠りを續けて來たが、今歷史の必然性による民主々義の光は外よりこの變革をモタラす、こゝに農民は幾千年の屈辱の歷史に終りを告げ輝かしい解放の歷史の段階に入るのだ。

又、この封建的農地制度の爲日本農業の本質的發展が遲れた事だ、搾取の必要が耕作の必要を無視して細かく區切られた田畑に大農經營は行はれず、資本主義文明にとり殘された農村に非機械的な幼稚な生產設備と高率地代のため經營利潤が生れず所有利得の壓倒的有利な爲小作利潤のみ狙はれて來た。

だがこの改革により土地への完全耕食と有閑地代生活は破滅に向ふ、民主々義の社會に人を搾取して生活する事は許されぬ、生活は勤勞所得の上にのみたつ。今世界農業恐慌に必至だ、ヨーロッパにはすでに國際資本主義の搾取があらはれてゐる、日本農業の國際的な關さは、この零細農經營に勞働力が多く投入され生產コストが高いところにあるそれがこれ迄は稅關、輸入制限の垣をもつて防いだが、これがない今日世界恐慌の前に日本農村はうちのめされる、こゝより農村の活き殘る道はのもこの爲だ、此のデマ教育、宣傳に全國民を戰爭熱に浮ほりたて、全東亞を侵略の毒牙にかけた日本野獸ファッショも國民を今日の敗戰地獄につきおとして、より高い思想の民主々義の前に降る、これまで自分達が教えこまれた天皇のため國家の爲死ねという事は資本の利潤のため死ねという事だ。こういうふうに日本の社會の底に戰犯東條、荒木を生む要素をもつてゐたこの社會的要因を徐かなければ今後も第二、第三の東條が生れてくる。

これまで自分達は暴虐支配者の絕無主義の鐵鎖につながれ人間性を忘れ迷彷の眠りを續けて來たが、今歷史の必然性による民主々義の光は外よりこの變革をモタラす、こゝに農民は幾千年の屈辱の歷史に終りを告げ輝かしい解放の歷史の段階に入るのだ。

尚團員皆様にお願いしたい事は我々は我々の青年團であると云う自覺の下に一人一人がその責任を果し美しい明るい農村に育てゝ行きたいと云う氣持で進みたいものです。

最後に新しい時報を村當局及び農民委員會との諒解の下に發刊出來た事を心から嬉しく思つていると同時にその發展充實を期して行きたいと痛感しています。その点村民各位におかせられても御鞭撻の程宜しく御願ひ致します。

○……○

農地制度改革の意義！

東前山　小池清重

（前號の續き）

この改革に土地は純然たる資本家的搾取手段となり、封建的誅求は、自小作農の上に重くかゝり、產業資本家化する地主はこれを免れた。さらに高率地租と家錄に代つて發行された士族救濟の、一億六千萬圓の公債證書の麗衡性に獨立生產者を、生產手段と生活資料より引離し、賃銀奴隷として資本主義の恣な搾取をうけしめた。始めは革命階級の名に恥ぢず、封建勢力に對し、自由民權運動の反抗も、世界資本主義が帝國主義の段階に入るや遂に妥協し一体化した。だが封建勢力とブルジョア勢力は對立を避けられぬ社會的要素だ。このむじゆんする二つの勢力を統一し、政治權力の崩れ落ちるのを防ぐために二つの勢力の上に置かれるものが絕對王政という即ち天皇制といふ絕對主義的政治權力（この關係に育てられた日本後進資本主義は恥形的類倒的發展をなし東洋の天皇制から世界の天皇制えの侵略に向はねばならぬ性質をもつてゐた）これまで自分たちが至上至尊、現ツ神とまで教えられた萬世一系のありがたい天皇の下に資本主義と封建制の二頭の搾取に泣く幾百万プロレタリアート、零細農民の悲慘な奴隷的な生活がつゞけられた。

この故に明治の大御代となつてよりも今日まで、耕作農民は牛馬の如く貧困と窮乏のどん底に「三杯九ッ」という蔑稱を受けてきた。

こういう不合理な社會の搾取關係は暴力をもつて維持されたのだ山縣內閣の治安警察法等の普選に恐れて治安維持法等の諸惡法がつくられ、社會の安寧秩序維持の衣をまとつた暴力機構（警察）は勤勞大衆の政治運動、社會運動を極度に彈壓し、又愚民政策をもつて勞働者農民を今日の如く囁昧ならしめた、かつて內相床次思想善導の爲潤花節、講談を奬勵した事實を想起せよ。この封建的農地制度、高率地代の爲、農村に最低賃銀は確立されず農民の隷屬的勞働條件による貧困と過剰人口は都市に流出して產業の豫備軍（ルンペン）となり都市賃銀勞働者を又隷屬的勞働條件に置き、兩君は互にその生活を下へ下へと引き下げた。此の低廉勞働を武器としたのみ日本後進資本主義は世界に發展した。

論說

首相の言葉

手塚中澤多七

侵略戰爭に破れてポツダム宣言を受諾して以來一ケ年半に近い日本の現狀は、今日吾々が身にしみて當面している。インフレは愚化し生産は減退し闇は公然となり失業者は洪水の勢で增加し、農業恐慌を先頭とする經濟恐慌は迫つている。國民生活が破綻の脅威にさらされてゐる一方國民の無自覺からいはずのない反動的政治家資本家宗教等が、口に道義の頽廢を叫ぶ實に空々しく白々しく感じられ却つて憎しみの感をさへ吾々に持たせるのである。無意識か意識的反動か兎もかく吾々は是と闘はねばならない。

一國の首相が年頭の挨拶に勞働運動者を不逞の輩と叫ぶ何たる不逞の首相であらう。資本家のサボにもかゝわらず勞働者によつて生産は續けられている。インフレによつて勞働者が生活を脅かされるから、生活を守るために要求するのである。これは當然なことであり、是をしないでいられる筈がないではないか。それを不逞とは何事か。賃上げによつてインフレが助長すると、あべこべに勞働者にその罪を着せるが如くいう。實に言語同斷である。

一石五百五十圓の米價で、吾々農民がインフレ物資をどうして求めることが出來るか米價を上げろと要求するのは當然な要求ではないだらうか

是をインフレを助長するものとその罪を吾々に歸せしめようとしたら、吾々農民はだまつていられるだらうか。こういう農民の要求を農民大衆の先頭に立つて叫ぶものが不逞の輩か。この勞働者や農民の組織的立上りに肝をつぶした首相は正月早々氣でも狂つたのだらう。

貨銀値上がインフレ助長になつたり、ストライキが生産減退の唯一の原因かの如く無自覺な國民に思いこませて、勞働者や農民の組織的立上りを防止し粉碎しようとつとめる。

こんな下劣低級な方策しか彼等には考へられないのである

さて農民委員會について簡單に一言述べてこの稿をおえたい。農民委員會は吾が村民諸君の勇敢な組織的立ち上りによつて結成された民主的團體である。

微力ながら昨春結成以來、撓まず封建性の脫去、土地制度の改革促進に、農業會や役場における非民主的官僚機構の民主化等に努力して來た。然し是等はやつとその緒につき初めたばかりで、是からこそ農民委員會の任務は重大である。役場も農業會も完全に民主化され農民委員會の執行機關となるためには農民委員會は組織を强化しなければならない。

土地制度の根本的改革こそ農民の中核的要求である。第二次農地調整法に於ける封建的地主性の殘存に對して働く迄も鬪爭せねばならない。反動的支配階級は土地制度の中に地主性を殘在し農村を保守溫存の根拠として滅そうとする意圖の下に不徹底な改革に終らしめたものである。その他供出、稅金、米價等農民の利害や要求は凡て政治問題となつて政治權力と鬪はねばならぬところに農民運動の特異性がある。この特異性をも農民組織には充分生かされねばならぬ。農民委員會は絕えず冷嚴な自己批判を怠らないし、又外部からの批判も吾々のよいと思ふ。設正な御批判を御願いしたい。

新年度入學兒童の父兄の皆樣に!!

入學前の家庭教育に就て

乙組支會初一學年會



初等科一年生を受持つている私どもが、いつも强く感じていることは、入學前の家庭教育がいかに大切であるかと言うことであります。

子供には、それぞれの性格があります。性質とか心持と言つてもよいでしよう。明るい子、何事も自分から進んでやる子、引込思案で何もしない子、すぐ泣き出す意氣地のない子、等々。

數えあげると際限がありません。そしてかう言ふ性格は六七才迄の間に決つてしまうものだと言はれています。つまり家庭の育て方一つで決るので生れつきなどではないのです。それでこの性格を直すには、大きくなればなる程直しにくく、せいぜい初等の内で、高等科になるとなかなか直りません。

そこで入學前の家庭教育はどうしたらよいか、生れるから學校へ上るまでの幼兒の育て方はどんな樣にしたらよいかと言うことになりますが、今こゝでそれを述べる餘裕はありません。しかし家庭だけでの今迄の生活から、學校の生活に移り行かうと言ふこの際どんな点に注意したらよいか入學する迄にはこれだけのことはぜひ敎へておいて頂きたいと言ふ点を記し、家庭生活から學校生活へのすべりこみをなめらかにしていただきたいと思うのであります。

何もむづかしい事ではありません。

一、家庭の空氣

○明るい樂しい家庭

兩親は勿論祖父母兄弟が一つ心になつて仲よく、明るい樂しい家庭の空氣をつくつて行く。元氣な明るい氣持の子供はかういう家庭の子供です。

二、友達について

○誰とでも仲良く遊ぶ、元氣よく遊ぶ。

近所に子供が少いとか、疎開して來て村の子供たちがよくないとか言う樣な子は、どうしても學校へ入つても一人ぼつちで淋しそうにしています。子供は本來友を求めるものであります。家の中ばかりでなく外へ出て誰とでも遊べるくせをつけて下さい。

三、先生に對して

○先生をこわがらない樣に。

「そんなことをすると學校へ行つて先生におこられるぞ」と云つて子供をおどす先生にかゝつていてはよい子供の中にから云ふ家庭の子供があると思います。先生は親しめるもの、やさしいものと云うように教へておいて頂ければ子供の爲

めにも幸と存じます。

四、學習について

一、カタカナで名まへが讀めたり、書けたりすること。

二、十までのおかんじようが出來ること。

三、自他の物の區別がはつきりわかるように。

四、自分の部落（區）名が云へる樣に。

五、身体のなしつけに就て

一、食事

イ、「イタダキマス」「ゴチソウサマ」のあいさつをすること。

ロ、茶わんや箸の持ち方がまちがはぬように。

ハ、こぼさぬように。

ニ、すきぎらいのないことよくかんで食べること。

二、眠り

イ、一人で床に入ること。（抱かつてねないこと）

ロ、早く寢て早く起きること。

ハ、晝寢は必要な子供以外は止めること。

ニ、遲くも九時迄には寢ること。

三、排泄

イ、大小便は一人で出來る樣

ロ、便通は時を決めて、出來れば一日一回のくせを

ハ、用便後は手を洗う樣に

ニ、遺尿ほ必ずなおす。

四、清潔

イ、毎朝顔を洗う。

ロ、自分ではなをかむ。

ハ、爪、耳、髮の毛は常に清潔にしておくこと。

ニ、着物、はき物、持物

イ、自分でしまつ出來る樣に

以上が學校生活に入る前に是非とも敎へておいていただきたい事がらのあらましでありますが、もう立派に出來る子供でもありましようし中にはまだなかなかむづかしい子供もあることと思います。團体生活は一人でも余分な手數をかける者があると他の大勢の迷惑になるのであります。私共初等科一年の受持が去る四月以來受持つて來た兒童に就ての經驗から、新學年の入學兒童の父兄の皆々樣に申し上げたい事は餘り多ありますが、以上の点について先づ御協力願ひ他の不明な点については遠慮なく學校へお問合せ下さらんことをお願ひして擱筆致します。

現在本村にある農民委員會をどう思ふか？

ヨ論

右につき村民並に團員より寄せられた御意見の一部をこゝに記して見ましよう。

村の民主化促進に役立てばありがたいと存じます。（文化部）

△村の民主化を促進しているからよい。農民の立上る時は今だ。委員會の發展を願う。

一、現在の危局に當面して大いに現組織を强化してほしい。

二、何らの組織なき村に比し吾々は幸福を感ずるとともに一層委員會の向上發展を希む

三、吾々農民は一日も早く組織ある會に入りて團結し、危局突破にあたろう會の指導者よ、さとりのよい農民諸氏に呼びかけてほしい（三十四才男）

△現今の狀勢よりみて、農民組合的團体の必要を痛感する。

意見の一部をこゝに記して見ましよう。

村の民主化促進に役立てばありがたいと存じます。（文化部）

△村の民主化を促進しているからよい。農民の立上る時は今だ。委員會の發展を願う。

一、現在の危局に當面して大いに現組織を强化してほしい。

二、何らの組織なき村に比し吾々は幸福を感ずるとともに一層委員會の向上發展を希む

三、吾々農民は一日も早く組織ある會に入りて團結し、危局突破にあたろう會の指導者よ、さとりのよい農民諸氏に呼びかけてほしい（三十四才男）

△農民委員會の使命は村全体を救い、以て民主化するためにできたものであつて、一政黨の利用機関ではない筈である。現在の運營及び宣傳狀況から見ると疑問を持たざるを得ない。村内小競合いは一日も早く圓滿解決をし、目前に迫つている農村恐慌に對處せねばならない（二十九才男）

△現在の幹部が信用でき赤色が多分に見える故面白くない。余りに極端すぎる（二十五才女）

△農民委員會の活發なる動きは是非ともほしい。政黨的な傾きがあるから悪い。敢て共産黨系指導によらねばならぬものか（三十九才男）

△村の民主化を促進してゐるからよい。農民委員會には政黨的傾きはない（四十六才男）

△私たちにはまだ農民組合の目的といふものがはつきりわかりませんが、しかし私たち農民も一丸となつて團体を組織してゆかねばならないと思います。私たち若人一人々々が入會して一日も早く民主國家建設に邁進しなければならない。一黨一派にまどわされず、私たち農民の危機を突破すべきだと思います

（無才女）

△村の民主化を促進しているからよい。

一、農民委員會につき、村民の先入感がよくない

一、一日も早く村民の信頼の的になるよう希望する

一、高壓的だとの評あり

一、現今農民の團結は急務だ

一、幹部を全村的に選ぶこと（三十五才女）

△農民委員會は、村の民主化と發展とを促進する唯一の農民の機關であり故、當面せる現今の社會狀勢にかんがみて農村經濟並に土地問題に關之が緊急對策として、現在の農民委員會えの誤つた考えを一掃し、よろしく理解認識を深め、もつて農民委員會を中核としたより一層强固な團結を形成し活發な農民運動を展開すべきだと思ふ（三十才男）

△來る農村恐慌に對し農民の一致團結は絕對に必要である農民それを救うものは農民の團結力である。一本の矢は折れ易く、數本の矢は折れがたい。然し農民の團結は黨派の道具ではない。農民の自治のためである。よろしく農民の信頼に應えうる人材を以つて農民の自治を農民の團結をかためられたい（三十二才男）

△イ、村の民主化を促進しているからよい

ロ、幹部に少數獨善の傾きのあるのは悪い、然しこれは農民の輿論によつて是正すべきである

ハ、常に自己反省が必要である

ニ、村の現狀に即した綱領の下に運動方針をもつてほしい

ホ、村の民主化のため農民委員會は大事な存在だと思う（四十八才男）

ヘ、私は本村の農民委員會をもつと擴大したいと思う。何となれば、勞働團体がそれぞれ鬪爭をつゞけてゐる當今、物價はうなぎ上りに上り、農民の購買力がなくなるから、農民は團結して

1 米價引上　2 肥料の增配

3 空俵還元　4 白米供出による米ぬか返還等政府に交渉して是非とも實行させる。また配給物資も、もつとあきらかにして配給させる等要求したい（五十五才男）

△村の民主化を促進しているからよい。

政黨的傾き云々の項に關しては

一、委員會は政黨ならず

二、委員會の幹部及會員は個人的にいづれの政黨を支持し、またその黨員たるを妨げず

三、會は特定の政黨を支持せず又何人に對しても加入或は支持を强要せず、絕對自由を認むべきものにして、この方針は結成以來今日まで又將來も不變であること

四、幹部並に一般會員が個人の資格に於て特定の政黨に加入し、又は支持し從つて會の行動言論に於て是を反映し、其の政策を實現せんと努むるは絕對自由なり

—要は政黨に加入し或は支持する人たると、政黨に無關係なる人たるとを問はず、その意見、政策は會の民主的本質に立脚し、大衆討議を行い其の結論に依り實行にうつさるべきものにして、この方法或は理念は過去に於ても、將來も不變なり。最も理論に於て正しく、且つ現實社會の實相よりして將來性ある、合理的なる、かつ果敢なる意見政策が採用さるゝは理の當然なり。いかなる政黨でも其の將來性（又は擴大の可能性）は現實社會の經濟的な諸關係より生ずるものである。從つて何らの僞瞞なく、眞に働く人々（働かねば生きられぬ人々）の要求を現實經濟關係の矛盾の中に發見しこれの徹底的改革に最も積極的に努力、それ將來に生きる青年の支持を受けらるゝものなり（三十六才男）

農業會欄

社論に答えて

前號に黒坂和風氏から本會に對して「經營內容や取扱ひの實際を村民一般に周知方取計やう」要望がありました。これは全く同感でありまして從來からさうした氣持で總てを公開し、村民全部の御期待に副う樣に致し度いと考えてやつて參りましたが、何分にも意余つて實行これに伴はず遺憾の向が多かつたのであります。今後は出來得る限り經營や取扱ひの內容を種々の方法によつて御知らせすると共に一層の御協力を御願ひ致し度いと存じます。

「會報」と云ふ樣な御意見もありましたが印刷して各戶へ配布すると云ふことは資材難の折柄出來難いと思ひますので時報に揮載したり回覽板で御知らせしたり部落常會を通じ報告したりする程度に、御承知願ひ度いと思ひます。

◎自主管理米の政府賣渡について

曩に食糧調整委員會の議を經て政府賣渡米中三割は之を自主管理分として農業會に保管し、農家の切實に要望している肥料の增配、米價千二百圓の引上げ、空俵の無償返還白米賣渡價格の是正等の要求貫徹の上、賣渡しをすることになつてをりましたが、この問題に對する横の連絡に欠く處があり、且つ最初からの計劃でなかつた爲に供出の遲れた人々に犧牲の多い面等もあつて思ふ樣にゆきませんでしたので、十二月下旬に小委員會を開き、愼重に審議の結果自主管理分はこれを政府に賣渡し、要望事項は別にあらゆる機會と機關を通じて强力にこれが實現を計ることに致したのであります。

本問題については耕作農民の力を結集して遒進すべきでありまして、御協力を願ひたいことを感謝すると共に右御承諾を願ひ度いと存ずる次第であります。

◎米穀の供出數量について

米穀の政府賣渡數量は曩に本村に對して千六十六石の割當がありましたが其の後本村に於て收穫量を計算し、保有量を差引てみました處、政府への賣渡量は八八一石になりましたので縣に對して賣渡數量是正の申請を致し、曩に節米分として變則的に割當を致しました分はこれを取止めと致しました。

十二月末日に於ける賣渡數量は左記の通りであります。

賣渡豫定數量　八八一石
供出數量　七六〇石
供出百分比　八六%

尙部落會毎の成績は回覽に供する樣に部落會へ送つて置きましたから御熟覽下さい。

◎鹽について

食鹽の問題についてはお互ひに心配してをられることゝ思ひますが、本村は前年和歌山縣より入荷を計劃して少量乍ら三回に亘つて申込配給を致しました。本年も味噌醬油用の鹽について同樣和歌山縣から入荷を計劃して一月中に一車入荷する予定になつてをりましたが御承知の樣に震災の爲に製鹽場が相當の被害を受けたらしく今の處どうなるか？はつきり致しません。依つて別の方面にも手配をして四〇石程入荷の予定になつて居ります。然し現在の輸送難の狀態では確實に入手する迄は判つきりと申上げる譯にも參りません。何れにしても三月迄には是非入手したいものと百方手をつくしてをります。

◎農機具工場より

農機具修理については出來得る限り皆さんの御期待に副ふべく努力を續けてをります鍛、三ツ叉、万年、草掻き、其の他農具は農閑期に修理をして置くやうお勸めします尙山道具のヤタ、トッ、ガリキ、其の他牛馬用の金具類等修理に應じますから御持ち下さい。

◎農產物販賣取扱高

昭和二十二年四月一日より十二月末日迄の本會に於ける農產物販賣取扱高は左記の通りであります。

品名	數量	價格
大、小麥	一、六〇三俵	二五四九六八圓
玄米	一、六九九	三八六八二七
大豆	二二一	四〇〇六七
馬鈴薯	一、四一七	一二三三八〇
甘藷	三、〇四四	一七六六九五
蠶繭	九、〇〇八貫	九八六一六八
野菜	四、二五一	一二八八二
家兎	一六、〇一三	七九七〇一
牛乳	三〇四羽	二一六五
其ノ他	四三石四斗	六五五二
		三〇〇四五

役場欄

援護係より

例年の如く年末に當り外地引揚者、戰災者、並に一般者の內特に生活に困窮をせられて居らゝ方々の爲に村內一般の溫き御理解に依る各種の同情金品を青年團、婦人會の御盡力に依り蒐集致し夫々の家庭に曩き援護の手を差し延べる事が出來ました、玆に其の收支の大要を御報告すると共に紙上を以て村內の皆樣竝青年團婦人會の皆樣に厚く御禮を申上ます。

同情品蒐荷數量

一、現金六三圓五十錢
一、布團二点
一、衣類八三点
一、繊維日用品一〇四点
一、寢具綿一貫四百五十匁
一、毛羽三貫六百七十匁
一、木綿綿四貫百匁
以上婦人會扱ひ

配給家庭

一、引揚者二四戶九十人
一、其の他戰災、遣家族、一般生活困窮者三一戶一一九人（十二月二十九日配給）
一、食糧品
モチ米三斗二升九合四勺
ウル米一斗五升四合一勺
粟、キビ四斗六升六合
大豆四合
以上青年團扱ひ

配給家庭

一、引揚者二二戶八三人
一、其の他戰災、遣族、一般生活困窮者二四戶八一人

（十二月三十日配給）

尙現金は十二月二十九日午後地方事務所より郡下、各官公署會計よりの同情金の內一、七二〇圓を受領し村內同情金六三圓五十錢を加へ合計一、七八三圓五十錢を三十日に左の如く交附す

一、五十五世帶二④九人へ

縣稅

◎納稅

等級	人員	一人當納額	合計
一	一	一、〇四四	一、〇四四
二	一	一、一〇〇	一、一〇〇
三	二	九六〇	一、九二〇
四	三	八四〇	二、五二〇
五	三	七二〇	二、一六〇
六	三	六〇〇	一、八〇〇
七	一四	五四〇	七、五六〇
八	一五	四八〇	七、二〇〇
九	一四	四二〇	五、八八〇

村內一般配給概量（十二月中）

犬中服地	四疋	
ダブル手提鞄	四個	
シングル手提鞄	四個	
大人裸戰災者外地引揚優先	七枚	
開襟シヤツ〃	一三枚	
子供全〃	一二枚	
子供スリップ〃	一九枚	
男サル又〃	一〇枚	
男オーバ〃	二枚	
男兒ズボン〃	一枚	
幼兒上下服〃	一五揃	
別珍足袋〃	三一足	
婦人普下〃	五足	
幼兒普下〃	九三足	
女學童服〃	一四揃	
長ズボン〃	二枚	
ジヤンバー〃	一枚	
スクールコート〃	三枚	
幼兒ツーピース〃	三枚	
女兒オーバ〃	一枚	
男兒學童服〃	一枚	
メリヤスシヤツ	二枚	
中子アンダー	四枚	
ワイシヤツ	二枚	
婦人襦袢	二枚	
中子股引	一六枚	
幼兒股引	六枚	
男子ズボン下	三枚	
子供普下	二足	
大人サル又	二二枚	
給肌襦袢	一五枚	
革靴	五足	
子供ランバンツ	五三枚	
子供ズロース	二七枚	
子供スリップ	八枚	
一ツ身給	一枚	
全〃	一枚	
人絹オクルミ	一枚	
國民服	一者	
タイトスカート	二枚	
學童短普下	六〇足	
婦人長普下	一二足	
男子普下	七二足	
學童アンダー	六枚	
半袖シヤツ	二八枚	
モンペイ	四枚	
綿入甚平	一枚	
十二月正月用酒六一七升		
四四四斤		
一一枚		
砂糖	三枚	
絹フトン綿	一枚	
（外地引揚）		
大人スキー帽	二七個	
トークベレー帽	五個	
フエルト登山帽	四個	
ゴム半長靴	四〇足	
全深靴	九足	
全本長靴	五足	
地下足袋	四九足	
別珍足袋	一九五足	
全大	二九五足	
別珍色足袋	一一〇足	
子供足袋	一八〇足	
化粧石鹸	四四三一個	
夏袴下	三九枚	
夏ジバン	四五枚	
將校夏衣	七枚	
將校夏袴	七枚	
全綿入	七枚	
患者夏衣	一枚	
ベビー下着	二枚	
子供帽子	二〇六個	
大人スキー帽	八個	

役場事務分擔表

事務統括　村長　黒坂重市郎
文書土木農政　助役　宮澤峯喜
耕地事業
青年團婦人會
金錢出納財務　收入役　小山　襄信
（庶務　戶籍　書記　小山左京
第一課　稅務　書記　福田榮惠
土地　書記
（厚生　社會　書記　齊藤滿隆
第二課　配給　書記　竹下喜信
（學務　書記
（國保　衛生　書記　武田省吾
第三課　林務　森林　書記　重田勝人
（勤業　統計　書記　峰岸種雄
寄留書記　小池　民子
通信書記　伊藤知佐子
保健婦　市村やすよ
齊藤　儀雄
農地委員會書記
武田　茂美

特志寄附

一金壹百圓　會津三好殿
一金參拾圓　守〃ふみ殿
一金拾圓　金井清三殿
一金拾圓　若林伊勢次郎殿

右の方々よりそれ〴〵本團へ御寄附を頂きました。紙上を以て厚く御禮申上げます

西鹽田青年團

前號團報中一部抹消

『地方選擧への期待』

の內容中極力排斥すべきものの、第四項「治安維持法に抵觸し」云々は筆者より治維持法に對する誤認識より生じた明かなる誤記なるに付當該第四項抹消の申立ありましたから本號に於て之を取消し本文は削除しては編輯當事者に於ても責任を痛感して居ります。今後斯る誤りのない樣注意致します。

（編輯筆）

文藝欄

短歌

横内　美江

年老いし父も顫音はきまして仕事はじめの雪山えたつ

鷲原ひより

ほの〴〵と夜は明けわたり新春の初日のどかに我が窓にさす

我が生けて床に飾れる若松の水引すがし元日の朝

横内　美江

月光はいよ〳〵冴えて庭中のくぼみの溜りみな凍てにけり

小宮山タキ

こたつして物思ふ夜はなにげなく遠く離れし友の名のりかえす

花　月

一年も今宵まどろむ夢の間に

なごりおしけく除夜は更けゆく

船を待つ我はらからを想ふかな暮れゆく冬の月ながめて

竹內　民子

久々に白飯炊けばありがたしまことに飯はうまきものなり

井口れい子

ひえ〳〵と明けゆく方のしぐま破り二靡三靡雞啼きて止む

瀧澤とみ子

事每に吾に優しくなりてゆく父母の老こそ悲しかりけり

瀧澤みゆき

歌會にゆきがてぬ身を淋しみつゝ山家の庭に豆うちて居り

俳句

山極　みつ

味噌汁のたぎる香や朝寒し

詩

初日の光の招き

竹內　民子

すが〳〵しい新春の太陽よ平和の香りも懷かしく

あなたの毛髮を輝かし

發溂たるあなたの頰を紅に染める　あなたよ

愛す日本の若人よ

あなたは未だこの光を信じようとしない

あなたを千年の提はれから解き放ち

あなたの美を地上に叫びあなたの生命に新春の呼吸をあたえるもの

さあ、あなたよ

雄々しく大膽に、この未知の光にその胸をさらさうではないか

あなたの背後には因襲の祕密と嚴めしい封建のとびらがあなたをつゝむこの光の奔流に

世界の轟をあげて崩れるあなたの瞳にそゝぐ四界の展望　見給へ——

あなたを招く輝く新春の太陽を

あなたを祝ほぐ復活の讃歌今こそあなたは訣別の悲しみに堪えて

修養の呼聲に應えるの時

あなたの美しい魂を

この遠來自由の光に試みるの日　新しい日本の未來はあなたの目覺めにこそ

希望

黒坂ゆたか

友よ……

我々が行く手は果てなき空

友よたとえ

如何なる苦しみに遭うとも

決して希望を捨てゝは無らぬ　なやみもだえて

如何なる苦しみの中に有らうとも

中途でへこたれてはならぬ

あの木の芽を見よ

冬中木枯に虐げられても

春ともなれば

ふつくらとした芽を出すではないか

踏まれ蹴られた

名も無い路傍の草までが

可愛い花をつけるではないか、見よさらゝ〳〵と

望みを誘ふ朝風が

樹々の梢を渡つている

月光

新町　A〇生

裸木の肌にほの蒼く

曉の空のかたすみ

靜かなる月影新らしく

雪の小路に白くうつる

明けきらぬ山のまどろみ

輝ける空の邊に一つ

すが〳〵し月の宿れり

曉紅の燃ゆるをよそに

ほの香ふ新雪

目前に見る四季の斷層

うす白く夜明の月光

鷸古の頂を走る

部落通信

十人

十二月十九日　分團員過去一年の勞をねぎらふ爲別所温泉南條に於て年末慰勞會を行う

十二月廿一日　新役員による役員會を行う

十二月廿四日　廿四日より本日迄一週間第一期球算講習會を行う　午前八時區民一同皇子社に集り、なごやかなる新年の挨拶をかはす

一月七日　分團總會を行ひ、村團各部事業計畫の報告其の他種々協議す

一月九日　夜區集會場にて消、民組合執行委員の御來臨を得て懇談會を開く

一月十日　區總集會を行ひ、種々の協議、及び區長、部落會長其の他の公選を行う　齊藤民子姉外三名の送別會を兼ね、別所温泉南條にて新年會を行う。

一月十四日　例年の敬老會につき婦人會役員及分團役員にて協議兩團体の協力により本年も二月中旬實施する事に決定

一月十五日　分團總會を開催　諸事項協議　尙敬勞會は演藝部長小林政俊君外部員三名を選出活躍を御願ひした

一月十六日　本日より第二期球算講習會を開催

東前山

十二月二十二日　青年團と婦人會で、外地引揚者並戰災者に贈る餅米類被服などをあつめた。

一月三日　午后一時より事務所にて青年團新年會開催

一月十日　午后區總會　副區長安藤幸氏の辭任により補欠選擧施行　黒坂哲太郎氏が就任された。

一月十三日　青年團臨時總會開催　昨年度快算及本年度豫算並各部の事業計畫の報告があつた。

本日二十二才以下の團員を以て修養會を設立　選擧により池田泰君が會長に就任

一月十四日　青年團文化部にて　民主々義思想研究讀書會開催

▲當區本年度新任部落會長に次の方々が就任された　第一部落會—成澤晃二　第二部落會—木下一男　第三部落會—瀧澤啓

▲當分團のため左記の方々より御寄附を頂く　一金弐拾圓　春原正造様　一金弐拾圓　春原正義様

西前山

一月三日　午后一時より當區事務所に於て退團者の慰勞會を兼ね新年會を盛大に開催す

一月四日　團員一同体重測定をなす

一月七日　各部の部員會開催　本年度時業計畫並予算の樹立をなす

一月十二日　文化部員會開催　軍國的書籍を除き圖書一大整理をなす　畫區總會あり

一月十四日　一班二班女子分團員事務所の清掃をなす　厚生部では事務所便所の修理其の他備付物品修理製作に務む

一月十五日　午后一時より婦人總會あり夜當區事務所に於て分團通常總會開催

一、分團則修正協議

一、各部の事業並豫算計畫變更研究協議

一、厚生部よりスケート大會出場選手の選出

一、文化部より敬老會に付

一、第一回輿論調査實施

手塚

十二月二十九日　當青年分團役員會を開催二十二年度各部事業計畫を立案す

一月四日　役場階上にて當分團の新年會及び退團者の送別會を開催す

一月十一日　毎日新聞掲載のインフレ問題について研究會を開催す

一月十五日　當區正副區長外役員を選擧す　區長鎚口安衛　副區長荒井久人

一月十六日　當分團總會を開く各部事業計畫を發表す

一月二十一日　農村女性解放に付いて研究會を開く

ニュース

上小農村青年協議會結成さる

農村民主化と新日本建設を熱願する上田小縣郡下の青年男女多數は、一月二十一日午前十時、上田市農業會階上に集いて懇談、農村民主化促進に擬身せんとの誓いをかため上小農村青年協議會を結成。さしあたり次のスローガンをかゝげて進むことを決議した

一、土地改革の徹底
一、農業會の民主化
一、戰犯の徹底的追放
一、勞農提携
一、反動政府打倒　以上

新町

一月一日　青年團新年會

午后一時より公會堂に於て盛大に行う

一月七日　青年團及農民委員會懇談會を公會堂に於て行う

一月十二日　有志による憲法講習會を行う　講師藺田金一郎氏

一月十五日　區大集會

一月廿日　區役員選出其他に就て

一月十九日　區役員選擧　藺澤利只氏　副　東川ちい子

一月七日　分團通常總會開催　予算の編成　事業計畫の樹立を行う。

一月十日　區大集會　區長役選あり

區長　竹下友三郎

副　東川多壽男

一月十二日　午后一時より音樂鑑賞會及びのど自慢大會開き夕刻盛會裡に終る

一月十六日　午后一時より齋藤先生を迎へ軍道の講習を行う　夜月並例會　月刊雜誌の購入　スケート大會選手選出法に付き協議す。

農民委員會青年部結成準備進む

本村民主化を早急に徹底させんとの意氣に燃ゆる青年により農民委員會青年部結成の準備は着々と進められ近日中に結成大會をもつことになつた。

附—準備會では農民主化に挺身する進歩的青年多數の參加をのぞんでいる。

人の動き

十二月分役場提供

出生の部　男五　女八　計一三名

死亡の部　男三　女三　計六名

○婚姻の部
夫小倉角一郎　妻勅使川原ミづ子　西内村へ
夫竹下八十一　妻生島和子　浦里村より
夫橋詰猪三　妻池田まさを　和田村へ
夫渡邊秀雄　妻龍澤正子　茨城縣へ
夫倉澤賢次郎　妻橘本タカエ　北海道より
夫市村吉視　妻北原クニイ　武石村より
夫中澤正　妻小林靜　上田市へ
夫小山美美　妻兒玉緊子　依田村へ

○復員便り
東前山竹内嚴君
一月一日比島より歸還

野倉

十二月廿五日　穴平部落會より年末特別サービスの散髪デー開始、きれいになつて新年を迎へませうと老若男女のお客さん押すな〳〵の大繁昌。

一月四日　午前九時より區事務所に於て分團通常總會開催　前年度決算報告及事業經過報告をなしたる後午餐會並に茶話會を催し新年を祝す。

一月十日　午後七時より分團役員會を開催し、本年度事業計畫立案す。

本年度第一回散髪當仕を新田部落會より開始す。

一月十四日　午後七時より區事務所に於て役員會開催本年度收支豫算案並に分團則修正案を樹立。

一月十七日　午後七時より區事務所に於て分團總會開催

一月二十日　珠算の講習を始める

御寄附

一金三十圓　竹下照司殿

一金二十圓　竹下利次殿

一金二十圓　齋藤利一殿

右分團へ御寄附下さる紙上を以つて厚く御禮申上ます

新年度事業計畫の概要

青年團

民主革命第二回目の新春を迎へ、幹部の改選並びに第一回總會を實施し、吾等再建の推進たらんとする青年の意氣こゝに結集、新年度事業計畫の樹立成る。

幾度か運營の不振を嘆き、計畫の實現されざるを恨みたるは即ち過去の運動方至は、團の方向が、やゝもすればその現實性に遠く、遊習を完全に脫去し得ざりしものにして極めて遺憾とする處である。

本年度事業計畫は左記の通りにして、その主眼は、斯る過去の精算に加ふるに發展したる青年の團結とその運營による本村民主革命の實現にある宜しく各位の御批判と御協力により目的達成を期するものである。

○文化部

一、報導班　時報編輯發行、輿論調査其他報導實傳事業
二、圖書班　圖書館整備擴充（新圖書購入、寄贈圖書募集、圖書目錄作成等）利用は各分團へ巡回貸出を主として月一回交換
三、修養班　講習會、講演會討論會、等適時實施
四、藝術班　演藝、映畫、音樂、文藝其他の研究並に實施
五、研究班　各研究會を結成し各部門の研究並に發表を行ひ以て運動の推進せんとす
イ、生活科學研究會
ロ、選擧研究會
ハ、村政研究會
ニ、農村問題研究會
ホ、鄉土誌研究會其他各班に涉る研究會を結成

以上

○事業部

一、食糧增産對策
イ、遊休土地の利用
各分團毎に適宜實施
ロ、農村問題の研究
講演會等の實施による
ハ、自給肥料の研究其他資源の蒐集及び揭示發表
ニ、農産物の作柄並に收穫狀況の調査
ホ、食糧問題研究會の結成
二、農藝研究會の實施
藥加工品、纖維加工品、其他農産加工品等に就て實施
三、社會事業
イ、遺家族、戰災者、引揚同胞の援護
ロ、農産物の販賣特配
ニ、勤勞奉仕其他
四、農地問題
イ、農地問題研究會の結成
ロ、講演會、講習會等による啓蒙運動

○厚生部

一、体育事業（一）丙は豫定
イ、陸上競技（十月の豫定）
ロ、野球大會（郡團の大會決り次第）
ハ、卓球大會　二回（全員及女子ノミ）
ニ、スケート大會（一月下旬）
ホ、家庭体操（適時實施）
二、保健事業
イ、衛生講話（三月の豫定）
ロ、体質測定　年齡別及各人每月統計表の作製
ハ、其の他衛生思想の普及
ニ、其の他衛生思想の普及徹底、公共物清潔清掃危險物の處理等分團每に計畫實施

三、其他必要事項は村團及各分團每に計畫實施

以上

西塩田青年團役員名簿

團長　小池清喜
副團長　重田勝人
全　總務部長　竹下照子
全　副　重田勝人
全　文化部長　井口志げ
全　副　曲尾重德
全　副　事業部長　荒井時雄
全　副　厚生部長　鷲原とみ江
全　副　中井袈裟雄
全　副　小池民子

評議員（○印八分團長）十人
○佐藤齋藤輝雄　武田隆子
東前山　○大庭信人　春原秀登　鷲原とみ江　小宮山ゆき子　○中井袈裟雄　山極正之　成田千惠子　羅田昭子
新町　○宮澤良雄　宮澤正次　宮澤安子　宮澤竹子　○曲尾善次郎　大口六平　市村松江　通口幸子　○宮下源信　竹下照子　齋藤ふみよ　○古池秀榮　荒井時雄　竹内つよし　龍澤幸
西前山　○宮澤良雄　宮澤正次　宮澤安子　宮澤竹子　○曲尾善次郎　大口六平　市村松江　通口幸子　○宮下源信　竹下照子　齋藤ふみよ　○古池秀榮　荒井時雄　竹内つよし　龍澤幸
山田　○古池秀榮　荒井時雄　竹内つよし　龍澤幸
手塚　○曲尾善次郎　大口六平　市村松江　通口幸子　○宮下源信　竹下照子　齋藤ふみよ　○古池秀榮　荒井時雄　竹内つよし　龍澤幸
野倉　○古池秀榮　荒井時雄　竹内つよし　龍澤幸

圖書館より

お願ひ!!

圖書館の整備擴充に關しては、文化部に於て極力努力中ですが、經費の点で新圖書の購入は殆んど見込み薄の狀態ですついて村民の皆様に良書を寄贈ふみよ荒井時雄竹内つよし龍澤幸

編輯後記

◆明けましておめでたうございます。皆様御元氣で新春を迎へられお喜び申上げます。私達この喜びと共に來る苦難を、がつちり組んで頑張り拔きませう。

◆從來の青年團報と村報とは今回目發的に廢刊され、新に西鹽田時報が發行される事になりました。團報及村報は、各々青年團或は農民委員會の機關紙ではありましたが其の目的は鄉土の啓蒙運動と報導を併せ行ひ、以つて本村文化の向上と民主的發展に寄與せんとする處にありまして、これに二機關紙の發展的廢刊に伴ふ時報の發刊は、本村のため極めて意義ある事と思います。村民の皆様のお互のものであるこの機關をして完全にその機能を發揮し、その目的を達成し得る樣、絶大なる御協力と御聲援をおねがひする次第です。

◆村の民主革命を遂行し、又將に來つつある農村恐慌に備へて、農村民の團結は極めて必要な事と思います。當村に於ては、昨年農民委員會が結成せられて居るのは御承知の通りで誠に結構な事と思ひます。今回これに就て興論調査を實施しました所、皆樣の隔意なき御意見を承り、有難く存じて居ります。今後も色々の点について、どしく御意見を寄せられ、良い点は伸し悪い点は直し、お互に明るい愉しい生活をしてゆきたいと存じます。

◆山積する玉稿の中で編輯子は隨分惱まされましたが、紙面の都合上殘念乍ら次號に囘し、本年度事業計畫案收支豫算案及分團則修正案を計畫通り認定可決す。本年度役員

區長　荒井利雄氏

副區長　竹内榮勝氏

當分團に對し區内より多數の御寄附がありました。詳細は後日公表致しますが取敢へず御禮申上ます。

共有總代　小林繁寅氏

向上に資したいと思ひます。何卒事情御推察下され、續々御寄贈賜らん事をおねがひします。

青年團

◆山積する玉稿の中で編輯子は隨分惱まされましたが、紙面の都合上殘念乍ら次號に囘し、本年度事業計畫案收支豫算案及分團則修正案を計畫通り認定可決す。本年度役員

區長　荒井利雄氏

副區長　竹内榮勝氏

當分團に對し區内より多數の御寄附がありました。詳細は後日公表致しますが取敢へず御禮申上ます。

共有總代　小林繁寅氏

向上に資したいと思ひます。何卒事情御推察下され、續々御寄贈賜らん事をおねがひします。

青年團

◆明けましておめでたうございます。皆様御元氣で新春を迎へられお喜び申上げます。私達この喜びと共に來る苦難を、がつちり組んで頑張り拔きませう。

◆從來の青年團報と村報とは今回目發的に廢刊され、新に西鹽田時報が發行される事になりました。團報及村報は、各々青年團或は農民委員會の機關紙ではありましたが其の目的は鄉土の啓蒙運動と報導を併せ行ひ、以つて本村文化の向上と民主的發展に寄與せんとする處にありまして、これに二機關紙の發展的廢刊に伴ふ時報の發刊は、本村のため極めて意義ある事と思います。村民の皆様のお互のものであるこの機關をして完全にその機能を發揮し、その目的を達成し得る樣、絶大なる御協力と御聲援をおねがひする次第です。

◆村の民主革命を遂行し、又將に來つつある農村恐慌に備へて、農村民の團結は極めて必要な事と思います。當村に於ては、昨年農民委員會が結成せられて居るのは御承知の通りで誠に結構な事と思ひます。今回これに就て興論調査を實施しました所、皆樣の隔意なき御意見を承り、有難く存じて居ります。今後も色々の点について、どしく御意見を寄せられ、良い点は伸し悪い点は直し、お互に明るい愉しい生活をしてゆきたいと存じます。

◆山積する玉稿の中で編輯子は隨分惱まされましたが、紙面の都合上殘念乍ら次號に囘し、本年度事業計畫案收支豫算案及分團則修正案を計畫通り認定可決す。本年度役員

區長　荒井利雄氏

副區長　竹内榮勝氏

當分團に對し區内より多數の御寄附がありました。詳細は後日公表致しますが取敢へず御禮申上ます。

共有總代　小林繁寅氏

向上に資したいと思ひます。何卒事情御推察下され、續々御寄贈賜らん事をおねがひします。

青年團

◆明けましておめでたうございます。皆様御元氣で新春を迎へられお喜び申上げます。私達この喜びと共に來る苦難を、がつちり組んで頑張り拔きませう。

◆從來の青年團報と村報とは今回目發的に廢刊され、新に西鹽田時報が發行される事になりました。團報及村報は、各々青年團或は農民委員會の機關紙ではありましたが其の目的は鄉土の啓蒙運動と報導を併せ行ひ、以つて本村文化の向上と民主的發展に寄與せんとする處にありまして、これに二機關紙の發展的廢刊に伴ふ時報の發刊は、本村のため極めて意義ある事と思います。村民の皆様のお互のものであるこの機關をして完全にその機能を發揮し、その目的を達成し得る樣、絶大なる御協力と御聲援をおねがひする次第です。

◆村の民主革命を遂行し、又將に來つつある農村恐慌に備へて、農村民の團結は極めて必要な事と思います。當村に於ては、昨年農民委員會が結成せられて居るのは御承知の通りで誠に結構な事と思ひます。今回これに就て興論調査を實施しました所、皆樣の隔意なき御意見を承り、有難く存じて居ります。今後も色々の点について、どしく御意見を寄せられ、良い点は伸し悪い点は直し、お互に明るい愉しい生活をしてゆきたいと存じます。

◆山積する玉稿の中で編輯子は隨分惱まされましたが、紙面の都合上殘念乍ら次號へ囘しました（編輯子）

昭和二十二年三月十日　西鹽田時報　第二・三合併號　（一）

西鹽田時報

第二・三合併號

發行人　小池清喜
編輯人　曲尾重德
長野縣小縣郡西鹽田村手塚
發行所　西鹽田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

六・三制について

竹内敬吾

前月號に標題の問題を取上げて、村民各位の深遠なる御考慮をお願い致したのでしたそうしてこれは空前の教育刷新であることを述べ、四月には本村にも中學校の開設が見られるであろうことをお傳えしたのでした。このことは實は未だ必ずしも確な決定を見たわけではなく（というのは、從來は教育のことは勅令によつて公布されたのでありますが、新憲法の精神に鑑みすべて國會の議決による法律施行となつたためです）局にある私どもに頗る困惑と焦燥を與えている有樣です。併しその因るところが米國教育使節團に發し、國内としても既に教育刷新委員會の審議を經て内閣に建議されているものでありますから、必ずそうなると見て宜しく、縣に於ても着々その準備を進めておるようです。

偖、豫想されるところの一端を記してみますと、制度としては義務制地域無月謝制であるところに特色があり、職員組織としては、さすがに中學でありますから校長以下一學級二名宛の教官が配置され別に事務官があり、學科程任制をとるものと思われます義務制でありますから、町村には設置の、父兄には就學せしむべきそれ〳〵への義務が課せられます。從つて上級校を志望する者も、直ちに職場に赴く者も、必ずりの門だけは滯らなければならないのです教科課程についても自然その程度が高められると共に、仕組の上にも、指導の面にも

本村民主化 果して成るか

編輯室

地方選擧迫る！

資格審査申請に見る本村村長並村會議員候補の見透し……

低迷せる地方選擧を控え、本村長、村會議員候補の問題は、その資格審査申請の推薦により漸く全貌を明らかにした。即ち二月中旬頃より各區民大會其他農民委員會を始め青年團等各民主團体に於て、左記の通り資格審査を申請せんとする者の推薦が行はれたこれは單なる資格審査の申請に過ぎないと云ふもゝ本人の辭意のない限り村長、村會議員の候補となるであらう事は豫測される。

然してこれら諸氏の中より誰を村長に或は村會議員に選出するかは嚴正なる批判を怠らない村民各位の嚴肅なる選擧投票により決せられるとしても本村の民主的發展隆を望み得るか否かの鍵をにぎる

焦点の人々として注目される一、村長の部（順序不同）

宮澤　峰喜氏　西前山
齊藤市太郎氏　山田
竹内　博氏　東前山

置を可とせられているやに聞えます。然し財政資材の上から簡單にそうも行きませんでしようが、假に過渡的に小學校と併設で進むとしても到底教室不足は緩和されません。若き學徒が希望に胸をふくらませる春四月、現狀ではいかにも寂しい氣持を與えることと思はれます。義務制である限り、利害は村内まつたく平等であります。かわいゝ御子弟の爲め、村將來のため、深き御省察を煩したいと存じます。

大いなる朝明けにをりたゞきつゝ教への庭の匂ふ祈るも

竹内博氏辭意を表明

曩に公選村長資格審査申請者として推薦せられた竹内氏は考へる處あり、固く辭してゆづらず、結局申請者は宮澤氏と齋藤氏の二名と決定した

村會議員出馬の 下馬評さかん

（略敬稱）

各區及青年團に於ては左記の通り資格審査申請の推薦をしてゐる

十人　小林隱一郎、武田市左エ門
東前山　竹内貢、鷲原虎五郎
西前山　柳澤秋明、兒玉律
手塚　樋口一郎、勅使川原
瀧次郎、中澤多七、小池崇平、石川鴨悟
新町　安藤茂、中井袈裟雄
保科きみ
山田　竹下盛一、東川孝、
竹下德人
野倉　龍澤隆、平山武男
青年團　宮下榮法、竹下信實
中井袈裟雄、黒坂邦勝
小出ますじ

〝農民委員會〟 第二回總會開かる

全村加入の途上に在る本村農民委員會第二回定期總會は全村民の注目裡に二月二十日午后一時より本村役場に於て開かれた。集るもの一五〇余名、中澤會長代理の挨拶の後滿場推薦の金井好衛氏を議長に會議は運ばれた。

書記に田村、島田の二君を任命、黒坂邦一郎氏より昨年二月創立より今日に到る活動經過報告の後、區長會を代表して東前山區長龍澤由實氏より、去る二月上旬以來區長會

に依りて行へる全村加入運動の趣旨、及び本日總會に全村加入の域に到達せる旨の經過報告あり。續いて金井好衛氏會計報告の後議事に入る。

1 土地改革の徹底
2 農業會民主化に就て
3 山林問題
4 愚税反對
5 生産確保闘爭に就て

右議案を各々上提、提案者より提案理由の説明ある。之が施策に付ては新役員にて協議推進せらるゝ事となる。

續いて

6 規約改正
7 役員選擧

の二題に到るや、當日開會前に寄藤知律氏の「土地革命について」及中間に於て小産別會議長富岡隆氏の「勞農提携について」の各講演を行ひし爲已に滿場となり、加ふるに故障の爲電燈も無く實暗き會場は、6・7・の議題にて議論百出果てる處を知らない狀態であつた。

役員選擧及規約改正等の重大事項は總會の席上決定すべきの論あれば又一方、會員の集合も惡く且時間も經過場せる者あるに付、此の席で決めるより各部落會にて委員を選任し會長、副會長を決定するは全村加入の途上にある委員會の總會の精神に毫も反するものに非ず、との論に會場は定全に二つの對立をみるに到りて議場は熱論の坩堝と化し、甲論乙駁議の果つるなき狀態に立至り近來稀有の活況を呈するに至つた。

結局總會は、最高の議決機關なるを確認の上、此の際は各部落會より二名（十八四名）の執行委員を選任之が委員により諸役員を選任するの後者の意見に議は決せり。

午后六時三十分會議案を終了し、全村加入の發展的の意義ある西鹽田村農民委員會第二回定期總會を終つた。

（文責重田）

農業會より 皆さんに知つて 戴きたい事

▲理事の改選

今日の如き民主革命の時代に於ては一年は將に十年にも匹敵する程の急テンポを以て社會が變革しつゝあります。新憲法は公布せられて改正地方制度に基く村長の公選、村會議員の總改選も近く行はれることになり、昨年選擧したばかりの衆議院議員も四月には更に總選擧を行ふ運びになりました。これは我が國の民主化がこの一年間に新らしい基礎の上に立つて、急角度に行はれつゝある証據であります。

依つて農業會と雖もこの流れに添つて脫皮して行くことが當然のことであります。

依つて役員會ではこの問題に付て年末以來愼重に審議を重ねて理事の改選は各種地方選擧の前にこれを行ひ監事は次の總會に於て正式に改選することが適當であろうとの結論に達し、總代會の承認を經て左記の様に決定しましたので御諒承をお願ひ致します。

尚選擧の方法については民主團体を加へた部落懇談會等でゆつくり御相談の上決定して戰き度いと思ひます。

記

一 理事の選擧期日　三月五日
一 投票場所　西鹽田村農業會

▲鹽の配給に付て

蚕に註文をして貰ひました鹽は其の後製鹽所よりの入荷次第順次配給を致してをります。入荷數量の多寡によつて一時に全量の配給は出來ませんが三月中旬頃迄には註文分の配給を濟ませたいと思つておりますので御承知下さい。

▲經營協議會の設置

農業會の民主的運營をなす目的を以つて左記團体の選出に係る委員により經營協議會を組織することに致しました

農業會役員　四名
全職員組合　四名
農民委員會　二名
青年團　二名
婦人會　二名

▲會融措置令の一部改正に付

今回の會融措置令の改正で出產の費用に必要な物資の購入費に充てる場合五百圓以内の支拂が出來る事になりました。又分娩後の榮養補給費及び衛生材料費の購入の場合三百圓以内妊婦の榮養補給費として妊娠五ケ月目より出產月まで月百圓以内、尚母乳不足の場合人工榮養費として一ケ年の間月に百圓以内の第一封鎖よりの支拂が出來ます。支拂を請求される場合は各々証明書等が必要ですから一應金融機關で御尋ね願ひます。

▲農業會職員組合生る!!

縣案であつた農業會職員組合は一月三十一日職場大會を開いて組合結成を決定し二月七日結成大會を擧行した。

吾等は團結を一段と强め相互扶助の精神に依り勤勞條件の維持改善社會的地位の向上に努力し、何卒御指導御鞭韃を願ひます。

春麥の！ 手入れについて

農業會指導部

全國的に供米が完遂しても、本年度の食糧事情は樂觀出來ない狀態である事は既に新聞ラヂオ等により充分御承知のことである。故にこれから取れる麥の增產の可否は、大いに國民の期待する處であるから今後の管理を充分實施せられたいと思ひます。

何れの作業に於ても早期に實行することによつて、增產することは、最も重要なことであつて、亦効果的である。如何に苦勞しても、余分の勞力を使つても、その作業が時期遲れのものであつては、何もならないから、早期（適期）に於ける作業の勵行を實行して頂きたいものです。

▲麥踏　凍み抜け徒長を防止して、分蘖を促進、旺盛にする作業であるから、三月上旬迄に晴天の日を選んで必ず一回以上行ふ。

▲中耕除草　中耕除草は土を起すことにより、根の發育を良好にして、根張をよくし肥料の分解を促進する重要な作業なので、三月下旬迄には必ず行ふ。

▲土入　蒸間に適當な間隙を與へ、日光の通射、通風を良好にし無効分蘖を抑制し强剛に發育せしめ、出穗成熟を齊一に倒伏を防ぐと共に子實の結實を良好にして收量を增す故左の標準により實行する

第一回　三寸四寸　三月下旬乃至四月
第二回　一尺位　四月中旬乃至下旬
第三回　一尺位　四月下旬　一寸位

▲肥料　冬期間に於ける追肥は土壤に全部吸收されることが出來ないで、流亡する量が多いから、追肥は穗肥として施用するのが最も効果的であり、穗肥の適期は品種により地域により、亦播種期によつて異るも大体主稈の本葉が六―七枚、一株の莖數が四本位になつた時である。時期としては四月十日頃と思ふ。人糞尿は余り濃厚なるものは根の發育を損傷する故に必ず二倍以上に薄めて施用する。

本灰も發育の初期に於て施用すること。石灰の施用も必ず行ふこと。但し石灰、木灰は他の肥料と同時に施さないこと。必ず一週間以上間を置く

▲撒土消雪　山間地及陰地等雪が長く麥の上にある地帶は三月初旬に於て、畑の土等を雪の上に撒布して一日も早く雪を消して、麥の發育を早めることが必要である。

輸入肥料硝酸アンモニヤについて

米國より輸入肥料の硝酸アンモニヤについて施用上の注意

一、硝安十六％は硫安十六％と同
一、成分は窒素三三％の內硝酸性窒素、一六、五％
アンモニヤ性窒素一六、五％
一、硝酸性を含むに付き氷田には施用せざること、畑作麥、馬鈴薯その他の畑作に施用すること
一、三三％の濃厚品なるに付き水又は土と混合して撒布すること、さうでないと作物の根を傷める
一、吸濕性に付き濕けらかさぬ樣にして置くこと
一、速効性なる故施肥期に注意する

農民委員會 役員決定

去る二月二十日、第二回總會に於て延期せられていた農民委員會新役員は三月一日開かれた。各部落より二名宛（十八四名）選出せられる。執行委員會に於て左記の通り決定した。

會長　中澤　多七
副會長　金井　好衛
〃　黒坂　勝
常任執行委員
手塚　横山彌太郎
山極　稔
黒坂邦一郎
竹下　照司
山田　東川　孝
十人　武田　芳春
梅澤彌一
池田　廣
野倉　坂口　榮吉
東前山　龍澤　由實
池田　誠
兒玉　律
西前山　柳澤　明朝
新町　山極　文雄

原稿募集

地方選擧と青年團

青年團文化部

吾々は日本を平和民主國家として建設する偉大な父非常に困難な任務を負つて居るが然しこれを實現する第一目標は地方の民主化でありこれこそ日本再建の基礎であると思ふ。その第一歩として近く、縣參事、縣議、村長、村會議員多數回の地方選擧が實施せらることになつた。

地方民主化の根幹である地方選擧である限り、鄉土を基盤として自らを高め新らしい村を建設せんとする吾々青年團員は、この選擧に絶大なる關心を持つべきであると思ふこの選擧に當り吾々青年團は如何なる方向に進むべきかの問題であるが、これに就ては團員は勿論村民の等しく注目して居る處であらう。

これに關し吾々青年團は團の本質的意義——生活擴充のための職場の明朗を圖る職域青年團体（勞組青年部等）や主義主張を同じくする政治或は思想青年團体とは別個の意義を持つ即ち一定地域（鄉土）を基盤として各階層の青年を網羅し自らを高め以つて鄉土の發展建設の推進たらんとする青年團——に則り先ず選出さるべき人々の任務並に權限から始り地方自治体の研究や政治智識の普及徹底等あらゆる機會と人を利用し、種々の方策を講じ、選擧重要性の徹底を計り、以つて地方民主化に最も期待さるべき來る選擧に望みたい。

最も關しい情熱と正氣感を有すべき青年が、過去に於ける空虛な教育と一方的な指導に慶されてやゝもするとその純眞を失ひ一部煽動的盲動により偏重するが如き事は强く避けなければならない

又青年の政治意識の誤つた行き過ぎからたゞ「若い者乃至は團員の代表者を出せばいい」などゝ云ふ樣な考へはよくないと思ふ、吾々は勿論若い青年の力乃至は青年の意氣の反影により過去の封建性を打破し民主的な鄉土を建設する事は重要な問題であるが、こゝに一つ考へなくてはならないと云ふ事は吾々青年のみでなし得るものではないといふ謙虛な態度を忘れない事が大切だと思ふ。

何れにしても吾々の最も純眞なる正義感に立脚した破正なる批判による適材を選出する事が今選擧に與へられた吾々青年の任務と云へよう。

尚最後に吾々青年に常にその銳敏なる感受性による客觀的狀勢の推移に利する正しい理解と認識を持つべき事を强調して筆を擱く。

◁　◁　◁

祖國再建と民主化

タカシ

祖國再建と云ふ言葉が最近しばしば聞かされる。亦民主化と云ふ言葉も屢々ふれたる。二月一日に起らんとした、ゼネラルストライキあれが祖國再建を叫び、民主化を唱へる人達に依つて、敢行されようとした事實を見る時それは余りにも隔き違へた自由ではあるまいかと私は云ひたいのである。何となれば連合軍の占領下にある敗戰國の政府にして首相より此の命令を出せない現段階を逆に思用する不逞の徒あるを悲しむ。政府より此の命令が出たなら罷業と云つて大さはぎだらう。前號にて首相を不逞呼ばりせし某氏此のスト中止命令を何と批判するや。俸給が安きに失するの故を以つてのみストをやると、是を農民の場合としたらどうなるか。供出どころではなくすべての作物を生産しない結果と同じだ。是を他の職場にある者が支持して行つたら共に破滅するより外はないだらう從つて支持出來ないと私は斷言する。第二者の批判たるアメリカ新聞ニューヨークタイムス紙の二月二日の社說を再確認したいものである。（ラジオ放送による）民主化につ

青年團有志諸兄姉に告ぐ！

研究會結成に就て

青年團文化部

現下の世情混沌とし農村恐慌來の曙光を許さず、青年先づ起つて警世の鐘を打たねばならないと信ずる。

然る處過去に於ける青年團の運動がやゝもすると理想論的乃至は抽象論的存在に終之が現實の諸問題究明と實踐に進まつた事は極めて遺憾とするところである。

我々は諸種の問題に就き嚴正なる反省をすると同時に連

家庭の改造と女性の地位

竹下なを

日本に於ける女性の改造が叫ばれる今日何處に斯くも力强い因習から抜けきれぬ原因があつたかは今左に述べる家族制度を見るに至つて判然と知る事が出來るであらう。

日本の產んだ過去のあらゆる女性への偉大なる彈壓者であつた男性が如何に大きな罪惡者であつたかは今左に述べる家族制度を見るに至つて判然と知る事が出來るであらう。

日本の產んだ過去のあらゆる女性への偉大なる彈壓者であつた男性が如何に大きな罪惡者であつたかは今左に述べる家族制度を見るに至つて判然と知る事が出來るであらう。

そして其の指導者であり女性に斯る狀態を逃脫し眞に生きた若き力の結集による青年團の發展と理想鄉土の建設に邁進せねばならない。

今回文化部に於ては左記の諸研究會結成を計畫し覺醒せる諸兄姉の積極的參加結合を希求して止まない。次にその結成の構想を述べたい。

記

一、研究會の種類と主眼

取敢ず七ケ研究會を結成）

1 村政研究會　本村々政の歷史並に現情の把握

2 農村問題研究會　農地、供出、配給等其他現在發生しつゝある諸問題の研究

3 鄉土史研究會　鄉土史の研究

4 生活科學化研究會　生活の合理化、醱素化並に家政方面の研究

5 演劇研究會　農村演劇の在り方其他

6 文藝研究會　詩、短歌、俳句、創作等文學一般の研究讀書會等

7 音樂研究會　音樂一般研究

二、研究會の運營其他

1 研究會員同志の創意に基いて運營の方向を決定する事

2 團員は一人でどの研究會に屬してもよい事

3 希望者は來る廿日迄に役場內西塩田青年團文化部或は各分團文化部長へ部名並に氏名屆出の事

4 結成總會は後日文化部より連絡する

農作物の增產を圖る。そして必要な肥料そ3他物資の增配を當局者に向つて運動する。

主食の供出を公平ならしむる等、第一義的使命ではならう。殊に主食の增產は再建日本の最大キッキン事であるが故に一部惡だ階級の支配下におちいるも知らず、自己の田畑草ばう〳〵とするもかへり見ず、他人のアラ探しになんか目を見はらる農民委員會でなくてはならない。

政、亦は村の經濟機關たる農業會等皆側面より援助改善に努力するが至當ではあるまい。吾村の農民委員會を日本共產黨の別動團体の如く親敬遠するへも多數あるらしいが指導者たる幹部諸氏よ、よろしく自己反省すべきではあるまいか。

今度〻全村加入の農民委員會が發足するときく。他の支配によらず、健全なる眞の農民組合としての發展を祈る者である。筆者は、眞の民主化を目指して最近創立されし野倉農民協和會の一員なる事を附記し置く。

「生活の所產」はすべてそれが家庭により生じたもの以外何物もあるまい。醫術も文學も科學も道德も宗教も又襲務に至る迄それは家庭に依つて必然的に釀し出されたものである。彼は自から女性であるとの認識の下に過去に於とつたあらゆる因習を彼の言ふ「女性美としての保守」の爲、遂に今尙守り續けんとしてゐるのである現實主義であり從順であり、現實主義であり おとなしくしなければならぬ所以はそも〳〵何であらう。男の特權はたとへば男性の九十%が否定してもそれが女性の弱点につけこんで得た權力に依つたのである事實は恐らく殘る男性と全女性の確信する所のものであらう。

彼は妻であつた。彼は母であつた。彼は姑であり娘でもあつた。彼は女性（生理的見地からして）が許されぬ女性は息吹、暴力の前に倒れた。お勝手の隅と、針持つ義務とすべてが男の爲でないものであらうか、二千年の月日はやがてそれを女性の「義務」とし、「美」として暗然とする迄に致らしめた。

彼は「理屈」をしりぞけられ「自由」を否定された。人間は男のみではない。人間の半數は女性が示めてゐる、何故に男性の配下にならればならないのであらうか。

「女は流れもの」「女は偶なもの」甚だしきは「快樂の手段一かの如くに見て、遂には彼を動物的存在と意味付けてゐるのが今日である。一凡そ人間は環境に依つてすべての思想は變革される事を實者は證明してゐる」

日本のとつた（男のとつた）大きな罪惡が其、女性の「人間性」を如何に變へて終つたか女自ら自任するであらう。然かし、判然たる女性の立場を如何に日本の女性は建なほそうとしないのであらうか。

那、そこに家族制度の最大の欠陷と女性自身の（然かも日本の女性のみ）愚かさが存在するのである。

血を流して遂に得た女性參政權の歷史を持つ諸外國、教師科學者、かつ多く持つ諸外國と比して如何に日本はかくも女性が虐られねばならぬのであらうか、日本に於ては父親の權利は全家族の下に絕對である。女性はそれについかねばならぬ、義務と道德を有する如何に日本のみその制度は存在するのであらう（少なくも文明國として）第一番にあげねばならぬのは生活權を所有しない点でなければならぬ彼女は獨立生活が「彼女自身成にのみ汲々としては居ないだらうか、民主主義なるものは敗戰に依り必然的に與へられたものであるとは云へ、こゝに眞の民主主義の實現を期し度いのである。

偶感

西鹽田國民學校

上羽龍彥

敗戰以來既に一年有半に垂とし、今や全國津々浦々總ての封建的桎梏より脫皮し同胞擧げて民主主義的生活實現の爲あらゆる會合所、職場、社會等に於て民主とは斯く斯くなりといふ言葉を聞くのである而して我々は餘りに概念の構にのみ汲々としては居ないだらうか、民主主義なるものは敗戰に依り必然的に與へられたものであるとは云へ、こゝに眞の民主主義の實現を期し度いのである。

このためには日々の生活の上に於ける問題の中に民主的生活を創造せねばならぬ。我々は現在世界の四等國になり下つた。然し吾人は歷代の天子の仁政、又幾多組先の堅持した秀れた精神を想起したいのである。我國にも程度の差こそあれ民主の萠芽はあつたのである。只誤れる武力政治、軍國政治に依りかゝる民主的萠芽が封殺され今日の悲劇を招いたのである。吾人は今後益々立派なる民主精神を創造すると共に單に言葉、概念ではなくて實行と言葉續とに依り、具体的な民主の實現を期し度いのである。

祖國再建と民主化

タカシ

祖國再建と云ふ言葉が最近しばしば聞かされる。亦民主化と云ふ言葉も屢々ふれたる。二月一日に起らんとした、ゼネラルストライキあれが祖國再建を叫び、民主化を唱へる人達に依つて、敢行されようとした事實を見る時それは余りにも隔き違へた自由ではあるまいかと私は云ひたいのである。何となれば連合軍の占領下にある敗戰國の政府にして首相より此の命令を出せない現段階を逆に思用する不逞の徒あるを悲しむ。政府より此の命令が出たなら罷業と云つて大さはぎだらう。前號にて首相を不逞呼ばりせし某氏此のスト中止命令を何と批判するや。俸給が安きに失するの故を以つてのみストをやると、是を農民の場合としたらどうなるか。供出どころではなくすべての作物を生産しない結果と同じだ。是を他の職場にある者が支持して行つたら共に破滅するより外はないだらう從つて支持出來ないと私は斷言する。第二者の批判たるアメリカ新聞ニューヨークタイムス紙の二月二日の社說を再確認したいものである。（ラジオ放送による）民主化につ

心の革新

黒坂邦一郎

日本は今非常な勢を以て、革新されつゝある、それは敗戦により、又ポツタム宣言により促進されて居るのである。然しそれ等は、何れも制度の上の革新である。それに伴うて勿論心の革新も要求されて居るのである。然るに今迄はより多く制度形態の革新が叫ばれて居て、心の革新がそれ程唱えられてはいない。故に制度形態の革新には矢張りそれに伴う心の革新もなければうまく行くはずがない自由だと云うとその自由とはどんなものかの理解無くして何んでも自由だと云うので、我が思ふまゝに行動する。而して他人の迷惑は一向考えないで我儘な行動をしてゐる。

民主々義だからと言つて矢張り勝手な行動を取ると言ふ事それで良いのだとか、又封建性打破を盛に言つて居る。その封建性打破は、實に急務であるが、然し制度形態の封建性丈を打破しても駄目だ。自からの心の中に伏在する處の封建性を先づ打破する事が肝要である。形態のみを打破して見ても各々の心の中に伏在して居る處の封建性を打破しない以上眞の民主々義にも、自由主義的にもならないのであつて、そこには直に第二の封建性が生れて來るであらうと考へさせられる。お互にも自己自からの心の革新が必要ではないだらうか。そうして、自からが眞の自由人になり得なければならない。口に自由を唱えながら他人の自由を認めなかつたり、阻害する樣では駄目だ。眞の自由人は先づそれ等の義務を行う事を權利であると主張し、實行し得るに至らなければならない。只だ徒らに權利のみを主張して、義務を果す事を忘れて居る樣では眞の自由を主張する事は出來ないのであつて先づお互に心の封建性を打破しやうではないか。先づそれには、過去に於ける己れの地位や名與を棄てる事である。己れはと云う考へをなくする事である。即ち己れは何に何にであつたと云う考へを棄てて、皆と同レベルで、事にあたる事が必要だ。己れの過去の經歷や位置を心に伏在せしめて居つては到底封建性打破は望めないのではないだらうそれには更にお互に反省し會う事が必要なのだ。そうした處に初めて民主的なものが生れて來るのである。過去の經歷や、地位や、名與は自から主觀的に、觀念的に持ち出さずとも人がそれを認める必要があれば認めて與れよう。即ち、自然を見ればよくその理は理解が出來ると思う。山の高い處と谷の低い處を誰も平面的に見るものはないであらう、先づ自からの教養を高める事が必要だ。

次に青年諸君は自主的に進まんとして居る事は誠に結構だが、中には何でも自由になつたからと云うので、放恣、放漫過ぎた傾かないだらうか、今迄の規範から離れ、すべての思行が自由だと云う事になつたが、此の際よろしく深く自己反省のもとに冒瀆してもらいたいものである。過去において居つたものが敗戦と同時にその凍制がなくなつてその反動が振子のやうに流れて行つて居る。それが現代的の事でなく、その何れをも良く研究する事が必要である。徒に盲目的に雷同する樣な事があつてはいけない。日本の行くべき道は、ポツタム宣言の民主々義の復化の強化でなければならない。この事をはつきり心に認識する事が是非必要である。心の革新へ！

役場欄

教育委員會について

昨年九月二十三日縣通牒を以て、各市町村に教育委員會を設置すべきことが勸められ、本村に於ても竊臘委員の依嘱を見、去る一月二十五日初顔合せが行はれた。次いで二十九日、第二回の會合あり、本村教育推進の上に力強い動きを示しつゝある。仍てこの機會に同委員會設置の意義について若干の考案を試み、村民各位の御參考に供したいと思ふ。

道義的文化國家としての日本を造るために、教育の大切なことは今更いうまでもない特に新時代に對する教育の飛躍的刷新と振興を圖るためには、擧國民各自の關心と創意と協力とを集めることが肝要である。教育が單に學校當事者のみのものであつては、三日縣通牒を以て、各市町村に教育委員會を設置すべきことが勸められ、本村に於ても竊臘委員の依嘱を見、去る一月二十五日初顔合せが行はれた。次いで二十九日、第二回の會合あり、本村教育推進の上に力強い動きを示しつゝある。仍てこの機會に同委員會設置の意義について若干の考案を試み、村民各位の御參考に供したいと思ふ。

道義的文化國家としての日本を造るために、教育の大切なことは今更いうまでもない特に新時代に對する教育の飛躍的刷新と振興を圖るためには、擧國民各自の關心と創意と協力とを集めることが肝要である。教育が單に學校當事者のみのものであつては、孤高獨善、あまりに生きた社會と遊離して、いのちの躍動を缺く憾みなしとしない。且又村に於ても竊臘委員の依嘱を見、去る一月二十五日初顔合せが行はれた。次いで二十九日、第二回の會合あり、本村教育推進の上に力強い動きを示しつゝある。仍てこの機會に同委員會設置の意義について若干の考案を試み、村民各位の御參考に供したいと思ふ。

教育委員會の設置によつてかゝる点に適切な調整を保つと共に、精神的な贊助が期待される。又、教育が眞に具体的な事實となるためには、教材はもとより、設備々品施設等に亘つて、物的な機縁と基礎とがなければならない。委員會はかゝる点についても、よき協力者であり後援者であることが要請される。

以上は主として學校教育に對する委員會の使命の一端であるが、こゝに更に重大なる任務が考えられる。それは社會教育についてである。これからの社會教育（成人、婦人青年、文化等の教育）においては過去のそれと違つて、市町村民各自が自律的積極的にその文化的教養を高めようとする意欲と實踐が必要である委員會はこれを具現するための推進力となるべき機構なのであつて、周知の如き公民館の施設運營についても大きな責務が與えられているのである。

すでに前二回の會合に於て學校教育について、學校と委員會と相互の教育的要望が交換されたが、社會教育についても各種の有益な企畫がなされ、着々その成果を擧げつゝある。

併しながら、委員會が眞にその職責を完了するためにはひろく村民各位の御意志に訴へ激勵される必要がある。卒直に各位の聲をお聞かせ願つて、本委員會に清新發溂なる民主的生命を吹込まれたいと思ふ。

因みに委員は左記の如くで地區的、年齢的、職業的に各界各層を網羅しバいることを御諒承得たい、

委員長　中島榮知
委員　佐藤　知　武田かため
　山極正之　黒坂　勝
　宮澤喜十郎　西澤　力
　中澤多七　竹内　敬吾
　吉野　和　小池　恭正
　齋藤儀雄　宮下　榮法
　小池良平

衛生係より

昨年病氣其の他の事故の爲受定者で種痘を行はれない方は本年度種痘の際一緒に行ひますから役場衛生係迄御通知を御願ひ致します。

援護係より

盡に發生致しました南海地區の震災地同胞援護の爲青〇團員關係分左の通り

一丸特洗溜刷毛　二三二ヶ
一丸民歯磨粉　二〇〇ヶ
一一般用縫針　四一九〇本
一戰災者用縫針　二八三本
一營團綿布
（外地引揚者）一一四枚
一毛布（〃）二六林
一幼兒用菓子　八七六〇匁

◎お知らせ

去る一月三十日の配給委員會に於て村内配給物資の割當基準を左の通り決定いたしました。（役場より各區へ）

一、酒類　戸數割
一、衣料品及繊維品　人頭割
一、木炭　戸數割
一、燐寸ローソク　戸數割
一、食糧品　人頭割
一、其他雜品　戸數割
〃以上

從來該配給券紛失に依る再交付は無料で發行して居りましたが去る二月一日より一枚に付金壹圓宛（紙代、手數料）を頂戴する事になりましたから今後紛失せぬ樣御注意願ひます。

若槻村農民組合視察記

大庭信人記

農民組合の外觀

一、生立―昭和二十一年一月、青年團より宮下榮法、竹下源信、春原秀登の三氏と私の四人にて上水内郡若槻村の全村加入農民組合の視察に出張、大体左の如き參考資料を得て歸村せり。若槻村は地形的に見て、鰻の床の如き村で、八ケの部落より成り、現農民組合長は「德間」の、野村彌一郎氏である。

二、現在―組合として政黨的傾向更に無く、特に幹部は色彩を帶びてゐない。又、大略一反歩以上の耕作農民は地主、小作を問はず一名の未加入者も無い。

三、組織―組合長一、副組合長二、幹事長一、常任書記一、幹事二〇（各部落より二乃至三名）にして地主、小作の別なし

四、構想
イ、耕地の組合管理―耕地の引上げその他の異動は全面的に組合を經て農地委員に行く
ロ、小作料の組合管理―闇取引防止の爲
ハ、文化部―一般的に文化水準の向上。
ニ、青年部―三十才未満の者を以て組織され、稍詳細に後述す
ホ、政治部―農器具、肥料その他の特配、増配等の政治的面に於て活動

青年團と青年部との關係

青年團は二十五才迄の男女青年に依つて組織され、青年部と較べて活動簿く青年團員の中、殆んど九〇％に近い者は鐵道その他への勤人にして、實際に土に親しむ者が少い關係もあり、青年團として組合に加入せず、個人的に加入してゐる。而して青年團としては政治的運動に參與せず、專ら修養面に努め、即ち、團員の中耕作に從事してゐる者は團としては修養面に努め、一方青年部員としては政治的運動にも參與し、二重人格的である。青年部は前述せる如く三十才未満の男女青年（耕作者）を以て組織され、部長一名副部長二名（男女各一）にして、此の中の二名が理事として二十名の中に加はり、各部落には幹事として男女各一名あり、部落の連絡、運營（青年部員の中の部落員）に當つてゐる。尚此の青年部と、各部との連絡の爲め、幹事中は三割に滿たないと云ふ。

△地方選擧も衆議員の選擧も間近に迫つて來た。今度こそ吾々はだまされたり利用されてはいけない。

產川原

△農民は大地と四ツに取組んで食糧其他重要物資の生産に勵む。それは農民の使命だからだ。日本再建を叫ばれてゐるが、今こそ政治經濟その他あらゆる分野に亘つて大切な時はない。

△ところが現在開會中の衆議院をのぞいたらどうだらうか。代議士は吾々の代表として議會で活躍するのは當然なのである。本縣出身の他四閣の狀勢により、共同配給會社案の發表と其の代議士だけでもその出席率は三割に滿たないと云ふ。

御挨拶

會津屋商店

弊店事　戰時中物資配給一元化の輿論に即應して十九年四月より農業員と弊店の共同配給を實施して參りましたが今回配給會社案の發表と其の代議士だけでもその出席率は三割に滿たないと云ふ。

寫眞

開業お知らせ

皆樣の記念にお利用の程おねがひします

西前山　黒坂文内

人の動き（一月分）

出生の部　男二　女二
死亡の部　男一　女三　計一七名

死亡内譯　本籍人

大字手塚　西澤信藏
大字手塚　市村　市作
大字山田　竹内　泉
大字山田　齋藤　達男
大字手塚　瀧澤　のぶ

婚姻の部

（夫）須田　良文　竹内宮次郎　大字前山
（妻）安藤なが子　群馬縣へ　瀧澤　龍澤　鯛　大字新町
（夫）瀧澤ちよい　手塚へ　小宮山三一郎　大字前山
（妻）奥原　信雄　綿山形縣より　坂口　晶吉　大字前山
（夫）中島朝三　金子　小宮山春雄　大字前山
（妻）保科勤　北佐久郡へ　大字手塚　幸
（夫）北村正平　浦里村へ　小宮山春雄　大字前山
（妻）齋藤すず　木下
（夫）古川カヨ　中鹽田へ　山下もりみ　大字手塚
（妻）瀧澤幸治郎　上田市より　佐藤　甫　大字十人
（夫）堀内初代代　上田市へ　竹内　義則　大字山田
（妻）竹内五郎　上田市へ　婚姻の部
（夫）砥石ふく子　群馬縣へ
（妻）大庭繁雄　上田市より
（夫）兼子千代　上田市より
（妻）堀内　幸一　鹽川村へ
（夫）黒坂きよ子　池田　忠一
（妻）山越　ゆき　依田村へ

時代の斷想

大庭直人



覆滅枢國の敗退に因り擡頭した歴史的現段階に於ける世界史の大轉還は、凡らく人類が文明の創造をして以來の深刻にして而も廣範に亘る思想史の大革命であらう。

歴史學の事實に基く方法及方向として、世界一國家理想主義の提唱も、今、全世界の人類が受付つゝある大革命の洗禮、殊に敗戰國家にして曾てその例を見ざる偉大なる体驗は將來全世界をして一國家への統一も可能なりとせらるゝは强ち空論や根據なき洞察にあらざる所以である。

この空前絶後たる革命！それは無血革命であつたらうか否、吾々がこれを無血革命と稱する時、曾ての英靈は全く「犬死」以外の何物でもなくそして吾々は吾々の思想に於て又宗教と信仰とに於て何を以てこの英靈に對する良心の空洞を滿す事が出來得るであらうか、又斯る大革命が無血のまゝ成功し得べき筈のものではあり得ない。第二次世界大戰こそは、今次大革命の嵐であり、英靈こそ身を以て帝國主義、侵略主義指導者達を譴責した尊き犧牲者でなくて何であらう、唯惜むべきは此の尊き犧牲者達が人類發展の所産たる「新世界の黎明」を見屆ずして既に亡き相拠へて民主主義の享受を分ち得ん事は吾人が惜しみて尚余りある悲むべき事實である。

斯るが故に私は吾々が民主主義國家再建課程に於ける迅速的努力のみが良く英靈に報ゆる道たる事を確く信じてゐる。そして幾十万同胞の血衣を身に纏ひ、幾百万遺族の涙の犠牲を要求しつゝ血しぶきを浴びて立上るもの、これぞ「新生日本」の姿である、この嚴肅と云はうか悲壯と云はうか譬ふ方なき大流血革命の後に來るもの、それは左右の對立、勞資、新舊の對立、プルジョアジーとプロレタリアート等に社會的現實は尚對立と相剋の一大繪巻である、然し乍ら近代民主主義國家が体驗せる曾ての寡頭政治より民主主義政治への大轉換期に於ける歴史的事實を近代民主主義政治思想史が何よりもこれを雄辯に物語つており、對立と相剋の姿は革命史上に於ける必然的課程であり又歴史的運命であらう。（曾て人類が經驗した對立と流血の順序が今次革命のそれと相前後してゐる事は衆知の處なるも過去の革命は國内革命であり、今次革命が世界大戰に發展せざるを得なかつた處に今次革命の本質的性格が窺はれる）

是等の對立的空間の課題は歴史的には「時」がこれを解決するところなるも近代社會を以てこの英靈に對する良心の空洞を滿す事が出來得るであらうか、又斯る大革命が無血のまゝ成功し得べき筈のものではあり得ない。第二次世界大戰こそは、今次大革命の嵐であり、英靈こそ身を以て帝國主義、侵略主義指導者達を譴責した尊き犧牲者でなくて何であらう、唯惜むべきは此の尊き犧牲者達が人類發展の所産たる「新世界の黎明」を見屆ずして既に亡き相拠へて民主主義の享受を分ち得ん事は吾人が惜しみて尚余りある悲むべき事實である。

斯るが故に私は吾々が民主主義國家再建課程に於ける迅速的努力のみが良く英靈に報ゆる道たる事を確く信じてゐる。そして幾十万同胞の血衣を身に纏ひ、幾百万遺族の涙の犠牲を要求しつゝ血しぶきを浴びて立上るもの、これぞ「新生日本」の姿である、この嚴肅と云はうか悲壯と云はうか譬ふ方なき大流血革命の後に來るもの、それは左右の對立、勞資、新舊の對立、プルジョアジーとプロレタリアート等に社會的現實は尚對立と相剋の一大繪巻である、然し乍ら近代民主主義國家が体驗せる曾ての寡頭政治より民主主義政治への大轉換期に於ける歴史的事實を近代民主主義政治思想史が何よりもこれを雄辯に物語つており、對立と相剋の姿は革命史上に於ける必然的課程であり又歴史的運命であらう。（曾て人類が經驗した對立と流血の順序が今次革命のそれと相前後してゐる事は衆知の處なるも過去の革命は國内革命であり、今次革命が世界大戰に發展せざるを得なかつた處に今次革命の本質的性格が窺はれる）

是等の對立的空間の課題は歴史的には「時」がこれを解決するところなるも近代社會を以てこの英靈に對する良心の空洞を滿す事が出來得るであらうか、又斯る大革命が無血のまゝ成功し得べき筈のものではあり得ない。第二次世界大戰こそは、今次大革命の嵐であり、英靈こそ身を以て帝國主義、侵略主義指導者達を譴責した尊き犧牲者でなくて何であらう、唯惜むべきは此の尊き犧牲者達が人類發展の所産たる「新世界の黎明」を見屆ずして既に亡き相拠へて民主主義の享受を分ち得ん事は吾人が惜しみて尚余りある悲むべき事實である。

斯るが故に私は吾々が民主主義國家再建課程に於ける迅速的努力のみが良く英靈に報ゆる道たる事を確く信じてゐる。そして幾十万同胞の血衣を身に纏ひ、幾百万遺族の涙の犠牲を要求しつゝ血しぶきを浴びて立上るもの、これぞ「新生日本」の姿である、この嚴肅と云はうか悲壯と云はうか譬ふ方なき大流血革命の

代はなく又家庭は社會の縮圖であつた。吾々は親界を身邊に注ぐとき、そこに年齢的時代の相違に基く親子の論爭を見聞するであらう。即ち、老人と青年の對立である……

……青年達は一夜作りの鍛き（？）民主刀を眞向からに振りかざして「朝から晩迄働くばつかが能ぢやねえわえさ」と切込めば宿命觀柄付の小刀により削りた幾十年鍛へに鍛へた封建権に依つて一民主主義たあ雨の日にやあ決つて上田へ下る事だか」とハツシと見事（？）に受け止めるー撥へて發せんとする時、先ず社會の細胞たる家庭及身邊の民主化に著目すべきを忘れてはならないであらう。完

開け！諸君の村、諸君の街の指導者の中に封建権を確く握つた德川家康の姿は見へぬか？」と風がさゝやけば「嗚呼青年民主刀！名刀正宗の切味を示すは何時の日ぞ……」と天井から委なき聲がさゝやきはしなかつたらうか？……

こゝに於て私は次代の孝行觀に就て論及する余裕を許されないが、凡らくその在り方に於て百八十度の廻轉を余儀なくされるであらう。

新生日本、そして新世界、吾々は輝く理想に眉を上げ相携へて發せんとする時、先

農業會欄

明日の畜産を想ふ

農業會　高見澤陽一郎

敗戰によつての豐富性は從來に比し一段と强まつてきたのである。斯る基本課題が一變事態に處して農業には國民食糧の增産、農家經濟の確立、過剩勞力の就勞增進と云ふ三國土で、八千萬と云ふ膨大な人口を收容して民主的文化生産性勞働吸收力共に高く然も農家勞働の生産性高くやがて恐らく免れ難き外國農業との競爭に堪え得る如き農業作營の體立が要請されるに至つたのである。かゝる事態に於て農業の經營の改良を圖り、また經營の恐慌低抗力を高める手段として畜産に强き期待が持たれる點になつて來たのである。從つて畜産物の價格は今後經濟快復するに從つて穀物に比し相對的に有利となるであらうと信ぜられるが、畜産の發達は如何なる形態に於て期待されるであらうか、耕地の飼料作化或は食糧作物の飼料化による高級化的畜産は土地が益々狹小となり織り込んでゆくことが大切である。特に本村の如き畑作による營農の多き所では乳製品の利によりこれが奨勵の缺陷を補つてゆくことが健康保持上重要であらう。野菜、前山の如き山間地帶に於て、栗、樫、栃の木の下で綿羊、山羊が木の實を拾ひ蜜蜂が亂舞すると云う光景も强ち夢ではあるまいと信ずる。拔大的積極に遡れたが有畜農業經營として來たのであるが、それは實現には余り發達しなかつた樣である。かゝる有畜農業の發達しなかつた原因は種々あらうと思はれるが、最も大きな原因は畜産物の利用方面に於て我々の日常生活に滲透して居なかつた点にある。主食である米麥は何千年の昔より今以て我々の生活より切り離すことの出來ない重要なものとなつて居ると云うのも生活に密着して居たればこそであり、また經營の安定にも繋がつて居るからである。

畜産物の利用に關聯して重要なのは畝田畑の周圍への飼料作物又は牧草の生産力の增加と、耕地增進にある濃原飼料の節約とである、前者は草種草生の改良、耀作物を數種類適當に組合せて輪作による集約栽培を行ひこれによつて酪農經營を行ふことが好ましいゆき方である、現在の乳牛に對し一段歩の飼料畑が認められて居る所以地の穀作中心の利用方式の改良が問題となる、これに就ては多期裏作への飼料裏作食糧作物に對する飼料の間作或は混居作物の選擇の姿は見へぬか？」と風がさゝやけば「嗚呼青年民主刀！名刀正宗の切味を示すは何時の日ぞ……」と天井から委なき聲がさゝやきはしなかつたらうか？……

こゝに於て私は次代の孝行觀に就て論及する余裕を許されないが、凡らくその在り方に於て百八十度の廻轉を余儀なくされるであらう。

新生日本、そして新世界、吾々は輝く理想に眉を上げ相携へて發せんとする時、先ず社會の細胞たる家庭及身邊の民主化に著目すべきを忘れてはならないであらう。完

投書箱

狡猾泡沫をとばし叫び狂へる共公に一言

（產　川）

君達は非常に偉いと思ふ……

……と云はれて喜ぶ勿れ。しかし君達の今迄の功績は偉大なものである……と云はれて又喜ぶ勿れ。予は人一倍村民主化の畑で生かそうよ。

村民より偉き君達よ、村民に「こうせよ」とは……予はか君達一人に踊られ、村を左右する手をば好ましき新農村民足並揃へての好ましき農村の民主化へと。

顧はくば共公よ、君達の成功せる村内の一、二の事業を吹聽する勿れ。はた父獨狂山を覆へそうとする工作はよし給へ。かゝる爲に學ばんとする努力を、より以上好ましき農村民主化の畑で生かそうよ。

好ましき言？の君達のより良き解譯を乞ふ。

選擧について

M・T生

日本人の基本的人權が、これまで我々の日常生活に滲透して居なかつた点にある。主食である米麥は何千年の昔より今以て我々の生活より切り離すことの出來ない重要なものとなつて居ると云うのも生活に密着して居たればこそであり、また經營の安定にも繋がつて居るからである。

畜産物の利用に關聯して重要なのは畝田畑の周圍への飼料作物又は牧草の生産力の增加と、耕地增進にある濃原飼料の節約とである、前者は草種草生の改良、耀作物を數種類適當に組合せて輪作による集約栽培を行ひこれによつて酪農經營を行ふことが好ましいゆき方である、現在の乳牛に對し一段歩の飼料畑が認められて居る所以地の穀作中心の利用方式の改良が問題となる、これに就ては多期裏作への飼料裏作食糧作物に對する飼料の間作或は混居作物の選擇の姿は見へぬか？」と風がさゝやけば「嗚呼青年民主刀！名刀正宗の切味を示すは何時の日ぞ……」と天井から委なき聲がさゝやきはしなかつたらうか？……

こゝに於て私は次代の孝行觀に就て論及する余裕を許されないが、凡らくその在り方に於て百八十度の廻轉を余儀なくされるであらう。

新生日本、そして新世界、吾々は輝く理想に眉を上げ相携へて發せんとする時、先ず社會の細胞たる家庭及身邊の民主化に著目すべきを忘れてはならないであらう。完

麥類供出！褒奬物資の配給

麥類供出褒奬物資の配給に就ては先般來部落會長會並に配給委員會に諮りて御協議願つて居りましたが、大体に於て品物が入荷濟となりましたので一月三十日の配給委員會に於て、配給方法を決定して戴きまして割當が決定しましたから近日中に配給致しますが、配給方法、配給數量等左記の通りであります。

記

一、配給數量　各部落會長を通じお知らせ濟みです。

二、配給方法点數基準により配給する事とし、点數の算出方法は左の通りです。

イ、農家の点數計算　農家の得点の基準は左の三種で計算します

1耕作反別　耕作反別一〇〇坪に付一点の割合

2人口　家族一人に付二点の割合

3供出數量　右の12の点數の總計を、物品の總点數より差引き、殘りたる点數を供出數量割合に按分せる點本位でなければいけません。

いせに才能がある人でも、屬この反動勢力の巢は自由黨と進歩黨です。

婦人の權利が憲法でいくらきめられても、戰災者、引揚同胞、失業者がいかに、おきの暮な狀態であらうと、勤勞大衆がどんなに一生懸命働いても、あの自由黨、進歩黨を打ち倒すまでは、吾々大衆は死の影が加速度的に增すばかりであつて、絕對に幸福にはなれません。

總選擧及び地方選擧が目前に迫つています。どうか皆さん、自由黨進歩黨にだけはどんな事があつても投票しないで下さい。自分の首を自身でくゝるようなものです。

次に選擧は皆さん本位で行はれましたが、それはあやまりです、人物本位でなく政

ロ、供出物資の点數基準供出物資の点數基準は左の通りであります

一小麥一〇　一米　一六

一大麥一〇　一馬鈴薯二

ハ、褒奬物資の点數基準

作業シヤツ　三

紺織（半反）　一五

軍手　四

簽　一〇

辨當箱　四

作業衣上　一五

女子作業衣　一〇

作業衣下　一五

地下タビ　一九

ゴム長　五〇

作業ズボン　一五

輝　二

和傘　一〇

タバコ十本　二

ニ、右の方法により算出せるものを部落に一括して引き渡しますから、部落會の實情を勘案して配給方法を變更する場合も部落會全員の總意で有れば結構と思ひます。

尙米供出者の分も一應部落會へ渡し致しますが、部落會に於て適當に御願ひ致します

率を高度化すると共に乳牛を適當に夥役に兼用することにより役畜飼養の費用を輕減することが必要である。從來稍もすれば家畜飼養を土地利用から切り離して考へる嫌ひがあつたが以上のべてきた如く兩者を相關聯せしめて經營としての觀点より立地的に考慮することが肝要なことである、かくて始めて有畜農業の目的が把握され農家の實態に即して普及性あるものとなるであらう。

渡部齒科醫院
診療　自　午前八時
每日　至　午後八時
新町王子神社前中井方
保險齒科醫　渡部龍雄

部落通信

十人

一月十九日　午後一時より分團主催にて縣農業會上小支部高遠技師を講師に御願ひし、農地問題につき講演會を開催二月十一日　婦人會、青年團共催による敬老會を開催二月十五日　夜分團意見發表會を實施、懇談的な中に熱心なる意見の交換が行はれた。二月十九日　昨日より村長、村議の選出につき區總會、評議員會を開催、協議の結果村長、村議候補各二名の選出が行はれた。二月二十三日　分團總會開催役員總辭職せる爲再選擧を施行す、變更せる村團關係役員左の通り

分團長　齋藤輝雄
男子部長　武田正滯
御禮

一金六〇圓也
右金額敬老會開催にあたり御寄附を御願ひ致しました處多額の御寄附を戴き紙上を以て厚く御禮申上げます　青年團　婦人會　區民御一同樣

東前山

一月十三日　青年團臨時總會を開催各部長から本年度計畫方針の發表ありし後修業會を結成す（二一才以下）一月十七日　女子部修業會を開き甘藷馬鈴薯料理の研究一月十九日　婦人會の總會を開き役員を改選す一月三十一日　文化部文藝班にて文集「むらみち」を作成す二月一日　青年團役員にて南海地區震災地に贈る寄附金を頂きに巡廻す二月四日　青年團臨時總會を開き文化部副部長辭任につき後任を選擧す

二月六日　婦人會及青年團の合同役員會を開き敬老會の件にて打合せをす二月十二日　若人の熱演により敬老會を催す二月十三日　舞台後片附及批評會をす二月十八日　三夜區民大會を開き村長當區推薦候補を擧ぐ二月二十日　女子修業會で小麥粉主材の料理研究をす二月二十一日　青年團臨時總會を開き專業部長辭任につき後任を選擧す

西前山

一月二十日　婦人會、青年團合同役員會開催、敬老會並慰

後敬老慰安會の脚本による優役演出す二月九日　午前八時半より厚生部員分團長事務所に集合、危險箇作製に務む二月十三日　篤志御寄附一金參拾圓也吉澤清士殿より西前山分團運營資金として御寄附ドさいました、紙上を以て厚く御禮申上ます二月十六日　婦人會、青年團

手塚

一月二十八日　本村農民委員會執行部の諸氏を中心に懇談會を開催す二月五日　休憩測定を行ふ二月九日　二十三日開催豫定の敬老會に付て婦人會役員青年團役員集合して當日の打合をす二月十日　意見發表會を開催す

郡團歌募集！

青年團文化部

四の民主國家を建設し一日も早く混迷せる現狀から祖國を救はねばならない。これは若さと純心な熱と意氣を持つ吾々青年に於てのみ成し得ると言つても過言ではないと思ひます。今度小縣郡青年團に於て郡團歌を募集する事になりました、封建性を打破し安演藝會の件協議す

一月三十日　厚生部主催卓球大會開催、各班對抗並個人試合施行す一月三十一日　臨時總會開催（一）副分團長辭任に關し補缺選擧實施、結果當澤一二三君當選す

（二）敬老會並慰安演藝會に關し興論調査を行ふ二月一日　厚生部員出席、部落案內圖の作成に務む、午後完了設置す二月三日　体重測定實施す、

新町

一月二十八日　婦人會、青年分團合同役員會敬老會開催について協議す

主催敬老會並慰安演藝會中疇寺に於て開催、笑つて泣いて六時間の演藝も盛大に終る二月二十一日　臨時總會開催一、農民委員會全村加入に關し青年團の進路協議結果團員は個人の自由意志に依り加入と決定二、專業部長辭任に關し補缺選擧を施行、結果吉澤英俠君當選す

二月十一日　敬老會開催、老若男女場內立推の余地なき程の盛況であつた二月十四日　農民組合全村加入に就て東前山區長瀧澤氏の話あり、當會長評議員と共に研究す二月十五日　分團總會開催ヨ論調査に就て討論會意見發表會選擧選出其の他協議す二月十八日區評議員會に於て農道費用地域別假割に就て協議同日　區總會に於て村長候補二名村議二名及び左の通農業會理事の選出を行つた

理事　山田義雄
〃　福田武信

二月二十日　分團退團者送別會開催、尙討論會を實施す

山田

一月廿九日　一週間毎夜行われた珠算講習會も今夜を以つて閉會とする二月六日　今晩より分團員寒夜をいとわず熱細工の講習を十日間と豫定を以つて始むる二月十一日　區大集會、農民組合全村加入に關し東前山區長瀧澤氏より、以前の農民組合父兄今度新發足す。農民組合に關し色々と御話を聞く二月十六日　第二回華道講習會を行ふ二月十七日　青年團月例會協議事項。村長村議公選意見發表會の選擧選出。各部の計畫の發表等二月十八日　區大集會村長村議農業會理事。資格審査會提出者を選擧を以つて。選出當選者を推薦する事に決定す

御寄附
東川延秋殿

一金三拾圓
右分團厚生部へ御寄附ドさる、厚く御禮申し上げます

野倉

一月二十五日　分團總會
1　珠算練習の件
2　活花及農業の研究會結成
3　敬老會の件決定

二月六日　區長、區協議員を圍んで團員全員懇談會
1　區政及區財政について
2　青年團の進むべき道等

二月九日十一日　竹細工の講習會を實施
二月十六日　敬老會實施無事盛會に終つた事を感謝し

御寄附
一金二拾圓　東川延秋殿
右分團厚生部へ御寄附ドさる、厚く御禮申し上げます

一月二十五日　分團總會
1　珠算練習の件
2　活花及農業の研究會結成
3　敬老會の件決定

二月六日　區長、區協議員を圍んで團員全員懇談會
1　區政及區財政について
2　青年團の進むべき道等

二月九日十一日　竹細工の講習會を實施
二月十六日　敬老會實施無事盛會に終つた事を感謝し

青年團一ヶ月の回顧

熱血溢るる寒夜感激の意見發表會から

本會の目的は團員個人の自由の意見の發表にして話す者も、聽く者もそこに一つの自由な思想を見出すものである意見は色々あるだらう。然しその人間の強い信念から吐き出る熱言はあく迄も尊重されるべきものであつて、討論會とは本質から異るものである。この点今回の講演者の態度と內容は我々に多くの示唆を與へたものであることを確信してゐる。題目と氏名は左の通りである

十人　武田省吾（村政と青年團）
野倉　瀧澤幸（農村文藝の道祖神に就て）
東前山　中島くみ（今年の由處氏を圍み座談會其他俊隣問題を協議せり）
學校　校長先生（六、三制に就て）
手塚　瀧澤英一（農村民主化への道）
〃　伊藤智佐子（農村民主化への道）
山田　竹下なほ子（自然と共に行く）
〃　東川周（農村藝術に就）
〃　竹下和夫（今後の農業經營と農業恐慌に就て）
手塚　瀧澤幸三（今後の農業經營に就て）
東前山　竹內智（勞農ティケイに就て）
新町　田村道德（偶感）

○總務部

（日誌を含む）

△村團役員會
二月八日　於役場
左記の通り選任す
1、農業會經營協議會委員
重田勝人、荒井時雄
2、教育委員
宮下榮法、小池崇正
3、上松線省營バス促進青年委員會委員
大庭信人、齋藤輝雄

△五ヶ村連青部長會
二月九日　於鹽田公民
正副團長並に各部長副部長出席

△都連青部長會
二月十六日　於富士山國民學校　各部長出席

△村團役員會
二月十八日　於役場
農民委員會全村加入運動に就て、發起人瀧澤由處氏を圍み座談會其他俊隣問題を協議せり

△酪農に關する座談會
二月十五日　農業會主催にて開催せられ多數村民團員出席せり

青年講座開く

主催　青年團文化部

左記に依り青年講座「憲法講習會」を開催致します。多數團員は勿論村民各位の御受講をおねがひ致します
一、日時　三月六日十三時より
一、場所　國民學校第二講堂
由處氏　上田高等女學校長
一、講師　丸山稻先生

二月十九日　於學校
公選村長、村議、資格審査申請の推薦を行ふ

△村團役員會
農民委員會全村加入問題に關し協議

△二月二十三日　上水內郡若槻村に團員數名派遣同村農民組合並に青年團運動狀況視察せり

○文化部

△五ヶ村文化部長會議
二月二十三日於別所青年會場。曲尾井口出席

○專業部

△藁靴講習會實施
二月二十五日九時より國民學校に於て
講師　別所村青木留次先生
團員男女樹常敦出席、眞劍且和氣藹々として受講十七時終了す

△大庭啓弘氏御執筆の小說「野に叫ぶ」の一は第一回掲載のみで紙面の都合上割愛して居りましたが、この原稿は非常な大册で月刊の時報としては數年連載を要し現在の狀態では當分見込みないので、一應休載の事と致します。當村を背景とし青年の熱情溢るゝ內容は吾々に與ふる感極めて大なる傑作でありまして、こゝで休載するのは誠に殘念でありますが、讀者の方々にも御諒なく存じて居ります。何卒御諒恕の程を……

△先に述べた通り意外に記事が多く且つ山積する原稿は編者の決斷の余地を與へず本號は特に二頁を增刊し尙二月、三月號を合併致しましたから御諒承下さい。

△發行日の嚴守の爲原稿募集の締切りを四月號より左の通り改正致しますから必ず再記致しておきますから猛々つ振て御投稿ねがいます

1、締切　每月十五日
2、投稿先　役場內青年團文化部宛或は左記宛に出して下さい

十人　武田　省吾
東前山　中島　くみ
西前山　瀧澤　新一
手塚　市村　忠雄
新町　福田　昭子
山田　金井　正
野倉　重田　儀一

農村の祭典！

近く農藝研究並品評會開催

主催　青年團事業部

青年團專業部では、農村工藝論、一般村內の皆樣に於かれましてもどうぞ多數御出品展覽に附し御來觀ドさい。尙當日購入希望者は會場に於て、事業部を通じ御申込みドさい。

記

一、場所　西鹽田國民學校
一、出品物　イ藥加工品　ロ纖維加工品　ハ農產加工品　ニ其の他
一、備考
1　團員一人に對し草履或は草鞋何れか一品を出品賣品とす
團員にして草履、草鞋以外の品を出品するものは賣品、非賣品の區別をして出品のこと
2　村民の出品物も賣品、非賣品に區別して出品の事
3　右賣品の賣上代金は團事業運營資金として處理すること
4　研究、創造等に關して、出品困難なる事項は說明書のみでも可、これを公開致します
5　出品物にして優秀、佳作品は審査の上若干の賞品を呈します
6　出品物にして非賣品は會終了後速に返却します
7　出品物添付用紙は事業部で用意します。集品の都度一緒に御願致します

以上

文藝欄

短歌

○初春　金澤　鐵城

龍王の森を流るゝ水の音きいて居らねばならぬごとくに

〃

雪解の道は凍りてさびしさの來る人もなく我一人ゆく

〃

霜柱ふみてこの朝牛舍ほる年たちてけふ初仕事せり

〃

いく朝も肥をかけたる麥畑雪解けるけふ色よかりけり

〃

米の松夕となれば風の音うつりきてはやみとせ迎いり

○雜詠　西前山　利之

夕空に星生るゝ頃坂道を一日のつとめ了へ上るも

〃

ひそやかな思ひ出を繰りつゝ屋根深めたる灰色の空

落葉松

道祖神まつる窟がうつ太鼓ひねもすなりて峽もにぎはしむら赤き錦木のやぶ

〃

朝寒し爐端に坐して湯のたぎる一つの音に耳澄し居り

〃

仰臥しの吾が呼吸づかいかけかり聽診器そと冷くふれぬ

〃

現實をじつと見つめてたちろがぬこのひとゝきの心おちいぬ

〃

掃く雪にまぢれる土のほのかにも黒きを見れば春近づきぬ

池田　里子

嵐止み洗える如く曉の空輝きて山茶花の花

〃

幸うすき家とおもえどあゝかと朝のかまどの火は燃えてあり

流れ

この夜は雪になるらし家々の屋根深めたる灰色の空

落葉松

俳句

池田　里子

朝雀庭木の雪を搖りこぼす

M　Y

落ぶくれて母行き給ふ夜の常會

〃

幾筋も杉の木の間をもる冬日

詩

○落日に思ふ

中島　くみ

たそがれのしづまに浮き出でし雪山

空に浮遊する金色にふちどられし雲の一片

皆落日の陶醉にそのオパル色の光流にはかなく光る夕暮の一時あゝ！などて我その美をとゞめ得ずとは筆にも口にも……

その一瞬の美しきものなるに

趣味に就いて

新町　M　Y

「人はパンのみにより生きるものではない」と云ふ言葉がある。私達は何かしら精神的なものの新鮮なものに憧れるそれに興味を持て經驗し懷とする。趣味は好奇心の具体的な一つの現れである、好奇心を持たない人間は眠れる人間、機械である。私達の生活を豐富にし、愉しくし、生き甲斐を感じさせる所のものは好奇心である。と思ふ、すべての文化の源泉は好奇心である。エジソンの好奇心、マルコニーの好奇心、文學、美術、音樂、その他あらゆるものはこゝから出發し、又好奇心の支持によつて存在して居る。併し私は今こゝでさうした偉大な好奇心について云はうとして居るのではない。職業の片隅で、そしてその日〳〵の片隅で、私達の好奇心に小さな滿足を配給して與れる趣味について少しばかり書いて見樣と思ふ。

私達の趣味は上下あらゆる部面にわたつて居る、併しこれを研究、創作、蒐集、の三つに分類する事が出來る、これは文學、繪畫、音樂、彫刻、建築、工藝、等に對する趣味の態度を分類したものであつて、例へば工藝の場合を言ふならば、いろんな工藝品を蒐集して眺めいる事に樂しみを見出す人と、自ら鋸や鉋を取つて何かしら造り上げる事に興味を持つ者と、工藝品の材料、樣式等について種々研究する事に滿足する人とがある譯である。ある人はこの三つの態度を全部持つてゐる人もあり、一つだけで滿足する人もある。いづれにもせよ趣味を持つと云ふ事は、それ丈その人の生活が豐富になり、洗練されて行く事は云ふ迄もない單純な趣味でもいざ始めて見ると實に豐富な内容を持つてゐる事が解るのである。趣味の中でも蒐集趣味は非常に多く、次ぎが創作、研究、と云つた樣な順序になつてゐる、すべて趣味の骨は、程々にすると云ふ事である、この度合の測定を誤ると偏執狂に成つたり、商賣人に成つたりして破産したりするおそれがある。私はすべての女性にはつきりした趣味を持つ事をおすゝめしたい、それは一人でこつこつと樂しむのもよい又グループを作つてお互ひに協力して行くのも良い、斯うして結ばれた友情は深く且、篤いものである、又さうした趣味は人々に視野をひろげ、社交と云ふものゝ愉しみを教へるものである。出來るだけ多くの異つた職業、生活、環境を持つた人間に觸れると云ふ事はそれだけその人間が豐富な經驗や知識を最も効果的に持つ事であると思ふ。それでは困るからどうかして教員ストはやめひとも要求が通るよおに應援をしているが、要求は通りそうもないようだ。電氣や鐵道などはすごい要求を通そうとしているようだが、先生の要求は通らないような氣がする。僕は先生方にお金をあげて、ストなどはやらないようにと思います。近所のおぢさんなどは年寄なのでストが何だかわからないので「教員のストがあるものか、教員がストをしたら農家もストをおこしてやるなどしなくてもいゝよ」などといふ。僕は年寄だからと思つたが、今は電氣もあがり、鐵道も、それから日用品などもあがつたので先生もくろうでやりきれないというので教員ストになつたのです。

今の僕のインフレをしらないのだ今は先生方が上田へ行かれたから早じまいだ」といつたら母さんは、「あゝ新聞に出ていた二、一も來て先生もストになるか」と近所のおばさんと話していました。

僕は晝を食べていると友達が呼びに來たので遊びに行くとなりのラヂオが聽合軍がなんとか言つていた、そのあと耳をすましていたが電氣の工合でよく聞えなかつた。夕方になつて家に歸ると母さんが「スト停止になつた」と言つた。僕は母さんはよくわかつたもんだと思つた。あゝストを心配しているのでそんな事はすぐ耳に入るのだと思つた。

夕飯を食べお茶を飲みねどこについてうつ、うつ先生方の要求が通つたかなあ、と思つてゐたが、朝となりのおばさんが「マッカーサー元師の一言でスト中止になりました」といつた。僕はそれでは先生方は要求が通つたわけでもない危ないと思つた。それでも僕達は學校へ行かれるのだなと思つた。

「あゝよかつた」と母さんは言つた。

朝まだ早い中に先生が「今日は學校へ行くように」と通知に見えたのですぐに用意をして學校へ急いだ。

やつぱし朝會で校長先生のお話は僕達にとつてはうれしく思つた。

校長先生は「まだ先生達のお願ひは入れられないのだからへこたれずに頑んでいる」と僕はまだ心配でなりません。今日は先生方の顔もちがうようでした。いく晩も部落を廻つていた先生方の御苦勞の樣子が浮んでいました。

寒中御伺ひ

龍王堂療院

西前山　松井清吾

郷土誌解說

……池の今昔雜題……

天籟

其の三

古來瑞穗國を以つて任ずる吾が國も亦米作に直接な關係をもつ池、溝の施設の記錄が、上代史上已でに厭然たるものがあるは寧ろ當然であらう。勿論其れは當時の首都に近い近畿の地に限られたもので、都になど程遠い此の地方まで其の設備を見るにいたつたことは、ずつと後代のことたるは想像に難くない。

大寶令發布以來班田收授の法が實施された。その條理制度の遺跡とおぼしきものが、本郡内にも十ケ所も考證されてゐるが、其の中に中鹽田村の上本鄕、中野と續いて吾が鄕土の平地部に當る十人、新町、手塚、山田等の擧げられてゐる所を見ると、此の地方は早く已でに開拓され、聚居であつたことが判る。隨つて池、溝の設備なども或は相當遡つて考へられるかも知れないが、不明である。池の創設年代等にいたつては全く我が國内を擧げて、あのチヤンチヤンバラバラの盛んであつた天鬼天正から、戰國の世の終末期、此の地は恰も武田氏の所領となつた頃、各地の大名小名は利己的意識をあつたらうが、兎に角戰國的施政から目覺め、その反動としてか戰國後の疲弊困憊した民力涵養の必要さを痛感し、關ケ原和的民政にその意を注ぎ出したの上本鄕、中野と續いて吾が鄕土の平地部に當る十人、新町、手塚、山田等の擧げられてゐる所を見ると、此の地方は早く已でに開拓され、聚居であつたことが判る。隨つて池、溝の設備なども或は相當遡つて考へられるかも知れないが、不明である。池の創設年代等にいたつては全く我が國内を擧げて、あのチヤンチヤンバラバラの盛んであつた天鬼天正から、戰國の世の終末期、此の地は恰も武田氏の所領となつた頃、各地の大名小名は利己的意識をあつたらうが、兎に角戰國的施政から目覺め、その反動としてか戰國後の疲弊困憊した民力涵養の必要さを痛感し、關ケ原和的民政にその意を注ぎ出したの創設期の初期ではあるまいかとは鄕土史家の定論らしいが然しその當時の池たるや、現在此の地の各所に見る完備したものではなくて、規模の小さい原始的な今日有る池の基礎をなすものに過ぎないと見るべきであらう。

其の後戰國の世も終結を告げて平和克服、德川幕府は創立された。初期以來幕府は和平工作に是れ努めたため、各藩も亦平和的政治機構のもとに爭ふて産業奬勵、民力涵養の施設經營に專ら乘りだした。當時此の地の領主田氏、仙石氏、續いて寶永三年其の移封後交替入部した松平氏共に累代の藩主は、所領内里民の米穀その他諸種の增産奬勵にこれ努めた。

吾が鄕土の如く常習的旱害地は鄕土史家の定論らしいが然しその當時の池たるや、現在此の地の各所に見る完備して極力池の改修築又は新設の池普請工事を督勵した。その經費負擔は表面上或ひは九官一民などと稱してはゐるが當時領民側の勞負擔等は生やさしいものではなかつた。

上田藩領内には池が多いが、殊に川西鹽田盆地内の各村部落々々には非常に多くある。その大部分は藩政時代のものであつて、昭和九年起工、十三年竣工を見るに至つた本村澤山の池や、最近完成された浦里村當繩の池、又は望月村大澤の池、別府村寢宿の如く近年新設されたものは異例の修築は大普請であつた。當時、工事の一班を知るに足る一例として記錄によつて書いて見ると。官費人足二萬一千餘人、釘二百七本、かすがひ百三十分、拜借金五十九兩、是れは藩費で補助した譯だが、その他此の池の組合村にも手傳、新町、野倉、中野舞田、本鄕、十人では、買上げ地の眞高十五貫九百八丈、功千百六人、大工百三十七人、新四十八駄、金三十一兩四百三十一文、の負擔があつた。從つて總計費は官民通計のものである。

なほこの池は其の後約二十年二四二年）新築。など主なる池普請が行はれてゐる。

前に記した元祿五年の手塚池今本村内主要の池に就いて見ると藩政當時、手塚池は元和八年（一三二六年前）增築、元祿五年（一五五四年前）大改修是等の事は後にも書きたい）正德三年（一三三年前）增築山田池は寬安三年（一二二九年前）修築。甲田池は寬永十七年（三〇六年前增築、享保九年一二二二年前）修築。山田の新池は寬延三年（一二〇〇年前）新築。鹽野池は寬永元年（三四二年前）新築。其の十年後正德四年增築。荒池は安永十年（一六三三年前）增築（是れに就いては後にも書きたい事がある）不動池は文政十年起工、同十二年（一一七年前）新築。など主なる池普請が行はれてゐる。

前に記した元祿五年の手塚池三十四兩二分七百一文を要して修築工事をした。

當時普請工事に當つて必要な資材である材木、釘、カスガヒ、繩、等は給與され又大工、木挽等の職工も來た是れは藩費で補助した譯だが一日米一升宛の扶持米があつた。

鹽野井池の新設は前記の寬永元年、名藩主仙石政明の時代（その二年移封）であつた。當時は民力が困憊の狀態であり、小規模に出願したため、その後水量の乏しいのに苦み十年後增築工事したのが現狀である。新築當時の經費としては池成御高八百十八丈、堰成御高八百十二丈、堰敷高六百七十八丈、扶持米一人一日七合五勺、その他御手當米並びに諸入費資材は悉皆被下たものである。

不動池は寬保二年八月の洪水に龍澤から龍王にいたる山腹の崩潰があつた。その一部を貯水池とせんとして文政十年三月起工、明後十二年三月竣工した。當時經費は總人夫一万六千百七人、大工六十人、柚三十人、かすがひ三十本、五寸釘百本であつたといふ。因に所謂「寬保の大洪水」は此の地方前代未聞と言はれたもので、上田領内二萬七千石の損毛、藩では特に幕府から五千兩拜借して領内の諸損害善後策の資に充てた。領内の流失家屋六百七十戸、流死百九十六人、鹽尻村秋和昌輝寺境内に今もある千人塚は流死者の爲の慰靈の碑である。

西塩田時報

第四號

發行人　小池清喜
編輯人　曲尾重德
長野縣小縣郡西鹽田村手塚
發行所　西鹽田青年團
印刷人　上田市馬場町
印刷所　秀信社

「幸福になる！」ものが民主政府は總選擧で働くもの

總選擧に當り國民はいかにその貴き一票を行使するか？　聞け!!

村民の血の叫びを！

總選擧は正にたけなわです。村に町に縣に國に、新らしい私たちの政府が樹立されるかいなかはこの選擧によって決まるのです。私たちは、私たちが幸福になるためによく〳〵考えて投票したいものです。

左にかゝげる村民の聲をごらんになつて再び思いをこゝにいたし、心をきめましょう。

（時報部）

自覺して投票せよ

私は昨年の選擧のときは、いろ〳〵よくわかりませんでしたから、深く考えることもなく、うまいことをいうえらそうな人に投票しました。そのうちだんだんと私の投票した人が、大した能力がないばかりでなく、自分たちのためにならぬ人であることがわかつてきました。選擧のときに言つていたことをちつとも努力してくれない代議士にあいそをつかしました。どうしてこんなことになつたのかと、私は憤りつゝも心をおちつけて考えてきました。そのうち彼らは國民をうまい言葉で釣つたあとは、ただただ自らの利益のためにばかり生きるきたない人間であることを見破りました。

また、政黨が大きな力をも つ國會には、人を選ぶより政黨を、そしてその中のよい人を選ばねばならぬことを知りました。

いまのように、働くものが損をする政治はだめです。正直者がとくをする明るい社會を私たちの手でつくることが大切だと思います。

今度の選擧では、こんなばかな目にあわぬよう、誰に投票したら、苦しむ農民が解放されるか、日本が眞に民主化されるかをよく考えて投票しましょう。

（農耕生）

女性解放への一票を

多くの人が女性解放を叫びながら女性自らもそのためにたゝかつている。そして女性の解放は民主化のバロメーターであるとまでいわれている。しかし女性の皆さん、しずかに考えてみましよう。私たちは解放されたでしよう、解放されたでしようか。いゝえ、言葉の上に於てはともかく、實際面に於て私たちはほとんど解放されておりません。手近かな台所生活や婚姻問題等にしても——。憲法で女性の權利を規定し、また民法がどんなに改正されようと、現實生活における封建的なつよく、女性の解放はちゝとして進みそうもありません。農村ではとくにそうであります。どうしてゞしよう。一言にしていえば、女性の解放は民主々義革命の後にこそもたらされるものなのです。言葉でいうばかりでなく、眞に日本を民主化し、現實生活の桎梏と封建制の重壓より女性を解放してくれるしつかりした方針をもつ民主的政府ができなければ、女性の解放は絶對に實現されません。ですから日本を民主化し、私たちが解放されるためには、本當に民主的な方針をもつ政黨をこそ支持すべきです。私たちをよりよくするために政黨はこそ投票すべきです。できることならいまゝで通りにしておこうと考えているような人や、政黨はだめです。誰が、そして何よりどの政黨が私たちの眞の味方であり、私たちの解放と利益のためにたゝかつてくれるかをよく考えて投票しましよう。

先日各地で行われた、國際婦人デー大會では數多くのスローガンがかゝげられました

投票のめあて

四月選擧はいまその眞唯中にある。我々はこれにもつと關心をもつべきだ。我々の爲の政治がなされ、はじめて我々が選擧した効があるのである。それには我々を眞に理解している我々の代表を選出して政治をやつてもらはねばならない。しかし今度のように宣傳が制限されており、とてもよいことばかり言つて賣りこんだ候補者がきて演說をしていることは決して言はぬから選擧なれないものは迷ひがちだ我々は何を目標として選ぶべきか。人か、政黨か。マ司令部の聲明通り政黨である。なぜなれば、それは政黨がいかに立派であり、學識が深くとも、そのぞくする政黨がだめであれば、政黨政治でもあるいま何にもならない。政黨によつてのみ我々のためになるよい政治がなされるのだ

が、それらの大會では「選擧には勞農階級の代表を送れ」「民主選擧で人民政府樹立」「自進（民）その他の反動政黨には投票せず」と決議し、女性を解放せよ、女性に文化と休養を與えよ！と叫んでおります。このように多くの女性は自覺してきました。ことに勤勞女性の逞しい生長ぶりはおどろくばかりです。

皆さん、いま、女性解放をもつともよくたゝかいとることができる選擧が行われているのです。女性解放は私たちの手によつて、民主日本建設はこの手によつて、この心意氣によつて一票をもつともよく生かしましよう。

（東前山一團員）

私達の味方

昨年四月の選擧では保守陣營が過半數を占めた。我々國民の大多數は勤勞階級ではいであろうか。否國民の九五パーセントは勤勞人である。それにもかゝわらず、このような選擧の結果、我々はどんなに苦しい一年を血と淚ですごしてきたことであろう。我々の政治的貧困、不合理を、このインフレと世の混亂より救うことができたか。もし我々が今度の選擧を再び無關心のうちに行つたなら、またしても今まで通り、いやそれ以上の苦しい世に生きなくてはならないのだ。

ストを未然に防止するも、また一部權者の支配をなくするのも、我々が民主的に選出した我々の代表者の政府によつてのみ可能であることをはつきりと知り、國を明るくすることができるよう正しい投票をしてもらいたい。

（さとる生）

棄權せんと思う婦人へ

長い間の封建制から脫却して、女性解放が男女同權が叫ばれ、私たち女性に參政權が與えられてより、こゝに二回目の選擧が行はれております世事にうとい女性が先づ第一に選擧に對する認識を深めなければ、民主國家建設にふさわしい議員の選出はできないと思います。

私この度の縣知事選擧に、第二投票區に終日出席し、分擔事務に據しておりまして、この日の選擧の狀況を見ましたところ、昨年四月行はれた衆議院議員の選擧にくらべて、女性解放が男女同權の意義がなかつたのには大變驚かされました。女子の棄權者數は男子の二倍であります。棄權者が行はれますが、そのときこそ考えをあらため、あの人ならばと確信のもてる人を、あの黨ならばと信賴できる政黨に投票し、私たちの代表として選出しようではありませんか。私たちはせつかく與えられた參政權を最も有効に用いたいものです。

（コミヤマ）

民主日本建設のため あなたの一票は 働くものの代表え

私たちを
封建の桎梏より徹底的に解放し
困苦と窮乏から救い
國民を獨立と平和と自由の中に
明るく豐かに生活せしめる
道はこゝにひらかれる

民主日本建設のため
投票は
働くものゝ代表え！
働くものゝ政黨え！

投票日

院議會　四月二十日
議員　四月廿五日
參議會　四月三十日
縣村　四月三十日

しないわけにいかなかつた。

あまりにも多い棄權者の全部がこのような考えを持つていたなら、建設途上にある明るい民主國家が危く崩壞してしまいはせんかと不安の念にかられてなりません。これから先、四月中に後三回の選擧が行はれますが、そのときこそ考えをあらため、あの人ならばと確信のもてる人を、あの黨ならばと信賴できる政黨に於て、我々の代表は我々のためにはたらくものを選ばねばならない。國民の大部分をしめる我々農民、勞働者、その他勞働者のためによい政治を行う民主政府を實現させることは、我々の自覺した一票の集積によつて可能である。我々のぞむ平和革命のならぬかはこの選擧によるところが大きいのだ。愛する日本を民主國家とするため、古い慣習を打破し、情實にとらわれることなくこの重大選擧を嚴肅に行いたい。

働く者が幸福になる民主國家は、我々の代表を選出することによつてのみ建設されるのである。

（苦勞人）

聲の青年

ポツダム宣言を味讀せよ！

日本が受諾したポツダム宣言は連合國が勝を誇つて我々におしつけたものでなく、日本自身の將來のため至高なる要請である。

日本のあり方と進路はこの宣言に明白に示されている。民主々義革命が進行しつゝある現在、我々はこの点を充分銘記しなければならない。この宣言を忠實に履行することとが成々の義務であり よろこびのつとめである日本國家として穩健され、生長してゆくのである。

それにもかゝわらずどうであろう。ポツダム宣言の履行どころか、これを讀むものすらいたつてすくないなさけない狀態である。こんなありさまであるから、多くの考えちがいが生じ易いのだ。

この宣言の精神により、日本國新憲法が主權が國民に存することを宣言した。新憲法によつて國民の思想、良心及び學問の自由、集會、結社及び言論出版その他一切の表現の自由が保障され、國民わすべて基本的人權の享有を妨げられないことになつた。しかしこの憲法が國民に保障する自由及び權利が國民の不斷の努力によつてこれを保持しなければならない（第十二條）「すべて國民は健康で文化的な最低生活を營む權利を有する」（第二十五條）とあるがいまの我々われにによつて、どんなに權利を主張してみても容易に、健康で文化的な生活をいとなめそうもない。そうだ、我々わ自らのたえざる努力と奮闘によつて、これを獲得し保持しなければならないのだ。

國會選擧わ目前にせまつた我々わこの選擧によつて「國民の自由意志にもとずく責任政府の樹立」（ポ宣言十二）という重要なつとめを行わねばならない。ポツダム宣言の實行わ日本の民主化である。この後にこそ、日本は解放され、獨立した平和國家としてたちあがることができるのだよろこびの日が來るのだ。

青年よ、ポツダム宣言が日本に成り、新らしい民主國家が一日も早く建設さるゝよう奮闘せよ。我々は人類解放の輝かしい歷史の一頁に日本の解放を自らの手で書き記されねばならない。ポツダム宣言を味讀体讀して、人類の歷史にたえずひるがえりつゝ進む、解放の旗を、我々青年の手で高くかゝげようではないか。

（文化部）

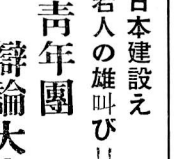
新日本建設え
若人の雄叫び!!

青年團辯論大會

日四月四

夜、役場階上にて、青年團辯論大會を開催。各分團代表の熱辯に多くの聽衆も胸を躍らせた。しばらくの間に青年はめざましく生長し、政治、經濟、社會面に關心をもちはじめたのがだつた。青年わ眞理と正義を熱愛する我々はともに學び、ともに論ずることによつて、あらゆる社會面に進出して、民主日本建設に奮闘しうるよう努力したい。こゝに、當夜出場壇上の一部論旨を載せ、大方の參考に供したい。

附―關正道、鷲原とみ江の兩君わ、鹽田五ヶ村辯論大會に出場し熱辯をふるわれた。（文化部）



"女性"と"家"

東前山　鷲　原　とみえ

私達が故郷を離れて遠く異鄉の地に明け暮れする時、荒い世の波風に叩かれて崩折れようとする時、何時も私達を慰め勵ましてくれたのは、故鄉の家だつたのです。

戰災の孤兒が、又燒け後へ歸つて來た復員の軍人が、寄る邊もない身を欺いて惡の巷に迷ひ込むのも、傷付いた心をやさしく抱き入れてくれる暖い家庭が無かつたからだと思います。

私達の家に初母が居ります母親の雪の降る冬の寒い朝でも一人早く起き出でゝ食事の世話をしてくれます。

昔若い頃、どんなに体が疲れていても、風邪を引いてどんなに頭が重くとも我慢して一人起き、食事の仕度をし乍らお掃除を濟ませ、身繕ひを整へて家人の起き揃ふのを待つてゐた、嫁住みの習慣が、やがては子への愛情と變り「若い者わ疲れてねむいのだから」と云つて私達を何時までもそつと寢かせて置いてくれました。

父親の目を忍んでまでも娘に着物を買つて與へ、息子に小使をにぎらせた母親も隨分多かつた事と思います。

母と子わ冷御飯に魚のシッポを噛り乍らも、家長である父親に對してわ、炊き立ての御飯に晩酌を添えておとりもしました。それでも尙父親からわ「御飯の炊き方が惡い」とか、汁の味が濃いとか、淡いとか云つて小言を云われます。そんな時にも大ていの家の母親わ「濟みません」と素直にあやまつて來たのです。

家庭内に起つた重要な問題に就いてわ、婦人わ殆ど相談相手にされませんでした。たまに此方から心配してその問題に觸れようものなら、一たまりもなく「女如きの知つた事でわない」とけなされたものです。

これが即ち女性をして男性の隷屬せしめ、女性の自由を束縛するも甚しい從來の、家長絕對主義の家族制度であつたのです。

それにわ勿論女性の自覺が足りなかつた事わ申すまでもありません。少しも頭をもたげようとわしない、少しも向上しようと努めない、唯男性の人形として可愛がられる事のみ幸せであるかのように思い込んで來たのです。

經濟的にも全く無能力者であつた女性わ唯、與へられるものを消費する事しか知らなかつたのです。そのために、夫が著飾るような侮辱を受けても、妻わ夫に何等の抗議を申込む事すら出來ず、離婚わ多くの場合、男性の側から成されて來た從來でわ、自分さえ何事も耐ひ忍んでいれば自分さえ自由を求めなければ家庭わ圓滿に治り、又自分も此所に置いてもらわれるのだと云う、悲しい諦めから、幾多善良な女性が忍從と束縛の淚の蔭に葬られて來た事でしよう。

幸にして新しい時代に生きていた私達わ、終戰と共にあらゆる權利や、地位や、自由を與えられました。

一日の勞働に疲れも厭わず夜おそくまで愛する者の仕事着を縫うのわ、女として幸せな事である筈ですが、それを身に纏ふ男性わ常に、女性の勞をねぎらい、感謝する位の氣持わ當然なくてわならないと思います。

口角泡を飛ばして世情を論ずる所謂、人格者を夫とする婦人が、何も勉強する事も出來ず、何の希望をも持ち得ず唯、默々として牛馬の如く働かねばならない女性であつたならば、折角の人格者も隨分見劣りのする事でしよう。

即も新時代の男性わ、終日家人と共に野良に出て働き夜わ又、家庭の雜務に追いまくられて、新聞を讀む暇すら持てない女性のために、夜わ新聞を讀み、又色々と新しい知識を興へて遲れ勝ちな女性を常に自分の隣の座を占め得る女性であらしめるべく、何處までも向上させてほしいものです。

そして家庭わ常に平等で自由な明るい世界でなければなりません。

私達わ自分自身の自由を求めようとして、家へ來たお嫁さんをより一層束縛して來わしなかつたでしよう。私達が唯徒らに自由を他にのみ求めて現在のまゝの家庭に入つて行きますと、其處でわ必ずしも無自覺に自由の權利を亂用するお嫁の專橫振りに、今迄親子母も、子も、嫁も、皆平等の權利を行使し得る、そして互の人格を尊重しあう、眞に明るい、住み心地よい家庭を私達の手で建設しようでわありませんか。そうする事わ又自分自身をも解放する事になるのだと思います。

結局私達わ、從來の家長絕對主義の封建的家族制度を打破して、新しく私達に與えられた權利や、地位や、自由をよく勉强しよく識別して、之を活かし、一日も早く男性のよき相談相手となり、よき協力者となるべく一生懸命走らうではありませんか。

私達女性わ私達の力で私達を解放するのでなければなりません、それ故に、私達わ今私達が住んでゐる家庭から、先づ根本から改革して、父も母も、子も、嫁も、皆平等の權利を行使し得る、そして互の人格を尊重しあう、眞に明るい、住み心地よい家庭を私達の手で建設しようでわありませんか。そうする事わ又自分自身をも解放する事になるのだと思います。

結局私達わ、從來の家長絕對主義の封建的家族制度を打破して、新しく私達に與えられた權利や、地位や、自由をよく勉强しよく識別して、之を活かし、一日も早く男性のよき相談相手となり、よき協力者となるべく一生懸命走らうではありませんか。

四月選擧に關する
總司令部民政局聲明（抜萃）

『もし國民がほつするならば日本政府のあらゆる部門の編成わ、完全に變る事もあり得る』

『歷史に例を求めても一國民が平和的な手段、すなわち總選擧を通じて、一時にこれを變化しうるような機會を與えられた事わきわめて少ない』

『ポツダム宣言の目的を達成する重要な手段の一つとして、完全に自由公平な選擧を實施する事の絕對的必要性を、占領軍代表として總司令官が重視してゐる』

『日本でわ最高の立法權は國民から生じ、國會の手に委ねられる』

『自分自身の利益や、せまいはんいの友人たちの利益のみを考えるという古い型の政治家でわ、新しい地位で何事も出來ない。負擔と責任があまりにも重大だからである』

『選擧が終れば、日本の國民にはその行爲の標準をつくつた事に成り、自分自身の先例を決定する事に成る。こうした理由によつて國民わ今や自分自身の政府を村に町に都市にそして府縣に建設しつゝあるのである』

青年よ立あがれ

手塚關正道

人間わ元來自由平等なものでなければならない。此の自由を持つ所の人々が、自分等の力で自分等の家庭を作り上げ、自由と平和安全の中に正義に基いた、義務を果すのが人類社會の普遍的原理で有ります。然るに長い間の封建制にとざされて來た爲、少しの自由も無く一部の支配階級或わ官僚財閥の爲に唯々奴隷の如く働き續けて來たのです。たま〳〵大平洋戰爭によつて敗戰と云ふ悲しい痛手を受けましたが、しかし此の敗戰によつて、ポツダム宣言の精神に基いた、新憲法が制定され、地方制度が改正ざれました。又一方で わ農地制度が改革せられて、デモクラシーの本旨にそつた法律的きばんわ一通り整備されたと云ふ事が出來ましよう。此の制度によつて我々農業をいとなむ者わもちろん、一般勞勞階級も以前より餘程良い條件のもとに働く事が出來るようになりました。

然るに現在の社會狀勢はどうでしよう。今さら私が申す迄もなく、すでに皆樣わ充分おわかりの如く、巷に失業者が溢れ、インフレの爲に家庭の經濟わ益々惡化し、住むに家無く、着るに衣なく、浚落農家わ食さへ無くなりつゝあります。然るに資本家わ自己の利潤の追求に汲々として、生産のサボタージを行い、闇商人に於てわ、大衆の血を吸い自からをふとらせ、社會を破局的混亂に陷し入れつゝ有ります。此のまゝ放置すれば農村わ勿論、都市勞働者わ破滅の外なく日本再建は絕對不可能で有ります。

諸君、此の無ざんなる社會狀態をもたらした責任者わ誰でしよう。其れわ政府であり反動支配階級で有ります。然らばかような、政府を政治家をえらんだ者わ誰れでしよう。其れわ誰でもない。封建制の重壓下に盲目的服從を强いられて來た、我々で有り又我々の先輩で有るのです。自分達が選んだ政府によつて自分達の首をしめられて居るのが現在の狀態なので有ります。

此の危局より脫し、日本を民主國家として再建し、農民勤勞大衆を救うものわ誰でしよう。其れこそ我々青年でなければならないのです。然るに農村の人々わ職業が大地について居る爲に、自然と物事に對して古き傳統を重んじる傾向がある。此れが爲にとかく消極的で有り、進取性を欠き、あるいわ因習にとらわれて保守的に傾き易い欠点があります。

今後わ一切の事を政府まかせにしておいてわだめなので。自分達の自覺と團結の力によつて正しい政治を行なわせる。こういう考えの下に我々若い青年の內部に燃える熱と力の結集により新しい日本無と云い切る事が出來るでしよう、もう少し仕事の手順について考慮を拂うならば三十分や一時間の讀書や思索の餘裕が浮いて來ると思います。一日一時間を生み出して、新聞に目を注ぎラヂオに耳を傾ける事が大きな政治教育になるのだと思います。

婦人の選擧權、これわ唯單に男女の平等をもたらし、婦人の地位を向上せしめるという事だけでわないと思います。清き一票がものを云い家庭の幸福、ひいてわ社會の福祉增進のためだと思います。

男女同權、婦人の選擧權、言葉の上ではたやすいかも知れませんが、その內容たるや私達わこれから先不斷の努力を拂わねば、これら權利の內容を獲得する事わ困難です。今こゝで男の方々が足ふみをして待つてゐて下さるならともかくとして、お互が高嶺をめざして進んでゐる時、男女レベルを同じにする事わ仲々容易な事でわありません。

五十年の政治經驗を持つ男子に對して、尙政治教育の必要があるとしたら、今吾々の膝をあげたばかりの婦人有權者に對する政治教育が如何に必要であるかわ申す迄もありません。

今新に與えられた婦人參政の權利と義務を通じて鄉土の平和をはかり、やがてわ、文化日本、平和日本の建設に邁進しようではありませんか。

農村女性のあり方

手塚山下澄江

これまでの女性がどんな境遇におかれていたかをふりかえり、そして今後の農村女性が如何にあるべきか。思つてゐる事の一端をのべて見度いと思います。

男女同權、女性えの選擧權これらわ全く敗戰による女性への贈物の如く、私達にわ荷が重すぎる樣な氣がします。自然そこに谷が出來て、云わば紙面の改正であつて實質的內容わ未だ行われておらない樣に思われます。

しかし世相の激しい波にのつて、私達女性も古い殻から拔け出ようと努めております

今迄の農村女性が殆どあきめくらに近いといわれて來た原因は一体どこにあつたでしよう。それわ讀書に對する關心が餘りにもうすかつた爲ではなかつたでしよう。然らば今日、女性も男と共に働かねばならぬ現狀です。心身共に疲れてゐながら三度々々のお炊事に忙しい思いをしてカローリの補給に頭をつかう主婦の事も考えず、新聞をよんで、まだ自分で出來る用事まで女まかせにして來ました一寸にこうとは云えませんが或雜誌にもこんな事がかかれてあつたことを記憶しています。女が唯獸々と働き命令に服從しつゝ、日數の少い女性わ云派とされて來ました。こんな事から云つて所謂わからずやの女性が出來上つたのではないかと思います。

申すまでもなく婦人に參政の權利わ與えられました。その與えられた權利を的確に用ひ得る樣努力しなければなりません。しかしそうなる爲にわ頭の切替えと相俟つて、農業そのものの改革、又台所の改善が大切なのは申す迄もありません。女性の間近にある台所の改善を發足として、家庭生活の合理化を計り、明るい樂しい家庭生活を作りだされなければならないと思います。それにわ女性わ大いに政治教育に目を注がねばなりません。

私達が今迄の生活を顧みて無駄に時間を空費する事が絕無と云い切る事が出來るでしようか、もう少し仕事の手順について考慮を拂うならば三十分や一時間の讀書や思索の餘裕が浮いて來ると思います。一日一時間を生み出して、新聞に目を注ぎラヂオに耳を傾ける事が大きな政治教育になるのだと思います。

婦人の選擧權、これわ唯單に男女の平等をもたらし、婦人の地位を向上せしめるという事だけでわないと思います。

今後わ一切の事を政府まかせにしておいてわだめなので。自分達の自覺と團結の力によつて正しい政治を行なわせる。こういう考えの下に我々若い青年の內部に燃える熱と力の結集により新しい日本無と云い切る事が出來るでしよう、もう少し仕事の手順について考慮を拂うならば三十分や一時間の讀書や思索の餘裕が浮いて來ると思います。一日一時間を生み出して、新聞に目を注ぎラヂオに耳を傾ける事が大きな政治教育になるのだと思います。

婦人の選擧權、これわ唯單に男女の平等をもたらし、婦人の地位を向上せしめるという事だけでわないと思います。

原稿募集
どし〳〵御投稿下さい

論說

西塩田村政の一年を回顧して！

村會議員　金澤鐵城

昨年の春村會議員改選に際して、私わ議員として村政に參劃した。此の一年間村政に携わり、結論を以て回顧するならば『村民一致して難局を打開し、轉禍爲福の實を擧げよ』と叫びたいのだ。村民に荒怠を戒め、保守固陋の偏見に囚われず、驕慢の思想に惑わず、質實剛健、自力更生の意氣を以つて鄕土の爲に勇往邁進せねばならぬと思わる。

○

町村政施行規則の改正に伴い、村會わ議員の互選を以つて議長を選び、議事運行を計ることになつた。役場村長や書記わ參與員とし議題の說明に當り、且議員の質問に答辯するわけである。

議長わ村政運行するに遺感なきを期し充分討議せしめ、議題の最上目的に達するよう一段の努力を拂われねばならぬと共に、今や農村に染りつゝある政爭の渦中に投ぜらるゝことなきよう中正なる行動を以つて、議長たるの眞錬を缺く事なかれ主義」に陷つて積極的に行動するの點を缺くにいたらんとする傾向が現れ、最善の實を擧ぐる事能しとしないのである。各種の委員は新村會議員によつて選出し（現委員は職權を出す）各委員は職務の趣旨を十分了解し定期研究會を開き、積極的に行動する熱を拂われねばならぬと共に、村會議員に於ても定期研究會を開き活潑なる村勢の振起に努力せねばならぬと申し上げてもよいのである。

○

村會議員わ本村最高の村政決議機關である。村政の明朗化するも、怠慢的となるも實わこゝに存してある。まことに我盛村の建設に向ら所、たゞ所信に邁進するの一途あるのみとなり、今や消極的な思想はかなぐり捨て、些かの遲疑を許さなくなつた事を意味する。議員たるの認識があるならば發言すべき時わ發言し、議決に當つて全智を傾倒し躊躇ならぬのである。村會議員たるの重責を常に認識し、更に村民の指導者となつて勇往邁進せねばならないと信ずる。

○

最後に書き添してわならぬことわ、村會の議決を經たものわ村長獨斷で變更出來ないことである。村長の權限に屬すべきものわ別な事である。一村の振興わ村長、村會議員、各種委員、各種團体が表裏一體となつて勇往邁進するや、必ず轉禍爲福この成果を收めて來たことは歷史の示す處である。

選擧に就いて
特に婦人方へ！

山田M生

よく「私わ政治にわ關心を持てない」とか「私わ政治わきらいだ」というような言葉を聞きます。これわ結局其の人が生きる事を、生活する事を拋棄したと同樣です。此んなに矛盾したことわありません。民主政治と云つて、もの高い處にあるものと思わず、みんな政治に關わつてるます。

外國で啓蒙期の思想と云つて人間が自己の價値に目覺めたヒューマニズム（人間性）が民主政治の基調です。日本でも遲ればせながら婦人も政治に於て男子と同等の權利をうるに至りました。然しながら婦人が自己を意識せず政治を正當に判斷する事が無かつたなら何んの價値も見出し得るものでは有りません。

民主政治に於て選擧わ私達の意志を政治に反映するところの忠實なる代表を求める事です。國家と云う事務所の書記を任命することです。そして此の代表に選ばれ、又選ぶ權利わ成年者ならば誰でも平等に行使する事が出來ます。又議會でわ多數決の方法を執つて居りますから政治上の考を同じくしたもので黨を組みます。そうしてその信條を掲げます。ですから私達わ人よりも黨を選び彼等の綱領と過去の言行とによつて最も、共鳴の出來る黨へ投票します。

今日のように物資の窮乏する時わ統制經濟わどうしても必要と考えられます。統制わ國家が行います。

私達が每日使用するものわ、すべて政府に綴いています。

夕方電氣の暗い事も汽車の切符の買ひづらい事も少し利口にこれが今日でも政治を遠いて立廻らないと口に錠が掛かる事も（非常に厄介な事ですが）せています。

退職の挨拶

黑坂重市郎

不肖重市郎村長在職中は村民各位の絕大なる御支援を賜わり大過なく退職する事の出來ましたる事を有難御禮申上げます。終戰後復興途上にある濟文化思想等各種の面に於ける過渡的現象わ言ふまでもないこと、亦今後來るべき社會狀勢も蓋し容易ならざるものがあります。然しながら萬機は公論によつて處理する輿論尊重の理念と一村の公僕たる建前を堅持して能ふ限りの微力を擧げる心がまえを以て就任致します。何卒全村民各位の御支援と御協力とを賜わりますやう切に願つて巳みませんん。

玆に前村長を送り併せて不肖の就任御挨拶を申述べる次第です。

黑坂前村長を送る

村長　宮澤峯喜

前村長黑坂重市郎氏わ敏腕達識の士であります、年若くして身を公職に投じてより社會公共のためにつくして功あり中道にして渡米し彼の地に於ける眞の民主々義の洗禮を受け歸國するや再び公職に關係せられましたが特に本村助役たること數年、擧げて産業組合長として亦多年に亘られ其治績大に賭るべきものがあつたのであります。

而して昨年三月村長として就任以來村治の振興に意を注ぎ以て今日に至られたのでありますが、偶々地方制度の改正に伴ふ村長公選の機會に任を辭して悠々自適の生活に入られたのは本村の最も惜しむ所であります。

不尙揺ぎずも村民各位の御推擧により其後任として席をけがすことに相成つたのでありますが自ら顧みて唯々惶恐たるものがあるのみであります。

惟ふに敗戰後の今日政治經濟共に激越なる改革わ兎角平和を破壞し、質實なる發達を阻害するものである。然れ共今や新憲法の實施せらるゝに在りて民主化普及途上に無理解にも、封建制を亂用するが如きわ嚴に戒むべきことである。

村長、村會、縣會、國會、知事等の選擧によつて今や、日本も新局面が展開されるわもとより、決して事態の一段落でわない、一段落ではないどころか事態の新轉機でむしろ容易ならぬ變化を見るに至る可能性は、より濃厚となるであらう。

私わ村政の一年を回顧するに當り西鹽田村の前途の爲に今年ほど重大な年わないと申し上げたいのです。

以上

農會業欄

理事の改選

三月五日理事の改選を報告して左記の通り新理事が決定就任致しました。

記

武田市左衞門
竹内　丑雄
黑坂　勝
宮澤　兵部
中澤　多七
中澤　和作
山田　善雄
福田　武信
齋藤　儀雄
内田　文彌

理事會

三月十三日新理事による初の理事會を開催して常動理事の問題につき協議をなし、互選の結果左記の通り決定致しました。

記

會　長　黑坂　勝
專務理事　齋藤　儀雄
常務理事　中澤　多七

尙常動役員の擔任わ、指導、利用、販賣の各部を齋藤專務理事に、信用、購買（配給）の兩部を中澤常務理事に受持つて貰ふことになりましたから御承知下さい。

供出褒賞物資並に肥料の配給に付いて

四月四日農業會事務所に於て配給委員會を開催致しまして、供出褒賞物資の配給方法に付いて左記の通り決定致しました

一、供米褒賞用肥料に付いては國より米一俵に付確定一貫匁（本村全量二二〇〇貫）を配給される譯ですが、本村に於てわ、その中三二〇匁を褒賞肥料として配給し、殘りの八八〇匁を反別割にて配給することになりました。

二、一般水田肥料の配給は改選を報告して左記の通り新理事が決定就任致しました。

記

中澤　和作
山田　善雄
福田　武信
齋藤　儀雄
内田　文彌

三、供出褒賞用鹽の配給に付いて、供出褒賞用鹽の配給に付いては政府からわ、供出完了農家に對し七、五粁（合計四五〇〇粁）の配給がありますが、本村に於てわ其半分を供出農家別とし、殘りの半分を全農家の人口割とし一人〇、五五粁を配給致します。從つて供出完了農家わ、農家組と人口割を配給され、供出劇場のない農家わ人口割のみを配給されることゝ譯です

四、超過供出に對する褒賞物資に付いて、超過供出に對する褒賞物資に付いてわ全部供出數量割として配給することに決定しました

通常總會延期のお知らせ!!

本會の通常總會わ會則の定むるところに從ひ例年四月に開會することになつておりますが、本年度わ大体九月頃迄延期される事になりました。

その理由わ、御承知の通り戰時補償が打切られた結果經理會社金融機關わその影響を受けるのでありますが之等の會社並に金融機關わ、戰時補償に關係ある財産とそれ以外の財産とに區分をして經理を致して居ります（新預勘定の分離）そして預財産の整理完了を見るまで總會を延期致す譯であります。

之等の手續わ要すれば戰爭によつて消耗された何等裏付のない水ぶくれの財産を打切り整理して再建日本の經濟的基礎を安定させ樣とする目的に外ならないわけであります

以上申上げました事に付いて皆さんにも御迷惑を御掛けする事に付いて皆さんにも御迷惑を御掛けして居ります。それ迄第一封鎖、第二封鎖に區分して貯金を扱つて居りますのがその關係であります、然し本會わこの補償打切りによる損失わ極めて僅少であろうと見込んで居りますから御安心を願います。

稅務

西鹽田村村稅賦課徵收條例中一部改正の通り右の昭和二十二年四月一日施行致します

○村獨立稅

自轉車稅　一輛廿圓
學自稅　〃　十圓
輪經廿四吋以下のもの　〃　十圓
新驅配慮車用のもの　〃　五圓
荷積馬車　一輛二十圓
荷積牛馬車　〃　十圓
荷積車大車　〃　十二圓
荷積中車（荷車を改造せるもの）　〃　八圓
荷積中車（荷車に二尺以上輪の貨經のもの）　〃　六圓
荷車（荷車に輪の貨經二尺以下のもの）　〃　三圓
荷車（リヤカー）（農業專用）　〃　四圓
荷車（リヤカー）（營業用）　〃　八圓
犬稅　一頭に付　三十圓

○立木伐採稅に付いて

立木伐採稅わ昭和二十一年度より村獨立稅として課すことになりました稅率わ百分の六

立木を買つた方に納めて戴くのであります

●今月の納稅

村稅　獨立稅
〃　自轉車稅

警防團より

終戰以來國內の火災損害わ巨額に達し、本縣に於ても類例のない多數の火災が發生し貴重な建物を烏有に歸し、又尠しい資材を灰燼にして、誠に遺憾にたえない狀態であります。これから乾燥期に入るに際して一層の御注意をお願いいたします。

本村警防團役員左の通り

西鹽田警防團長　竹下英雄
副團長　山下周信
第一分團長　小池保男
副分團長　小池恭平
第二分團長　齋藤益人
副分團長　東川英一
第三分團長　吉池深海
副分團長　池田榮吉
第四分團長　木下一男
副分團長　宮澤正
第五分團長　村田久吾
副分團長　小林正木

人口動態

◎婚姻の部

夫花澤讓人　婦津村より
妻金澤富佐子

夫西澤佐司　庄司より
妻竹內ゆり

夫竹內一郎　北佐久より
妻高塚ふみ

夫小林雄作　宵木村より
妻小林公子

夫宵木村　蔡雄　青木村より
妻關ひで子

夫竹內　駿　西筑摩郡より
妻原あや子

夫小林扇松　東鹽田村より
妻南波とき子

夫深瀨正兆　上水內郡へ
妻小松きみ子

夫中村龜男　泉田村より
妻石井とし子

夫宮澤正　宮賀村より
妻栗林文江

夫淺川良喜　縣村へ
妻竹下けさき

夫小宮山榮之助　北佐久郡より
妻池ユキ

青年團

總務部

三月八日
午后一時より中塩田國民學校に於ける五ケ村連青と婦人會懇談會に正副團長及團員代表出席す。

三月十八日
午前十時より地方事務所に於ての團長會の爲小池團長出席す。

三月十八日
午后七時半より評議員會開催、選擧對策委員會設置に付協議をなす。

三月三十一日
午后一時より國民學校に於ける民生委員、婦人會、青年團合同に依る結婚簡素化協議會に役員出席す。

四月二日
午后一時より上田市役所に於ける「郡市連青提攜具体策」懇談會に團長出席す。

×　×

▲時報部獨立―今まで時報は文化部で編輯發行してきましたが、今回その任務の重要性にかんがみ、時報部として獨立しました。

▲新任部長
文化部　瀧澤　幸三
瀧澤みゆき
時報部　曲尾　重德
宮越かづ子

▲前總務部副部長井口しげ姉は退團のため辭任された。

▲總務部副部長に樋口幸子姉が就任。

厚生部

一、村團卓球大會
三月九日八時三十分より國民學校に於て、部落對抗及個人試合を實施す、其の成績左の如し。

▲團体試合
優勝　新町　分團
新田芳藏、保科忠、佐藤つぎ、小林美知與、中井袈裟雄

二等　手塚　分團
三等　西前山分團
四等　野倉　分團
五等　山田　分團
六等　分團
七等　東前山分團

▲個人試合
一等　中井袈裟雄（新　町）
仝　佐藤　つぎ（仝　〃）
二等　前田　政俊（十　人）
仝　日向　愛子（平　塚）
仝　原田喜久雄（仝　〃）
三等　竹下　房子（山　田）
四等　兒玉　安友（西前山）
仝　井口　志げ（東前山）

一、衞生講話
三月二十二日午后七時三十分より役場に於て上田保健所長醫學博士山本太郎先生に依り、特に性教育に關し終りに座談會をなし十一時閉會す。

一、五ケ村卓球大會選手選出
三月二十四日午后七時三十分より、優秀選手集合し、リーグ戰を行い、村代表選手及個人選手を選出す。（氏名略）

（代表選手（五　名）
（個人　選手（十二名）

一、五ケ村卓球大會
三月三十日午前八時三十分より、鹽田公民に於て對抗及個人試合を實施す、成績左の如し。

▲個人試合
優勝　中井袈裟雄（西鹽田）
仝　女　子（中鹽田）
二等　保科　忠（西鹽田）
仝　女　子（中鹽田）
三等　竹下　正友（西鹽田）
仝　金井たつみ（西鹽田）
四等　男　子（富士山）
仝　女　子（中鹽田）

▲團体試合
優勝　中鹽田
二等　西鹽田
三等　富士山
四等　別　所
五等　東鹽田
以上

事業部

農村の祭典
初回農藝研究品評會を開去る三月十六日自活農村經營の必要を痛感し自作活用の目的を以て各人の製作に依る農藝研究品々評會を開催致しました處、幸に村内各位の絶大なる御支援御協力を得盛大且有意義に終了致しました事を團員諸君と共に慶びと深謝致して居る次第であります。今後我々の主旨が日常の生活上に多少なりとも貢献し得又御利用され得れば幸甚と存じます。何卒今後とも一層の御指導御協力の程をお願ひ致す次第であります。

當日の審査員
一、藥加工品　加藤達一郎氏
一、竹細工加工品小松儀重郎氏
一、纖維加工品　保屋野集人氏

▲尚入選者氏名左の如し

○一般出品の部

1藥加品
特等　ハンモック　小池清衛（東）
壹等　控依　西澤　恒雄（東）
貳等　ミノ　小池　恭平（手）
〃　粉薤　小林　一榮（野）
〃　叭　竹内　佐内（東）
〃　眉掛　福田　三政（新）
〃　スリッパ　小池　清衛（東）
參等　ミノ　佐藤　雅由（西）
〃　ネコ　竹内　初己（東）

2竹細工品
壹等　背負籠　柳澤　浩（西）
〃　ザル　腰田　正己（東）
〃　荒井　直喜（野）
〃　麵類揚　仝　清吉（東）
〃　背負籠小松　ビック　仝
貳等　ザル　荒井　直喜（野）
〃　ザル　小池　恭平（手）
參等　〃　吉澤　光德（西）
〃　荒井　直喜（野）
〃　小池　清衛（東）
〃　稲田　勝雄（新）
〃　竹皮草履柳澤　浩（西）

3纖維工品
壹等　反物　荒井しげ子（野）
〃　宮越　本（新）
貳等　帽子　吉池　正子（野）
參等　帶　小林かほる（十）
〃　ネクタイ　瀧澤　リン（西）
〃　守　瀧澤たかし（手）
〃　ふみ（東）

○團員出品の部

1藥工品
壹等　草履（二七六足中）
〃　山椒厚子、市村鑑、池田みつ江、市村新江、瀧澤直次郎、鷲原夏子
壹等　草鞋（八六足中）
龍野秀吉

2竹細工品
壹等　ザル　小林　高藏
3纖維工品
壹等　帶　倉坂　保子

結婚式等簡素化に關する申合せ成る

本村民生委員會、婦人會、青年團の三團体でわかねてより此の問題をとり上げて研究中のところ、去る三月三十一日三者合同に依る協議會を開催しその成案を得たので、強力に推進すべく、熱烈の運動を進めて居た所四月十六日の村會に於て左記の通り決定したが、これが徹底的實現は、村民の協力にまつ外ない。

以下その大要を記し各位の強力なる實行をねがふ次第である。

結婚式等簡素に關する申合せ

○婚禮について

一、結納は金封にして成るべくかるくすること

二、調度品
イタンス―古物又は代用品
ロ長　持―持參せざる事
ハタライ―新調も可
ニ下駄箱―持參せざる事
ホ鏡台―成るべく小さなものにする。
尚調度品は人目につかぬ場所に置くこと。

三、式服は絶對新調を見合せること

四、華　式
イ式典は一時間、宴會は二時間以内とし日没前に終了すること
ロ引物は絶對廢止
ハ嫁入婿入は絶對廢止
ニ同級生の招待は全廢、但し肥親者はこの限りにあらず
ホ會席には成るべく膳を用いず机を使用すること

五、此の規約を破りたるものは罫約金を提出のこと

六、出産について
イ御祝はなるべくかるくすること。御返しは絶對廢止すること
ロ節句の贈答は廢止する事

國保より

社會保險診療報酬算定協議會の通知により、本村國保に於ても縣下各地の情報、藥價物資の値上り等を參酌し暫定措置として本年一月より三月迄左の通り診療單價を變更致しました。

郡部診療單價　二圓三〇錢
市部診療單價　二圓六〇錢

窓單價は一点一圓でしたから一月よりの一部負擔の請求は從來に對し二、三倍乃至二、六倍になつて居りますから御承諒ください。

尚過日の組合會の議決により二十二年度も國保の運營を繼續する事となりました。新年度（四月より）の診療單價は未決定ですが郡部市部共に一点單價二圓六〇錢に確定す見込みです。　以上

短歌

山田　竹内　あき

竹籔ふかくうぐいすをきく
うぐいすの初音をきゝしこのあしたわれかよきことある心地して

○春　閙　鐵　城

このまゝに暖かくなるは疑がはる枯草風にゆるゝ音きゝ
雪解けし峠の道は日の照りてのひよき松の幹を仰げり
三月の野場を照らす陽の光り

芹つめば小川の水の溫し吾手迄左の通り診療單價を變更致しました。

芽ぐみたる道の邊に來てたゝずめばそこはかとなく匂い來るもの
今朝の霜やゝに冷し水仙の若芽はすでに擡つゝめり
梅わまだ開き初めぬどこの朝

文藝欄

部落短信

○婦人會料理講習會
三月上旬各部落ごとに行う。

○道路橋梁その他の工事
三月上旬東前山、新町、山田、西前山にてそれ〴〵行う。

○講演會開催……三月十一日東前山鐵城文化會主催にて「國の再建と人の復興」と題してお話しを聞く。

○講　習　會
×稲井式（三月中旬）山田
×簑製作（三月十一三日）

○縫人會料理講習會
三月上旬各部落ごとに行う。

○道路橋梁その他の工事
三月上旬東前山、新町、山田、西前山にてそれ〴〵行う。

○講演會開催……三月十一日東前山鐵城文化會主催にて「國の再建と人の復興」と題してお話しを聞く。

○慰問旅行……山田青年團では上山田國立長野病院へ新町青年團では松代惠愛學園（戰災孤兒收容）並に上山田國立長野病院へそれ〴〵慰問旅行を實施。

○講　習　會
×稲井式（三月中旬）山田
×簑製作（三月十一三日）

○理髮奉仕……
野倉、西前山、の青年團では毎月定期的に理髮奉仕を行つてゐる。

○慰問旅行……三月十一日東前山鐵城文化會主催にて山室三良氏より「國の再建と人の復興」と題してお話しを聞く。

○講演會開催……山田青年團では上山田國立長野病院へ新町青年團では松代惠愛學園（戰災孤兒收容）並に上山田國立長野病院へそれ〴〵慰問旅行を實施。

○講　習　會
×稲井式（三月中旬）山田
×簑製作（三月十一三日）

○晉樂研究會……十人青年團で研究會を開く。今後もつづける見込（四月上旬）

○早起會……山田青年團では早起寢臥の爲リンを振つて部落民に起床時を告げてゐる。

○農事試驗場見學……西前山青年團では農事試驗場へ見學。（三月下旬）

○憲法研究會……手塚青年團では研究會開催。（三月十五日）

○動勞作業……野倉青年團では財產組合の下草刈り。（三月二十六日）

○眞有林伐採……手塚青年團では眞有林伐採（三月二日）

○濃緑講話……西前山青年團と婦人會では中村先生より選擧についてお話を伺つた（四月十一日）

○戰災者遺家族慰問……野倉青年團では草履草鞋を贈つて慰問。

○電車時間表設置……西前山青年團では電車時間表を作製し部落案內圖の所へ備えつけた。

○火防宣傳……警防團では三月中旬より一週間實施す。

○種苗育成……西前山青年團では茄子、トマトの苗を育成し、部落內希望者へお分けする準備を始めた。

○農藝品評會……新町青年團主催により實施、出品百余点。

○珠算競技會……三月二十三日西前山青年團に於て實施

○受配者大會……三月三十日西鹽田村全受配者は役場階上にて大會をひらき主食配給確約要求の叫びをあげた

○土地管理組合結成……四月十日西鹽田村土地管理組合結成され、馬場三九郎氏より土地問題の講演をきく。

○農地問題講演會……四月十日人では齋藤儀男氏より農地についてのお話を聞く

▽……△

編集後記

日本の運命を基礎づける總選擧が、いくつも重なつて居るこの月、お互が選擧に對する關心は深い事と思いますが、まだ〳〵と感ぜられます。

本號は特に選擧に主眼をおいて編集しました。皆樣の御參考ともなれば幸です。

▲今回の時報部の獨立は、時報のよりよき發展の爲でありますから、私達部員の責任も一層大だと存じます村の公器であるこの時報をしてその使命を全うする爲にも、皆樣の隔意なき御批判と御指導によらねばなりません。

部員としては、成るべく新鮮な、そして親んで戴ける様な時報をつくるべく努力して居りますが、技術の低劣と知識の貧困は如何ともし難く、その点御了恕下さいまして、皆樣の絶大なる御支援をおねがい致す次第であります。

▲原稿の募集については、次號より毎月五日を締切りと致します。

どうぞ皆樣の心からの聲をおきかせ下さい。　編集室

お斷り

毎號掲載致して居りました村內一般配給概量表は既に各部落會を通じて連絡してありますし、又本號は紙面の都合上收錄出來ませんでしたから御承知下さい。

尚人口動態も都合上全部掲載出來ず一部掲載し殘は次號へ劃愛しましたから併せて御承知下さい。　（時報部）

御案內

當組合が良心を注いだ次の健苗を取えておすゝめ致しますまず

トマト苗　夏甘藍の苗
甘藷の苗　茄子の苗
胡瓜の苗

農組、勞組、從組、職組等の民主團体には特價をもつて提供いたします。

中鹽田村保野
保野種苗生產組合

西塩田時報

第5號

發行人　小池清喜
編輯人　曲尾重德
長野縣小縣郡西塩田村手塚
發行所　西塩田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

インフレーションと農村

武田隆夫

参議院議員總選擧の結果は社會黨が第一黨となつた。これは多くの人々にとつては意外であつたらしい。というのは都市においては、インフレーションに苦しんでいる勤勞大衆が社會黨を支持するだろうと見られていたが、元來保守的でしかも圓合樂な生活を營んでいる農村では、保守黨が壓倒的な支持をうけるだろうと思われてをり、加うるに、中選擧區單記という制度は、保守的政黨には甚だ有利だが、革新的諸黨には却つて不利だと見られていたからである。ところが、選擧の結果は、大都市ばかりでなく、地方農村においても社會黨は豫想外の得票をあげて第一黨となつたのである。

保守黨の側では自分らの見込みちがいを說明して、保守的政黨相互間の協定がうまくゆかなかつたからだとか、保守系統の人々に追放者が多かつたからだとか云つている。所謂地盤や看板に充分のものを言わせることができなかつたというわけだ。いかにも保守黨らしい言い分ではあるがこうした見方は、時代の動きを知らない表面的な見方だといわざるを得ない。

それでは、社會黨が今回のように豫想外の進出をした本當の原因はどこに求むべきであろうか。私見によれば、この原因は、終戰以來保守的政府がやつてきたやうな方法では國民經濟の再建と國民生活の安定というようなことは、とうてい希みがたいということが。都市の勤勞大衆の間ばかりでなく地方農民の間においても、次第に切實な問題として感ぜられるようになつて來た點に求められるべきであると思う。言いかえれば、從來保守黨が强力な地盤だと考えられていた農村においてさえ現在のような官僚的農業統制の下において、このインフレーションが激しくなつてゆくならば、農業生産と農民生活とは、遂には重大な危機に直面せざるを得ないだろうということを感ずる人々が次第に多くなり、こうした人々の不平不滿と、これを何とかしなければならないという氣持とが集つて、社會黨のあのような進出を助けたのだと考えるわけである。

いま、この点をもう少し詳しく說明しよう、インフレーションがどういう形で農村に影響を及ぼしてゐるかは、次の簡單な一表がよくこれを示してゐる。この表は、全國農業會調査部の一農村閣價格調査」からとつたものであり、昨年八月頃農村において最も頻繁に見られた闇價格即ち最頻値價格が、昭和十六年の平均價格の何倍になつているかを示したものである。

農産物		
粳米	一五一、五倍	
小麥	一三三、六倍	
馬鈴薯	八五、〇倍	
ネギ	五五、〇倍	
ブドウ	三五、五倍	
工産物		
硫安	二六六、八倍	
食鹽	三五九、〇倍	
晒木綿	一九九、九倍	
石油	九八、八倍	
地下タビ	九五、〇倍	

この表によれば、農民が賣るところの、粳米、小麥、馬鈴薯、ネギ、ブドウ等の値段は昭和十六年當時に比べてそれぞれ、一五一、五倍、一三三、六倍、八五、〇倍、五五、〇倍、三五、五倍にしかなつていないのに、農民が買わなければならないところの硫安、食鹽、晒木綿、石油、地下タビ等の工業製品の値段のほうは、それ〳〵二六六、八倍、三五九、〇倍、一九九、九倍、九八、八倍、九五、〇倍にもなつているのである。こんにちのような供出制度と配給狀態の下において、農業生産を續け農民生活を、維持してゆこうと思えばどうしても闇市場に賴らざるを得ないのであるが、値段を見ると、農産物と工産物との間には、このようなヒラキがあるのである。農民は廉い農産物を賣り、高い工業製品を買わなければ、やつてゆけないのである。そこでもし、こうした關係がいつまでも續くならば、どういうことになるであろうか。言うまでもなくその結果は、農民の財布がだいに輕くなると言うことであり、そうして遂には農業生産ができなくなり、農民の生活が破たんすると言うことである。

しかもこの値段のヒラキは昨年八月以降ますます大きくなるばかりである。周知のように農産物の闇値段は、昨年秋には一時下落し、その後もなかなか回復しないのに、工産物の値段のほうはどんどんと上り、物によつては僅か半年のうちに二倍三倍にもなつているからである。即ち、農業生産が縮少崩壞し農民生活が破たんする時期はそれだけ早められざるを得ないわけである。最近よく「農業恐慌云々」と言う聲を耳にするが、農業恐慌は決して外國との貿易が再開され、生産費の廉い海外農産物がたくさん入つてくるようになつてから始めて起るものではない。それは、右に見たような經過をとつて、既に起りはじめてゐるのである。

では、このような農産物と工産物との間における値段のヒラキは、どうして生じたのであろうか。申すまでもなくそれは、インフレーションが止まらない限り、工業再生産はいつまでも活潑にならないそうしてその間にあつて、資生的資本の投機、買占め、賣惜しみは、いよいよ猛烈になつて來るであろう。即ち闇値段はますます〳〵昂騰する。農民は、供出代金と配給物資だけではやつてゆけないのだから、この高くなつた工業製品を買うために、今までよりも一そう多くの農産物を闇に流さなければならない。しかるに、これらの農産物の終局の需要者であるる都市の勤勞大衆は、この同じインフレーションのため既に丸裸になつてしまつていて、もはやこれらの農産物を欲しいだけ買うほどの力をもつていない。即ち闇市場においては、農産物の供給は大幅に減ずる需要はなか〳〵ふえないばかりか却て減るようなかたちさえ見えるのである。この結果、工産物の値段はぐんぐん上るのに、農産物の値段はなか〳〵上らず、兩者の間には前に見たようなヒラキが生じ、それがだん〳〵大きくなつてゆき、ついに今日のようなヒラキになつたのである。

よく、「農民は、このインフレーションのおかげでずいぶん儲けた」というものがあり、農民自身の中にもそう思つている人が少くないようだなるほど、都會の勞働者や月給とりが、なしなしの衣類を買つて得たお金は、米や麥などと交換されて、一應は農民のふところへ入つたかも知れない。しかしながら、農産物と工産物との間に右のような値段のヒラキがある以上、そうしてそのヒラキがますます大きくなつてゆく以上、一旦ふくらんだ農民の財布も早晩しぼまざるを得ない。即ちこのお金は農産物と工産物との交換を通じて再び農民のふところを出て闇屋の手に渡り、結局は小數の寄生的資本家の腹をこやすにすぎない。農民の中には一旦ふくらんだ財布の口をしつかりと引きしめていて俺だけは決して損はしないぞと思つている人があるかも知れない。だか、そのように後生大事に握りしめている財布の中のお金も、インフレーションが進むにしたがつては、農産物の供給を大幅に減じ、遂には紙屑同然のものになつてしまうであろう。

このように考えて來るならば、農民は決してインフレーションによつて利益を得るものだとはいえない。既に都市の勤勞大衆を丸裸にしてしまつたインフレーションは、いまや漸く農民の生活を脅かし始めているのである。よく考えてみれば、農民もまた勞働者や月給とりと同樣にインフレーションの被害者であり、兩者の間には共通の利害關係さえあることが分るであろう。いま農村の人々は大衆にこの点に氣がつき始めている。まづ、闇をしたくとも賣るものもないような貧農や、少しばかりの闇賣りでは、このおそろしいほどの工業製品の値上りにとうていついてゆくことのできない中農は、日常の生活の体驗を通じて、ようやくこの点に氣がつきはじめており、また平和的文化國家として日本の再興を眞劍に翼つてゐる青年層も、その勉强によつて得たところの知識を通じてやはりこの点に氣がつきはじめている。

こうした人がふえればふえるほど農村において從來の保守的政府がとつて來たような やり方、特にそのインフレーション政策と官僚的統制政策との矛盾に對する不滿と非難の聲がますます高まるのは當然であり、またその反面において革新的政黨に對する期待がいよいよ大きくなることも當然である。社會黨が多くの人々の豫想に反して、地方農村においても相當の支持をうけ、美事第一黨となつた根本原因はこうした点に求めらるべきだと私は考えるのである。

さて、最後に、本縣選出の議員を見るに依然として保守系と思われる人々の方が多いようであり、殊に本村を含む第二選擧區においては、革新派と思われる人々は一人も當選していないようである。これは本縣特に本選擧區内の農村においては、なおその生活が隱かであつて私がのべた意味での農業生産のゆきづまりや農民生活の破たんを示すような徴候が見られないためであろうか。或はまた、よく見るとそういう徴候は既に現われているにも拘らず、この点に關する人々の認識と自覺とが足らず、昔ながらの地盤、看板というようなもの、より一層ものを言つた結果なのであろうか。

これからの点については機會を得て讀者諸賢の御敎示を仰ぎたい。

以上

（筆者は東京帝國大學助敎授——十八出身）

青年の聲

新憲法を生かすもの

死の谷を越え、いばらの途をつまずき歩んできた日本が、新らしい進路をきりひらくべく昨年十一月三日に公布した改正憲法は、この五月三日から施行されることになつた。

新憲法により、主權は國民の手に歸し、天皇は襁褓から老衰へとおりたつた。戰爭放棄、基本的人權の確立尊重、民主主義による國政の運營等々、なんとすばらしい數々の規定であろう。

この日、長い過去の暴壓と苦惱、不正と暗黑から脫し、平和と自由と正義にもとづく明るい文化國家を建設すべく國民はたちあがり、燃ゆる理想への到達と、現實に民主國家を建設せんとの決意を全世界に向つて表明し誓約したのである。

全世界は、新憲法によつて日本がいかに再建されてゆくかをじつとみつめている。我々は平和を維持し、專制と隷從、壓迫と偏狹を地上から永遠に除去し、人間が人間を搾取しない美しい世界を實現させようと努力している國際社會において、名譽ある地位を占めるには、新憲法を實際に生かさねばならない。相當よい憲法をもちながらあまつてしまつた國もあり、かつて大轉換をした立派なものであるが、我々はまだまだこれに滿足することはできない。自由經的基本權はほぼ確立されたが、大切な生存經的基本權は確立されず、わずかにその萌芽をみるにすぎない。その他にも不滿の点が多く矛盾を見出しもする。明日の日本を背おい、未來に生きる青年は新憲法のよいところを生かし その實現に努力するとともにその欠点が一日も早く修正されるよう勉强してすゝむべきである。それは青年に課せられたつとめであり、溯いのドイツの如きはその一例である。これは憲法の精神が國民の心に根をはらず、したがつて生かされていなかつたからである。このたび新憲法をもつた日本は、絕對そんな愚かをくりかえしてはならない 青年がしつかりやつてゆけば、新憲法による民主日本の再建は可能である。働く人々が團結して正しくあゆめば、日本は美しく生長してゆくことができる。

新憲法は革命憲法にくらべて

（文化部）

拔け切れぬ弊習

村議戰を顧みて

今回の本村村會議員選擧は「民主的選擧を」といわれた數回の選擧のうちで、最も寺 區長會なるものが協定して、各區毎に公認制をとり、殆ど定員外外の候補を推し、その影響は、そうした基盤をもたぬ民主團体の代表の進出を阻んだことである。

第一、立候補の問題

十六名の定員に對して結局二十一名の候補者があつたが、その立候補の動機をみると誠に遺憾至極である。例の如く選擧のうちで、最も寺 區長會なるものが協定して、各區毎に公認制をとり、殆ど定員外外の候補を推し、その影響は、そうした基盤をもたぬ民主團体の代表の進出を阻止し、どちらかと云えば普通に候補もならないような人物の多數登場として現われた。そして非公認で立候補した者は全候補者の四分の一にも滿たず、しかも公認の候補と比べて、極めて不利な狀態に置かれた事はいうまでもない。尙こゝで一言述べておきたいことは、前記區長會が青年團側の希望した候補者資格審査の依賴に就て、極めて老かいなる言辭をろうしてその進出を阻んだことである。

第二、選擧運動の問題

これも色々の噂があるが、それはおいて、私の聞いた最も理解に苦しむ、又最も不愉快に感じている或區の例をあげて見る。

勿論自分の區の候補者を當選させたいのは區長にしろ、區民にしろ、それは一應の義理だ人情だ——即ち感情だ。その感情や義理に動かされ、ことあるごとに區長たるものが、その區の青年團や婦人會の幹部を集め、公認候補の地盤鞏固や運動をさせる等、その愚策實に笑止の沙汰である……というより私には極めて不可解であり、又憤慨とする点である。

第三、婦人候補の問題

はじめのうち一、二名の下馬評はあつたが、結局は一人も出なかつた。

同樣だから必ず半數婦人で占めよとはいわない。……が一人もの立候補者を見出し得なかつたことは、婦人の爲に悲しむものである。勿論第一に述べた立候補の問題其他の封建的重壓は、これら婦人の進出を阻害した事はその一因でもあろう。

結局〃村の頽敗〃が市をきかせ、その上村民の頭が切替えられぬ限り村の改革は愚か村民は救われないのだ。

（一村民）

○……○

論說

新憲法實施に際して

五月三日この日こそ我等八千萬の國民にとつて永遠に記憶さるべきであると共に、世界の文化史上に劃期的な一頁が書き加えられる日であろう。いまこの日本國憲法の施行に際して若しいささかでも危惧に似たものが存在するとすれば、それはこの憲法の成立が歐洲諸國のそれの如く、血を以て闘いとられたものでなく明治憲法にさえ先行した自由民權への闘爭を經ずに無血裡に成立した事、更にその內容が近代社會とその政治思想を母体として歷史的に形成された米英諸國の制度が多くとり入れられていること、これらを理由として果して日本國民の一人一人に眞の共感を以て迎えられるであろうかという点になされるようである。然しながらこの危惧に對して我等はこの憲法がわれらに與えられる前に滿洲事變に始まつて大平洋戰爭に終る迄長い間に亘つて、多くの血の犧牲が拂われた事、そして文化的な制度はその歷史上の發生が何處であろうとその文化的價値がすぐれて居れば、充分他の地に根を下し美しい花を咲かせ實を結び得ることを以て答え、たゞ現に英國に起つた自由への闘いは米國獨立宣言となり佛國革命の人權宣言となりやがて全歐洲の近代化となつたのである。今日という日を區切りとして、明治二十三年十一月の第一議會以來明治憲法はその効力を失つてアンシャンレミムの歷史的記念物と化し、新しい日本憲法がその効力を發生するのである。最近の過去において軍に官に利用すること、その專橫を許したおびたゞしい天皇の利權はその大部分が主權の存する國會に移り天皇の地位は日本國民統合の象徴とされた。

新たに國權えの最高機關である唯一の立法機關となつた國會は總理大臣を指名し、唯一の立法機關として法律の決定機關たるのみならず、從來官僚の專斷の因をなし勅令をもの他の法規制定權はことごとく國會の手に歸し、條約締結向轉換であるが、原子力時代に一握の軍備が何程の意味も成さぬことや、自然科學が今や世界國家時代を、現出せんとしていることを思えば、決して單なる敗戰の結果でなく積極的な世界政治理想への先驅なのである。

かくの如く新憲法の根ざすところは、民主々義平和主義の二大精神は日本國民はもとより、世界の等しい支持共鳴する所と信ずるが、ローマは一日にして成らず、この二大理想が眞に達成される爲には一人々々の自覺と、たゆみなき努力の繼續による外にない。

先ず數多い封建的殘存物を一つ々々取除いて、近代社會を建設する努力から始まるべきである。今回の一連の四月選擧はすでにその爲に多大の成果を收めたが、更に今後の政局の推移はその試金石となるであろう。

われら國民は、新憲法前文に於て、國家の名譽にかけ、全力をあげてこの崇高なる理想と目的を達成することを、世界に誓つているのである。

（完）　峯小屋龍平

婦人參政を回顧して

野倉

世界のまなこに凝視されていた四月選擧は既に終りました。そしてこれに對する婦人の關心はきわめて薄い物でした。これは終戰後、突如として解放され急激に自由になつた婦人がいまだ政治的に訓練されたおらなかつた爲だつたとも考えられますが、參政權を得た女性の態度として反省しなければならないものがあると思います。勿論女性のみがせめられるべきではないと思いますが。

解放された婦人としてはもう少し全般的に關心をもつていてよかつたではないでしょうか。

立候補者の演說會場はいつも女性の聽衆は少く控室の際に於ても友人、先輩や家族の勸誘するものなら誰でも投票してしまうという傾向が男性よりも強かつたのではないでしょうか。全有權者の中、幾人の女性が自分達の手で選び出す人物について本當に考えたでしたでしょうか。芽を出したばかりの「デモクラシー」を育てあげるためにも、もつと自分自身の立場をはつきり獨立させるような勉强をしてほしいと思います。

新憲法とポツダム宣言

時報部

かつての日本の指導者たちが、東西古今をつらぬく不磨の大典だとうたつた明治憲法はどうして改正されたのだろうか。それは、ポツダム宣言を正しく履行するため、まちがつていた日本國家の根本法を改める必要があつたからである。

終戰にあたり、ポツダム宣言を無條件に受諾した日本はこれを正しく、そしてすみやかにふみ行う義務があるのである。それで、ポツダム宣言の各條項をもつともよく實施する大切な方法の一つとして國家の根本法である憲法（明治）を徹底的に改正し、日本再建の基とすることになつたのである。

我々は今後、ポツダム宣言の精神にもとずく新憲法によつて生きてゆくのである。よつて、ポツダム宣言と新憲法の本當の意味と、主要なところがわかつていなくては日本を愛する人民として正しく生活することができない。

こゝにポツダム宣言の精神が、いかに新憲法に反映されているかを對比してみよう。

一、平和主義の確立

○軍國主義をおいやつて、永遠に平和主義を確立すること（ポ宣言第六項）

△戰爭の放棄、すなわち、他國との紛爭解決の手段としての戰爭を永久に放棄すること、即ち、國權の發動たる戰爭、及び武力による威嚇又は武力の行使は、國際紛爭を解決する手段としては、永久にこれを放棄する（憲法第九條）

△陸海空軍その他の戰力は、これを保持しない。國の交戰權は、これを認めない（憲法第九條）

二、封建的諸勢力の拂拭

○日本國民をあざむいて、まちがつた戰爭にかりたてた軍閥、財閥、重臣等の封建的勢力權力を永久に除去すること（ポ宣言第六項）

△新憲法は權威院、貴族院を廢止し、華族制度をも廢止した。また內大臣府、宮內大臣府、宮中顧問官、皇族會議等も廢止され、皇室も民主化されることになつた。これらのものは日本社會における封建的勢力の巢であつた。

三、民主々義の基本原理の確立

○民主々義の傾向の復活强化に對する一切の障がいを除去すること（ポ宣言第十一項）

△新憲法は主權が國民に存することを宣言し（前文）國家の最高權力は國民にありとする原則をとつている。よつて天皇の地位は、主權をとつている國民の總意に基くのである新憲法第一條

四、基本的人權の尊重確立

○言論、宗教、思想等の自由を保障し、基本的人權の尊重を確立すること（ポ宣言第十項）

△新憲法はその第三章第十一條以下において、二十數條にわたつて國民の自由と權利をくわしく規定している

五、國會中心の政治

○國民の自由意志に基く平和的な政府の樹立（ポ宣言第十二項）

△以前の日本の政府は、國民の自由意志に基いて樹立されたものではなく、元老、重臣、側近者等の上奏によつてつくられた政府であつた。新憲法では、政府は國民の自由意志に基いて樹立され、かつ運營されることになつた。すなはち全國民の代表による國會中心の政治である。

結婚式簡素化に關する申合せに對し異見あり

西前山　和風山人

時報四月號で掲題に關する申合せの發表を一讀して、私は奇怪な感に打たれた。民生委員會、婦人會、青年團、三團體によつて協議して成案を得たので强力に推進すべく諸般の準備を進めていた四月十六日の村會に於て決定したと發表されてある。

第一にこの「諸般の準備」とは如何なる準備を要したものか、第二に斯かる問題を村會が取り上げて議決するとは誠に御手數のかゝること、御苦勞千万のことであるが何の必要あつて村會の決定をまつて發表したものか。第三にこの發表には文責在者が書いてないが誰なのか、青年團か婦人會か、以上は私が直感して不思議に思うた点である。

口に縁に民主々義を唱え民主化の推進力を以て自任する青年團の主催する時報に斯かる非民主的な封建的思想によつて發表したる一文が掲載されたことに對し私は一驚を喫し甚だ奇怪に思うたのである。

この問題は婦人會或は青年團諸君の直接關係する問題であつて諸君の自覺によつてのみ、諸君自ら解決すべき問題ではないだろうか。

村民の中には上で決定してしまつてからわかければ何事も自主的に行動のとれぬ封建的な頭の持主が割合多い。この種の人達には村會の決議も多少効果があるかも知れないが併しかゝる封建的思想を打破し進歩的な頭に打ち直すことが根本問題であつてこの努力をなさずして、單に形式的な申合せをしたところで効果は余り期待出來ない。要は思想の問題である。結婚式等の簡素化につき一番問題になるのは舊思想の持ち主たる青年諸君の兩親やその周圍の老人達で因習から拔けきれない無自覺によるのではないだろうか

進歩的な青年諸君が自ら率先して實踐すると共にこの因習を打破すべき啓蒙運動に努力してほしいのである。

次に申合せ事項の二三につき私の忌憚なき意見を申のべてみたい。

一、調度品

調度品に制約を加うることは、一躰に行く時はタンスやら長持を持つて行くの」と思い込んでゐる因習から起る錯覺である。調度品は必要に應じて整うべきものである。村民の中には成るべく小さいのでもよいからと何とか工面せずばなるまいなど誤解するものがあるかも知れない。

容れるべき衣類があつて始めてタンスが必要となるのであるから、現今ではどこの家庭でも發表したものの決定事項の三つにつきタンスは殆どない。姑のタンスの一部を嫁に貸して共同で使つて間に合うものもあろう。そして箪笥も自由に出來る時期が來たらその時必要に應じて整えたらよいのである。現今ではタンスは段々空になるばかりで衣類の增えるということは殆どない。姑のタンスの一部を嫁に貸して共同で使つて間に合うものもあろう。そして箪笥も自由に出來る時期が來たらその時必要に應じて整えたらよいのである。現今ではどこの家庭でも

新學制の教科について

西鹽田中學校　今井保

新學制六、三制は、愈々この四月歴史的な第一歩をふみ出し、小學校、中學校の名前でこの九カ年の教育は、「人間性の開發」という高い目標を目ざす、新しい教科内容によって進められることになりました。

社會の要求を考え、教育の目標に達するため、今回文部省では次の如く教科の規準を定めたのであります。即ち小學校では、國語、社會、算數、理科、音樂、圖畫、工作、家庭（五年以上）体育、自由研究（四年以上）の九教科。

中學校では、必修科目として國語、習字（一、二年）社會（國史（二、三年）數學、理科音樂、美術、体育、職業の十教科、選擇科目として外國語、自由研究が課せられています。ここに見られる教科で、これまでと違つているのは、一、從來の修身公民地理歴史がなくなつて、新しく社會科が設けられたこと、二、家庭科が新しい名前と共に内容を異にして加へられたこと、三、自由研究の時間が設けられていることなどであります。

社會科は從來の修身、公民、地理、歴史を只一括して社會科という名をつけたのではありません。社會生活についての良識と性格とを養ふことが極めて必要ですから、そおゆうことを目的として、新たに設けられたのであります。ただこの目的を達するには、これまでの修身公民地理歴史などの教科の内容を融合して一体として學ばれなくてはならないので、それらの教科にかわつて社會科が設けられたのであります。家庭科は、これまでの裁縫家事科と違つて、男女共にこれを課する事を立前とします。只料理や裁縫の技術的な内容が、女子のみに必要だと認められる場合は、男子はこれに代つて家庭工作を課することになつています

自由研究も新しい教科課程ではじめて取上げられたのであります。元來教科の學習は、いづれも兒童生徒の自發的な活動によつて、學習がすゝめられるようにして行くことを求められています。一定の學習時間では、その活動の要求を滿足させることが出來ないような場合が出て來ます。たとえば理科で電氣實驗として呼鈴の勉強をいたした場合兒童はもつと深く研究して、自ら呼鈴の製作をして見たいと要求するような場合が起る事がありまず。こんな場合兒童は、放課後か或は歸宅後にその活動を續けることになりますが、指導を必要とする場合が出て來ます。つまり兒童の個性の赴くところに從つてこれを伸ばして行くことにこの時間を用いて行くのです。從つて自由研究の時間は、ある兒童は理科實驗に、ある兒童は器樂に、ある兒童は圖畫にある兒童は工作に、とゆうように、極めて多樣な活動がこの時間に營まれるのであります。

尚小學校で獨立の教科だつた家庭科が中學校では職業の中に含まれ、當校では職業の中に農業と家庭科とを含めて居り、又選擇科目中の外國語は英語を選んでいます。

次に教科の時間について申しのべたいと存じます。教師が兒童を導いて行くにあたつて先づ最初に考えなくてはならないのは、一年間の計畫をたてることであります。また教科の指導と季節との關係を考えておくことも大切ですし、教科の内容によつては、ある時には多くの時間をとり、ある時はこれを少なくして行くという調節をすることも大切であります。以上の樣な理由のもとに文部省では指導時間についての總時間數のみを示しています。從つて一年間に用いられる總時間數については、從來とは違つて同じ時間割で指導して行くようなことは今後はないのであります。又一日の計畫をたてるにも、兒童が相談し合う時間、理解のための時間、熟練のための時間、情操をたかめる時間、表現のための時間、自由の時間、休みの時間、以上のような点を考えて組み立てるのであります。

けれども教授上こゝに大きな問題として學校施設の實情について思いを致さねばなりません。只今のところ第二講堂まで普通教室として使用していますが、特別教室や教具運動場の使用等を他の學級とぶつからないようにするには非常な苦心と無理がかゝつて參ります。加うるに教科書は小學校兒童分としてほんの一部分配給されたのみで、中學校の如きは更に入手していません。學校施設については、村の皆樣方に充分なる御理解と御配慮を願いたいのであります。皆樣の大切な御子樣方をおあづかりしている私達は、兒童生徒を愛し、社會を愛し國を愛し、そして立派な國民を育て上げ、世界文化の發展につくそうとする熱を胸において、あらん限りの努力をさゝげる覺悟であります。

就任御挨拶

中學校長　竹内敬吾

學制改革に依る西鹽田中學校の開設に際し、不肖初代校長の重責をけがすことゝ相成りました。顧みて淺學菲才、まことに心許なきを覺える次第であります。

學制のことに就きましては屢次に亘つて卑見を開陳いたしましたが、種々の障碍の豫想せられたにも拘わらず、ここに實施の運びとなりましたことは、教育民主化の爲め御同慶に堪えないところであります。

惟うにすべて人間は本質的に平等であります、性や門地や財力による差別的な待遇がなされてよい筈はありませんこの故にあらゆる人に教育の門戸は開放せられ、機會は提供せられたのであります。村の子供が、そろつて中等教育を受けられるということ、これは事柄として當然的な一大事實があるばかりでなく、その持てる意義の上から、更に強く期待する大事實なのであります。直接にこの事實を享受する生徒はいうまでもなく、村人擧げて歡喜祝福、趣旨の達成に努むべきであろうと思います。

任を中學に負い、道甚だ遠しと雖も、幸に村民各位の御支援の下、乏しきに鞭打ち淬礪の惧を致す覺悟であります今後何分宜しくお願申上げます。

御挨拶

小學校長　中村忠人

此度懸案の六三の新學制が實施になりまして去る八日西鹽田中學校の開設を見、初等科六年に該當した兒童は西鹽田小學校兒童となつたのであります。從つて昭和十六年より學に淺く歳に薄いことを思うと誠に慙愧たるものがありますがはからずも當村小學校長に補せられました。教育が名實ともに新發足致す重大な時にあります。從つて昭和十六年より行われて來ました國民學校初等科竝等科の名は解消となりまた昔懐しい小學校の名がよみがえつて來た譯でありまして誠に感慨深いものがあります。この時に當つて不肖私も村からの重責を負うて、思うに國家再建の原動力として各個人が高い教養を持つことが大切であります。教養の中核となるべきものは眞實を愛する心であらうと思います眞實を愛し、眞實を行うところ自ら道義心は昂揚され、科學的な合理創造の態度も育成され、永遠の文化が發展致します。兒童の教育もこゝに大きな目標をおきたいと存じます。尚教育の事は多くのよき環境を必要とされます。その点につきましては今後學校と各位との關聯を一層親密に致しまして新教育の振興をはかりたいと考へます。何卒絶大な御指導御鞭撻を下さいますよう御願致しまして御挨拶と致す次第であります

選出した……！私たちが新村長の抱負をきく

全村民期待のうちに登場した、公選初代村長の抱負やいかん。時報部記者は春雨煙る四月二十八日夜、宮澤村長を訪ねて、その意見をおきゝした新村長は謙虚に、そして朗かに、ぽつり〳〵と記者の問いに答えてくれた。

記者―村政に對する抱負をきかせていただきたい。

村長―抱負といつても別に……要は新憲法の精神を村政に反映させるという一点につきる。

記者―それをもう少し具体的に……

就任の言葉

助役竹下喜信

不肖今回本村助役として御推薦に預りましたことは身に余る光榮と深く感謝いたす次第で御座います。

然し乍ら私ごとき淺學にして世情に疎きもの、到底斯る重任を果し得る自信もありませんので再三御辭退致したのでありますが遂に御承諾を得ることが出來ませず徒に貴重な時日を空費するに忍びませんので玆に不肖を省みず御引受け致したのであります。

斯る上は微力ではありますがたします。

退職にあたりて

宮澤兵部

不肖私此の度本村農業會專組合專務として就任以來時局は、非常なる急迫を告げ、日一日と重要性を加えられて參りました。農業會の實務に當つて力の限りを盡して皆樣の御期待に添いたいと考えて居ますが何卒村民各位よりも絶大なる御指導と御鞭撻とを御願いする次第で御座います。

以上を以て就任の御挨拶といたします。

學校便り

中學校

△新任職員
清水益男教諭　文學士
春原秀登教諭　盛岡工專卒
武田保雄教諭　長師專卒
齊藤清二教諭　長師專卒
（新補職員は略）

△職員配置
主任　今井
學級　教科
一ノ一　數學
一ノ二社會　自由研究　習字
武田

小學校

△轉任職員
小林信平先生　北佐三岡小學校へ
鎌原市枝先生別所小學校へ

△新任職員
山極三郎子先生別所校より
齋藤ゆう子先生上田高女專攻科卒

△學級擔任
一東　小池　一西　山極
二東　齋藤　二西　小山
三東　前島　三西　合葉
四東　宮原　四西　篠澤
五東　田中　五西　工藤
六東　宮島　六西　上羽
家庭科　中澤

一ノ一　國語　理科　清水　春原
二ノ二　外國語　美術　國史　佐藤　笠原
三ノ一　社會　体育　晉樂　齊藤
三ノ二　家庭　井口　實業　倉澤

自由貯金のおすゝめ

封鎖貯金が規則の改變や事務繁雜等により、兎角新圓が手持ちされる向が多い樣と思います。皆さんも御承知の如く、自由貯金は規則施行以前の貯金と變りなく預入拂出は勿論自由であり課稅調査の關係は更になく、絶對秘密保持の貯金であります。この際極力安全便利な農業會貯金に御協力御利用の程、お願ひいたします。

農業會

青年團

總務部

四月十二日午後七時半より村立中學校教員住宅問題に付役員會を開催す。

四月二十八日午後八時半より飯田市火災義捐金募集、体育指導者練成講習會及憲法施行記念選擧行事に關する協議爲役員會を開催す義捐金募集結果左の通（團員關係分）

十人	三六圓
東前山	一〇一圓五〇錢
新町	八一圓
西前山	四五圓五〇錢
手塚	一八六圓
山田	一九五圓
野倉	一〇三圓
合計	八四八圓也

文化部

研究會結成に就て

覺醒せる青年の集り

吾等は新憲法の礎に民主國家として、日本を建設する、偉大な又非常に困難な重い任務を負つている。此の任務をなしとげるにわ、偉大なる努力心と氣力と熱に燃えねばならぬのである。吾等青年はそれらの熱を持つて、驅命に細心の注意を拂つて民主化實現の第一目標として鄕土の民主化、實現にある。これこそ日本再建の基礎であるとおもわれる。

現下の世情を眼で見、耳にする時、混沌として破局的混亂に落ちつゝあり、又農村に於ては現に恐慌來たるの聲、ある時定眠を許さず、この時に於て、封建的重壓下に盲目的服從を强いられて來た靱より速かに脫し、新憲法のもとに新生日本の建設へと進むべきわ青年若人の熱と氣力であると、思はれる。

此の時青年團に於ては、雹騒せる青年諸兄多數參集し、各研究會の發足を持つたのである、此の研究會は、時報第二號に揭載しました所の七ヶの研究會（村政問題、農村問題、鄕土誌、生活科學化、文藝、音學、演劇）を取敢えず持つたのであるが、今後に於ても、一二の研究會を增設して行きたいと思う。

研究會の運營については同志的結合である會員の創意に基き、其の方途と方向を研究し現下の狀況を速かに把握し嚴正に批判し、反省すると同時に、新憲法の精神にもとづいた地方制度の改正を良く運用し、封建的重壓下に盲目的服從を强いられて來た、狀態より速かに脫皮し眞に生きた所の若き熱と力の結果による研究會とし、青年團發展と理想鄕土の建設に邁進せねばならぬ。

目下農村問題村政研究會に於ては、新村長の村運營に對する文化的向上と、それによる和親とによりて一町は一家の如く樂しい村をつくりあげて行くべきであるというような事に付いて去る、五月十一日に御話を受けたのであります。

鄕土誌に關して賢明なる佐藤先生によつて其の研究に一歩踏み入れたので有る。幸い鄕土には多くの名士や風俗に關して多くの標本を集められて居るとの事、今後其れ等の物に關して次第に研究を進行させる爲、目然地質的發展に關して次會より研究を進めて行く事になりました。

晉樂は五月十六日生活科學は五月二十一日文藝、演劇についても次第に其れ等の研究會を發展せしむべく努力していられる會員の皆樣に於ては、吾等が理想とする、樂しい明朗なる民主的鄕土を建設すべく邁進せられん事を望む者であります

部落短信

勤勞奉仕　東前山分團に於ては手不足家庭を奉仕す。（四月中旬）

示道標設置　野倉東前山分團に於ては四月下旬示道標の設置を成す。

花道講習會　四月上旬手塚、西前山、山田、野倉の各分團標記講習會を行ふ。

鹽野橋竣工式　五月二日西前山部落に於施行。

俳句短歌會生る　四月二十一日山田分團に於て發會式。

林道修理　四月二十三日手塚分團に於て實施。

スポーツ　四月二十七日手塚青年團に於て野球庭球對抗會を成す。

堰掃除　新町　山田　手塚の各區に於て行はる。

作業場　十人、に於て建設決定

作業場　山田、に於て敷地決定

植林　五月上旬手塚山田の青年團に於て公有林の植林作業を行ふ。

研究會　四月二十八日手塚分團に於て第四號時報を圍んで輪讀會　五月三月山田分團に於て憲法研究會實施

五月上旬十八分團に於て新らしい憲法明い生活を持ちつゝ輪讀會を開催す。

見學　五月一日野倉分團では長野縣農事試驗場を見學す

本堰　農道竣工式五月一日新町に於て行わる。以上

晉樂會　五月十五日手塚分團に於ては、中鹽田村上小島より「みづほ樂團」の演奏により晉樂會並びにレコードコンサートを催す。

表彰　警防團第五分團は無火災六三周年にあたり記念表彰を受く。

人口動態

◎婚姻の部

十人　へ　浦里村より
齊藤　治男　手塚　へ
中村なか子　東內村より
新町　より　新潟縣
井口シゲ　中原莊一郎　西內村へ
吉澤敏子　西前山より
佐藤定一　和田村　へ
齋藤　吟　山田　より
清水貞次　傍陽村　へ
西澤勝子　東前山より
山岸信雄　毅城村　へ
家松國興　東前山より

◎出生の部（本籍人）

手塚　小山榮子　眞喜雄參女
山田　福澤雄三郎　虎雄參男
東前山　吉田　稔　寅太郎長男
東前山　竹內世津子　登一四女
野倉　山極　洋子　兼道長女
十人　武田　郁子　助夫貳女
野倉　池田謙江子　榮八四女
西前山　兒玉　祐弘　愛民長男

■死亡の部（本籍人）

野倉　吉池辰雄　三二歳
野倉　荒井保家　三二歳
手塚　齊藤はまじ　五九歳
山田　竹下義太夫　五四歳
東前山　山崎とよ　五七歳
新町　山極　博　三〇歳

導指

水苗代の管理に就て

本年は現在の氣象狀況より夏季に於ても相當不良なる、氣象を豫想されております。

故に稻作栽培にも細心の御注意を願うと同時に稻作の根幹をなす苗代管理に就ても、充分なる手段を盡され、健苗育成をするよう注意を願います

△播種後苗が二寸五分位に成るまでは日中は常に床面は排水して踏切りのみ水を入れて置くこと。

朝六時頃落水して午后三時頃水入れをなす、山間地は正午迄に水を入れてしまうこと。

雨天曇天の日は日中落水しないこと。

夜間は深水として置く

△苗が二寸五分以上になつた後は日中は淺水として夜間は三寸以上の深水となす。苗の根張り伸長が良好となる。

△植付十五日前より晝夜苗代を干して苗を强硬とする。

△播種十日より二週間目位迄に、腐敗病防除のため、六斗式ボルドー液を坪當り二合宛噴霧機にて散布すること。

野菜類の出荷計畫について

（農業會）

縣農業會丸子工場に於て福神漬の材料として、左記野菜の出荷を希望しておりますから、今から計畫して出荷を願いたいと思います。

牛蒡、人參、胡瓜（地這い胡瓜たること）シソ、なんばん（辛い程よい）

昨年の漬物用菜大根の生產過剩による處分には、隨分苦勞もし又値段も安かつたので、本年は本會に於て早漬大根の出荷を計畫致し生大根で一萬五千貫位集荷致したいと思います。早漬澤庵は長大根の宮重、美濃早生大根、に限りますから、そのつもりで作付計畫を立て、頂きたいと思います。漬物として出荷する方が生で出荷するより余程有利です。從來のような堅大根は出荷には喜ばれない故、自家用程度に止めること。

亦野澤菜等を出荷用として澤山作ることは危險ですから貯藏出來る野菜を多く作るよう計畫することを。（農業會）

農地委員會より

西鹽田村農地委員會は去る五月十二日の農地委員會に於て西鹽田村土地管理委員會の申込を全面的に受入れ左の如く決議をしました

一、昭和二十年十一月二十三日以降に移動した耕地は左記のものを除くのほかどんな理由があつても一應小作人に即時返還する事、

1農業を業として居るものが應召の爲應召中の約束で一時貸貸した耕地

2農地委員會ですでに承認濟の耕地

二、昭和二十年十一月二十三日以降において、地主が小作地を引上げるかわりに、該小作人より貸借したる耕地は（一）と同樣に扱うこと。

三、農地委員會で審議濟の耕地中、耕作權が地主に移動したものは再審議する。

四、一、及び二、の該當地主は直に該當小作人に返還すべきは勿論のことであるが現下の食糧事情にかんがみ引繼の際、生產に支障なき樣協力すべきこと。

五、一、二、四、を履行しない者に對しては本農地委員會は斷固たる處置をとる。

六、其の他の事柄も、今後は全部土地管理委員會の線に副すべく努める。

援護係より

燒に發生した飯田市の火災に對し村內一般並に團体より寄せられたる義捐金は次の如き額に上り不慮の災禍に喘ぐ同胞の再起に興つて力有るをこいつゝ大方の積極的なる御協力と又青年團員の何時も乍らの御助力とに深く感謝致しつゝ災地に對し急送せり

記

一般之部

十人　金	五二八圓
東前山　金	六九八圓
西前山　金	六三三圓
手塚　金	一、一六九圓
新町　金	七八六圓
山田　金	二八〇圓
野倉　金	五三七圓五〇錢
合計　金	四六三一圓五〇錢

團体之部

新光文化會　金二、五二七圓二八錢

曜會　金一、六六三圓九七錢

合計　金四、一九一圓二五錢

總計八、八二二圓

尙新光文化會、曜會の義捐金は會員諸君の街頭募集に依るものにして遠隔の地迄御出張下されて御活躍に對して地の同胞に代り厚く御禮申上げます、此の分は一般と別個に地方事務所を通じ現地に急送致しましたから御諒承下さい。

文藝欄

短歌

鷲原とみ江

さくら咲く溫のいでゆにめしうどの笛のねばかり春をわびしむ

水仙の花枯れし朝水仙に似たる少女の息たゆきくる

よみざしのふみふと伏せて春の夜の雨のさゝやきたちいでてきく

佐藤　信子

わらべらが枯草やきし池堤によもぎ芽ばえぬうす宵色に

中澤　淑子

芍藥の紅き若芽に陽のさして潮騒とける四月のあした

かづ子

遠山に未だ雪あれどこの朝けつばめは軒に飛り來りつ

鍬ふるう腕やすめし時の間を小川に流す草の舟わも

T 丑 生

遠山に雪はあれども陽の光るわが里うれし若草はもえ

冷々と春としもなき淡雪のふりみふらずみ花のちりゆく

野倉　竹內

みはるかす遠山々は雪消えて麥も穗に出る頃となりたり

みゆき

新憲法生るゝきようの感激をこの一頁にこめて記さな（日記）

機を織る鄰の乙女が袋のねもこのごろきかず春さりにけりほのかなるくれない色にもえそめし櫛の梢さゆれやまずも

宮澤　祐子

詩

新らしいかどで

中島くみ子

あなたは鍬をわたされてだまつてそれを見ていてはいけない

目前に

荘々と亂れる草を

あなたはその手で切りはらいそして耕し

時に後れじと進まねばならない。

芽ふきの稍に光を與え

悲しみ歎く小鳥の爲に

明るい園を作らねばならないゝ。

みんなゝ

あなたの白い二つの腕にその責任がひしめき合つている

時におくれたみじめさを

汗と涙でとり返さねばならない。

義務と努力と責任と……

あなたは鍬を渡されてだまつてそれを見ていてはいけない

俳句

源泉

寒雨や日增しに變る野邊の色

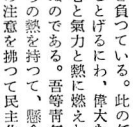
雪子

麥青く果はかすみて淺間山

野菊

藁をうつ音もねむや春の雨

記後編輯●



四月は選擧の月、そして今月三日は日本民族の記念すべき新憲法が實施されました、思えば慌しい昨今であります。本號は特にこれ等に關する諸賢の原稿が山積しました事は誠に喜ばしいことです。紙面の都合上全部收錄できなかつた事は殘念です。

○武田隆夫氏寄稿「インフレーションと農村」は吾々農民の指標として味讀すべきものでありましよう。

○農業會の麥甘藷、馬鈴薯等に關する管理指導の原稿は紙面と時期の關係上一應見送りとしました。

○先月號では新假名づかいを大分間違えて皆樣に大變御迷惑をおかけ致し申譯ありませんでした。今度からは出來るだけ正しい假名づかいで進んで行きたいと思つております。

復員便り

十人小林信悟君四月六日大連より

手塚市村唯夫君五月六日ソ領イルクーツクより

山田東川光利君五月十六日シベリアより

英靈歸還

左記四君の英靈にわ五月十三日嚴しの故山に無言の御歸還遊ばさる

新町　安藤榮藏君

手塚　曲尾勇市君

野倉　吉池辰男君

野倉　荒井保藏君

四月選擧當選者名

西鹽田村村會議員（十六名）

鷲原虎五郎（東）佐藤高紹（新）石川顯悟（手）金澤重威（手）東川孝（山）柳澤明朝（西）小林鑑一郎（十）金井好衛（山）平山武男（野）龍澤龍（野）小池恭平（手）兒玉律（西）勅使河原龍夫郎（手）中井榮（新）中澤多七（手）

武田市左衛門（十）

長野縣會議員小縣郡區　四名

松山篤　六川靜治　渡邊榮一　羽田義知

衆議院議員（第二區）　三名

小林運輸　唐木田藤五郎　井出一太郎

參議院議員（地方區）　四名

木下盛雄　木內四郎　羽生三七　米倉龍也

柔道整復術開業
（ほねつぎ）
◎營業種目◎
骨折、捻挫、脫臼、打撲、肩のこり、腰のいたみ
東鹽田村下之鄕中池西
柔道六段 橫關辰雄

西塩田時報

第6號

發行人　小池清喜
編輯人　曲尾直德
發行所　長野縣小縣郡西鹽田村手塚　西鹽田青年團
印刷所　上田市馬場町　秀信社

公約を實行せよ

竹内知

國民の多數の支持により社會黨は第一黨となり、片山哲氏の首班による三黨連立內閣が成立した。國民がこの內閣に期待するところは非常に大きい。經濟危機はいよいよ深まり、食糧問題も深刻になつてきた。

社會黨は異つた政策をもつ政黨と連立した。ほゞ類似した政黨との連立であればともかく、社會主義政策を行おうとする社會黨と、いぜんとして資本主義を守る保守黨との妥協は不可解なものがある。前に社會黨の西尾氏は議會において、自由黨民主黨を反動勢力であると言明しているにもかゝわらず、今度の內閣では連立している。だが社會黨は第一黨であるからゆく道はあると思う。

はつきりした態度のもとに、あくまで勤勞大衆の上にたち國民に公約した所の政策を無視せず雄々しくすゝむべきである。

片山首相は就任の言で、精神革命と耐乏生活を强調している。失業者が續出し、勞働者が竹の子的生活に悲鳴をあげているとき、「苦しみに耐えて生きよ」というのが新內閣の言葉である。これこそ大衆の期待をうらぎつて、保守黨に成立した。國民がこの內閣に期待するところは非常に大きい。經濟危機はいよいよ深まり、食糧問題も深刻になつてきた。

インフレとヤミの社會をつゞけるという意味である。こゝで社會黨の公約を思いだそうそれは重要產業の國家管理であり、國有であつた。これが產業復興の公約であり、その他インフレ對策についても、はつきりした公約を結んだ筈である。この公約の履行こそ國民への應えであり、日本を經濟的に文化的に高めて現在の危機突破を可能にするものである。

都市も農村も危機のどん底をゆく、農村ではやがて地主も自作も小作も、同じ苦しみの世にあえぐ時がこよう。こゝで我々は再び新らしい覺力を政治にそゝごう。我々の生活はすなわち政治である。民主政治の實現と、新內閣へ國民に公約した所の政策を無の關心をいつそう深め、我々のなすべき任務を知ろう。そして團結の力によつて苦しみを突破し、組織の力によつて新內閣が我々に約束したことを實踐させよう。

正道にむかつて ためらうなかれ

柳澤信

「私の政治觀は政治は過ぐられた言葉の一端である一國宰相の政治觀としては一見あまりにも平凡な言葉であり、又極めて當然のことながら私は非常に打たれるものを感じ、敢えて深甚なる敬意を捧げたいと思う、民主々義による平和國家たることや基本的人權の保證確立等に關しては、五月以來實施の運びとなつた、新憲法にも明示されてあるが第一の「正しい事を行う」と言う觀念は平凡な事とはいえ私は最も强く念願し要望するところである。

新內閣の負うべき重大な使命の一つは言うまでもなく、新憲法育ての親としての努めである。更に一つの非常に大きな使命は、實に危機突破である。就中經濟危機、食糧危機の克服は日を貸すに暇なき焦眉の問題である、併かもこの緊迫せる經濟危機の克服と食糧危機の打開なくしては、祖國再建も又遂に望む事が出來ないと言うも過言ではなからう。從つて關和等に關する對外的の諸問題や治安其の他にかゝはる對內的の問題處理等も實に大きな課題の一つである。これら幾多の重大使命は獨り新內閣の責任によつてのみ達成せらるべきを望むものではなく、我々國民も又各自の立場に於て常に責任のある存在たらしめ眞心を以つて協力すべきは當然のことである。然るに悲しい哉近時民主々義の名の下に或は私利私慾に走り已れの慾望を滿たさんがために敢えて手段を選ばざるが如き不詳事の如何に多きか。經濟復興、祖國再建を阻害するが如き不正行爲の如何にしげきことか、しかも我々國民の指導的地位にある者が其の職責を惡用し其の職域を穢すが如き事も頻發するに至つては誠に憤慨に堪えない世相とも言うべきである。危機突破に對する政策の協定はすでに整つてゐるようである。然しながら協定に必要な施策の實行に當つては常に正道を誤らず正義に向つては躊躇なく突進さえんことを重ねて望むものである。

耐乏生活にも限度がある

清水雄

片山首相は組閣第一聲に、國民に精神革命と耐乏生活を訴えている。もつともな要望である。しかし耐乏生活もおのずから限度がある。特に藥害關取においてはそうである。吾々學校教官の耐乏も底をついた一面正直者というか、その上に馬鹿とつくかー。とにかく日大人の中には、かくの如き者も多くいることを忘れてもらつては困る。こまるどころではない。うつかりさされるとのびてしまう恐れが多分にある。

平野農相の主食增配の可能性の言葉は、遲配欠配の現在の香々の頭の中へ入る余地なく、かえつて心に夏向の冷風が吹く。吹きすさんだ心に、芭蕉の「いざともに穗麥くらわん草枕」の句が思いだされる。せめて國民全部の勞働差による藥害必要量の平均的購取の出來る施政を熱望する。麥秋に隣は何を食う人ぞ

新內閣に望む 民主日本建設へ！ 働く農民は叫ぶ！

私たちの生活はいま重大な危機にたちつくしている。社會黨が第一黨となつた、働く農民が、勞働者が、いま心から期待し、要望しているものは單なる口約束でなく、社會の獨立日本を確認するみちは、新憲法を實行するに適切な國民精神の改革の諸施策の實行にかゝつている。

選擧の結果第一黨となつた社會黨の公約の大膽誠實な實行である。政策協定と連立でしられている社會黨の前にはいま二つのみちがひらけている。ひとつは資本主義に屈伏して、國民大衆をヤミとインフレの地獄にさまよわせるみちであり、もうひとつは社會黨を第一黨にゆくべきである。

私たちはみんなで、新內閣の正しい生長に力をそえたいものである。

（時報部）

社會主義政策を斷行せよ

小池清重

國民大衆のめざめにより社會黨は第一黨となり、日本の政權をにぎるにいたつた。これは歷史的にみて大きな一步前進である。だがこれで、被抑壓大衆である我々農民の搾取のおもしはとり去られて、自由の光りを仰ぐことができるであろうか。我々の利害を代表した政治が行われるであろうか。否我々農民は容易に

第三次農地改革を

金澤鐵城

國營にして早急に封鎖預金を解除すること、自由預金の金利は一割に引上げて貯金の奬勵をすること。一方闇利得者の財產沒收をやる。又は十年位の强制勞役に服せしめること。勞働者は徹底した遊休者、生產、勞務、消費、國民の調査をして職につかしめ、民主勤勞の生活安定策を決行すること。此の外要望すべき事は澤山するが然し國民一人殘らず協力する事を望む一國一家同步調で危局打開に邁進すべきであると思う。

低物價政策に徹せよ

黑坂和風

私は新內閣に好感をもつものであるが組閣途上自由黨を選ぶれとして相變らざる保守勢力の不合理な黨利黨略とその陰謀術策に落ち入り政策協定のワクに縛られあの腰の弱さは甚だ遺憾に堪えない。これに依つて新內閣に對する國民の期待と關心とは余程薄くなつたことは事實である。新內閣と云うよりは寧ろ社會黨に對し第一にこの點警告して置きたい。次に新內閣の當面する經濟危機突破の施策は綜合計畫と强力なる統制を要するが私は低物價政策に徹せよと提唱したい。そして民間の物價引下運動に呼應して政府は率先して範を示し先ず タバコの値下を斷行せよ。石橋藏相の所謂健全財政の內容は酒の增稅とタバコの値上げと云う國民大衆の負擔に依つて表面收支をつくろうたに過ぎないこの方法は徵稅技術も要せず收入の確實な點に於て一番樂であるが、タバコは寄侈品ではない勤勞大衆の必需品である。片山首相が大膽率直に國民に耐乏生活を要求したのはよい併し「乏しきを憂えず等しからざるを憂う」とは何時の時代に於ても政治の要諦である。大衆に耐乏を要求する以上インフレ利得者に課稅を强化しようとする百姓も逼迫した農業經濟の窮狀非常に粗食をしている故藥害を補給するために魚類をもつと安價に入手出來るように。

大重任は社會黨の責任

……宮澤安子……

此の度三黨連立の社會黨首班內閣が成立した。私共はその政策については多くの期待を持つものである。新內閣は現下の經濟危機を切抜ける爲に國民特に勤勞大衆に協力を求めている。そして首相は「新憲法の發足は從來旗倡と衝突に依つて動かされて來たかの觀があるこの政治を一てきして、裏も表もない公明な政治の實現に努力する」と決意を國民に言明している。ある百姓の老人がこんなことを云つた、「今度社會黨內閣に成つたからいくらか百姓の爲になるような政治をしてくれるだろう」と。單に百姓ばかりではなく國民それぞれの地位職域に於てこの難局を克服するには社會黨でなければならない如く信じている。それだけに政局を擔當する政黨こそに社會黨の責任は重大である。

だから先ず實施出來る範圍に於て民主的にしかも完全に危機突破の最大の障害であるインフレを克服し生產復興に力をそゝぎ祖國再建の光明を一日も早くもたらすことを期待する。又私達女性の立場から左にかゝげる二点を要望する。

一、纖維類をもう少し自由のないように配給すること。

二、重勞働をする百姓も逼迫した農業經濟の窮狀非常に粗食をしている故藥害を補給するために魚類をもつと安價に入手出來るように。

寄附御禮

一金拾八圓也　曲尾　智明
一金拾貳圓也　石田甲子男
一金拾圓也　白瀨桑太郎
右映畫會の爲に御寄附を頂きました。紙上をもつて厚く御禮申上げます。

青年團

論説

環境ということ

竹内敬吾

終戦を契機として、人間の尊厳が甦った。人間は人間として絶對の價値を有し、目的それ自身でなければならない……假にも國家の手段や道具視してはならない。ということから、教育の目標も、一人々々の人間を絶對の問題として、個性の開發、人格の完成をもろ〳〵のものを取去り、或はあまりに廣く大きくて、彼等が注意と反應するに堪え得ないようなものを、適度に調節し時には省き時には強めしてやるということに盡きるとも言える。

從つて、新しい教師の型は彼が限りない教育感に燃えているところの環境の整備に、不斷の精進を惜しまないと共に、そのような技術力創造力を多分に具えていねばならないと思われる。

よい環境が與えられたら、彼等は文句なしに生長し完成する〝家庭が、學校が、村が大切だと思う。人と物と自然とによつて形づくられる環境、彼等を刺戟し目ざめさせてくれる環境……この中に人間の尊厳を見出し、すべてを清算し、わずかばかりのほか實現されなかつた課題——たとえば、封建的な小作關係の廢絶、働くものゝ生活の徹底的改善、主として農村の民主政治の徹底等々の大轉換を知らずに、或はそれを知つていても、自らの慾望と利益のために、時代に逆行した考えをもち、かつ行動するものがいまだに多いのは遺憾である。

いま日本に展開されつゝある民主々義革命は、明治維新の折、行われなかつた、封建的なものゝすべてを清算し、向上發展を阻害するものである。封建的絶對主義的天皇制と結びつき、民衆の血と汗をしぼりとつて自らをふとらせてきた明治以來の一部の人々は、官僚政治をつゞけて行こうとするのが彼らの唱える「日本的民主々義」である。私たちは再びだまされてはならないことによつて自分たちをよく生かしうるとともに自覺しはじめた。このめざめた大衆の力は強大である。そうだ日本の民主々義革命は働くものによつてのみ遂行されうるのだ。そしてゆたかな行動性をもつ青年はその推進力である。

日本に、いまだおのが利得にのみ思いふけるものゝいかに多いことか。私たちは敵らがなおもみつゞける封建の夢をうち破り、日本民主化の障碍物をといのぞかねばならない。

（文化部）

青年の聲

封建の夢をうち破れ

世界の動きと、日本の大轉換を知らずに、或はそれを知つていても、自らの慾望と利益のために、時代に逆行した考えをもち、かつ行動するものがいまだに多いのは遺憾である。

いま日本に展開されつゝある民主々義革命は、明治維新よつてこれをはじむものは働く農民の敵であり、わが民族の向上發展を阻害するものである。封建的絶對主義的天皇制と結びつき、民衆の血と汗をしぼりとつて自らをふとらせてきた明治以來の一部の人々は、官僚政治をつゞけて行こうとするのが彼らの唱える「日本的民主々義」である。私たちは再びだまされてはならないことによつて自分たちをよく生かしうるとともに自覺しはじめた。このめざめた大衆の力は強大である。そうだ日本の民主々義革命は働くものによつてのみ遂行されうるのだ。そしてゆたかな行動性をもつ青年はその推進力である。

日本に、いまだおのが利得にのみ思いふけるものゝいかに多いことか。私たちは敵らがなおもみつゞける封建の夢をうち破り、日本民主化の障碍物をといのぞかねばならない。

（文化部）

新憲法と家族制度

香——裕

新憲法第二十四條に一法律は、一家の結成が國家と國體と結びつけて所謂家族一國家となし、絶對君主制の下にその權力家長權に甘んじて服從しなければなりませんでした。それ故に私達が今迄の生活に於て、自己の性能を充分發揮するという事は多くの場合不可能でした。殊に農村に於ては、すべて〳〵と成長する。

「我が家」の教育環境は如何であらう「我が村」の環境は教育的に如何であらう「我が學校」は環境的に整備充實されているだらうか。どことはいうまい、世の中が皆むずかしくなつた。併し、されば、そこそ考えねばならないと思う。せめて村の學校位は十分な施設を持つて、環境の充實整備を圖り、無智の教育効果を擧げ得るよう、お互に深思したいものである。

食糧危機はなぜ起るか？

M・T生

終戰後大部分の日本人はヅウの大半を『食糧不安』で占められています。そして人々はどうしたらこの不安をとりのぞくことができるかとまじめに考へだしました。ところが不安はますますつのるばかりであつて、ちつとも解決されませんでした。

ではそれは解決できないことなのでせうか？それとも解決できるものなのでせうか？

解決できるものなのです。

そしてそれは日本人が自ら解決しなければならないもんだいです。そうです、私達自ら解決しなければなりません。現在多くの人達が自分達以外の力でなければ解決できないと思込んでしまつていますがこれはとんでもないマチガイです。若し私達の力ではどうにもならない時は黙つていても世界の輿論は日本を救つてくれるでせう。私達自身が何の努力もしないで、それを望むことは虫がよすぎるし亦誰も貴に日本民族の再建の爲に救の手はさしのべてはくれないでしよう。

私達は自らこの不安を除く爲には、どうしてもその原因をつきとめなければなりません。それは働く農民の生活をカイボウすれば、誰にでもわかることです。しかもそれは日本を民主化する爲にはぜひしなければならないことであつて、農民だけでなく、日本中の働く人達はみんな知らなければならないことなのです

このことはくわしくは紙面の都合でかけませんから、ごく簡單にかきます。

皆さんは年寄りの人達からその人達の若かつた頃の農民の話しや亦「水ノミ百姓」といわれた殿樣時代の話を聞かれたでせう。あの「ナタネと百姓はしぼる程よい」といたげられていた農民と現在の農民とをくらべてごらんなさい。どれだけの差があるでせう。なるほど電氣が發明されたり、機械が發明されて恩惠は昔とはくらべものにならない程うけてはいます。そして現在の農民は他の働くものより食糧はあり一寸考へるとよいように思えますが、はたして農民の生活はよくなつているのでせうか。

決してよくなつてはいません。文明の恩惠をうけるのはあたりまえのことです。しかも充分には絶對にうけてはいません。なぜかと云ふと、まじめに働いたらだけ生活が向上するのがあたりまえのことであるのに、農民の生活はどうだつたでせう。朝から晩までよく働いても、まじめであればある程ますます喰えなくなつてしまいましたし、現在はむしろ昔よりもひどいではありませんか。

どうしてそんな馬鹿げきつた生活をしなければならなかつたでしよう。へんなことでなほ續けていきます。これだから農民はいつもドレイ的な、つかいをうけてきたのです。私達はなぜこんな狀態になつてしまつたかを考へなくてはいけません。

現在迄私達を支配して來たものはどんな人間だつたでしよう。彼等はどう云ふ具合に私達を支配したのでしよう。

私達は明治維新後は天皇を中心とした政府に支配されてきました。そのしくみを「天皇制」といひ、地主と資本家の二つの性質をもつたものです。

すなわち地主的性格を持つ支配者は殿樣時代となんら變らない地主的土地所有を續けさせる政策をとつたから、小作人は地主に收穫物の五割前後の世界一高率の年貢をとられていました。このことは日本農家が驚くほど發達しなかつた原因です。

自作農も亦決して地主的土地所有とは無關係ではありませんでした。苦勞をしてやつと土地を買つた場合、その地價は小作料の何十年分かを前拂したのと同じであつて、それを耕作しても正當な利益は生まれませんでした。なぜかと云うと、農業經濟を支配している地主的の機構と結びついて租稅と市場や高利貸とそれらに更に結びついた獨占資本の壓迫があつたからでした。

租稅は自作農民に對しては所得の二五―三五%をとりあげ、都市の物品販賣業者に比べると一七〇―一八〇%にもなつていました。

こうゆう地主的の土地所有は經營を極度に零細にしてしまつています。耕作農民の三四%以上が五反未滿の零細な經營であり、一町以下のものは實に六四%を占めている狀態になつてしまいました。

地主的所有のために絕えず不安とドヨウとハタンとに置かれていた農民經濟に對して更にそれをハメッに追ひやる駄迫とサク取の網を擴げていたのが高利貸及び商業資本でした。彼等は地主と緊密に結びついて、法外もないサク取をして更に地主的土地所有を發展させ、農村を負債の中に投げ込んでしまいました。そしてその負債は個人的な廣濟に對する無智と無力とによつて、いつも不利な取引をよぎなくされていました。

しかも農民の購入する品物は、殆んどが獨占資本の支配下におかれていて、彼等は最も深刻な不況時代を通じて完全に獨占價格をつくりあげ、常に「サギと紙一重」の交易關係をつゞけておりました。

このような地主的土地所有の現金收入は增大しましたので、負債は大部なくなりましたが、これは特異な一時的のものであつて、農業生産が資本主義的に發展した結果ではありませんから、依然として負債の問題が大きく殘されています。

このようにキュウ迫した農村の經濟を更に强める役割をしたのは、農產物の値が他の商品に比べて誠に不當なものにされたことでした。農民は農產物を賣るのは、利益をえる爲ではなくて、キガや土地を手ばなすことから逃れるために、精々生活のために賣られたのでした。ですからいはばギガ販賣をよぎなくされた農民と商人との取引は、その個々ばらばらな性質とか、生產期の同時性とか、物によつては蕊しいフハイ性とかによりかゝつてくわいて農民の經濟に對する無智と無力とによつて、いつも不利な取引をよぎなくされていました。

しかも農民の購入する品物は日清戰爭を始めとして、侵略戰爭を働くもののギセイにおいてなし、終に慘敗してしまつたのです。どの戰爭も、誰がもうけ、誰がギセイになつたでせうか。終戰後は誰が支配しているでせう。

私達は依然として、戰爭を起すことによつてかせぎ、戰爭中にものすごくもうけていたの奴等の一手先」に支配されているのです。だから彼等はわざわざインフレとヤミをまねきよせて、働くものがどうならうとかまわずにボウ大な利益を得ているのです。

食糧危機は實に彼等のこの不法な冷酷なるサク取が必然的にもたらした矛盾が集中的にあらわれたものにほかならないのです。

食糧危機を切り抜け、尚日本を根本的に安定化する方法はこれでわかつたことゝ思います。

そうです。私達は勇一に私達をしぼり取つている奴等から政權をはぎとらなければいけません。

と同時にあのいまわしい地主的土地所有をすぐなくさなければなりません。それにはまづ耕作權を働く農民が確立しなければなりませんし、亦働く人達はそれを援助しなければいけないと思ひます。

そうすれば働けば働く程明かるく豐かな祖國日本をつくりだす「基礎」が出來るのです。

反動勢力もあらゆる商業新聞やラジオを總動員して、自分で自分の首をしめています。彼等があがくことは、彼等がぶつ倒れる寸前にきていることにほかなりません。歷史は繰返すものです。若しあともどりさせようとか、このまゝでいようとしても、どうにもなるものではありませんし、亦そうなることを意識的にすることがわかつたりきるのですがつちりと腕を組んでやらうでありませんか。

全村民の注目裡に農民運動の先頭を行く
中澤多七氏にきく

我等農民の組織である農民委員會長の抱負はいかん、記者は、五月二十八日夜農民委員會長中澤氏に役塲迄御越を願つて、その抱負をお尋ねした。

問　農民委員會とは？　その現狀と運營について……

答　農民委員會は單なる農民組合や小作組合的性格であつてはならぬと思います。農民委員會が最高のそして唯一の民主團體として、經濟的問題を始め政治的、行政的問題の全責任に立つ。村を運營して行くべきものである。現狀はまだそこまで來ていないし、性格的にも、農民組合的性格を脫皮していない。それを決定し性格づけて行くことに全力を集中しなければならぬと思う。是は全村民の實任であり、又課題なのだ。

問　土地管理委員會について

答　土地問題の徹底的解決を期して、土管は生まれた。隨つて農民委員會は土地問題に於ては、一体的であるものと思う。

問　本村における農地改革はいかに行われつゝあるか

答　本村は略々順調であり、村民の理解と、農民委員會土地管理委員會等が積極的に又適切に協力しているので有難く思つている。

問　青年團と農民委員會青年部についての御意見は……

答　青年團は農民委員會がガッチリした組織になり、本然の性格を發揮してくると青年部へ發展的解消を遂げる。

問　女性の解放は如何にしたら實現されるか？

答　男性の理解と協力が最も重点的に考えられると思う勿論女性の自覺に即應してではあるが、女性が男性の從屬であることは人類の一大不幸であり、不自然なことである。是も封建的社會が作つた制度的殘滓であり必然的になくなることは必至だが、一日も早く取り除くことに努むべきだと思います。

問　結婚簡素化に就て……

答　封建的な身分關係が取り去られゝば結婚簡素化は出來ると思う。隨つて如何に身分的觀念や關係や環境を早く喪失せしめ得るかゞ問題として殘る。

問　農業會の運營は……？

答　官僚的機構と性格を除去して、耕作農民の、民主的機構と性格に切りかえることである。これから出來る協同組合にしてもこうした機構と性格をもたねばならぬことは當然だと思う。

問　農村恐慌の對策……今後の農村のあり方？

答　農村恐慌は必至だと思う。隨つてどう對處して行くかは、我々農民がこの恐慌の特殊性を呑みこんで、對策を立てて行くより外ない。そしてその先行となるものは矢張り、土地問題の徹底的解決だと思う。その基盤の上に高度の經營規模と科學的、機械化的農業に、移行せしめる。世界經濟のそして又世界農業の一環としての日本農業の建設を圖つて行く、そこに農業失業人口が起るが、是は農村工業等に依り解決を圖ると共に、國家が全責任を負つて對策を立つべきだと思う。

（文實在記者）

役塲欄

▽家屋新增築築届について

稅務係

家屋の新築增築をされた際は稅法第十八條に依つて屆出て戴くのでありますから增築又は新築なされた家屋は至急屆けてください。

▽日赤家庭藥入荷のお知らせ

厚生係

日本赤十字社長野支部より家庭藥が三百個入荷致しましたから御希望の方は厚生係迄御申出下さい。

價格及び內容については當區長さんの處に見本をお渡ししてありますから良くお聞き下さい。

尚次回分よりは價格が約倍額の値上りになります。

▽傳染病の豫防について

衛生係

腸チフスの豫防注射液が不足の爲今年度は豫防注射を實施する事が出來ませんでしたがこれから梅雨期に至り傳染病が相當發生する事と思いますから生水、生野菜等はなるべく使用しない樣注意して下さい。

▽醫療費の負擔金について

國保係

豫て醫療費の一点單價は暫定措置として、市部二圓六十圓郡部二圓三十錢となつておりましたが、今回長野縣告示をもつて市郡部共に二圓六十錢と決定致しましたから昭和二十二年四月より新價格をもつて計算致すことになりました計算方法は次の通り

治療×¥×80×0.7＝負擔金額

▽役塲事務分擔

役塲事務分擔が一部變更になりましたから村民各位に御通知致します。

一般事務統轄　宮澤村長
一般事務　耕地　學務
土木　耕地　學務
稅務　地理　土地
戶籍　臺帳
庶務　一般
書記　國民健康保險
警防　社寺　財產
配給　社寺
組合　森林組合　林務一般
險　衞生
書記　茂林　武石村より
武田（茂）　政次　長範村より
澤山組合　其の他
保健指導
通信事務
農地委員會一般事務

人口動態

○婚姻の部

荒井　政喜　十人より　上田市へ
齋藤　光子　丸子町へ
工藤　房幹　丸子町へ
平林　芳隆　十人より
池田すみ子　浦里村へ　野倉より
西澤　清一　東前山より　西前山へ
柳澤しげ子　和田村より　東前山へ
竹內ふさよ　榮徳　和田村より　東前山へ
倉島　助喜　丸子町へ
和田みさほ　西前山より
林部　忠吉　長野市へ
山極　淑子　手塚より　手塚へ
岡田　茂保　新町へ
小玉まさ子　武石村より
齋藤きよ子　鹽尻村へ
吉澤　政　山田より　山田へ
關　義英　依田村より
節　更級村上村へ
宮坂　かめ子　手塚より
山口　幸子　新町へ
江口　榮藏　名古屋市より
大澤　傳吉　東前山より
沓掛スエハル　宵木村より
龍澤　一男　野倉へ
龍澤ちさ子　宵木村より
佐藤　政市　東京都へ
柏　むつ　十人へ
鹽瀨　政次　十人より
田村　克美　長範村より

○出生の部（本籍人）

手塚　赤地總子　武雄長女
手塚　箭田清美　實良長女
山田　倉澤純子　正喜長女
野倉　啓　敏雄參男
西前山　白倉弘行　茂男貳男
東前山　黒坂明子　周平長女
●死亡の部（本籍人）
東前山　木下　浪子　一六歳
手塚　關　四九歳
齋藤ちゑ子　八歳

食糧獲得鬪爭 委員會に就て

政府の政治的空白は經濟にヤミとインフレとなつて現れ食糧危機を捲き起し勤勞者の生活を極度におびやかしている。吾々農民は困難なる條件下にもかかわらず供米を完納して來た。そして法定保有量の内より第一次、第二次の超過供出をして來た、可能だけの實行と義務を果して來た、しかし六七月の端境期に入つて今や全國的にも醜、欠配のアラシはふきまんとしている、今年の危機は去年の如きつづるのものでなく急激に無配給になるものの如く予想される、これは果して吾々農民の責任であろうか、否之は吾々の責任ではなく正に政府自からの手によつて解決す可きである、大衆の輿論をになつて社會黨連立內閣は生れた、農林大臣平野力三氏は就任に際して、1、當面の食糧問題は必ず解決出來る、しなければならない、2、一〇%供出完了後において「增配の可能性がある」と言つている、しかし現實はもつと〳〵深刻であり眞大なのだ、如何に農相が豐富なる經驗と智識をもつて確信していても單なる個人的にすぎない。解決するその道は吾々農民のための解決方法か、熟意さえ疑わざるを得ない、昨年行われた二十一年度產米穀の天下り供出の無能ぶりと今年の麥作の不良とを考える時昨びかゝる食糧危機がきた、村でも六月中旬からチハイがはじまつた、特に秋の端境期には食糧統制がはじまつて以來はじめての深刻なる食糧危機が來るだろう、拂われるは農民だ、それは第一次超過供出は强權が發動されるものでないにも拘らず强權が發動されるもので あるとの不法なる國家權力の脅迫によつて、これが最後だからと言つて收奪され今度第二次は町村長農業會長を入閣論と報償物資云々と言つて强引にくどき落して吾々農民の意志を無視して收奪してしまつた、しかるに政府は政府の責任に於てこの食糧危機を解決すべきであるにもかゝわらず、あらゆる惡條件の下にも義務と責任を果して來たわれ〳〵農民の負擔でのがれようとしている、吾々は再生產をあげるために必要な食糧を確保しなければならない。政府の責任に於てこの食糧危機を切り拔ける事を要求する必要がある。昨年秋行われた、天下り供出割當の無能ぶりと今年の麥作の全國的な不作とを考える時今年の麥、馬鈴薯の供出割當も非常に眞く再びかゝる收奪のくりかえされる事が豫想される、只官僚の天下り割當反對と言つた所で吾々自身に科學的な調査に基き生產高を把握してはじめて公平なる割當も出來、自主供出の基礎が出るのである。そして自主管理の發展する事が出來る。吾々は今起上らなければならぬ、吾々の生活權を獲得するために吾々は消費者の諸君と共に政府に要求する、受配者と互に反目し分裂してはならない、それこそ反動主義者の望む所である、吾々は要求を貫徹つするために、われ〳〵の鬪爭組織を作り、そして無責任な反動的な官僚統制を働く人民の生きる爲の要求をふみにじる過中をつぶさなければならぬ、この要求を必ず貫徹つするために全村一致の体制を整へ强固なる團結と總意を食糧獲得鬪爭に結集せねばならぬ。

これに付いて土地管理委員會農民委員會青年部は合同の臨時大會の決議により農民委員會が先頭に立つて食糧鬪爭委員會を組織することを申込んで來た。農民委員會は直に擴大執行委員會を開き滿場一致それに賛成し、五月三日總家大會を持ち左記の通り各委員の選出を終り委員は必ずこの要求を貫徹する事に決定しました。

去る六月十六日の村食糧調整委員會も委員七名を送り、食糧の鬪爭組織を作り、われ〳〵の鬪と共に活潑なる鬪爭を展開することになりました。

◎食糧獲得鬪爭委員

完全農家　轉落農家

十一人　酒井　林　村田久吾

東前山　横内正則

西前山　柳澤明朝　宮澤清廣

手振(黒坂邦一郎　池田信次郎

小宮山義次　荒井靜人

新　町　小林正衛　○田村治德

山　田　金井好德　○石澤大八郎

野　倉　平山武雄　青池重成

◎農民委員會食糧調整部員

○山極文雄

◎配給管理部員

○吉澤德治　○中澤　庚

◎土地管理委員會執行委員

○關田武信　○小池寅雄

◎農民委員會青年部執行委員

○曲尾平吉　○小林隆久

◎受配者委員

○曲尾重人　○中村忠人

◎村食糧調整委員より七名(各區一名宛)

◎宮澤峯喜

◎農民委員會正副會長

○中澤多七(黒坂　勝

○金井　好エ

農民委員會は恒常的組織であり食糧獲得鬪爭委員會はあくまでカンパニヤ組織であり强力な鬪爭体です。

○印は小委員です

農地委員會より

去る十二月農地委員會の結成以來本日迄の經過の大要を申上ますと正式會議は十二回他に必要な會合三回を重ねその間耕作權の移動は二〇四件審議。第一次買收の三號迄約二十八町歩(不在地主)を完了しました。その間異議申請は四件ありましたが全部否決されて一件が縣に訴願されましたが只今迄は決定通知を受けていません。未だ不在地主の買收は濟んでいませんが二三件を殘すのみで有ります。之から第一次の殘りと團体及び耕作地主の不耕作地の買收をします。此處で申上げる買收とは普通の賣買と異なり土地收用と原始取得でありますからその上に有る一切の權利は消滅するものです。今後の計畫は買收、賣付、分合です。委員會は與えられた權限に基いて前記の任務を遂行しますが、村民各位の絶心なる御べんたつが無ければより好い結果は納められないものですから皆樣の御協力が最高のものです一の不在地主の買收は九分通り濟みました。これからは團体、寺院、神社、農耕を目的としない會社等を目標に仕事を進めて行きます。

すでにみなさまは御承知の事と思いますが、去る十一回五月三十一日の委員會に於て寺院保有地六反歩、神社保有地は全部解放と決定致しました故その方針にしたがいまして計畫を進めて居ります。買收の第三目標は在村不耕作地主です、在村地主の保有面積は六反歩、經營最高面積は一町八反歩(縣第二地區にて六月三日決定)となりました故一町五反歩、自作の方は三反歩の小作地が持てるわけです。買收に對して不服の方は異議申請をして頂くことで縣農地委員會に向つては村農地委員會に異議を申請してある後に縣は決裂するのですから、必ず村農地委員會を經由することです。

買收の次には譲渡してす、不在地主の土地、寺院神社の解放を耕作している方は自分が買受者のように思いこまれている方がありますが唯優先權があるのみで農地委員會では現耕作者、現況をみて皆出來得る限り自作農になる機會を均等に受理するやうな計畫で居ります。一例を申上げますと甲乙が現在耕作を一町歩していたとし、甲の地のみが解放地である場合は甲は自作となり乙は相變らず小作で居るという場合は農地委員會は權限に基いて甲乙の耕地分合をしまして甲乙各五反歩つつ持てるように努力します。實渡と併行して土地の集團化分合を致します。近日内に賣受希望申請書及分合の申請書を用意しまして各區の補助員の手元に送付します。

尚最後にお願いします。新聞紙上他種々の雜誌、講演會で御承知の事とは存じますが、政府は農地改革に全力を盡して居ります、之を遂行するには村内各位の御助力によらなければいけません、一身上の問題から感情にとらわれ、亦よくある噂わずきらひになぬやう御不審の点は御聞きドされ、村内一人の不滿者もない樣、封建性打破の第一歩をそして更生の第一歩を團結の力にて遂行されます事を念願致します。新憲法に依る種々な權利を取得しましたけれど義務を遂行する人のみ受理する資格があります、何時迄もオブサリ主義で人がやつてくれるからその内にどうかなるだろう等の考えは捨て自から進んで自分の運命を開拓する樣に、人が教えたからやれと言つたから言ふさもしい氣持を捨てる事が第一の急務ですから元氣を出し足並をそろへようではありませんか

女子の意見の出ないわけ

男女同権といゝ乍らいろいろの會合に於ける婦人の意見が極めて少い。井戸端會議や茶のみ會議の些細話は仲々活發だがかんじんの場所で意見の出ないのはおかしな話……

風去りぬ鷲の塵近くきて

さみだれや雀の子達さわがしく

かえりきて古巢に語るつばめかな

俳句

…時報部選…

和風山人

杏桃咲く庭の朝の早く明け

初夏はものがなしかり夕されば丘のさくらに凪なりわたる

みゆき

おくれ咲くみどりの山の朴の花ひとつしずかにあるはすがしも

日ごと〳〵智慧づきてゆく幼子にねこの呼名をきようは教うる

注文の豎種十グラムへらしたり無肥料桑園を見まわりて父は

信　子

しと〳〵と降りそそぐ雨のひそけさよ池の蛙の夜をこめて鳴く

甲子郎

この厳とたくましき腕我にあり大きな希望こめて畑うつ

短歌

…時報部選…

あき

築りあう若葉山路日の照りて木をひく牛の見えがくれつつ

雨はれて獨胡山青く空に立つ葉がくれに咲く鈴蘭のしほらしき

天狗俳境

(山田)

…三峰庵遊月選…

天

うすき日のさして雨降る若葉かな　(白梅)

地

おだやかに暮るゝ廣野の霞かな　(志歩)

人

一ト池を我が物顔の蛙かな　(志歩)

五客

増産に勵む改良苗代田　(やよい)

人里を遠く離れて鳴古鳥　(志歩)

背景に組を控えて朧の花　(志歩)

鷲の聲こだまして谷深し　(源泉)

山吹や晝れ行く道の狹い程　(志歩)

軸

引き廻す霞包ふや茶臼山　(選者遊月)

ひろね

子供等に泣かれて終る晝寢かな　(秀峰)

農村の動き

研究會の動き

幹とする各種の農村問題に就き研究の幕を落し、五月二六日我等研究會の進路は如何と題し其の目標と方途を協議した。次期研究會に於ては、農村問題として取當年の血の叫びとなつて生まれた研究會は、其の會員の各研究運動が展開されている。

農村問題研究會

農村經營經濟を基生活科學研究會

女子團員の研究意欲の多い此の研究會は第二回目の研究に入り、生活を科學的に研究する一途として、生活面に非常にひびりあげられる農村經濟に就き講演會を行うことに決定した。

村政研究會

村の現狀は如何にあるか？と研究して村政に對する批判力を高揚せしむべく、研究を進めつゝある。

鄉土誌研究會

鄉土の出現は自然的に如何にあつたか？　人文は？鄉土誌の基礎的研究題目で有る自然鄉土に就きて其の研究を進めてゐる。

編輯後記

○革命は一夜にしてなるとも云えるし又百年の年月を要しても困難であるとも云える。日本の民主々義革命は明治維新に於て、吾々の先輩によつて着手されたが、當時の官僚的、地主的藩閥反動勢力に押され不徹底に終つて最近に至つた事は誰も知つて居る通りである。それが敗戰の結果八十年後の今日、ようやく本格的な民主々義革命の緒についたのである。

○科學的、理論的に不動の結論を打出て得ても現實的な力となるまでには相當な努力を要する。革命と反革命運動と反動は常に起り、現實の進行は一進二退的に見えるが知れないが、吾々はあく迄も人間の創造力と歷史の必然的進展を信じ、不撓不屈の信念をもつて民主革命達成に邁進せねばならない。

○新らしく出來た政府も政治そのものが吾々働く人民のものでなくてはならない。各層から寄せられた新内閣に要望する聲は如實にこれを物語つて居る。

○食糧問題は極めて重要な問題であるが特に端境期に於ける今日吾々は眞劍に考えるべきであろう。永い間不當な收奪を受け現在も受けつゝある吾々は如何にしてこの問題を解決すべきか「食糧危機はなぜ起るか？」の論說は誰にも判り易く然も根本的解決の鍵を示しているものと云えよう。

○意外にも本號に寄せられた原稿が多く、相當次號へ掲愛しましたから御了承下さい。

地主、自作農地委員改選

去る二十七日本村農地委員會地主、自作に屬する選擧委員より現委員の不信任の申立あり。申立同意者數が法定數に達したので村長は同日これを受理し、再選告知を行つた。

右は昨年十二月行われた選擧が非地主的との理由による

三、立候補届出期限　六月廿日(七月七日)迄とする。

四、投票日は投票日前日(七月七日)迄とする。資格確認の無きものは、その申請の必要上七月十日迄とす。

ものである。同意者數は左記の通り。

有權者	同意者		
地主側	二〇六名	一三五名	
自作側	一〇七五名	七一〇名	

尚これに伴う再選は、左記に依り實施される。

一、投票日時及び開票

七月九日七時より十六時迄

開票即日

二、投票場及投票場

全村一區、投票場は役場

西塩田時報

第7・8合併號

發行人　小池清喜
編輯人　曲尾重德
發行所　長野縣小縣郡西鹽田村手塚　西鹽田青年團
印刷所　上田市馬場町　秀信社

法の普及徹底を

山極寛

去年の十月農調法の布かれた直後、筆者も二三回目をとうして、實に生硬難解の作文法律であると思つた。

こえて數日某新聞社が其の社說に於て、同様の批判と感想を述べていたのをみると、專門の法律家ならいざ知らず平常多少の文字に親しむ程度の人々にとつては蓋し味讀体得は容易のことではあるまいと況んや云いたくなる。

それはおき、己に法律は布かれているのであり、また、ポツダム宣言に基いて行われるものであれば至上命令ともいうべきである。故にわれわれは好むと好まざるとに拘らず、忠實に履行する心構えが必要となる。

こゝで問題となるのは、去年十二月選ばれた委員はこの法の精神を味讀できたとしても、多くの村の人達に誤解徹底の手段がつくされたのであろうか。先祖傳來の愛着の土地、ねる目もねずに働いて求めた勤勞の結晶である土地から離れさせられる。即ち持てる者への同情と理解が充分であつたか。

かつてよくあつた新聞社や雜誌社が主催でやつた、いも堀り競爭にでもいつたつもりで、取つた者もうけで土地欲をかく、他人の生活を脅かしてまで小作權、耕作權を主張する手合に抑制の手段が講ぜられたか。封建時代の暴君のように法も生殺與奪の權利でももてるかのように思いあがつた者はなかつたか、又そういう事實はなかつたか。

一方的土地管理組合を作つて（地主を排除して）所有者の誤解なしに傾どりをするというような無茶な事はなかつたか、管理組合本來の姿がこれでよいのか、惰農でも、食慾者でも、小作者であれば土地がもてる。精農家であつても、解放土地を耕作しておなければ土地がもてないというような不公平な、いわゆる非民主的なことは絶對排撃されるべきであろう。

平和裏に農地改革が進行しつゝありという隣の村々でのありかたに反省と同調とが考えられたことがあつたかどうか。

不安とおゝどうに脅えつゝ半歳のなりゆきを見守つていた自作、地主、かたち上たつのが即ち今度のリコールである。よくもあれだけの大衆運動が、一日二日で出來あがつたものである。驚嘆に値する即ち神の聲ともいうべきであろう。三思反省せらるべきであろう。

こゝに於てわれら新しく任にあたる者は勿論、前任の委員も、倶に奮勵精進して、願わくば、明るく平和裏にこの使命を果したいと思うのである。

まずとりあえずその一つとして、二十六日頃十人を始めとし、八月一日頃の野倉を終りとして、農地關係各層のお集まりを願い、委員や、書記がでむいて、批判や希望を伺いつゝ、法の普及てついを期している。

切に今後大方の批判にたつた御協力を希つて擱筆する。

○……○

しんそう箱

土地管理委員會書記局

新聞記者におまんまの種をあたえている「リコール制」採用の眞相はどんなものでしようか。今日はそれをはつきりと、うきぼりにしてみましよう。

日本は民主々義の道をふみ出したばかりです。だからみんな若い。その若いのを利用して、すぎさろうとしている「半封建的、軍國主義的、ファッショ的」支配の回復をねらう、ごく少數の人達の最後のあがきと言うよりほかはありません。

彼等（十名にもたりない程の反動のこち〳〵をさします以下仝じ）はまず第一に、前の農地委員の選擧が非民主的であつたと、わめきたてゝいますが、全村に通知をだして各階層別の大會を開いて候補者をきめたやりかたと、今度のように、特定の人達のみ各區毎に集め、一見相談の上ならう、ごく少數の人達の最後の希望し、敢て左記の諸氏に御意見を求めたのである。

原稿依頼者（略敬稱）

○リコール請求側
地主層代表　○小池　保男
自作層〃　○宮澤　正
新委員〃　山極　寛
前委員
地主層代表　佐藤　清美
竹下　延廣
金井　好衛
中澤　多七
自作層〃
○第三者
中島　榮知
東前山　山田
○竹下　幸吉
西鹽田村土地管理委員會

附―○印ハ不參加

2、要求側原稿少き爲竹下氏、中澤氏の原稿は掲載致しませんでした。

農地委員會のリコールをめぐつて

時報部

農村の民主化は日本民主化の基本的要素である。第二次農地改革は農村民主化の基礎であり、農村の封建性を打破し、過去の奴隷的壓迫から農民を解放し且つ農地の生産性の增大を目的としていることは衆知の事實である。

去る七月九日實施せられた本村農地委員會地主自作層委員のリコール制實施に併う改選は、この意味に於て村民一大センセーションを捲き起こしていることは極めて意義深いものであるが、お互にこの問題を正しく批判し、本村明日の飛躍への糧たらんことを希望し、敢て左記の諸氏に御意見を求めたのである。

紙上討論會

原稿依頼者（略敬稱）

○リコール請求側
地主層代表　○小池　保男
自作層〃　○宮澤　正
新委員〃　山極　寛
前委員
地主層代表　佐藤　清美
竹下　延廣
金井　好衛
中澤　多七
自作層〃
○第三者
中島　榮知
東前山　山田
○竹下　幸吉
西鹽田村土地管理委員會

附―○印ハ不參加

2、要求側原稿少き爲竹下氏、中澤氏の原稿は掲載致しませんでした。

新委員の健闘を祈る

佐藤清巳

西鹽田農地委員會地主自作層委員リコール實施の見出しで、新聞紙上は委員の狼狽を傳えていたがこれはどちらの委員に對しても當らない報導であつた。吾々は今日までに二百件余りの問題を處理して不在地主の土地に對し、全面的に買上げの運びに押進めて來たのであつたがその間常に、論議百出地主に返える土地或は否定されるもの右に、左に、地主側の申し分としては細々乍らその要求の一部位は、通つていたような實情であつた兎に角地主自作共に成すべき農調法や自作農創設特別措置法をどうした成しない。即ち未だ全面的殺展をしておらぬ農民委員會及び改革推進委員會に委任のような形で進んだ結果である。

ともあれ吾々は今度の方法は亦すりこぎを持つて切腹をせまられたような感じである。正宗の名刀とはゆかなくても刀位は用いて戴きたかつた次第である。申す迄もなく農地委員會は吾々農民に許された唯一の然も最も頼もしい審判機關である。それの立派な發達經營いかんは直ちにその時代に適した進み方を

「增地的土地所有」が日本の働く者全部を苦しめてきて、終にいまの樣なみじめな狀態にされてしまつたことは、もう誰でも知つていることがらです。だからこそ通合國は日本政府に土地改革をやらせているのです。それをさぼつたり、おくらせようとしているのは、彼等と彼等が選擧した保守勢勳陣營ではないでしようか。

次に彼等は土地管理委員會に入つていれば土地の不買を强制されるとおつしやつているようですが、買わない方が非常にとくだから、なるべく買わない方がよいと言うだけで、買い度い人達をなんらさまたげるものではありません（買わない方がよいことは至極簡單ですが、いま迄の社會狀態が悪かつた爲に一寸わかりずらいかもしれませんから御研究下さい）

最後に彼等は盛んに「反共」を唱えていますが、本委員會は政黨支持の自由が原則であつて、われ〳〵の生活を正しく豐かにしてくれるものは誰でも味方であり兄弟です。

この事は日本中、いな世界中がそうであるべきだと確信しています。

以上で彼等はなにをたくらむかは其の後の彼等の動きとくらべてみれば誰にでもすぐわかることだろうと思いますわれ〳〵は土地改革を徹底的に行つて、農業生産力を一日も早く世界水準に達するように働く者が全部で力を合せて進まなければならない時にぶつかつています。それをはゞむ奴等は全勞働人民の敵です。とう言うことは、彼等が自ら首をくゝつたと同じことです。そして息の根がとまりそうになつているのは小作人がくゝつたんだとわめきたてゝいるのはおかしなことです。世界的に有名なあの高い現物小作料を取られ、それを恩に着せられ、その上支配權をにぎられていたあのいまわしい

達がいますが、他の青年諸君はこれからつくり出した世の中で諸君が生きゆくのですから、正しいか正しくないかを農民で出來るようにしようでよくみきわめて行動されることを特にお願いします。

本委員會の會員の人達は一致團結して進みましよう。團結は最上の武器です。そして土地管理を全村で、いな働く農民で出來るようにしようでよくみきわめて行動されることを特にお願いします。

正しい者が勝つ時がきていることを明記しましよう。

談日後リコール

……【金井好衛】……

私は前自作層選出農地委員の一人として、今度行われたリコールに就いて少し所見を述べて見たいと思う。

リコール前の農地委員は夫々の階層選出の委員として自らの立場を固執主張したのではない。階層を離れて今度の農調法や自作農創設特別措置法をどうした立法の精神に適うように納制に影響されて在村地主の方でも、たとえ百坪から南瓜三つとつてもと云つた考えや日傭人を入れても法外作料を取り立てようとする傾向は各所に見受けられる。これらは一概にも悪いとも言えるが、然し今日本は破滅か復興かの關頭に立つている。この重大な時、劃期的な土地革命への重要法律が實劍に行われるか、行われないかは實に重大である。そしてこの日本始まつて以來の改革を行うには、いづれの時期においてどの階級の人達かに一應苦しみを忍んで貰わなければならないと思う。

このような事情から農地の返還要求や、買收農地の買上げ豫防工作等が頻々と行われる。けれども所有權はどうにもならない、耕作權が耕作者に在る農地の土地が無理作に取上げられると、農業經營を十分に持ち而も農業以外に活きる途を持たない者の多い此の階層（純小作、小作

（以下二面へ）

論說

家庭科を中心にしての生活科學について

L・H・生

今や我が國は大變革期に直面し、創世紀が肇められつゝある。從つて國家構成の單位としての家庭生活にも、當然新改革の要が滲透してこなくてはならない。現在及び將來の生活がいかにあらねばならぬか……との課題は愼重に再考せねばならない課題であつて、一體家庭科は健全なる家庭建設を育成すべき溫床であり、家庭をとゝのえる體見とその實技、實能とを蓄うものである。その精神的方面の啓發を養成するのが、いわゆる社會科であり衣食住等の物質的、經濟的方面を經營するのが家庭科なのである。而して古來「お針」と稱して消極的そのものを對象として、徒に從來やり來りの傳統と因習とのみに依存して生活方法を改めなかつた。然し消費經濟の殆ど全部を引受ける婦人にとつては科學的な見方、考え方處置方を日常生活の實際にとりいれてくる心掛を、是非もつて貰わねばならない。

此に二、三の考えをのべてみる。

一、處の個性を活かす

いゝかえれば、當時の特殊事情に鑑みると同時に、地方的特殊性を活かさねばならぬ即ち、山菜の採集、野草の利用、鄕土食の振興等も確にその重要な對象であるに相違ない。

二、創意と工夫

從來、女子教育と、男子教育とは、家庭科の履修如何によつて、區別されていたが、現今では男子もお、家庭科の一部を課するようになつたこの時に立到つて、物資不足の狀態をしり、炊事、調理、洗濯、清掃等、すべて科學的合理的な頭腦をもつて處理してゆかねばならない。

對外的には、科學的基礎知識の低下してゐる吾々には、質的關係に偏せず、最的にも考慮して健全なる實現をなし得るまで徹底さねばならない。

三、婦功を通じて年中行事の活用

女子の特質から考えて、今日では情操陶冶の一面に開却することのあるを感ずる。物を美的藝術的に、觀賞しようとする情操陶冶と、科學的訓練とは、調和し難いものかのような感を抱く者があるが、それは決してそうではないと思う。特にゆかしい古來の年中行事に、新しい途を見出して、之を活用することも有効にして適切な途であると思う。家庭科に於ても、割烹、洗濯、技藝丈を得させればそれでよい。というだけでなく家庭科の倫理化とでも名ずけようか、とにかくこの婦功を通じて科學指導をなし、進歩をみなくてはならぬ。

なお具案的、承統的教育もかくべからざるものであるが仕立直し、仕立替、改造、更生利用等、實際的要求に即應したものを會得し、促進させて行きたいものである。

國民病とも稱せられる結核の增加と、乳幼兒死亡率の多いのも、母親の科學的知識の低下に多大なる關係のあるを知り、兒童期に於ての模倣心、穿鑿心など、いたずらに抑制することなく考慮し、青年といわず、成年に於ても、科學的な憧憬より實力を培い、婦人の地位と向上とを高められん事を希望し、家庭科を中心として、思い淨ぶまゝに隨筆的漫錄的に書きつらねて諸賢の御叱正を仰ぐものであります

〝感ずるまゝに〟

Y・Y生

新聞に時々最高司令部より談話が有ります不和雷同、認識不足一部の信念の無い、二又こおやく的な自分の野心を中心とした不心得者の煽動に、深い考えもせず行う事が實に恐ろしい、命取りになるような事が有ります。こんどの、リコール申請調印者の中に調印後、後悔したから取つたと言う話

村當だより

◎六月三日午后二時村議會開會、土木部、衞生部の常設委員欠員の爲、土木部　內田　衞生部　竹下　兩氏推選す。

川西病院組合設立に付き前委員金澤氏より新規約承認の件を說明決定する。

續いて組合會議員二名の選擧の結果、金澤重威　兒玉律兩氏當選する。武田議長　本會議閉會を宣し協議會に移る。

新設中學校費の問題、部落會解散に關する處置方法等協議五時半閉散する。

◎七月一日午后二時より協議會開く、新設中學校費支出確定、川西病院組合負擔金確定新學期實施準備協議會費、農事課新設に伴う人件費は今後研究する事、駐在員手當問題は事重大につき留保する等新縣令に基き村議會に常任委員設置することになる。新條令の規約起草と部門の研究するため三名の委員選出し議長副議長の五名に委嘱する。

◎七月十一日午后一時より村議會開會す二十二年度本村歲入出追加更正豫算（第二回）を協議する。一金六拾万四千百六拾一圓也　歲入出更正豫算高一金三十三万二千二百九十三圓也　歲入出既定豫算高確定する。

本村々稅賦課徵收條例の一部の改正を承認する。其の他西鹽田村議會常任委員會條例設置を確定し本會議閉會し協議會續行、村長より駐在員手當問題の件を計る。駐在員の廢止か、名譽職として少額に止むるか、全面的に駐在員が仕事をするか、酒部落會の擔當率が區々なる爲、其一定率も叫ばれ、且他の役長との物的精神的に及ぼす反響の重大性もあれば留保研究となる六時半散會する。

◎西鹽田村議會常任委員會條令　七月十一日提出同日議決

西鹽田村議會常任委員會設置條令

第一條　本議會に左の常任委員會を設置する。

一　總務部　委員會　六名
一　經濟部　全　五名
一　土木部　全　四名

第二條　常任委員會は議會に於て議員中より之を選任し其任期は議員の在任中とする。

第三條　常任委員會は各部門毎に委員長を互選する、委員長は會務を掌理し委員會を代表する。

第四條　議長、副議長は何れの委員會にも出席し發言する事が出來る。

第五條　常任委員會は其部門に屬する事項に關する調査研究を行い、其經過及結果を議會に報告すると共に重要なる問題を議案として議會の審議に附することが出來る。

第六條　各部會の擔任する事務事項は概ね左記の通りとする。

一、總務部
村財政の計畫、豫算、決算　村議會、統計、調査、消防團村財産の管理其他
一、文敎厚生部
村立學校、社會事業、青年團、婦人會、其他敎養團体保健衞生、体育、學術技藝宗敎、援護其他
一、經濟部
一般産業、食糧増産及供出物資配給、農地改良、産業團体等、農地

農地委員會欄

農地委員の改選

リコールの申請が有りました結果、左記の方が重大使命を負つて當選されました。今後共一層村民各位の理解と支援を願いまして、土地改革の線に添い遂行致すべく決意をしております。

土地問題を解決する鍵は村民各位の力に有ります事は言う迄も有りません。濫つた見方で阻害する事を、無意識の間に行う事を除く爲近日中に各區を巡回土地の買收、賣渡、耕作權、等々に付御相談、御話し致しまつて啓蒙の一端に亦話せば判る、所謂納得の行く、然して強力なる支援者個々の人が自分の事は自分の手でと言う氣持を持つて頂く樣御願い致します。前記の集會には御多忙中ですが必ず御出席願い當容易でない。何故ならばその收穫迄に永年を要するものにして、その間林業百年の大計に比べてその經營の新轉換は申されません、油斷しないよう御注意下さい。病原菌が私達の豫防を服藥したからとて必ず速に醫者に診斷して貰いましょう

四、川水溜水等で食器洗は必ず煮沸して飲む事

森林組合總會

本村森林組合は七月三十日午後役場に於て第五回通常總會を開催。

一、昭和二十一年度業務成績報告
二、本年度事業收支計畫
三、本年度借入金の最高限度

等決定の後、監事の滿期改選及理事黒坂重市郎氏辭任に伴う補欠選擧、定款の一部變更の決議をなした。

役員當選者左の通り

理事（一名補欠）　竹下喜信
監事（五名改選）　宮澤兵部　黒坂　勝　佐藤清巳　市村　誠　龍澤　陸

役場欄

消化器系傳染病の豫防に就て

衞生係

八月に入り愈々本格的な暑さとなつて來ました、村民の皆樣傳染病豫防の心得は出來居られるでしょうか。これからが一番恐しい傳染病の發生期です。お互に身体に注意して、今年の夏は惡疫の發生を未然に防止いたしましょう。

七月腸チフス、赤痢の豫防藥を服藥していただきましたが豫防藥を服藥したからとて必ずしも傳染病から免れるとは申されません、油斷しないよう御注意下さい。病原菌が私達の隙間を狙つて何時侵入

この結果山林は常に荒廢し、緑化は停滯し、延いては國土保安上重大なる影響を及現すること明かなり。百年の大計を樹つべき林業は時代のイデオロギー若しくは一時部者により大綱を左右されるとき、日本林業將來の爲誠に憂慮に堪えざる處なり。加うるに近來の林力を顧みぬ過伐盛伐は林野の荒廢其の極に達し此まゝ放置せんか林産物の特續性を忘却して左右するが如きは嚴にいましめ、百年不動の政策を樹立、民心の安定を計るべきである。

1　財産税の徵收から進んで有財見制度もどうなるか判らない、農地改革の山林に及ぼすことをおそれる。

2　國有民管制がいつ採られるか判らない。

3　勞賃、資材等今後の昂騰等並に數十年後の價値に對する疑惑

4　强制伐採說に對する脅威

大体以上の点が擧げられるが、爲政者たる者は林業政策百年の計に立脚、其の特異性を忘却して左右するが如きは嚴にいましめ、百年不動の政策を樹立、民心の安定を計るべきである。

（文賓　重田）

農地の買收對價について

八月四日縣農地第一五二號農地等の買收對價及び報償金については千圓未滿の端數の外一世帶當り四千圓迄を現金拂とする事に定めてあるが、

第二回（七月二日）買收以後の現金拂分は千圓未滿の端數金のみとする事に變更した旨縣農林省より通知があつたので今後提出する報償金對價支拂一覽表作成については右により措置せられたい。

御承知の通り今迄の本村買收計畫は第二回です故左樣御承知下さい。尙何が故にと言う事は八月八日上小地方事務所にて縣農地課平野事務官より說明がありました故、近日中に出します農地ニュースにて御話し申上げます。

（文賓　傾山）

人口動態

□出生の部

山田　金井和美　清三長女
手塚　小池松次郎松五貳男
手塚山極志津子平五郎長女

□婚姻の部

山田へ　勝明　貞女
青木村より
浦里村へ
西前山より
上田へ
野倉より
野球大會

八月二十四日
會場　西鹽田小學校々庭
方法　午前八時より
トウナメントに依り
實施す

編集後記

○都合により第七、八月合併號として發行することゝなりました。

○八月は日本敗戰の月、あれから二年經ちます。生れ變つた日本の姿をもう一度振返つてみましよう。

○それと同時に私達は私達の村の狀況をはつきりとつかんでいきたいと思います。

○拙い編集でとても御滿足に遠いこと、存じますが皆樣の御意見により、より良き時報を育てゝゆきたいと存じます。どうか活發な御意見と御投稿をおねがいします。

○原稿締切　毎月五日

青年團

總務部

○厚生部長中井翌
　瓶雄君退團の爲
　部任後任新厚生部長　竹下正夫君就任

○縣連青主催文化講座
　八月十五日より十七日迄
　於長野市山王小學校

八月十八日より二十一日迄
　於岩村田町北佐久農學校

○公民館設立研究委員會結成
　公民館設立推進の爲委員會を設置目的に進むことゝなつた。

會長　小池清喜
委員　竹下照子　宮下榮法
　重田勝人　樋口幸子　龍澤幸三　龍澤幸　曲尾重德
　宮越和子　竹下正亥　小池民子　荒井時雄　鷲原とみえ　以上

厚生部

戰時中低下した國民体力の向上をはかり戰後の困難な制約を克服してスポーツを通じ明朗な國民生活の建設を促進せんが爲に左記に依り、本團の野球大會を開催致します。

科學隨筆

卵を立てた話

小池清喜

最近の全世界に亦新聞界にはては學界に迄異常なセンセーションをまきおこして人氣をさらつた立春に卵の立つ話は私も大きな興味を持つてこれをむかえた。

この話の起源は中國人に依つて一九四五年即ち一昨年から始められていたそうであるこれは中國の古書に立春には卵は必ず立つと書いてある事を發見した事からやり始めたらしい。

立春即ち正確に云つて日本時間二月五日午前零時五十一分になると今迄立たなかつた卵が立つと云うから原子力時代の今日不思議中の不思議と考えられた事は當然の事であつたに相違ない。私達はコロンブスの卵を立てた話は良く知つている、このコロンブスの話をくつがえす程の奇現象が今原子力時代にその脚光を浴びて現出した事はコロンブスの偉理を根本的に否定するものとしてジヤーナリスト達に盛んに書きたてられたのも無理からぬ事である。お蔭で上海では一ケ五十圓の卵が立春にたちまち六百圓に上つてしまつた事實に徴しても只事ではなかつた事が分る。

卵の立つ理由として或る人は裏さに依り卵が凝固するため重心点が下るからだとか或る人は地球の廻轉の影響とか實際實驗もしないで說を立てゝ簡單に片づけてしまう科學者が多かつた。

一体立春に卵が立つのだろうか。私も新聞に出た日にやつて見た。然しどうしても立たないのであきらめざるを得なかつた。そして科學の神秘と矛盾を信じてしまいそうになつた。だが全ての現象は科學に於ては絶對不思議はないと信じていた頭がどうしても許してくれないで始終モヤモヤしたものが殘つておつた。

そして卵の立つ根據を頭の中で色々考えて見た。そして考えた末次の結論を得た。卵が板に接觸する微少なそれこそ顯微鏡の助けを借りなければ見えない程の面積の中に卵の重心が地球の引力に依つて引かれる假想線の中に入れば必ず立つに違いないと考えつゝだから丁寧にやつて見れば立春でなくとも必ず立つと云う確信を得た。

或る日勉强している中にふと卵の話が頭にこびりついていて急に實驗して見たくなり實驗にとりかゝつた時は夜の十時過ぎであつた。そして何回も辛抱强くやつておつたが立つたのは十時半頃であつた家の者はもう寢てしまつていたが私は遅りの夜の靜寂の空氣を破る鋭い頓驚な聲を張り上げて卵が立つた卵が立つたと騒いでしまつた。家の者を無理して起して見て貰つたこんな事に子供の如く喜んでしまう自分に一面苦笑せざるを得なかつたが小さな現象のために飽くまでもそれを探求しようとする態度を何時迄も持ち續けなければならないとひそやかな喜びを感じ乍ら決意した。

この事を契くる日の科學の探究心について中におりをぜて生徒に話してやつた。生徒も少からず關心を持つて聽いておつた。果せるかなその次の日卵を立て得た生徒は半數もいた。

世の中に不思議と云ふものは存在しない。必ずどんな現象をとらえて見ても必ずそれが生ずる根據を探究しなければならぬ。科學は机の上の理屈ではなくて必ず眼に見えるものである。私達の生活ももつともつと合理的なものへと眼をむけて行く態度が欲しいと思想の貧困をなげかわる今日全てのものえも鋭く追求しようとする熱意が望ましい。特に青年として時代の感覺に乏しい事は青年としての價値はない。知らないものを知ろうとも努力しないで物事を判斷して行く所に大きな反省を加えねばならないと思う。單に卵を立てる小さな話しで終つてしまう様だつたら日本は益々世界の進運から遠ざかつてしまうだろう。

新らしき村づくり
新興會の新發足

手塚新興會

西鹽田農民委員會は全村加入という名目に今年はスタートしたが全村加入とは名のみで全村加入し出來ず、委員會の支配勢力が共產黨員の黨勢力擴張に利用されたというのも當然である。

去る六月末地主自作の農地委員にリコール制實現となり農民委員會の諮君は會長を始め有力なメンバーは共產黨員である。從つてその指導方針は押して知るべきである。本村農業の安定策を講ずるよりも村は破壞されても左翼思想が活潑化を喜ぶであろう。土地管理組合や青年部というラックッションを作り活動している。此の左翼行動の罪惡を根絶せしむべく新興會が出來た。即ち此の團体は非階級的であり、協調的であり"その意味に於て保守的である事はいうまでもない。然し農地法改革にしても、農業協同組合の實現にしても、和衷協同的に「平和な村づくり」に努力したいと思う。近く同志が一丸となつて、西鹽田連合會がスタートするであろうと語つた。

會長金澤重威、副知中讓信氏等各部落組合から十二名の幹事をおき、結成と同時に農民委員會を脫退する決議をした。

本村今後の發展の爲、二大思潮の成行こそ注目に價する。

友への便り
よろこびの日を待ちつゝ

きよし生

K君　信濃の山奥にも夏が訪れてきた。夏になると私はいつも〝山奥の谷川に朝夕清流を汲むのはいゝなあ！〟と町で云つた君のことばを憶いだす。もうあれから十年近くなるねーほら、あの上田公園の櫻の芽がもえそめたころ、千曲川のほとりでお互いの將來を語り、はげましあつて別れてから……。あのころ私たちは熱狂的なキリスト教徒であつた。良心の躍動しているイエスの教えは、暗黒の世に惱みもだえている心に深くくいいつてきた。そしてわりに單純な君は神學校へ進み、懷疑的な私は孤兒院へとびこんでいつた。そのめざすところは一つ—どちらもわるいと道—。

K君　君が胸をおどらせて學校で神學をまなび、傳道者として町に村にイエスの福音をのべつたえてゆく日を美しく夢みていたとき、私はすでに軍苦しい壁につきあたつてなやんでいた。みなし兒を抱へて多摩川の堤を涙ぐみながら歩いていた。多摩川の水は清く澄んでいたけれど、堤の松林ごしに眺める富士は美しくて輝いていたけれど、人間の世界はあまりにもみにくゆがんでいた。大々とこの世に放りだされて—そうだまるで犬ころのように放りだされてくるみなし兒、父なし兒が院にあふれた。〝どんなに心をつくしたとて、男が女に、女が母に及ばぬを知りしいまみなし兒よ〟お前たちに天の使を呼んでやりたい〟と嘆息し、親のある孤兒？について君に語つて社會惡を憤つたものだ。

K君　あの多摩川が珍らしい大雪にみまわれた朝、醫者にもろくく〳〵かゝれずに死んでいつたみなし兒を火葬場にはこんでゆく私の胸はふるえていた。なまぬるい愛ではだめだ。感傷をのりこえてゆくのだ—と心をかためた。ひとにぎりの骨燼に納まつた幼兒—私が手がけた最初の孤兒が地上を去つていつた日のことだ—

K君　夢みる者—といわれた二人は失敗してしまつたなあ—。君は將來を惜しまれつゝ牧師をやめ、私は傷つき破れた身と心を山奥に—そしてくすぶつた日を送つている。

K君　しかし—劍と無知が日本を支配していた時はもうちかつことによつてのみ實現されるのだ。私たち一人一人の力は小さいけれど、みんなの力をあわせるときは强いのだ。暴力がこの世を支配する日はすでに過ぎ、本當の正義と愛が盛れる日は近づきつゝある。

K君　〝いまだ日は近し〟ああんなにも力强く大地をどよもしてきこえる。民主革命へ—民主革命へと雄々しく進む大衆の歌聲が足音が—

研究會より

生活の向上と解放を求めて！

生活科學研究會

私たちが健康にして文化的な生活への到達と解放を求めて研究會を結成し、講座をひらくことすでに四回—

第一回　生活科學概論—竹内先生

第二回　榮養學の基礎知識—守榮養士

第三回　日常生活と細菌—守榮養士

第四回　家庭醫學—夏期衛生傳染病について（紙芝居併用）—市村保健婦

研究會出席者がわりにすくないのは殘念である。私たちが解放され、文化的生活をいとなむためには生活の科學化合理化が大切である。衣食住のことから—その他よくない古い生活慣習から脫して、正しい民主的生活慣習を自分たちのものとするため研究をすゝめてゆきたい。若い私たちがなさねばならぬことはずいぶん多い。そのためみんなで學びたい。

もつと多くの方が（男女不問）研究會に參加出席されることをのぞみます。

◎御寄附—研究會では山田の竹内先生より御寄附をいただきました。

音樂の夕

音樂研究會

現在の世相は、人心は全く混迷と嵐の渦巻である。青年は常に純潔なれと教えられて來た。事實そうでなくてはならぬが兎角青年は環境に支配され易い。それ故に現在進行せる思想問題又政治、經濟等の諸問題に青年の尊い純潔さは失われ、變化しつゝある。此に於て吾等はあく迄純潔さを取りもどすべく、若さとゆるがぬ情熱をもつて實行せねばならぬ。現在の荒れはてた心を再び明るい世界へ甦えし、併して廣大なる理想の下に足並揃え一歩〳〵大地にふみしめて歩みを續けよう。

幸い六月志有るものに依り玆に音樂研究會なるものが發足し、今日やゝ軌道にのり活發なる運動を展開しつゝある音樂を學ぶ事によつて、失われし愛を又自然えの感謝を換氣し、愛と感謝の生活を育み出し人類愛に基づいた平和なびび共に榮高らかに歌おうではないか。

（市村）

類に約せし事を實現すべく會員諸兄等と共に奮うのだつた時は次第にすゞ道行く人も絶えく〳〵となり、きこゆるものはそよ吹く風にゆられてなる草木の音、小石を洗い流れるあの水の音、教えの學舍も竝に於て吾等はあく迄純潔さを取りもどすべく、若さとゆるがぬ情熱をもつて實行せねばならぬ。現在の荒れはてた心を再び明るい世界へ甦えし、併して廣大なる理想の下に足並揃え一歩〳〵大地にふみしめて歩みを續けよう。

幸い六月志有るものに依り玆に音樂研究會なるものが發足し、今日やゝ軌道にのり活發なる運動を展開しつゝある音樂を學ぶ事によつて、失われし愛を又自然えの感謝を換氣し、愛と感謝の生活を育み出し人類愛に基づいた平和なびび共に榮高らかに歌おうではないか。

（市村）

短歌

野倉　淺茅生

そのむかし糸に通して遊びたる日を思えと柿の花ちるまづしかる生活が中央兒らがため色紙買いきて星祭りせむ

野倉　志げ

一人いて雨の夜に聞く汽車の笛淋しく胸にひびきて消ゆる

青淵の底にやどりて月影の光涼しき夏の夜の月

新町　圭子

夏の日を田に入りおれば久々に針もち手もはかどらなくに

花鋏涼しくぬらし朝庭に咲きのよろしき花さかりゆく

栗の花咲きしづもれる村道にぎおん祭　あ幟はためく

俳句

山田天狗俳壇

—三峰麓遊月選—

天

田植して疲れた母の肩さする山すゞらん

降り足らぬ雨の照りつく暑さかな　志

地

梅雨晴れて寢具干し居る日和かな　涼泉

夕立の晴れて見廻る田圃かな　やよい

人

居たと言う聲に集ふや蟇狩り　やよい

湯上りの客にすゝむる團扇かな　やよい

正義が勝ち、オリーブの旗へ平和のシンボル）がひるがえる日までたゝかいつゞけようと。

西塩田建設連盟

結成さる

最近結成準備中の建設連盟は去る八月六日その結成をみた

會長　宮澤兵部

副會長小池寅雄　大庭直人

書記局柳澤　佶

分團だより

◎東前山分團は左の二氏より御寄附を戴きました

一、金拾圓　吉田　尚綵

一、金五圓　安藤　龜喜綵

◎前女子部長鴛原とみ江綵辭任、後任に小宮山タキ綵就任（東前山）

◎講演會開催—手塚分團に於ては「青年團今後のあり方」と題し若林さんより御話をきく。（八月五日）

◎手塚分團に於てレコードコンサートを開催（八月六日）

◎分團長中井袈裟雄綵辭任。後任に山極正之綵就任（新町）

◎新町青年團に於て、區民慰安納涼晉樂會開催、十一時半盛會裡に終了（七月十四日）

◎前女子部長竹内つよし綵辭任、後任に山極千鶴子綵就任（野倉）

西塩田時報

第10・11合併號

村民の皆様に

西鹽田青年團長　小池清喜

率直に皆様に申上げれば大きな御關心と御後援を願つていた時報がしばらくの間發行出來なかつた事を當事者として深くお詫びしなければならないと同時に、今回引續いて發行出來た事を皆樣と心から喜びたい。

世の中と云うものは常に困難な出來事の連續であつて、この困難の中にこそ私達が磨かれるものが存在しなければならないと確信しております。

私達の時報も、理由はとまれもみにもまれました。誰の御意見も皆その人の村を思う貴い御氣持から時報のありかたにつき批判がなされた事と私は信じております。私は耳を傾け緊張して全てを拜聽しました。私も誰も皆苦しい氣持であつたと思います。この苦悶があればこそ次に何をなさねばならぬかと小さい頭乍らも使つて思案し續けました。

そして何としても時報の發行を續行ねばならないと決意しました。私達の確信したいことは世の中の發展向上のために私達の全智全能をもつて努力せねばならぬ事だと思います。たとい其處に時々混亂が生じてもそれは發展への過程に生じた渦でありたいと私は信じたい。

時報の發行の事につきまして私は次の如く考えております。時報の使命から云いまして色々の御意見はあると思いますが前年團で發行して行くことが最善であると私は確信しております。然し青年團が網羅組織と云うことを前提としている以上、色々の批判がなされることは當然と思いますす。それがためにもまれゝばもまれる程青年團は良くなりなければならないし從つて時報が良くならなければならないと考えたいと思います。色々の批判がなされるためにもまれてその結果、青年團を否定し時報が青年團で發行出來ないと思惟する事は青年の態度として取りたくない態度です。私達は苦しい事にぶつかつても正しい事と信ずるならば飽く迄も強い意志をもつて打開すべく努力しなければならないと思います。

最後になつて申し上げることは良い時報が生まれてこそ良い村が築かれると信ずるが故に、時報の發展向上のため最善の努力を拂いたいと固く決意しております。今迄發行出來なかつたことを深く皆樣にお詫び致すと共に今後も何卒宜しく御指導御鞭撻の程伏してお願い致します。

二ツの聲明書

聲明書

農民協同組合の設立については前々回の研究會の決議に從い前後二回に亘り連盟、委員會側兩者代表會議の結果一本建で行くことに決定するにも拘らず、連盟側代表は大衆の意志であると、稱して會議の結果をふみにじり、特定の保持者並にこれを支持する者を忌避する事を强引に押切つて突如農民委員會より不參加の聲明を發するに至りたるは本村將來のため誠に遺憾に堪えざるところである。

今回協同組合研究會に提出せる本聯盟の基本方針は去る兩者懇談會の申合せに基いての條件を提案したまでであり『會談の結果をふみにじり』とはいうが如き聲明を發するは誠に無責任極まる態度と考えざるを得ない、又强引に押切つて採決したというが如きも研究會設立後、既に二ケ月に亘り此の間、會を重ねる事研究會三回懇談會二回に及び然も終始兩團体の思想的調整にのみ努力し來りたるものにして極めて當然の結果ともいうべき此の期に及びて尙且つこれを强引と解する者こそ代表者としての資格を果たし居らざることを立証するものである尙又村民大會開會の事は研究會設立頃初よりしばしば農民委員會代表者の口にせるところなるも果して全村民の出席を期待し得るや否や、出席者全員の發言が可能なるや否や我々建設聯盟は常に會員の意志に基き大衆の總意を基盤とせる方針であり行爲である。故に飽く迄村民大會の開會の要を毫も認むるに至らず飽く迄も村民の將來を考慮せざる決定には贊同出來ない、又かゝる不信な態度を以つての決議に基く『小委員會』には參加せざること、及びこの問題はただちに村民大會を開いて村民の眞意に立脚した大衆討議を經て然る後、白紙一本建の不變の態度を以つて飽迄農民のための協同組合設立に協力せんことを執行委員會の決議に基き聲明する。

一九四七年十月十七日

西鹽田村農民委員會
執行委員會

聲明書

堅實にして明朗なる西鹽田村再建のため、今次設立さるべき農業協同組合の基本方針として其の指導精神に共産主義を絶對に採り入れざる事は本村に於ける過去二ケ年間の實情に鑑みて必須の條件と云うべきである、併も去る兩團体代表者懇談會に於て本村農民委員會は共産黨系統と全く別個なる旨の明言を得るに於て今や本村に於いてはすべての機構あらゆる團体に於いて共産主義を排除する情勢なることが態々明瞭に把握さるるに至つた、從つて共産黨員並にこれに同調する者を排除する情に於て誠に忍びざるところあるも道義に立脚した公明なる平和村建設のためには又止むを得ざる常道である、西鹽田村總設連盟は、かかる見地に立てる會員の總意に基く不動の信念に依つて村一本の協同組合設立のため、あらゆる努力を拂い來りたるところ突如農民委員會より不參加の聲明を發するに至りたるは本村將來の爲誠に遺憾に堪えざるところである。

今回協同組合研究會に提出せる本聯盟の基本方針は去る兩者懇談會の申合せに基いての條件を提案したまでであり『會談の結果をふみにじり』とはいうが如き聲明を發するは誠に無責任極まる態度と考えざるを得ない、又强引に押切つて採決したというが如きも研究會設立後、既に二ケ月に亘り此の間、會を重ねる事研究會三回懇談會二回に及び然も終始兩團体の思想的調整にのみ努力し來りたるものにして極めて當然の結果ともいうべき此の期に及びて尙且つこれを强引と解する者こそ代表者としての資格を果たし居らざることを立証するものである尙又村民大會開會の事は研究會設立頃初よりしばしば農民委員會代表者の口にせるところなるも果して全村民の出席を期待し得るや否や、出席者全員の發言が可能なるや否や我々建設聯盟は常に會員の意志に基き大衆の總意を基盤とせる方針であり行爲である。故に飽く迄村民大會の開會の要を毫も認むるに至らず飽く迄も村民の將來を考慮せざる決定には贊同出來ない、又かゝる不信な態度を以つての決議に基く『小委員會』には參加せざること、及びこの問題はただちに村民大會を開いて村民の眞意に立脚した大衆討議を經て然る後、白紙一本建の不變の態度を以つて飽迄農民のための協同組合設立に協力せんことを執行委員會の決議に基き聲明する。

一九四七年十月十七日

西鹽田村農民委員會
執行委員會

注目さるる農業協同組合
研究會の經過

研究會長　山極　寛

我々が久しく待望して來たるが、それは決して上から與えられたものでは無く耕作農民自らが自分等の意志によつて、あくまでも自由に考案してつくり出す組織なのである

從つて、農業協同組合は耕作農民の立場から今日の農業團体の在り方を批判し、更に過去四十年に亘る農村協同組合活動の經驗を批判的に攝取して、農民の解放、農業の近代化、農村の民主化を積極的に且つ建設的に推進する組織としてつくらなければならない。

只今協同組合法は國會で審議中であつて近く發令施行されるのであるが本村としては之が準備對策として去る八月二十三日村内各種團体集合の上、協同組合研究會を設置して研究準備に當る事とし、本來研究會を開く事三回、小委員會一回を開催したのであるが玆に其の研究經過のあらましを報告したい。

研究會の構成

各農事實行組合で

一名　建設聯盟
五名　農民委員會
五名　婦人會
七名　土地管理委員會
五名　各部落總代
七名　解放聯盟
二名　青年團
二名　役場職員
二名　農業會職員組合
二名　電力一週二日之ふよう增加せねばならなくなりました
計　七十一名

第一回研究會「九月九日」

委員長　山極　寛
副委員長　竹内　博
同　上　秀實

を選出、自由討議に入る

現存農民團体（農民委員會、建設聯盟）の在り方、及び指導精神に關して、兩團体の委員より活發な論議が交された。また農業協同組合は一村一組合で進むべしの意見開陳あり。

第二回研究會（九月二十日）

委員長より第一回の研究會に於ける内容につき報告、引續き自由討議に入る。

第一回と同樣農民委員會建設聯盟の兩團体の在り方等に關する討議に終始一方兩團体以外の委員より（本研究會は農民委員會と建設聯盟の討論の觀あり、依而兩團体のみによる話合いを別個に開會して協同組合設立に關する一致點をみ出したる上、第三回を開會する事）の提案により之れを全員承認九月二十七日及び十月四日の兩日農民委員會、建設聯盟の兩團体による懇談會を役場に於て宮澤村長の仲介により行われた。

第三回研究會（十月十一日）

委員長　山極　寛
副委員長　竹内　博
同　上　秀實

を選出、自由討議に入る

現存農民團体（農民委員會、建設聯盟）の在り方、及び指導精神に關して、兩團体の委員より活發な論議が交された。また農業協同組合は一村一組合で進むべしの意見開陳あり。

第二回研究會（九月二十日）

委員長より第一回の研究會に於ける内容につき報告、引續き自由討議に入る。

第一回と同樣農民委員會建設聯盟の兩團体の在り方等に關する討議に終始一方兩團体以外の委員より（本研究會は農民委員會と建設聯盟の討論の觀あり、依而兩團体のみによる話合いを別個に開會して協同組合設立に關する一致點をみ出したる上、第三回を開會する事）の提案により之れを全員承認九月二十七日及び十月四日の兩日農民委員會、建設聯盟の兩團体による懇談會を役場に於て宮澤村長の仲介により行われた。

第三回研究會（十月十一日）

一、建設聯盟と農民委員會との話し合の結果を仲介者宮澤村長より報告の後、建設聯盟より次の如き動議を提案した。

一、西鹽田村農業協同組合の指導精神には共産主義を絶對に採り入れぬ事

二、共産黨員及び之れに同調する者は排除する事

三、設立委員（假稱）の中に前項の組合員資格を審議する機關を設置する事

右の動議を採点の結果、採点延期のもの小數にして即決可とするもの絕對多數により動議成立、尙研究會今後の運營につき小委員會を設置して具体的な研究に入る事とし小委員會は左の構成とする事となつた。小委員會の構成

一名　農民委員會
五名　建設聯盟
五名　青年團
七名　各區總代
一名　委員長
一名　計二十名

第一回小委員會（十月十八日）開會前左の要旨の聲明書が農民委員會執行委員會より宮澤村長を經て委員長に手交された。

電力危機突破について

役場より

最近の毎日毎夜の停電には何處の御家庭でも非常に不自由を感じて居らゝゝ思います是は既に御承知の通り全國的に發電設備の減少に依り電力が不足し一定の發電量を各地方別に配分しの地區でも制限られた以上に使用されば超過の分は停電することになります

それに十一月一日からは減水期に入り從來より更に二割の減少となりました

所謂今迄夜間（七時―九時）に二回停電したものが現在は深夜一時間宛三回と工場の休ませねばならなくなりました

此儘で進めば何年となく斯る暗黑の時間は解消出來ません

誠に治安の上からも災害豫防の上からも憂慮に堪えません

縣及び各地區に於ても電力危機突破協議會が結成され上田地區にも同樣結成されて各町村並に各電力消費關係方面から代表を送つて之が對策を研究しつゝあります

それは互の不自由を忍んで電動機電熱器等を極度に節減的に節約すると共に電燈は最少限度に減じ、ラヂオも本當に聽きたい時だけにしてスヰッチを切ることを忘れないことです

盜電は一般民衆の電力を盜むことになります愼むべきことです

御挨拶

私共一同外地より引揚げて以來、村當局及び村の皆樣に多大なる御世話樣になつて參りましたが、只此の儘御世話になつているのみではいけないと思いまして、何か村の皆樣にお酬いすると同時に、會員諸君の消費部門をお助けいたしたいと念願のところ、偶々會員の總意にて左記に商事部の開設をみるに至りました

之が開設に當りましては、武田前村長並に村當局及び村内有力者の絕大なる御援助を以て成立をみたのでありますが、我々この掌に當るものはこの御援に應背せず、永く皆樣の御利用に資し、明るい村、住み良い村、ほがらかな村建設の力の九牛の一毛にもなり得ばやと希望しているものであります。何卒御愛顧を以て商事部の御利用を御願い致す次第であります。

右簡單ですが御禮と御挨拶を申上げます。

新町　前武田村長倉庫
厚生協會西鹽田分會商事部

御寄附

一、學校常設電話一台
　施設一切
　增島良三殿
一、額縁　二枚
　篠崎富雄殿

右御寄附に對し紙上を以て厚く御禮申上げます

西鹽田村長　宮澤峯喜

發行人　小池清喜
編輯人　宮越かづ子
長野縣小縣郡西鹽田村手塚
發行所　西鹽田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

第10・11合併號

就て化素簡婚結

民生委員會長
宮澤兵部氏訪問記

星のまたゝき冷風は一入身にしみ、多の息吹が近々と感ぜられる霜月の一夜、時報部記者は、宮澤氏を宮原集會場に訪ねてその御意見をおきゝしたいろ〳〵と擔約等ができても實行されない理由は……？

問　人生の三大祝典の一つであつて、殊に本人が意識して行う祝典である所から、見榮をはり、又日本民族のもたらす子供に對する親心からであると思う。しかしいつまでも現今のまゝのしきたり、その他にこだわつていては進歩も望めないし又經濟もゆるさなくなるだろうから、それには實行委員というようなものを設けてやつてゆくのもよいと思う。

答　それは各區毎に選擧により選出したらよいと思う

問　前則の有無について……。

答　それはある程度あつた方がよいと思う。しかし只申合せをしたのみでなく、實行できるような態勢をとゝのえ、出來るだけの方策をとるべきだと思う。

違反者に對する處置については法律に觸ずるものゝように考える事は、强制のように思われるから、各自からであると思う。しかしいつまでも現今のまゝのしきたり、その他にこだわつていては進歩も望めないし又經濟もゆるさなくなるだろうから、それには實行委員というようなものを設けてやつてゆくのもよいと思う。

そして最後に宮澤氏は、私達は「ことに青年は」簡素にすることがよいとしつたら、それをすぐ實行できる人間にならなければいけない」という事を强く要望されました。

研究會の經過

研究會長　山極　寛

我々が久しく待望して來たるが、それは決して上から與えられたものでは無く耕作農民自らが自分等の意志によつて、あくまでも自由に考案してつくり出す組織なのである

從つて、農業協同組合は耕作農民の立場から今日の農業團体の在り方を批判し、更に過去四十年に亘る農村協同組合活動の經驗を批判的に攝取して、農民の解放、農業の近代化、農村の民主化を積極的に且つ建設的に推進する組織としてつくらなければならない。

只今協同組合法は國會で審議中であつて近く發令施行されるのであるが本村としては之が準備對策として去る八月二十三日村内各種團体集合の上、協同組合研究會を設置して研究準備に當る事とし、本來研究會を開く事三回、小委員會一回を開催したのであるが玆に其の研究經過のあらましを報告したい。

研究會の構成

各農事實行組合で

一名　建設聯盟
五名　農民委員會
七名　婦人會
五名　土地管理委員會
五名　各部落總代
七名　解放聯盟
二名　青年團
二名　役場職員
二名　農業會職員組合
二名　電力一週二日之ふよう增加せねばならなくなりました
計　七十一名

第一回研究會「九月九日」

委員長副委員長の選擧により

青年と團青年

斯くあらば如何

大庭信人

敗戰の現實は有ゆる面に於ても一變して仕舞つた、經濟面に於ても甚しい相違を來している。青少年の犯罪事件は天井を知らず、正に巷に溢れ出でたる洪水のそれにも似て。靜かに過去を顧る時敗戰の必然的因果とはいえそのあまりにも大なる世相の一變に驚愕の眼を開かざるを得ない。

敗戰によつて與えられた言論思想の自由其の他凡ゆる自由はいえ我々は再び此所で民主自由なるものをよく考えて見る必要はないだろうか？特に青年團の在り方等に就ては團員相互に深く考えてみなければならない。

昨年郡團の討論會で問題になつた同志組織か網羅組織かに就てもよく考えてみる必要がある。私は此所で郡團、縣團等の連絡に拘泥して云々する心算は毫もなく、ただ自己の信念により自己の主觀を開陳せんとするものである。

青年團はいうまでもなく自由團体であり、自主的團体である。故に入團、團退は勿論自由なり、とわいえ特別の理由なくしては入團した團のため引いては鄕土發展のため盡力すべきである。此所で考える可きことは同志組織か網羅組織かである、同志組織（盟袂に解釋すれば全人類總て同志であらうが）なる結合であれば個人の主觀による思想の相違等により退團を余儀なくされる場合決して少しとしないであらう。併し乍ら結論を先きに言えば青年團は網羅組織でゆく可きである事を固く信じているものである。網羅と同志による相違点を思う儘に若干述べて見度い。

先ず同志的な場合は云うまでもなく純心思想の所有者によつて構成されるが故に強治上、經濟上その他有ゆる社會問題に對して深甚なる關心を持つ可きは必須にして自己の信念に立脚して自己の信ずる所に向つて邁進す可きである。併し此所で考えざるべからざることは青年團としては政黨的色彩濃厚な團体への加入である。團として中道—綜合道—を歩むべき網羅組織の青年團が有色團体へは與と して加入す可からざるは敢て贅言を要しないところである青年團はあらゆる思想を持つた青年の團体なるが故に個人的には自己の是とする團体（有色無色團体を問わず）に加入して、自己の能力を十二分に發揮し、政治その他の運動に全力を盡すがよかろう。

此所に一例を上げればA會なる團体に團員（青年團員）が全部加入しているとしても青年團として加入している事とは意味を異にするものであつて、個人的に加入していること、この事が青年團員としての皆年の斯く在つて欲しい態度である。即ち青年團は飽くまでも中道—綜合道—河に譬うれば本流を歩み政黨的色彩を帶びるべからず、若し强いて又は自然的に帶びんとすれば必然的に有害的、同志的團体となり網羅組織の青年團は解消するであろう。斯かる解消は發展的解消か、退歩的解消かは各個人の見解によるも、私は敢て斯かる解消は青年團としては退歩的のそれであると言い度いのである。

同志的、有志的の團体が青年團の分裂によつて組織されれば必然的に避く可からざる思想的に、隨つて感情的にも相反し勝ちなる者の相互に組織する團体となるからである。

平和村建設をモットーとする現在、大切な位置を占める青年團が斯かる同志的團体に分裂し互いに白眼視し合い毎々に誹謗していたのでは平和村建設等は凡そ「木によりて魚を求む」の類いであろう。

生れ甲斐ある人となれ

そうして民主日本建設を

光陰は矢の如くとか終戰後早や二年の霜月は訪れ醫田平の連山も紅葉の錦に包まれ今日此の頃は木の葉はらく〳〵と落つるも一きわ秋の深みを感じます。しかし世相の變遷は日々刻々とあれど我が住む大自然は變ることなく、野も山も四季は訪れそして我等を迎えてくれます。長い間殘虐な戰爭が行われ陰慘な日が續いた日本に漸く平和が訪れた。終戰直後から見ると「ホッ」としたのでありましょう。敗けたのは殘念だが考えてみると無理な不條理な戰爭だつたのですから敗けるのは當然國家の機構及び國民の意志が健全だつたならこんな戰爭を起さなくともすんだのでありましょう。彼の「アレキサンダー」「ジンギスカン」「ナポレオン」「ヒットラー」等古今東西侵略者には必ず大きな不幸が待ちかまえていました。日本も今到來しているのです。國を失わなつたのはまだ幸相手が文明國で助かつたのですが、對手の如何によつては日本及日本民族は滅亡したかも知れません。これも長い間政府や軍部の强壓のもとに幸福を强いられて來た國民が、幸福の甲斐もなく敗戰と云うみじめな運命につき落された悲しみと悔と憤と、俗に云うヤケクソになるという事は或程度やむを得ないかも知れません。勿論現在日本の經濟事情は秩序を保ち道義を重んずる上に甚だ困難な狀態で食糧が非常に缺乏し又、其の他の物資も悉く缺乏して生活も生産も極めて困難である。インフレーはますます昂進して物價の騰貴が甚だしい。

かような狀態のもとに於ては人心は荒み秩序は亂れ道義がすたれるのも當然でありましょうが、然しこゝが覺醒せねばならぬ。私は强調したい「生れ甲斐ある人となれ」前想いを此所にいたす時、蒸然として中正なる道—敢て中正と言い度いを進む青年團網羅組織の成立を見る青年團の存在の意義と存在の必要性を判然と認め得るのである。青年團は斯かる見地に立つていわゆるものをよく批判し、消化し、「よきをとり悪しきを捨てよ」平和村西醫田村建設の原動力たる可きである。之が爲め青年團員たる青年の人格が、團として行動、個人として行動と二面に分れ即ち二重人格的の青年となろうも一向支えなしと信ずるものである。

助けあいましよう

國民たすけあい運動實施期間
十一月二十五日―十二月二十五日まで

ありましようか。果して希望に滿ち溢れた明るい朗らかな氣持になつているでしようか甚だ疑いなきを得ません。盜賊が橫行し殊に凶惡な犯罪や血なまぐさい事件が頻出している。闇商賣や詐僞が激增し會合や交通は混雜から混亂へ更に騷擾へという有樣であるこれも長い間政府や軍部の强壓のもとに幸福を强いられて來た國民が、幸福の甲斐もなく敗戰と云うみじめな運命につき落された悲しみと悔と憤と、俗に云うヤケクソになるという事は或程度やむを得ないかも知れません。勿論現在日本の經濟事情は秩序を保ち道義を重んずる上に甚だ困難な狀態で食糧が非常に缺乏し又、其の他の物資も悉く缺乏して生活も生産も極めて困難である。インフレーはますます昂進して物價の騰貴が甚だしい。

かような狀態のもとに於ては人心は荒み秩序は亂れ道義がすたれるのも當然でありましようが、然しこゝが覺醒せねばならぬ。私は强調したい「生れ甲斐ある人となれ」前

保險料の精算徵收について

本年四月分より九月分迄（東西前迄は七月分迄）の保險料を徵收致しましたが、これは等級未決定の爲暫定的に徵收致しておりましたが十一月二十一日の組合會に於て左表の通り等級が決定致しました。ついては十月分以後の保險料において精算を致します各組合員の保險料納付金額は左表の月額保險料納付金額に月數を乘じた金額が保險料となります。

月額保險料	納付額	等級
三〇圓以上十九圓	三〇圓	一等
二九圓以上二八圓	二九圓	二等
二七圓以上二六圓	二七圓	三等
二五圓以上二四圓	二五圓	四等
二三圓以上二二圓	二三圓	五等
二一圓以上二〇圓	二一圓	六等
一九圓以上一八圓	一九圓	七等
一七圓以上一六圓	一七圓	八等
一五圓以上一四圓	一五圓	九等
一三圓以上一二圓	一三圓	十等
一一圓以上十圓	一一圓	十一等
九圓以上八圓	九圓	十二等
七圓以上六圓	七圓	十三等
五圓以上四圓	五圓	十四等
三圓以上二圓	三圓	十五等
二圓以上一圓	二圓	十六等
一圓以下	一圓	十七等

虛飾

中島くみ子

あてどなく
二十年の月日をさまよつて
今日まで
身につけた多くの虛飾を
わたしはみんなはぎとつて
終いたいのです
赤や黃色や灰色の
うとましい虛飾にうづまつた
わたしの魂は
一体
どこへいつてしまつたのでしようか
生れたまゝの
素直なわたしの魂
わたしは見たいのです
そのナイーブな眞珠の肌に
ふれてみたいのです
……赤裸々なその感興からほんとのわたしが
新しく伸びゆくのを信じて
すところによれば、民主主義は逆に困難と苦闘と努力から生れ出るものであり、個人の自由と發展を重しとする人々の心の中に自然に盛り上つてゆく」と述べて居ります。しかして元帥の聲明の如く困難と苦闘と努力から別にロシヤ、アメリカ等の民主主義をとなえる必要はありません日本は日本として自ら國柄に既應した民主政治が實現されねばならぬと思います。要するに眞に求むるものは總ての者が生き、すべての者が幸福に、すべてのものが榮えんとする樂土日本の建設である。

松月

○短歌

山田　竹内あき

遠き日の父恩わする主あくによごれし姉の足ゆびの爪
掬を病みて心もと無き吾が步み秋立つ峽の朝風にをり
豆はたく後姿佗しと云うよき等無くて母老ひたまうさ庭なる菊にもかさをさし添えて寒し明日は霜のあるらむ
ほのぐと大根煮ゆる匂して峽の夕を雪來るらし

お寫眞は
御用は
安く
良く
をモットーの
出張專門
寫場專門
大森寫眞館
上田公園入口（電六六五乙）
大森支店　森本
上田中央校前
團體會の寫眞は特に御相談下さい
引伸し寫眞勉强御引受けします
お急ぎ用もお引受けします

原稿募集
良き時報から
美しい村に

毛皮食肉の御用は
西醫田村東前山
竹内政市宅へ

編集後記

おくれせ乍ら私達は少く共決意を新にし乍ら編集出來た事を嬉しく思う。

× × ×

原稿は相當集りましたが、紙にも制限され全部を載せ得ませんでした。次回まで失禮ですがお許し下さい。尙編集人が變つたため〆手に絡りましたが何卒御叱責を賜りたくお願い致します。

編集室より

本團役員變更

時報部長　新　宮越かづ子（昇格）
　　副　曲尾　重德
總務部副部長　新　小宮山タキ
　　副　樋口　幸子
文化部副部長　新　金澤としい
　　副　龍澤　幸
事業部副部長　新　小宮山ゆき子
　　副　鷲原とみ江

西塩田時報

第12號

發行人　東田勝人
編輯人　龍澤新一
長野縣小縣郡西鹽田村手塚
發行所　西鹽田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

年頭に當りて

村長　宮澤峯喜

茲に二十三年の新春を迎え各人が希望と計劃とを以つて新しき活動の第一歩を踏し出し得ましたことは、寔に慶びに堪えない所であります。

過ぐる一ケ年を顧みて特に記憶に殘すべきは先づ選擧の施行であります。實に昨年は選擧という選擧は悉く行われ種類も候式も選擧權の範圍も從來に比して其の趣を異にしたものでしたが國民は之に依つて民主的選擧の訓練に新段足したことになります。

次に新憲法の實施ですが之は一國の政治上大なる變革です明治から昭和にかけて國政の根本原則をなした帝國主義的憲法に終止符を打つて、新に基本的人權の尊重と民主的平和主義を基調とした所謂新憲法が實施せられたことは我が國の歴史上永久に記念すべき事柄と信じます。

更に思想問題についても相當の混亂や對立が認められないでもありませんでしたが、之は國家的大眞變の直後に來るべき當然の事實であつて、此の問題は未だ〳〵落ち付く所までは行つて居りませんから暫くは繼續されるでありましょう。

斯くして新年度に入つたのですが本年は果して如何なる特色を持つた年でしようか。因より社會情勢の變轉は目まぐるしいものがありますから一概に豫見も出來ませんが今日の如く物價の高騰が日を追うて甚しくインフレの昂進はたものでしたが國民は之に依益々激化しつゝある趨勢よりすれば財政の破綻經濟の崩壊は免れ難いことを考えます。凡そ破壞は容易、建設は難事なるまい。濁りにしみたうつゝ今にして政府も國民も之の打開に夙かでも犧牲を惜しむならば國家は永久に救われないと思います。

翻つて本年はもろ〳〵の難關に逢着するでしよう。全く大地震の後に來るべき餘震に襲われる年とも云うべく決して平々坦々たる年ではありません。然し吾々自らの力に依つて大きく希望を以て突破して行かなければならない課題ですから此の年頭に當つてお互が其の覺悟を鞏固にして進み度いものです。

こゝに所感の一端を述べて年頭の辭と致します。

年頭の詞

竹内敬吾

元旦必ずしも喜色なし、とは奇矯な表現でしよう。うららかな初日影も仰げず、冴えた小鳥の聲も聞えず、年頭の賀詞も私には何となくうつろに空しかつたように思われます。これは私の果のせいだつたでしようか。

國家の前途を悲しみたく、世相も鬱悒を缺いております。

心を支えるものは貧窓、身を托するものは脆弱、めでたさは杳として捉えがたかつたかに思われたのであります。

しかし、これは私の愚かさによるものに相違ありません限りなく廣い現實の中に、わずか方寸のカメラを開いて何程のことが寫し得られましよう。

カメラの向きを變えねばなるまい。濁りにしみたうつゝの中にも夢がある、現想が見える。民族の顧——國和會議もそう遠くはないでしよう。政治も經濟もやがては秩序を恢復いたしましよう、マ元帥のいわゆる「引きつゞき向上する意志」さえ私たちに失せなかつたら、いつの日にかきつと國家の復活は訪ずれましよう。

復活の契機——向上する意志、またしても私には教育の貴重と尊嚴が思われます。「市民」の胸に教育のだいじさが泌々と味わわれる。「教師」の手に教育の高貴がはげしく實踐されたら、そのような意志はおのずと生誕するに違いない。

そうしたら、そうしたら…ああ、やつぱり徂徠が說いたとかいう「正月は心を正しくする月也」私には正しい案直さがよみがえり、ほの〴〵とした明かるさが見えて來ました。まさに元旦喜色あり、賀詞また實あり、瞳んで新春の御慶を申上げます。

煙筒等火災豫防對策に就て

西塩田村役場
西塩田消防團

本年は飯田市の大火を始め縣下各地に大小數多の火災がひん發してその損害も莫大な額に達して居ります。時節柄火災には十分に氣を付けて戴きます樣お願致します。

尙このたび現狀に鑑みまして野軍政部憲兵隊長ストラント少佐から嚴重な御注意がありましたから特に申傳えます

●煙筒等の火災豫防要綱

一、ストーブの煙筒及煙突の構造は次の要件を備えた亞鉛板、鐵板その他耐火質のものを用いること

直徑…六吋から十吋ものは厚さ…〇、〇二五吋以上

直徑…十吋から十二吋もの厚さ…〇、〇三二吋以上

直徑十四吋—十六吋のもの厚さ〇、〇三七五吋以上

直徑二十吋以上のもの厚さ〇、〇六二五吋以上

（一吋は二、五四糎、一呎は〇、三〇四八米）

二、煙筒の繼目は二吋以上挿入して必要の部分は鉄、金屬ネジ、釘又金屬製バンドを以つて締め火粉の飛散外氣の侵入を防ぐこと。

三、煙筒を大煙突に差し込む場合は少くとも大煙突の直徑の四分の一以上差し込み隙間のない樣に固定する事

四、煙筒はストーブに密着して接ぎ合せ水平煙筒一呎に五吋の勾配をつけること。

五、煙突はすべて火粉火焔の飛散を防ぐ裝置をすること

六、金屬性煙突の屋上突出部は最短部において三呎以上とすること。

七、煙突の直上部千呎以内に軒のあるときはその軒より更に二呎以上突出すること

八、煙筒又煙突の掃除は月二回以上實施し煙筒煙突掃除表に掃除者名を記入しておくこと。

九、長さ五呎以上の煙突は不燃質の物を用いて柱梁等に支え、五呎を增す毎に動搖しないよう支えること。

十、煙突は屋根を通ずるときはそれらの物と煙突の間に少くとも一吋の隙間をつくつてこれに絕緣体物質をなして堅固に支持すること。

若男の見解

忠義下竹

インフレの波は荒れるとも靜まらずして一九四八年は明けた。敗戰と共に自由、民主平等、政治、文化、等々あらゆる部面に渡り生れ變り、足掛四年目を迎えたが、この年を私達の歩んだ道の反省の年であると共に、今尙はびこる根强い封建的思想に向いている足があるならば、一早く向け直すべき年であると私は冒いたい。

農村のすみ〳〵までも流れ込んだデモクラシーと、文化運動の收穫はどうであつたろう。文化とは人類生活を有意義に價値づけるすべての所産の總稱でなければならぬが、この所謂まで行つた文化面が果してどの位實踐されたら、そのような意志はおのずと生誕するに違いない。

そうしたら、そうしたら…ああ、やつぱり徂徠が說いたとかいう「正月は心を正しくする月也」私には正しい案直さがよみがえり、ほの〴〵とした明かるさが見えて來ました。まさに元旦喜色あり、賀詞また實あり、瞳んで新春の御慶を申上げます。

農業會

解散準備總會開かれる

農業協同組合法が施行せられ農業會は解散する事になつたので解散準備の總會を一月十五日小學校に開會して財産目錄の承認、新らしい農業協同組合法と農業團体の整理に關する法律の說明。農業會の財産處理に關する件それに農業會の資産處理委員の選任等を決定した。尙此の議事に聯せて農業災害補償法の說明も行われ此の法律に基いて設立される農業共濟組合も農業協同組合設立發起人に依つて手續きを進めて行く事に決議された。財産處理に關しては其の方法、時期は一切資産處理委員へ一任する事を決議され資産處理委員は無記名單記の一般投票により左記の諸氏が選任された。

金澤　直人　黒坂邦一郎
龍澤伴一郎　東前山區
小山　保長　竹内　孫市
龍澤榮次郎　池田信次郎
荒井逸次郎

貯金台帳と通帳の照合

農業會の財産等は農業協同組合へ讓渡せられますが、協同組合へ讓渡せられますが、協同組合に整備を致して置き度いと思います。

山田區	二月二十、廿一日
野倉區	二月廿三、廿四日
	（農業會金融部）

△……▽

一部負擔金の改正について

醫療費の單價改正について

國保よ り

醫療費の値上りにより經營困難となりましたので今回暫定措置として左記の通り改正致し昨年九月分より實施する事になりました。

新　組合員負擔　醫療費の八割
舊　組合員負擔　醫療費の七割

一部負擔金の計算方法は左記の通りですから御參考迄に記載いたします。

（點數×4.00＝國庫負擔
國庫負擔×0.8＝一部負擔金）

從來醫療費の一点單價は三圓でありましたが今回縣告示により左記の通り改正いたし昨年九月一日より實施する事になりました

新單價　一点　四圓
舊單價　一点　三圓

本村農民運動に對する一考察

柳澤佶

私が耕作農民として專業農家の仲間にさせていたゞいたのは昨年の夏以來である、從つて農村問題に關し、特に農民運動に對する何の知識も經驗も持たないお百姓の一年生とも云うべき私の觀方が果して貴重な紙面を借りるに價するであろうか、「みゝずのたはこと」として或は一笑に附されると事を充分承知しつゝも私自らの勉强の爲にもと思ひ私の小さな眼に映じ、素朴なまゝの心に感じた事の一端を卒直に披瀝して大方の御指導を仰ぎたいと思う。

抑々本村に於ける最近の農民運動はその主体を農民委員會に置いたのであるがその發足は申す迄もなく終戰後の事であり當時私は未だ外地に在つた爲め運動の目標、指導理念、乃至は實踐方法、その他結成頭初の模樣については全く未知の者である。

然し具体的の事實は知らなくとも常識的に考へて凡そ農民運動は農民自らの手によつて行うべきものであり、農民が團結權を獲得してその力に依つて社會的、經濟的、政治的要求の爲めに活動する等の事が其の要旨ではなからうか、一例を土地問題にとつて考へるならば、農地制度の撤底的改革及び耕作權の確立等を圖り、以て農民の上に迫つて居る社會的壓迫を切り開いて自らの社會的地位を向上せしむるよう努める、と云うような運動であらうと思はれる。

然して之れが實踐に當つては凡そ農民たる以上經營の相違、規模の大小、乃至は又思想上の差異、其の他個人的な總てを超越して眞に機能上の共通点に於ける全村農民の固い結束こそ何物にも替え難い運動の原動力であらねばならないじつゝあると云う姿ではなかろうか。

正しい團体活動によつて當然の慾求を充さんとする運動が何故に全村民に受け入れられなかつたのか、此所に大きな反省の資が横たわつて居る。之れを要約すれば過去二ケ年に亘る本村農民運動は非常に積極的であり、極めて情熱的であつた事に對して私は深厚な敬意を表するが、全村農民と云う普遍性、綜合性を欠き且又遺憾と明朗とに欠除していた事が大なる誤りであつた事と思われる。

戰時中の强力な統制と秩序とをもつた總動員態勢は實に長期に亘る緊張の繼續であつた、此の緊張の持續に耐へ發展する者には束縛感となり又或る者には壓迫感となつていた。そして一度敗戰の現實に接するや此の壓迫感、此の束縛感から解放された自由なき自由、責任なき自由、洗練なき民主々義が恰も虛脫狀態にある農民の間に疫病的に蔓延し如何にも同志なる如き小乘的團結を形成して以て村内に於ける徒らなる對立を生ぜしめたのではなかろうか。

今にして個人之れを放任しておく事は本村將來のため由々しき問題であるとの聲が澎湃として起つたのは本年の春以來である。即ち全村的大同團結によつて組織を擴固にし、商業新聞は盛にそれを書きたてるゝ。

インフレというかすみを喰われされて、ひん死の病人にされてしまつた日本の九割五分を占める勤勞大衆に、借金をカンフルがわりに注射して、首が廻るようにしようというのだから恐ろしい。

あれだけ、アメリカから借金をした西ヨーロッパの諸國は首が廻るようになつただろうか。

英國のクリップス經濟相が一月七日にマーシャル計畫に依存することは不可であるとの警告を發したのは何を意味するだろう。

借金をしなければ日本の經濟は破滅する。その爲に、勞働者は首切りに反對しなければならない。貰上げもいけない。死んでも一八〇圓ベースでがまんしろ。

農民の作つたものは高くは買わない。强制供出だ、稅金は一番出せ。いうことを聞かないと、ローヤとばつ金だ。

企業は赤字を出してはいけない。黑字になる迄首切りをしてちぼめろ、それでもいけなかつたらやめてしまえ、金融資本家の鼻いきのかゝつた企業には無制限に資材と資金を提供してやるが、そうでないものは、どんなに重要な企業でも援助はしない。つぶれようど、ころぼうとおかまいなしだ。

政府は卒先して官業勞働者の首を二割チョン切るから「右ならえ」こうして約一千万人の失業者をつくり出し、低農産物價で農民の生活をおし下げ、その二つを土台として、勞働者を安賃金でしぼりとり、金融と原料、資材を獨占する、いわゆる金融資本家のもとに一切の企業をレ斷させ、植民地を失つたかわりに、祖國を植民地化し、依然としてボウ大な利益を得續けようとする冷酷無比な金融獨占資本家とその手先のいんぼうであり、それをおしかくそうとするのが借金の手品である。

日本は外國の援助を受けなければ到底復興はおぼつかない。

けれども、何がどの位あつて、どの位生産されるかについて、計畫のケの字も立てることの出來ない奴等が、ボウ大な利益を上げながらインフレをとめ、とめた後もうまい汁をすい續けようとする野きで「土管が敵だ」と告白するだろうが、それと同じように、反共と結合で働く全人民をだまして來た「耐乏」の「山ネコ」どもは、いままでふんどうしたおぞそわけをかゝえて、職合解散としやれるであろう。

おれ達は一日も早く民主人民政府をつくり上げ、官僚統制はやめにして、おれ達自身の手で、計畫をたて、働ける者は全部働けるしくみをつくり、働分に働く程豐かになる、明るい日本に再建しよう。

そうする爲におれ達のつくつた民主人民政府によつて、軍要産業の國營人民管理を斷行して、それで不足のものはどん〳〵借金して、どん〳〵豐かにしよう。

これをはばむ奴は、おれ達の最大の敵であることを、特に青年諸君は知らなければならない。

中國、朝鮮、越南、ラン印ビルマ、インド、ギリシヤ、東ヨーロッパ諸國、いやく〳〵世界中で、民主的な青年が先頭に立つて闘つている。

チョンマが時代のすゝんだ人間じやーあるめえし、出もしないユウレエをおそれがつて、いつ迄たをもち〳〵させているのだ。

かせぐを追い越す貧乏神がどんなおどかしをしようと、反共、借金、中道、大增稅、事前强制調査、ローヤ、バツ金、エロ本、エロ映畫といろ〳〵のベールをかぶつて、黑い大きな翼を擴げて、おゝいかぶさつて來ている。

さあー、立ち上がつて、胥のびをして、大きく深呼吸をして、突進しよう。

勝利は正しいものにのみつかめる時が、やつとやつてきた。未來はおれ達のものだ。がつちりと腕を組もう。

消防團

一月十一日午前九時より昭和二十三年度出初式擧行一時三十分無事終了す

本團の役員左の通り改選す

團長　竹下英雄
副團長　小池保雄
分團長　齋藤益人
小池恭平
吉池深海
宮澤正
齋藤善吉
副分團長　東川英一
平林義裕
小宮山貞夫
安藤美久

農業協同組合研究會

其の後の經過

研究會長　山極寛

第四回研究會（十一月二十六日）建設連盟より動議に關して再度討議を行ふ。

尚各委員は所屬團体員の意見（協同組合の性格と設立の方法）を出し次回の研究會に持寄る事を申合せる。

第五回研究會（十二月十二日）前回の申合せによる意見の發表が各地域代表より行なわれた。

一、共產主義的なものを排除して進む事。

二、各意想の長所を採り入れて一本建で進む事。

右が意見の主なるものであつた。

以上により本村協同組合の設立方針はいよ〳〵明白となり各委員亦實踐に最後の結論に前進させようと努力が續けられた。そして建設連盟よりの勸誘はこれに修正をかへ且つ研究の成果に付いて、農民委員會、建設連盟の委員により次の機會な協定に到達した旨發表せられ全員拍手を以つてこれを了承。前後五回の研究會一回の小委員會二回の團體懇談會を經つた。本研究會に終止符は打たれ協同組合設立發起人會に引續ぎを以つて自然解消となつた。

協定事項

西鹽田村農業協同組合設立に際し反共を原則とした建設連盟及政黨支持の自由を原則とした農民委員會は話合ひの結果左の方針を以つて推進する事を協定した。

西鹽田村農民の再建を排除し香等は破壞的行動を排除し全村農民の利益と幸福を確保する爲、一致團結し特殊的思想を排し綜合的發達の爲邁進する事を期す。

以上

しやつきん

ひばな

『しやつきん』、なんと感じの悪い日本語だろう。

外國から借金することを、外資導入という。

日本の支配階級とその手先の自由黨、民主黨、國協黨、社會黨は口を開けば、きつと外資導入とさわぎたてるし、商業新聞は盛にそれを書きたてる。

インフレというかすみを喰動し、或は又農地改革に對する不合理、爭奪多の矛盾を生ずる中にあつて村民の多くは實に不安と焦燥の日を送つていたのであつた。

そしてこの部分的な運動に對する反動的な感情は日を追つて激增し、かくて風到らば直ちに燃え上る迄に自ら氣運の熟してゐた事は彼の農地委員リコールに依つて見ても明らかである、これを極めて少數の者の煽動と考えて居らるゝ者もあるやうだが其れ程の手腕家が一体この村の何處にいるであろうか、又翻支配階の溫存と云うが如き事を本村に於て云い得るであろうか、尚又假りにもかくの如き一部の野心家にそゝのかされて立ちどころに動くやうなそんなお人好しが果してこの村にあれに立脚してこそ始めて中道を程澤山いるであろうか。

私にはどうしても信じられない、僅々數日を出でずしてあれだけの仕事が出來たのは明らかに自然の勢であつたのだそして其處に生れたものが即ち西鹽田村建設連盟である。

從つて前者に對する反動的性格を多分にもつている事は云うまでもない。

扨此の新團体が如何なるデオロギー！に依つて、如何なる活動を展開するかは今後お互ひの上に課せられた重大な使命であり實務でもあるが其の目標は飽く迄中正安當なる平和村建設であらねばならない、然して中正安當の根本義は申す迄もなく各自の基本觀念であり、唯物、唯心兩論に偏せざる眞に物心一如の境地に立脚して、こゝ始めて中道を歩む者とも云うべくかゝてこそ最後の目的を達し得られるものと期待せらるゝのである

以上本村に於ける事實から考へて私は、如何に職ひに敗れたりと云へども敢へて卑屈に陷る事無く、徒らに行き過ぎを行ふ事なく互ひに反省自重の上眞に全村農民の固い結束による和と力とを以て大いに奮起する日の速かなる事を切に念願して止まないものである、假令如何なる經濟恐慌の渡來するとも物質至上の一面觀にのみとらはるゝ事なく、假令如何なる自由、民主の時代といへども常に己れの冒險に實任をもち、又常に社會的個人としての自覺の下に全村農民共打つて一丸となる運動に精進し自覺されん事を新つて擱筆する。

青年團

新役員

團長　重田勝人
副團長　宮澤良雄
會計　宮越かず子
總務部長　春原秀登
會計　小宮山タキ
文化部長　東川周
會計　瀧澤みゆき
事業部長　竹下義則
會計　成田千惠子
產業部長　大口六平
會計　竹内米子
厚生部長　市村晴男
會計　小池民子
時報部長　瀧澤新一

評議員（○印八分團）

十人○佐藤直道　齋藤寛司
新町○與尾重德　小林今朝喜
宮越かず子　小林みちよ
東前山○春原秀登　鷲原德美
小宮山タキ　小池民子
西前山○兒玉甲子郎　瀧澤新一
兒玉智惠子　宮澤竹子
手塚○大口六平　池内暢治
山下ハルキ　箱田かない
山田○竹下義則　竹下正哉
竹内米子　竹下照子
市村晴男　倉坂保子
野倉○寄木宗一　小林一繁
瀧澤みゆき　竹内つよし

御挨拶に替えて

團長　重田勝人

活達な指導と運営とを以つて之に當り偉大なる業績を殘され退任された小池團長の後を受け、私此の度後任の御推薦に預り就任する事になりました。もとより私其の才に非ずして固より私其の才に非ずして固く御辭退申上げたので御座いますがお聞き入れ無く、又已の我儘のみをも通せざる事情の爲、心ならずも暫くの間御厄介に成る事になりました。

混沌たる暮れ不安の裡に向えたる新年度に對し、さて我々は『何如に生きん』。『何如に處さん』。と腕叉ぬく時、又不安と焦慮の襲い來るに之を覆う何んの術をも見出せない氣持になるをどうする事も出來ません。

然し此の不安と焦慮にともすれば失せ勝ちになる遠い一個の光明を見詰め理性を頼りに忍從の苦しさに堪えつゝ手を携えて歩、一歩、それに近附かんとする我々の力強い努力こそ、何ものにも替え難く、貴重なる修養の種でなければならないのであつて、又歡喜と美しさを其處に見出す事を忘れてはならないのであります。

殊に思想の自由性と云ふ事を深く考えて見た場合青少年としては欠く事の出來ないそれに相應しい團体なる事を確信じてをります。

何なら現存する主義主張が思想の全部では決してない譯であつて、我々はより新しい思想をも見出してゆかなければならないものであります。してみれば團に於ける社會人としての修養は、より以上理想的な、そして飽迄個性と理性に立脚した處の考えを産み出せる基礎たらんものなりと思つて居ります。

然し乍ら特殊な組織形態を持つた網羅組織青年團を盛り立てゝゆくには團員一人々々の深い理解と、組織を保つて行く實任とを强く認識して頂かなければならない事を痛感致してをります。

以上所感の一端を述べまして御挨拶に替える次第ですが希望とそして確信とを擔いつゝお互ひ悔いの無い青春を送らんことを希いながら青年團の心からなる御協力を願つて止みません。

○……○

退任の御挨拶

前團長　小池清喜

希望の新春を迎えるに當つて諸んでこの昭和二十三年を皆樣と共に御喜び申上げる次第でございます。今回私は西鹽田青年團長を辭するに當りまして一言御挨拶申上げたいと思います。

過ぎし日を振り返つて見るに、私は幾多の混亂の中に自己を見つめ又青年團運動の將來について考えて來ました。私に取つてはこの時が自己を練磨される機會だとも思つていました。云うは易く行は難しとも今更乍ら强く感じております。

何時でも頭をなやまし續けたことは青年の姿はどうあらねばならぬかと云うことでした。その点私は次の如く考えております。それわ我々の理性と知性の問題ですが一般的に云つて人間は一つの或る事件にぶつかつた時に、我々の持つておるそれが低ければ低い程この理性と知性の必要さと高さとを痛切に感じそしてどう行動を取らねばならぬかを考えなければならないと思います。勿論その時は自己に取つても頭を冷やし續けて行くことが大切なことでありましよう。

然し乍ら現在の青年團は餘りにも多くの缺陷を持つております。

先づ第一に團員の資質の低下であります。

次に團員相互の融合を計らう心構えの缺如であります。

次に團員の團結力の薄弱であります。

次に團員の團體生活に對する認識の不足であります。

次に團員の團體生活に對する訓練の不足であります。

次に團員の團體生活に對する訓練の不足であります。

次に團員の團體生活に對する訓練

父兄會に就て

學校

一昨年來、きざしておりました父兄會設立の機運が熟し、爾來今七日、西鹽田學校父兄會が生まれました。この會はいわゆるPTAの性格を持ち會則にもあります如く、父兄母姉學校教職員を主軸としてひろく大方各位をも希望によつて包括する組織となつておりますから、この際會の目的事業の一端等をお傳えして、會今後の發展のために何分の御協力を得たいと存じます。

この會は、會員の協力によつて教育を振興し生徒の幸福をすすめることを目的といたします。もとより教育の振興は國家の手にまつべきものが多いのでありますが、民主々義社會にあつては、かえつてシテズンすなわち一般市民、もしくは社會人の自覺あり好意ある援助力にまつところが一層大きいのであります。村の將來があげて今日の青少年にゆだねられることを思うならば、教育を擔興し彼等の幸福を進めることがどんなに必要であり、お互成人の義務と責任であるかは申上げるまでもないのであります。

文化の先進國アメリカ等に於ては右の見地から從來數多くの學校後援機關が設けられ有効な活動をして參つたのでありますが、一昨年來このことを私たちの國にも屢々紹介し、かかる動きの活發ならんことを勸奬しておるのであります。この度わが西鹽田村にも結成を見ましたことは御同慶に堪えないところであります。

さて、こうした會の設立を見ますと、世間ではじきにお金の寄附機關だと思いこみ、またそのように言いくさしますが、そのような例もないではありますまいが、それは違うのです。勿論世の中のことすべて事業を行うには、お金がいりますから、時にそのことあるは當然ですけれど、他にもつと重要なことのあるのを見逃してはいけないのです。それはこの會のあることに依つて會員の教育に對する理解を深め、不斷に學校と家庭の連絡を密にして教育を向上させていくことであります。そうしてかかる理解と交際の上に種々な實踐が爲され、時に財的經濟的行爲が起るのです。

今年は取敢えず會費を金參拾圓とし、給食費、兒童文庫修繕費等にあてますが、より大切なこととしてお母さん方に給食のお手傳を願つて、且つは生徒のしわせ增進につとめ且つは學校活動に親しく參加していただくことにしました。

又數回の學校參觀日を設けやがては學校參觀をすることが少しもきがねなくなつて、新しい教育の展開に力を協せていただけるようにしました。

その他會員の修養の機會として、いつかは講習、講演會等も催したいと存じております。擧げ來ればいろ〳〵ありますが、一般村民各位もこれ等のことを御理解下さいまして會の活動に十分な助言とお力を賜わりますよう、お知らせ旁々お願申上げます。

因みに役職員を左に記します。

會長　竹内　博
副會長　武田かたゑ
監事　樋口　秀實
荒井　くめ
常任委員
十人　佐藤　清己
武田つね子
新町　福澤　利只
山極　喜子
東前山　春原　哲勇
佐藤　ナツ
西前山　栁澤　偕
宮澤　益子
手塚　樋口　勇
吉野　和
山田　東川多喜男
竹内つゆ子
野倉　山極　盈
平出　カツ
幹事　今井　保
合葉　幸助

農地委員會より

横山　責任

本村における農地改革も村内各位の御熱心なる御協力によりまして買收最後の段階たる在村地主の限度（六反歩）貸付地の買收も、十二月十四日に一應終りました。續いて殘つた、賣り渡しですが、賣り渡し直面し、如何なる理由にて農地改革を強力に遂行せねばならぬか、と言う事を再認識したいと思います「ポツダム」宣言受諾と共に日本國政府は、日本國民の間における、民主主義的傾向の復活强化に對する一切の障害は今更言う迄も有りません。

新憲法も此の趣旨の下に改正せられたのも多言を要しません。民主々義的傾向の、障害の重要なる一つとして指摘せられたことが、農地制度の改革であり戰前が日本工業の特質た低賃金勞働の供給源は農村であつまり、貧困な日本農業の形態が、日本の工業を維持したのであつた、この事は同時に日本に於ける工業製品が、其スムースに運行を圖けつゝある事は幸甚この上もない事有ります。從て、土地改革をならなかつた。即ち侵略戰爭と内外各地の軍閥地主の限度（六反歩）日本に對する、戰後の必然であります、さて、一九四五年十二月九日の農地改革に關する覺書を、今一項には、「日本帝國政府は民主々義的復活强化に對する、經濟的障碍を除き去り、人民の權威尊重を樹立し、日本農民を數世紀において、封建的抑壓のもとにおよぶ、封建的束縛を破壞するため、日本の土地を耕すものが、平等な機會をもつ事を保障する樣、指令される」とあり第三項に農地改革の一として「不在地主から耕作者への土地所有權の移轉」「公正な價格で農地を非耕作者から購入する規定をあげている」これ等は、日本の經濟機構に對する必然のメスであります。

然るに意識してか亦、知らずか、農地改革をそがいするが如き、行動を取る人があるとすれば、非國民も、はなはだしいと言われます。幸い我が村に於ては、各位の御理解と强力なる御援助に依りまして有終の美たらしめんには、農業改革を含んだ處の農地賣渡計畫を又自作化を均等にしなければいけません。この問題は重大なる仕事故、皆樣が一人々々この仕事をやりとげる位の自負心を御持ドされ。御協力願いたく、何分御願い申上げます。

賣渡は自作農特別措置法、第十六條に「命令の定めるところにより、その買收の時期において、當該農地に就き、耕作業務を營む小作農、その他命令で定めるもので、自作農として農業に精進するものに賣渡す」と倘均等化の目的にした目法。第二三條より第二五條に農地改革の一に明示された通り、交換分合を併行し、眞に法の主旨に添つた、農地改革を進めたいと思います。

本村では十一月五日、本會議に於て、一應三反歩（昭和二十年十一月廿三日）現在以上耕作し居る農民を對照に計畫を進める樣決定致しました。但し、特別の理由有ると認めたる時はこの限りに非ず、と決定しました。

賣渡計畫は、働く農民小作農を對照に（第一とし）一應立案致し、各民主團体、働く農民を中心と致し檢討を加え、より良きなつとくのゆく計畫としたい考えです。其の爲に各層委員は自分の所屬層に向い强力に呼びかけ、又部落懇談會を持ちたいと思つて居り其の際は必ず一家で一名は參加し、自分達の手になる農地改革を樂しもうでは有りませんか。この際特に自分がやらぬが人がやつて呉れると言う人まかせな、さもしい心を捨て、村内こぞつて明るい村造りの爲に子供達の爲に奮起して頂く樣、特に御願い致します。

今迄實收しました農地

不在法人協有

田二〇町五反七畝二六歩

畑三六町四反三畝二九歩

他に財産稅物納地有り

合計九四町一反七畝一七歩

未買收地約五町歩有ります。

農業協同組合設立準備會迫る!!

待望の、

昨年末より續けられた發起人會により目論見書の作成を終り、愈々左記による日時に設立準備會が開催される事になつた。

働く農民による、働く農民の爲の、農業協同組合を設立する爲に、各位はこぞつて設立準備會へ！

一、日時　二月八日午後一時

二、場所　西鹽田村役場

三、議決事項

1、定款作成委員選任の件（十五名以上）

2、地區、組合員たる資格、定款作製の基本事項決定の件

文藝

雜煮

竹下　襄忠

雨戸を開く音に―ためらいながら明けたあらたま、雪の無い國でもあろう、ガラス窓になげた初日！

淡い日ざしであつた。

せまい一室に生けられた南天の實を、湯氣が時々白くつゝんだ若い母が――八才位の男の子と六つ位の女の子の間に座して農業に精進するものに賣渡す」と倘均等化の目的にした目法。第二三條より第二五條に農地改革の一に明示された通り、交換分合を併行し、眞に法の主旨に

短歌

竹下　さと

今年こそ心のチリをはらわむとひたに思いつ初日おろがむ

埋火をかきおこしつゝ湯の町に友と語らう今宵たのしも

蠟燭を背負いて夕庭に立つ父の姿の老いませるのも

龍潭　皷

己が身をかえり見もせずひたすらに吾が子愛しと年老けり

憂き事や樂しき事の順なりて早銀婚の年に去り行く

竹内　あき

吾が生涯しばるけくもたゞ病とのたゝかいにして年過ぎにけり

何となく心たのしまず窓の雨障子たちきりひと日こもりぬ

竹下　襄忠

俳句

竹下　一夫

初空に拍手響く社かな

竹下ゆき子

初空や今日のよき日を果もなく

竹下　源信

初空や大内山の松の色

竹下　襄忠

若水に清めて祖父の初拜み

Y　I

元旦を報ずる鷄や鐘潛めり

行く年を惜しめるまゝに除夜の鐘

生花の瓶には軍服の寫眞が笑つていた

「なぜ父ちやんきり歸つて來ないの？……」

「……！」

沈默が續いた―冷たい窓外の空氣の流れがほつれ毛にも感じられた

いつか母の目に光る一滴が―

―あゝ―

荒れ猛た世は去れど幾度か淋しく圍む

雜纂賸!!

初空や飾れぬ世とて万歲の三十疊を舞えるも床し

西前山　齊藤茂登二君六月三日ビルマより

十疊の舞ふや水の流れもこまやかに

西前山　宮澤敏雄君六月九日ジンガポールより

水じわの靜まりゆけばさやかにも池の面に浮く雪晴の山

十人　廣瀨久雄君七月十九日中部ウクライナより

小宮山タキ

晴着きて羽子板かゝう乙女子の喜びに滿つ姿あいらし

東前山　竹内保君七月十九日シベリアより

嫁ぎ行く友の姿にうら悲し後追う枯葉の二つ三つ

西前山　宮澤廣利君七月十九日シベリアより

山田　竹内善君七月二十二日ビルマより

東前山　小林達男君八月二日カラフトより

西前山　重田保長君九月五日滿洲より

宮澤喜兵衛君十月二日シベリアより

清水定登君十月十七日シベリアより

十人　清水利已君十月廿五日總會へ、歩を進めて參りました。村民の皆樣、私達の手で私達の農協組設立に深い關心をそゝぎ、私達家族の幸福平和な村の建設に、私達の花園を杭で！垣で！がつちりスクラム組んで打ち廻らして行きましょう。なぜならば、荒波は私達の身邊に！目の前に！拇寄せて來ているからです

◇本號は何も原稿に主眼を定めず、編集致しました結果、この仕末です、非常に讀みにくい箇所のみであると思いますが、新しい人のみの編集として御許し願い度いと思います。が、私達時報部員は大いに勉强に研究を重ね一生懸命村民の皆樣の御批判と御指導を感銘致しまして、美しい讀みよい時報として愛されるべく萬全を期し、皆樣の絕大なる御支援を切に願い、御期待に副うよう、やろう!!と全員大張切りであります

◇本月の原稿は非常に多く、特に文藝關係のものは、大部分次號に掲載を余儀無くされました。あしからず御了承下さい

◇原稿の募集締切りは、次號より毎月五日と致します。どうぞ振つて皆樣の聲をどしどしおきかせ下さい。

（編集室）

編後記



◇踊んで昭和二十三年の新年を御祝いします　皆樣の御醵擬によりまして、新年號も新春と共に、發刊出來得ました事を感謝致します

◇農村に起つた昭和の一大革命と云うべき、農業協同組合も、いよ〳〵農業會解散準備總會、農業協同組合の設立準備會へと、歩を進めて參りました。村民の皆樣、私達の手で私達の農協組設立に深い關心をそゝぎ、私達家族の幸福平和な村の建設に、私達の花園を杭で！垣で！がつちりスクラム組んで打ち廻らして行きましょう。なぜならば、荒波は私達の身邊に！目の前に！拇寄せて來ているからです

今月の納稅

縣民稅　前期
電氣稅　全期
一部負擔金　九月分

人口動態

△婚姻

渡邊　照司　新潟縣へ
酒井　好　新町より
竹内　勇　東前山へ
竹内はつえ　北佐久より
清水　磯一　依田村へ
曲尾　春代　手塚より
兒玉　實　戸倉町へ
齊藤トキ子　手塚より
中井製絃雄　新町へ
横山　登喜　新町より
中村　邦男　十人へ
牛田　とし　北佐久より
小林　延人　青木村より
山極はるじ　手塚へ
會津　武春　新町へ
朝岡千惠子　横濱市より

復員便り

十人　清水利已君五月二十三日シベリアより

轉居

今般左記に轉居。從前の通り眼科一般の診察に從事いたします

西鹽田村手塚字堰口
醫大城方
瀧澤眼科醫院

豚の種付を

御知らせ！

開始いたしました
御利用下さい
西鹽田村東前山
竹内　勇

新築增築の家庭について

西鹽田村役場稅務係

右につきまして家屋を新築增築された場合は家屋稅法第十六條により、三十日以内に届出る事に成つて居りますからもし屆が濟まない方は至急屆けて戴きますやうお知せ致します。

西鹽田時報

第13號

發行所　西鹽田青年團
印刷所　上田市馬場町　秀信社
發行人　宮田勝人
編輯人　佐藤直道
長野縣小縣郡西鹽田村手塚

農業協同組合の在り方に就て

大庭直人

農業協同組合法案の通過より今日に至る迄の經過を序筆に記するの煩しさを、あえて省き、文化立國迄上に在る政治、經濟、教育、文化等凡ゆる分野の綜合的發展と相俟つて、吾々農業協同組合の發展的基礎を求むる事が、今日吾々に與えられた、大きな自由の一つであり、又吾々自体の將來の爲めに最も重大な實務でなければならない。

そして農業協同組合は、今後吾々の實生活における、經濟、教育、文化、つまり近代農業生活者としての絶對的必要性の上に組織され、運營されてゆくべき歴史的必然性を有するからに外ならない。

逆つて僅か二三十年に滿ない年月の間に、產業組合が全國に烈々の聲を上げ、帝國農會となり、農業會となつて今日に及んだ歴史的背景を考える時、何れの變遷期に於ても必ずや内外の趨勢に適應せしむべく、上層部の指導者に依り法的手段を以て改變せられて來た事は疑ひなき事實であらう。然し乍ら產業組合の當初に於ては單純とは雖も所謂農民の意志を反映せる經濟運營面が、思想的自由の裏付をもつて必ずしも活發では無かつたが、相互の生活向上をスローガンとして出發し、その發展途上、多くの研究的課題を殘したまゝ、自主的運營の燈火は無慘にも官僚統制の嵐の前に消え去つたのであつた。

この間長期に亘る第二次世界大戰は農民自体の民主化を阻害したのみならず、經濟的文化的水準を後退せしめ、加えて敗戰に伴う思想的混亂の中に在つて吾が農業協同組合は誕生せんとしているのである。

それは產業組合創立當時の素朴な農民相互の經濟感情（對資本的經濟）の集結ではなく、復雜した思想的環境と、起伏ある農民經濟の合理的結集と、より復雜した農民の社會的教育的生活感情、等々と幾多の復雜なる要素を現在の吾々協同組合設立當事者が分析調整し、善處し如何にしてこれを發展的基盤に方向付けるかに當面の大きな仕事の一つであらう。これ等は發起人を始め定款作製委員、資產經理委員等、關係役職員諸氏の技術に俟つて解決されるであらうが、新くして生れ來る農業協同組合が農民史上產業方面技術者（農業機械化經營てき理想團体としたならば、次に來るものは「如何にして生命ある有機的運營をなすべきか？」が殘された唯一の課題となるであらう。

この課題えの解決に當つては、インフレの渦中にある今日、巨大な資本と長期に亘る『時』とが解決的條件の一要素ではあるが、解決の鍵を握るものは人である。即ち優秀なる人材の綜合的經營面えの登用である。從つて人選に當つては最も嚴選力を至し若くは過去におけるそれの如く役職歴任者（一村のみに限られた狹義の）のみが世論に上る姑息的觀念を一掃し、廣く人材を野に求め、特に終戰後における歸還者の中に、曾ては海外異鄉に在つて經營手腕を以て事業に活躍し、或は學識經驗者等多くの隱れたる存在を人選範圍の中に留め置く事をあらうが、新くして生れ來る農業協同組合が農民史上產業方面技術者（農業機械化經營てき理想團体としたならば、次に來るものは「如何にして生命ある有機的運營をなすべきか？」が殘された唯一の課題となるであらう。

この課題えの解決に當つては、インフレの渦中にある今日、巨大な資本と長期に亘る『時』とが解決的條件の一要素ではあるが、解決の鍵を握るものは人である。即ち優秀なる人材の綜合的經營面えの登用である。從つて人選に當つては最も嚴選力を至し若くは過去におけるそれの如く役職歴任者（一村のみに限られた狹義の）のみが世論に上る姑息的觀念を一掃し、廣く人材を野に求め、特に終戰後における歸還者の中に、曾ては海外異鄉に在つて經營手腕を以て事業に活躍し、或は學識經驗者等多くの隱れたる存在を人選範圍の中に留め置く事をあらうが、新くして生れ來る農業協同組合が農民史上產業方面技術者（農業機械化經營てき理想團体としたならば、次に來るものは「如何にして生命ある有機的運營をなすべきか？」が殘された唯一の課題となるであらう。

この課題えの解決に當つては、インフレの渦中にある今日、巨大な資本と長期に亘る『時』とが解決的條件の一要素ではあるが、解決の鍵を握るものは人である。即ち優秀なる人材の綜合的經營面えの登用である。從つて人選に當つては最も嚴選力を至し若くは過去におけるそれの如く役職歴任者（一村のみに限られた狹義の）のみが世論に上る姑息的觀念を一掃し、廣く人材を野に求め、特に終戰後における歸還者の中に、曾ては海外異鄉に在つて經營手腕を

新聞業の規範

去る二月二十五日長野軍政部主催にて、縣下各新聞編輯部主任を長野工業學校に召集、新聞編輯連絡會議を開催、席上軍政部情報官ウーリヤム、ケリー氏より正しい新聞の在り方に付大要次の様な提示があつた。

一、責任

新聞が讀者を引きつけそれを失わぬ爲にしておく權利は公共の福祉に對する考慮以外何物にも制約されることがない。

ジャーナリズムに向けられている一般大衆の注目を新聞が利用するという事實が新聞の責任感を決定するのであつて、新聞はその責任を各記者とゝもに負うのである。

新聞記者が自分の力を利己的な又はその他價値なき目的に濫用するのは大なる信頼を裏切ることになるのである。

二、新聞の自由

新聞の利用は人類の重要な權利として擁護さるべきものである。それは法律に明白に禁止されていること以外の如何なる事柄をも論ずることが出來るという疑う餘地なき權利であつて禁止的法規の適不適を論ずることもこの權利に含まれていない。

三、自主獨立

公の利益に忠誠をつくさねばならぬという拘束以外如何なる拘束をも受けないということは必要欠くべからざることである。

1公衆の利益に反する個人の利益を追求することはそれが如何なる理由にせよ忠實なるジャーナリズムとは立立しない。所謂私的筋から得た記事はその筋を一般に知らせずに掲載さるべきでない。又形式上に於ても實質上にも記事としての價値を立證出來ない場合掲載さるべきでない。

2故意に眞實を離れたる樣な記事中に表われる黨派的色彩はアメリカのジャーナリズムの最榮の精神を又黨派的色彩が記事欄に表われるとジャーナリズムの基本的原則を覆えすことになる。

四、眞摯眞實正確

讀者に對して忠實であることは總てその名に相應しいジャーナリズムの基盤である。

1忠實ということを念頭におくならば新聞は眞實ならざることを得ない。

力が及ぶにも拘らず徹底正確を欠くこと或はこれらの本質的道德の實踐を怠ることは容認さるべきことでわない。

2見出しはそれが冠せられている記事の内容から見て十分納得のゆくものでなければならない。

五、公平

健實な道を踏むためには新聞報道と意見發表とわ判然と區別さるべきものである。

新聞報道は意見を交えず、又如何なる種類のわい曲をも含んでわならない。但しこの規範は明らかに辯護のためのものである場合又は書く人自身の決論と解釋であるということを認めた名前を載せてある所謂特別記事はこれに該當しない。

六、公明正大

新聞は非難される者に意見發表の機會を與えずにその評判や人格に影響を及ぼす樣な公でない非難を掲載すべきでわない。

正しい道を踏むためにわ裁判所以外に於ても重大な非難をする場合は常に斯樣な自己辯護の機會を與えるべきである。

1新聞は公衆の好奇心とは區別さるべき公の權利の確實なる保證なし個人の權利及感情を犯すべきでわない。

2その源が何であろうと事實又は意見の重大な誤りがあつた場合速かに且つ完全にそれを訂正することは新聞の特權であり、又義務である。

七、禮儀

高い道德的目的を掲げながら罪や惡の詳細な記事に見受けられる樣な低級な行動を刺戟する記事を提供するならば新聞は眞摯でないというそしりをまぬがれ得ない。左樣なことを公表するのわ明かに一般のためにならない。

新聞規範を實行する力を欠くようなことがあれば有害な本能にへつらうことわ力強い公の非難を招き重い職能上の非難の重壓に屈服するだろうという希望を效に代表されているジャーナリズムは衰退するのみである。

以上

村勢點々

城鐵澤金

最近の話題は協同組合設立に集中されているが、去年九月この研究會が設足して研究に研究を重ね漸く全村一本を決議して解散した私はその時起草委員だつた。

固より協同組合が一村一本であることは我々は十分承知している。

從つてお互に自分の感求の為通さんとする時は協同精神は失う、分裂するかも知れないということは、今後平素より十分覺悟している所である。

それはある意味に於て我々の負うべき當然の運命かも知れない。

併し如何に當然の運命と雖も悟してみても、現實にかくの如き悲しむべき結果に直面する時、我々の心は甚しく傷まざるを得はい。

×

某村では二本建となつた某村は流會となつた、運命と覺悟はしてか、それかあらぬかは其の農村は何處え行く、不祥事といえよう。

我々としては今後一層注意が、去年九月この研究會が設足して研究に研究を重ね漸く全村一本を決議して解散した私はその時起草委員だつた。

固より協同組合が一村一本であることは我々は十分承知している。

從つてお互に自分の感求の為通さんとする時は協同精神は失う、分裂するかも知れないということは、今後平素より十分覺悟している所である。

それはある意味に於て我々の負うべき當然の運命かも知れない。

併し如何に當然の運命と雖も悟してみても、現實にかくの如き悲しむべき結果に直面する時、我々の心は甚しく傷まざるを得はい。

×

某村では二本建となつた某村は流會となつた、運命と覺悟はしてか、それかあらぬかは其の農村は何處え行く、不祥事といえよう。

我々としては今後一層注意が、去年九月この研究會が設足して研究に研究を重ね漸く全村一本を決議して解散した私はその時起草委員だつた。

固より協同組合が一村一本であることは我々は十分承知している。

從つてお互に自分の感求の為通さんとする時は協同精神は失う、分裂するかも知れないということは、今後平素より十分覺悟している所である。

それはある意味に於て我々の負うべき當然の運命かも知れない。

併し如何に當然の運命と雖も悟してみても、現實にかくの如き悲しむべき結果に直面する時、我々の心は甚しく傷まざるを得はい。

×

某村では二本建となつた某村は流會となつた、運命と

荒廢の世相と道義

K S 生

打破した今日の組合は相當突込んだ意見も交換することが出來て、如何にも朗らかな、そして力強い、眞に具合がよい準備總會と思う。

×

協同組合の設立は本年度の大きな希望で力強いメロデイだ。

協同精神さえ基調にすればあまり難しくもないようだから、正會員も準會員も晉い立つがいいと思つている。

以上

凶惡な犯罪の頻發、青少年犯罪の增加、等戰後社會に暗い面は依然として續いている。もちろんこれらの傾向は戰後の社會に通ずる一般的な傾向であるが、個人の自由も個人の權利も、こうした個人の責任の上にのみ、正當に主張し得るのである。解放された日本人に一番欠けて居るのは、個人の責任感ではなかろうか。そこに與えられた自由のはき違えがあり、自分だけが都合のよい、僞民主主義の登場である。世相の荒廢も秩序の混亂も根本はそこにあるのではないか。道德の基準は、われ〳〵の外にあるのではなく、われ〳〵の内に求められてはならない。外部の權威を否定すると、同時にわれ〳〵の内部に斬らしい權威をうち立てねばならぬ。内部に權威をうち立てるということは、個人々々が、秩序の形成として、自から確立する事であるこの事は國家社會、あるいは個人の屬して居る團体に對して自から、責任を自覺し、これを果していく所からはじめねばならないだろう。

青年團役員變更

事業部長　小林一榮
企　劃　横内美江
產業部副　池田みつを
情報部長　佐藤直道
企　劃　宮澤万貴代
評議員　新町　順田昭子
　　山田　齊藤利一

偉大なる〝根無草〟

金井好衛

本紙前號に『本村農民運動に對する一考察』と題し柳澤信氏が昨年夏よりの素朴なる一農民として体驗を通じて本村農民委員會を主体とする農民運動に對する批判的且建設的な一文を掲げられた。私はこれに關して意を異にする点につき愚見を述べたいと思う。

氏は此の中で「具体的な事實は知らないが當體的に考えて農民運動は農民自らの手で團結した力で社會的經濟的政治的要求の爲に活動する事ではなかろうか」と云い又「一例を土地問題にとって考えると農地制度の徹底的改革及び耕作權の確立を圖り以て農民の上に迫っている社會的壓迫を切り開いて社會的地位を向上せしむるよう努めると云うような運動であろうと思われる」と末尾の語調の蔭に隠れた氏の云う通りである。

では何故全村加入の農民委員會が分裂したか？　氏の言を借りれば「私達の夢に描いた待望の姿はまだ實現の運びに至らざるに早くも又部分的分裂的活動が開始されたのである。土地管理委員會の結成がこれである」と。土地管理委員會は何故生れたか？農民委員會全村加入運動の前後を通じて新入會員側の一部團體から發散された「反農地改革的」勢圧に刺撃された貧農（小作農、小作的自作農等）の大部分の人達に依って自衛的に自主的に組織されたのである。而もこれは農民委員會とは全く別個の組織であって主として耕作權の擁護、農地改革の徹底化を通じて民主化を目的とする團体であり、農民委員會は單に耕作權のみならず惡ゆる分野に於て民主化促進を實行せんとするより廣汎な大衆組織である。兩者共政黨支持は全く自由な組織であるのだ。

建設連盟はこれと全く構成員を同じうする土地管理組合を持つ。名儀こそ異るが實質上の單一組織である。

氏は全村加入農民委員會分裂の責任を土管の誕生になすりつけているのみならず一道義と明朗を欠如していた事が大なる誤りである」と極言して恰も農民委員會や土管を惡黨扱いにしている点は正に實本家地主の代辯家共が不遇の鞭と呼び山ネコとわめくに通ずるものがある。又貴下の土地管理組合員の中には物納小作やヤミ移動のために、明朗を欠如している小作人やテモ明朗な地主は居ないか？

更に又氏は「共甘同苦の團体なるべき鄉土の中に於て一方的行動云々」とおつしゃる正にその通り共甘同苦を擔い合うべき鄉土の中に高率小作料の現物納や明日を保證されないアヤフヤな耕作權が一方的に存在したればこそ聯合國農民解放指令の實先にとり上げられたのが今度の農地改革だ。氏の云う「特殊機關の指令を金科玉條として活動し或は又農地改革等に對する不合理等幾多の矛盾を云々」の特殊機關とは然らば聯合軍司令部をでも指すのか？　だとすれば事は正に重大である。二月十日附GHQ天然資源局農業課の談話について氏は知るや、知らずや？

「リコールはセン動ではない」。此事が僅々數日で出來たのは自然の勢で、そして之に生れたのが即ち建設連盟であり、從って前者（農民委員會）に對する反動的性格を多分に持って居ることは云うまでもない」と氏はこゝでハッキリと極めて素朴に建設連盟がリコールとつながり反土地改革的な反動組織であることを自ら暗面もなく告白して「封建的思想を根本から追放して正しい民主々義の下に云々」と。おゝ願はくば氏よ、率先してそうあって呉れ！

本村の向上となり、ひいては命たるべき鄉土の中に於て一ならねばならぬ。かくてこそ目前に迫れる農業恐慌も甘じてこれを受け得る態勢が整い協同組合の設立も圓滿に進展し平和な村の建設が出來、祖國復興が期して俟つべきである」と……成程ことは此の樣にチャン〳〵と順序よく進むものか？　ではどうして農民の組織的經濟的向上を實現するのか？　農業恐慌はどうして喰いとめるか？　氏よ！頭の中に浮んだ願望と具体的な手腕とを混同する勿れ！連盟は土地改革にブレーキをかける農民はてんでによくなれそうすりや村がよくなってその次に國がフクコウするぞよ！　有難い御宣託だ。我々は今度こそ今度こそ建設連盟の正体をよく知った。反動的土地分配論と云う唯一絶對の御神體を「和」とか「綜合的」とか「中道」とかのヴェールで包んだレイケンあらたかなものへの信者の集いよ……歴史觀（總論）と科學的理論の上に立って先づ現實をどうして行かねばならぬかを論ずるものは民が夢みる樣なバクとして眞に團結せねばならない農民の（人道の）團結を背定する眞の和、眞の綜合性（統一）は何人も免除に於てこいねがうのだ!!

建設連盟は闘爭はやらぬ民主團体だと云う（但し土地に關しては例外？）農民が惡税に抗して官僚に强い意志表示をやるものがどん〳〵連盟の協力から出て來ても幹部はこれに參加はしないと云う。納税惡税主化同盟への消印があの樣に僅々數日で出來たのは、氏の言葉によれば「セン動ではなくて自然の勢である」の一部幹部は今度は自然の勢を無視して傍觀している。農民委員會からは禮をつくして共に民主團体（？）の誼で共同闘爭をやろうではないかと申込んだにも不拘參加されなかった。おゝ偉大なる根無草よ！しつかりと、深く土に根を張ろうではないか。

—（一九四八、三、一〇）—

○……○

『ロボット』

樣名岡志會

黒田修二

情けない話だが、世の中には操つられていても、お拘つかないロボット同樣の人達が澤山生活しているやうである。

戰後日本は、デモクラシーとか何とかいって、たゞ個人的自愛的立場から言論の自由だ、ストライキの自由だとあつちもこつちでも連發を、辯えないで、大騒ぎをしている。

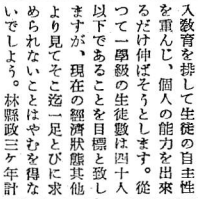
わが鄉土にも、眞の民主々義運動は勤勞者農民の利益を擁護する國家を樹立するにあると、精神病者のように口を揃えて、個人的に團結せねばならない共産主義者がいる。彼等は『勞働は神聖なり』『働かざる者は食うべからず』等を原則としてをりながら勤勞者の生活改善という美名に隠れてストライキを煽動し、其間、食うものはタラフク食つて生産の停滯やインフレを誘因し、かえって勤勞者や善良なる農民の生活條件を經濟的に壓迫していることを知っているのか知らないのか？

そんなにストライキが勞働者農民等に有益なものであるならば、龍顏拳中食はなに坐禪でもしていた方が餘程經濟的かも知れぬ。それに彼等のいうことは、明けても暮れても喧嘩だ。即ち、闘爭と叫んでいるだけだ。

眞の民主々義は闘爭ではなくて自然の勢である」の一部幹部は今度は自然の勢を無視して傍觀している。農民委員會からは禮をつくして共に民主團体（？）の誼で共同闘爭をやろうではないかと申込んだにも不拘參加されなかった。おゝ偉大なる根無草よ！しつかりと、深く土に根を張ろうではないか。

—（一九四八、三、一〇）—

○……○



こんな農村はにしたであろう。

一部の農民委員會の指導者が善良すぎる村民をロボットのやうに操り踊らせたからだ。操つり人形じやあるまいに餘りにも人を馬鹿にした話しだ。遂に行はれた惡税運動や農民大會は、無知な農民の弱点を利用して自由を束縛し、勞働を强制する。勞働階級獨占從屬の國家を樹立しようとする常套手段であることを、特に青年は反省する必要がある。

吾々は人を「ダマス」ことは嫌いだ、たゞ人々の間に自立自發の實任感と、相互扶助の友愛心が培はれて、正しき

校舍增築に就て

學校

六・三の新學制が實施されて玆に一年、この三月には初めて新制中學の卒業生を送り出すことになります。つまり小學中學合せて九ケ年となるわけであります。生徒數は增加の一方であります。

わが西鹽田學校でも、昭和九年度兩校舍四教室の增築以來十餘年を經過して、今日再び校舍の狹隘を告げてきている有樣であります。二十二年度に於ては新制中學で二學級增加のために裁縫室（兼小講堂）もというように校舍の新築、增築の問題がとり上げられ、目下當々と工事中のところもあり、計畫の進められている町村も多い所以であります。

さあ務進しよう。ロボットから醒めよう。そしてがっちりと歩調を合せてゆこう。

鍼灸治療案内

胃腸病、神經痛、血壓充進症、夜尿症、腰痛、神經衰弱症、小兒鍼、その他御相談下さい

東前山（前山寺下）

鍼灸師　**島田要平**

（役日午前中）

聞くに生學

時報部記者は去る三月の一夜山田の中學校の集りを訪れ本村青年團運動に對する意見を聞いてみた。

○皆さん今晩は、では早速ですがお伺いします。現在の青年團は男女合同の網組織なんですがその点に就いて。

×慰安會等の場合男女が夜余り遅くまで酒、煙草等を呑んでさわいでいる如き行動はよくない。未青年者が青年團へ入る事によって酒、煙草等をすゝめられ味を覺えると言うような事は考えるものだ。慰安會と言えども青年らしい高尚な點を唄い、下品な歌は止めるべきだ。組織は網羅がよいと思う、又男女合同はよいが事柄別に依り考慮を必要とする。

○演劇に就いて

×悲劇、喜劇その他の劇等を演ずるにも生活に立脚した、時代にそい觀客に指導的に何物かを得せしめるような形になるべくなるよう希望する。

○映畫に就いて

×一般が觀賞になれない。金取主義の大衆向の映畫が多すぎる、文學を通じた思想的によく盛り込んだものが少ないからその点氣をつけて見るべきだ

○では今度は青年團でなくて青年の結婚及戀愛について

×兎角遊戯的の戀愛が多い、理性的に責任ある戀愛をするべきだ。結婚は見合結婚が大體の實例から考えて見ても戀愛でも成功不成功は運までも成功するものであるから今の所、社會の狀勢に應じて、見合を前提として考えても良いと思う。

經費の問題は若い者は必ず且速に目醒めて年寄を徐々に動かし啓蒙に努めるべきだ。

出來得れば或程度の地區を作り規約等を設けて强力に實行に移すべく希望する

○どうも有難う御座いました

女子討論會開かる

第一回

女子青年團始まつて以來、未だかつてなかつた女子のみの討論會が椙信の晉づれようとする三月十一日夜役場において開催されその大要を左にかゝげる事にする

一、結婚上の問題について

イ、戀愛結婚か見合結婚かどちらかと云えば戀愛を望む、淺はかでなく心から理解し合つて結ばれたなら至上の幸福であると思う。併し見合も決して悪いとは思わない、唯今までの如く、相手を十分知る期間もなく、本人同志の意志も尊重されず、親のすゝめで結婚生活に入る、といつたような事は考えるべきである

ロ、結婚の簡素化について

これは昨年來方々で叫ばれ規定等出來たにもかゝわらず仲々實行されません、これは私達が先づ自覺し實行して行かなければならないと思う

ハ、結婚費用に無駄をはぶきそれを他の實用方面に使つたら有意義に生きると思う、調度品は必要なものだけとし、服裝等もつつましく實用的なものを望む

ニ、相手に對して正しい批判が出來なければ戀愛結婚も不幸に成る場合もあるから互に眼を肥すまで見合をしてから交際をし相手の人物、人格を觀てから結婚するといつた中道をゆくのがよいと思うけれど戀愛結婚は理解のない村中では仲々困難であるから、娘の解放より婦人の解放をし、互の自由意志によつて正しい自覺した結婚をすべきである

ホ、相手に對する批判

位づつ見えるもよいと思う、又お茶だけというのはあまり簡單過ぎるから手近かな野菜料理で前途を祝するに一飯位は會食したい

ヘ、衣服等は誰しも欲しいが國情からみても本人にその慾望を壓える位の意志の強さが望ましい

ト、結婚は外面的に囚われず心からの愛と尊敬を持つて簡素化を理解し人間として睦まじい生活をする上にも、もつと精神的に考えて貰いたい

チ、これらは民生委員や婦人會等と合同で檢討し理解し合い、規定等は或る程度設けその趣旨の徹底を研究しなるべくも落ちのないようにすべきである

二、青年團について

今まで働く事にのみにおわれていた女性もこれから一個の社會人として立ち上り、しつかりした女性の士台をきづいてゆく爲にも若い女性は活潑にならなければならないが、青年團の會合などで女子の發言のないのは社會教育が身についていないためではないだろうか

青年團を益々發展させるには女子も男子に頼りすぎず自ら社會人として自覺せねばならない

青年團は一本建か二本建か

二本建になるのは未だ早いと思うから内容を二本建としもつと女子のみの會合を持ちたい（舅子の教養を高める上にも）

現在の教育制度からいつても一本建の方が有意義である

女子の向上の爲には婦人會などと合同で女子のみの講演會や座談會も望ましい又討論會等も婦人會の倣聽も希望する

青年團を面白くするためには互いが自發の青年團として愛し、自覺してゆかなければならない

三、今後の衣生活に就て

現在は纖維が非常に不足している時であるからなるべく自給自足をのぞむ

着物か洋服かは生活樣式により一式にする事は出來ないが儀式の時以外平常は活動的な洋服にしたい

洋服の更生にも自分の趣味が調和や色をもつとよく研究するのを望む

どちらでも各自の自由にし小範圍な二重生活などさしつかえないと思う

四、權利を與えられた女性の有り方

權利を與えられたという事は日本女性の喜ぶべき事である、この權利は終戰によつてはからずも與えられたのであるがまだ十分發揮出來ることに感謝し村には意味もくみとれない人が多いようである

これを發揮するには常に自立自榮の精神を涵養し教養につとめなければならない

今までの女性は政治などにはほとんど無關心であつたと思うから、新聞などにはつとめて目をとおし時勢のうごきなどに關心を持つべきだと思う

今まで缺けていた科學知識など常に養い世界の女性におくれないよう努力したいと思う

もう少し老人等に理解して戴き手近かな講演會、討論會とかにお出席し上につとめるべきである

家庭生活上においても周圍、家族の理解と男性自身の協力があつたらいつもも小さな觀野にとゞまりがちな女性に新しい世間空氣を與えて下さつたら

今までのように時間の空費もなくなり、物事も計畫的にすゝむと思う

權利ばかりを主張してもいけない

責任が伴わないものならなんにもならない、義務と責任の伴つた權利であり事を希望する

寄附御禮に替えて

西據田青年團

時節柄誠に申上げ兼ねる儀で御座いましたが今般本團運營資金を村內有力者各位にお願を致しました。然る處皆樣の意外の御支援に依り御快諾を頂きました事厚く御禮申上げます。

吾々は尊い芳志に應える爲一層努力を傾注致し、よりよき青年團として皆樣の御期待に添はしむる考えでをります

只今御依賴中の爲全部の御芳名を掲げる事は出來ませんが取敢ず現在の分を掲載申上げまして御禮に替える次第であります。

一金五千圓也　增島　良三殿
一金五千圓也　金澤　伸殿
一金壹千圓也　篠崎　富雄殿
一金壹千圓也　關田六三郎殿
一金壹千圓也　和方　長成殿
一金壹千圓也　佐藤　高紹殿
一金五百圓也　安藤　茂殿
以上

若男見解の「文面に接して」

武田ひよし

竹下襲忠縣の實生活にふれる事は出來ないにしても若男見解の文面に接したのは感しいて。あの文面に認められた見解を明日の生活の中に取り入れるにはどうしたらよろしいでしよう。時々婦人に客する言葉が見える。私達に取つては大きな研究問題でなくてはならない。婦人の向上は大變困難である。それは向上する意欲に乏しい故もあろうが男女同權と云う洗行語にもひとしい言葉にしげきされていざ向上出來たとしたら其の上に立つて直接社會に出動される男の人はどんなに仕事がやりやすく愉快でしよう。そんな意味に考える婦人の使命は重大でありますが現實はどうでしよう。

婦人は外出する機會も少ないし、增して見聞もせまいわけであるから社會の進展變化にもうとく「私は女で關係だから」と云うような自己卑下の言葉が多く使われる現狀であり非常に悲しむべき狀態である。眠れる婦人を目覺めさせて下さるには、先づ世の識者にふれ、よき話をしていたゞき家庭にあつては男の人のよき取りなしに依り家庭生活の向上に資するよう徒らにきめつける樣な事はあまり云わないでやさしく强制的になつて山出來たとしたら其の上に立おさない子等が、がり〳〵と大人に叱られるを見るといたく愉快でしよう。婦人の向上と云う事は樂しい研究の題目として取り上げて行きたいの。

現在の家庭生活に研究の餘裕はなくとも又華々しい結果を世間に發表する望みはなくても日々向上しようとする心を注ぎ其の助けとなる樣な材料を乏しい見聞の中からも集め一寸した感想等も月一度でも良いから書いておき、三年四年と振り返つた時に心の成長を感ずるばかりでなく生甲斐さえも感ずる。その成長を振り返つて見て嬉しい自分を見出す時は若い人達への理解と助けとならねばいけない。とかく若い人達と年寄の意見の相異からおこる混亂もふせげるのである。婦人は多くの人に接する事が少ないから讀書によつて高き教養と深い知識と眞理の探究を求めて、學ぶ事は樂しい。併し家庭の事情も許さないでも〳〵樂しく生活出き、何物かの下積になつて悲哀に沈むような事はなくなる。

何か自分をさゝえてくれる精神的な體驗がさゞ出來たら感情や、がり〳〵や强がりは一切超越し、たとえ其の場合には淵源に見えても理性的に處理していけると思う。家庭內に起る大小の混亂も救が減る。そうなつた時こそ家庭的日本婦人も一段と社會的になり婦人會を出られるのである。乏しい生活狀態の中にも明るい世の中に住まわれる事を願う時、さゝやかながらも私はほんとに樂しいのである。

責任〟の確立

小山喜勝

一九四八年を迎えて二月も過ぎ、春を想わせる候の節句の日、自然の姿は漸く白い衣を脫ぎ捨てて、私共の生命線土に親しむ農民の活動に差支えの無い樣、我々を待つ機會に又新しい建設の並木路に其の緒口を見つけ、昨年の足跡を省みて良く物事を察し、何をも研究して行かなければならない時、時れた我々は長閒なる日を送られぬ。四圍の現狀に居る頃、片山內閣總辭職の愚狀態に連なつて社會主義政策も其の効果、國民の期待にはづれ、遂に短き生命は尊を閉じ、民主戰線の上に大なる暗影を生じて今の政局は、殆ど日か遊休して居る有樣であるのである。

昨田民主黨總裁を首班とする國聯連立內閣の構想も効果上らずして、三黨連立に一變した現在、果して『たらい廻し』政權がどんな政策を以て運營されて行くだろうか、一般人は二つの眼で見据つて居る。右の如き現狀に關連して一般人の態は、平常內閣總辭職の前兆を表現されるや必ず不當識な非を、お茶飲みの話題に花を咲かせて居るのを見る時、日本人の習慣であると思われるが、余りの無責任に驚かされる。

國民健康保險組合も暗擦單價の値上で、經營困難にお ち入り四苦八苦の運營を續けてまいりましたが、本組合も一部休止の止むなき事態となりつゝあります。

國保便り

四月一日より醫療給付を廢止する事になりましたから四月一日以降は受診證の利用は出來ません。（但し川西國民健康保險病院に對しては出來ます）

川西十ケ村の國保組合立病院が中臈田村保健に設立され來る四月一日より事業を開始致しますから何卒御利用下さい川西病院は主に國保の被保險者の診療を行うのですから必ず受診證を御持參下さい。

四月一日以降は川西病院を除くほかは受診證の利用は出來ません。

◎腸チフスの豫防注射について

本年も例年通り腸チフスの豫防注射を四月中に行います。

五才から六十才迄の者は体に異常の無い限り一人殘らず豫防注射を受けて下さい。

豫防注射の濟んだ者には豫防注射濟證を交付致します。

五月以降からこの證明書を持たない者は旅行出來ない事になつています。

◎姙婦の皆樣へ

姙娠隣用綿花及ガーゼの配給規則が改正になりましたから姙娠五ケ月目になりましたら必ず役場へ屆出て下さい。

若し屆出のない場合は綿花及ガーゼの配給はありません。

◎けし栽培取締について

單政部の命令で麻醉藥の種子や植物を栽培する事は禁ぜられています。

又その殘る植物が生えていたら全部刈り捨てゝ下さい。

麻醉藥の種子及び植物とはけし、もるひね原料或はそれに類する植物及び種子です。

正規の免許を受けた特殊の人々には麻醉劑を取扱うことが出來ます。

この規定を犯した者には重い罰金が課せられます。

御禮

今般村會議員選擧に際し、多大の御支援を賜り、お蔭を以て當選致しました事は、偏に皆樣の御厚情の賜物と深く感謝致して居ります。

今後は一層の努力を以て、村政の爲に盡す覺悟でありますから、何卒倍舊の御指導御鞭撻を賜りますよう御願申上げます。

昭和二十三年三月二十五日

上田支店

機械化の御相談は
農村機械化電動農機具、農地ポンプ、其の他電氣機械一般
松田産業株式會社
上田市松尾町
電話三四八・七八八番

挨拶

副團長　宮越かづ子

國家再建が叫ばれ、新しい青年團が生れてより、こゝに早や三年の月日が流れました其の間よく私達團員を指導し鄕土發展のために盡し下さつた先輩の方々の後をうけて、私この度女子副團長の重責を擔せて頂く事になりました。もとより知識も淺く、未熟な私が、新しい時代の青年團の仕事には極めて不適任であり、果してこの任務を完うし得るかどうかと、大變不安で、心苦しく思つております。

私達は新しい年を迎えた時來し方を省みて、正しく、より強く、より美しい計畫をたてることは誰しもすることでありましよう。過去を省み、新しい門出の心構えとすることは、私達の修養の基であると信じております。

殊に、これからの青年團運動には團員の皆樣の團結の力がなかつたならば、何事も計畫のみに終り、佛作つて魂入れずになるのではないかと考えます。今心靜かに團の將來を思います時、今までにもました數多くの難關が横たわつていることを痛感致します。

どうぞ團員の皆樣御協力をお願い致します。又先輩の方々には限りない御指導と御鞭撻を切にお願い致し御挨拶と至します。

挨拶

時報部長　佐藤直道

終戰以來玆に三ケ年の月をけみし野に山に萬物活動の陽春を迎えるに當り政局は多事多難、片山内閣の總辭職、芦田内閣の成立、再建日本の前途未だ遼遠なるものがあります。併し荊棘の道、怒濤渦巻く彼岸の燈やかしき光明を見出し、國民一丸と成り、凡ゆる艱難辛苦をも打破し再建日本建設に一路邁進せねばなりません。

一國の興亡盛衰は一にその國の青年の精神の剛健なるか否かにかゝつているのでありまして、これを東西の歷史に徵するに、その例實に枚擧に遑が無いのであります。古くは羅馬然り、蒙古然り、支那は三千年の歷史亦然り、酷寒身をさす多に赫々たる炎天下皮膚を赤銅さながらに燻して野山に精根の限りを盡くして鼓吹している青年を見よ、あれこそ再建日本、雄々たる日本の若き姿ではないでしようか。鍛は灼熱した時に鍛えるが人は發育最も盛んな青年時代の間に鍛り鍛え大いに心身鍛錬陶冶し今日及び將來に構えねばなりません。再建日本の使命は吾等青年の双肩にあるる事を自覺し日々の生活を充實たらしめたいものである。

此度不肖淺學非才をも省みず時報部長の職をけがす事となり相成りましたが何卒團員並に村民各位の絶大なる御支援と御鞭撻の程を切に御願い致します。時報は云うまでもなく村の機關紙でありまして各層からの皆樣の御意見なり御批判等を投稿されましてよりよき理想の村を建設し併せて再建日本の礎と致したいと思います。

みゝずのたわごと

はたのすみ

細い白い手で突然ゆすられて、吃驚して目を醒ましたら白い手こそそれは「はこべ」君の根だつた。

早起きの「はこべ」君は、もう春の準備にわれ〳〵さえもゆすぶつているのだつた。年若い子や孫達は、まだ〳〵抱き合つて深い眠りから醒めないでいる。わしの樣な老人はとかく目ざとくなつていて早起きで困る。

某老人『ほんとにそうだ』

春とは言つても未だ〳〵外は少し寒い。暖かな寢床を離れる氣にもなれず、一つ「うーん」と背のびをして長くなりながら、長い冬眠の心地よい後味をたのしみながら、それとなく過ぎ去つた長い〳〵昔の事を思い出して見た。

某老人『ほんとにそうだ』

この太い長い体、幾十とも知れない体の輪數、見ただけでうなずける、若い時から思う存分に働いて來たつけ。

突然「ぎゆう」と言う程固いものでおさえつけられた。そら又始まつた、人間と言う動物の足だろう。實際人間と言うやつ程氣にくわない者はない。口論好きで、怠けもので、無遠慮で、本當にいやなやつだ。何とかして樂をして、うまいものを喰つて、人の上前をはねて、良いものを宿て暮して行こうとしている。それが智識と言うんだそうだが誠に我々には理解しがたい所だであるからやれ戰爭だ、小作爭議だ、やれ土地取り上げだやれ何だかんだと、爭が起るんだ。我々の世界を見給え、働かされば食うべからず、之が我々の玉條だ。先祖代々からの一貫した敎えだ。身分に應じてお互に働いて仲良く暮す。見給え、この入豪族を、みんなすや〳〵と眠つているこんな平和が何處にあろう。全くさ、わしの未だ若かつた頃流行したあの詩吟とか云う歌の文句に

『子孫の爲に美田を買わず』

と聞いた、本當にそうだ。孫の又孫の頃迄の事を心配して慾をかく、だから爭の絶え間がない。

わし達を見給え。子供等は一人前にしてやりさえすやいい。わし等がちよつかいをして慾をかいてやらなくとも子は子で、孫は孫でちやんと自分の生活を建てゝ行く。それが本當の子孫の愛だ。自力實行、それが本當に子孫の爲なんだ。

死後、黄金北斗を支うともしかし生前一杯の酒、我々はえねばなりません。當り前に働いて當り前に食べて行かれる世の中、人間社會ではどうして取り入れないだろう。本當に不思議だ。

正當に働くもの、それによつてお互に正當な責任を果して行く。そして相當に生活して行く。それには何んと言つてもわし等の樣な老人への敎誡に幸福だ。

人間よ、青年よ、若い力よ立ち上がれ、今年は面白い年が來ると話していた。見ていようなあ「はこべ」君。

新しい村、新しい國造りを!!

青年團文化部

本年度事業計畫

戰爭に敗けてしまつてからすつかり世の中が不愉快になりました。更に私達は過去に長い空白時代を持つたため此の現實に如何に立ち向うかを知らずお互は虚無とデカタンスの淵に臨みかけています。

然しこんなことではとても私達の生き甲斐はありません此の際私達は全く生れ代らなければなりません。過去の一切を振捨てゝ立上り直らなければなりません。斯かる意味に於て、私達はお互人間のことは世の中の事を勉强し直し歩一歩確實に足を踏みしめ、より立派な人間樂と社會を創り上げようとする不退轉の決意のみが將來をして光あらしめるものだと考えます。

以上の氣持から次の事業に依つて微力を盡くしたい所存で居ります。何卒大方の御指導と御叱實を懇願致す次第であります。

一、圖書館の擴充
二、冬季講座の開設及講演會の開催
三、研究會の育成
四、演劇並に映畫會の開催
五、辯論會、討論會の實施
其の他

厚生部

健全なる精神は健全なる身体に宿ると、眩惑のショックを眞向から受けた青年は徒に失望と無自覺の中に今日迄過ごゝて來たではなかつたでしようか。街を彷徨よう浮浪者買出し、闇屋等の續出、如何に時代の然らしむるとお云え何んたる世相で有りましよう再建の重荷を負つて起つ吾等若き青年は、先づ健康なる体と堅實なる心を抱く、これが現在社會の青年に對する要求であり責務ではあるまいか。

さて本年度の計畫を眺めてみましよう。第一に保健衛生、第二に体育、の二部面に重点を置き樹立しました。直接吾々日常生活の生命に關することは割合に消極的であると思われます。もつと積極的な常識を持つて恐るべき傳染病性病等の未然防止すると共に公衆個人衛生の思想を普及し明るい村を作り、又青年の純潔運動にと衛生講話を取り入れるものだと考えます。

次に本事業の花形たるスポーツに就いて

スポーツは非常に民主的であるといわれます。增して吾津々浦々にひびき渡る民主の鐘の音等はよく耳を傾け、しかる後に答えよう。そこで青年は青年の立場として若さの滿ちた誰しも樂しめる此のスポーツを通じて、民主の大海がけて隆高らかに叫ぼう。

青年よつよくなれ、と。

最後に年間を通じての事業を列記して終りと致します。

一、卓球大會三月中旬
二、野球、排球大會八月下旬
三、陸上競技大會十月上旬
四、衛生講話
五、料理の講習會

以上　市村記

産業部

一、講習會及び品評會の實施
イ、藁加工品講習會
（三月上旬）
ロ、纖維加工講習會
（三月下旬―四月上旬）
ハ、麥藁加工講習會
（七月下旬）
ニ、竹細工講習會
（十一月初旬）
品評會　三月上旬

二、講演會
適當なる講師により產業思想の向上（年二回程度）

三、農業統計の蒐集と作製の發表（時報等を通じて發表）

四、農家副業の研究會
五、產業關係方面の視察
（適當な時期を見て實施）

村團に於て、產業の重要性にかんがみ、新に產業部が新設されました。昨年まで商業部がこれを擔當して居りましたが、非常に廣範圍であり、其の事業も復雜を來したので今回產業一般の事業を產業部が、擔當する事になりました。

過去の產業部面の事業を見まするに、本農村にあつても產業は非常に重要であるにもかゝわらず、他の各部に比してあくまで地味な關係が、非常に關心が薄かつたと云う事は、誠に遺憾の次第でありまして、本產業部事業計畫を、樹立するに當りまして、あくまで我々の生活の上に立脚した所の、計畫でなければならない事を念頭に於て、右の計畫に基いて行く上に於て、團員の方々及び村民各位の御指導と御協力を、一切に御願い致しまして微力ではありますが、產業の向上に、盡したいと存じます

以上　大口記

事業部

終戰四ケ年益々愚化するインフレ、ヤミ、食糧問題に包含されて社會生活に於て國民に與えた損傷が非常に莫大である。此の時に當つて日本國特に我々若き青年は此の窮狀を克服して一致團結して平和日本建設の方途に合致した社會事業を行い、社會生活の進路を明朗せしめる必要が有ると思う。

此に於て青年團は今までの事業部を分劃して產業部と社會部とに分けた。產業部は此の近在には農業に立脚した部である。社會事業部は社會事業一般を主眼とした事業を行つて行く譯である。

社會事業を主眼とする目的遂行の爲には革新性に富める青年の熱と意氣と積極性とに訴え、益々持つて村當局社會事業に協力し、大きく國家社會に貢獻して行かねばならぬ。本年度事業計畫を左記の通り決定した次第であります。

團目的達成のため絕大なる御援助御協力を御願い致します

◎社會事業部事業計畫

一、結婚簡素化運動
イ、五ケ村青年團に於て座談會研究等を行つて一致の歩調を持つて運動を行う。
二、社會奉仕
イ、學校役場の掃取り
ロ、公徵未復員家族遺家族の援護
三、危險箇所設置と其の整理
各分團に於て實施
四、防犯運動
イ、防犯映畫を行う
ハ、防犯ポスターの作製
ロ……◎

詩

"ひより"

竹下　襲忠

日のなごる化粧鏡
いみじ立田姫
うらゝかな春日和！
堤の陽炎！
スイート、イリュージョンのそれに似て。
蕗のとうがそつと頭を出した、逞しい小さな生命。
畫のサイレンが空一ぱいに響がる。
鍬を肩にすき腹をかゝえども微風を頬に、心は輕く吾は家へと、歩を運ぶ!!

澤山小唄

保科　竹山

春の彌生の喇叭やれ
湖水取卷く絲のとばり
飛白風雅に山櫻かな
ハア櫻は澤山よ
澤山よいとこヨイヤサノサ
茂りけり万朶の花を
みせし後
船に見上くる奇岩の幕は
匿の子狡りに咲くつゝじ
ハアーつゝじは澤山よ
澤山よいとこヨイヤサノサ
金糸銀糸を夕日が投げて
見事織りなす紅葉の錦

不滿とモナリザの表情

くみ子

自分への不滿がもん〳〵と部屋いつぱいに充ちてゆく時
わたしはひたすらその出口を求めるのだつた
ゆらぎやすく
もろいわたしの中に
せめて額れる柱は……
ゆるがない强さは……
さがし求めるわたしの手先に
あゝ、やつぱり
もくずのようにわからない不滿がむやみにひつかゝるだけ
壓も出ず
身もだえ苦しみ
力つきたわたしが
じり〳〵と自分で作つた泥沼にのまれゆくときおゝ　その戰慄の

短歌

小宮山　タキ

多忙り久にて畑に出でたれば身体の疲れ烈しくおぼゆ
降る雨のいまだ冷たく覺ゆれど櫻のつぼみはふくらみてあり
はだ寒き我が山里と思いしにさ庭の梅のほころびにけり

龍潭みゆき

ひるさがり峰吹く風もやわらかく野にはぼつ〳〵青き芽のもゆ

「よき歌はよき生活の反映だ」と云う師のみ言葉に心ふれゆく

竹下　襲忠

育てあぐ孫の入學祝ふとて芽ふくそばよりよもぎ摘む祖母

○陽春三月、最早餘日なく櫻花爛漫又萬物躍動の時節村民皆樣も何かと御多忙の事と御推察致します。

○お待ちかねの時報も部長の辭任、選出の爲大變のびのびとなり二月三月の合併號として發行致しました事を玆に深く御諒許の程を御願い致します。

○本號は農村の經濟其の他一齊の基礎たるべき農業協同組合の、創立總會が開らかれたるに依り主眼を農協組に於て編集致しました。

○去る二月二十五日、長野市長野工業に於て新聞編集通絡會議がありまして、其の席上、第一面に揭載したるが如き就き時報に對する皆樣の深き御理解の程を切に御願い致します。

○皆樣の積極なる御投稿を切に希望致します。



西塩田時報

第14號

發行人　重田勝人
編輯人　佐藤直道
長野縣小縣郡西鹽田村手塚
發行所　西鹽田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

佐藤先生を送る

竹内敬吾

佐藤先生御退官の知らせは兒童生徒はもちろん、一般村の方々の胸を强く打つものがあつたと思われます。

先生今年六十二歳、猶かくしやくたるものがありましたが、後進に道をゆずられたき旨を以て、この度の御勇退を見たのであります。

顧みれば、教育者としての先生の長き御生涯は、擧げて本村のために捧げられております。もつとも初めて身を教育界に投ぜられました時、ほんの暫らく他校勤務がおありでしたけれど、それは殆どいうに足りない短期間でした。即ちこれを履歴的にみれば、明治四十年三月上田中學校御卒業、翌四十一年三月小縣郡和尋常高等小學校代用教員を命ぜられ、爾來幾春秋、先生の御一身には資格の向上、宮中並びに國家の恩遇が重なりましたけれど、十年一日渝らざる御精進が續けられたのであります。

すべては人のよく知るところでありまして、私如き未熟なる後輩の語るを要しないところであります。

併しながら、先生の御人格の一端をこの機會に記錄して置きますことは、たとえ後生を奮起せしむるよすがとして、あながちに徒爾ではあるまいと考えられますので、非禮をも省みず以下思いつくままに拙い感想を綴つてみたいと思います。

先生は要するに德の人でした。德孤ならず、必ず隣ありといつどんな時でも先生のまわりには賑やかに人が集まり、話の花が咲きました。それは先生のひろい知識が常にしやくたるものがありましたが、後進に道をゆずられたき旨を以て、この度の御勇退を見たのであります。

顧みれば、教育者としての先生の長き御生涯は、擧げて本村のために捧げられております。もつとも初めて身を教育界に投ぜられました時、ほんの暫らく他校勤務がおありでしたけれど、それは殆どいうに足りない短期間でした。即ちこれを履歴的にみれば、明治四十年三月上田中學校御卒業、翌四十一年三月小縣郡和尋常高等小學校代用教員を命ぜられ、爾來幾春秋、先生の御一身には資格の向上、宮中並びに國家の恩遇が重なりましたけれど、十年一日渝らざる御精進が續けられたのであります。

すべては人のよく知るところでありまして、私如き未熟なる後輩の語るを要しないところであります。

併しながら、先生の御人格の一端をこの機會に記錄して置きますことは、たとえ後生を奮起せしむるよすがとして、あながちに徒爾ではあるまいと考えられますので、非禮をも省みず以下思いつくままに拙い感想を綴つてみたいと思います。

先生は要するに德の人でした。

綠化運動に寄せて

森林組合

山林

職いは破壞のみに終つた。見給え殘さ れたものは燒け崩れた灰色の國土と明日を考えようともしない暗い民族の影とであつたそれから昏迷の道を人間は生き續けてきた晴れやかな希望の地平線を目指してひたすらに生續けて來た。——しかしいぜんとして昨日も、そして今日も憂慾のうめきや憎惡の嘯きを聞くことなしに吾々は自らの生活を考える事も出來ないではないか、日本人とは果してこのようなものであつたろうか。

然として現われ出でたのであります。心早しきものに到底あのような敢たるすかたが見られる筈がありません。

まことに先生は至誠の人であります。巧まず作らず、而かも表裏のない御言行が、人をなつかせ信じさせました先生には精勵恪勤ということが、實によくあてはまります長い間のことですから、時に兩三回、先生も大思に煩わされたこともありますが、然らざる限り眞に十年一日、孜々として倦まざる御精勤でした聖德太子が憲法十七條にいわゆる「早朝晏退」を身を以て實行されました。

恪勤すなわちつつしんで勤めるというとき、先生を以てしても、論語鄕黨篇の孔子になぞらえることも決して潛上でないことを私は思うのでした。

先生はまた清廉潔白な方でした。世間的な名聲とか利慾に至つて恬淡なお人がらを、私は屢々ありがたく思います

先生にも郡下有數の學校から幾度か招きがあつた筈でありますが、然らざる限り眞に十年一日、孜々として倦まざる御精勤でした聖德太子が憲法十七條にいわゆる「早朝晏退」を身を以て實行されました。

恪勤すなわちつつしんで勤めるというとき、先生を以てしても、論語鄕黨篇の孔子になぞらえることも決して潛上でないことを私は思うのでした。

先生はまた清廉潔白な方でした。世間的な名聲とか利慾に至つて恬淡なお人がらを、私は屢々ありがたく思います

先生にも郡下有數の學校から幾度か招きがあつた筈でありますが、然らざる限り眞に十年一日、孜々として倦まざる御精勤でした聖德太子が憲法十七條にいわゆる「早朝晏退」を身を以て實行されました。

恪勤すなわちつつしんで勤めるというとき、先生を以てしても、論語鄕黨篇の孔子になぞらえることも決して潛上でないことを私は思うのでした。

先生はまた清廉潔白な方でした。世間的な名聲とか利慾に至つて恬淡なお人がらを、私は屢々ありがたく思います

そして祖國は何處へ行くんだ國土の崩壞、道義の崩壞を目の前にして吾々は一体何をしたらいゝのか……。ぢつと耳を澄ませて胸の中に沸々と湧いて來る血腥の聲を聞こう。

職いは終つた。血と焰の色は消えた。今こそ灰色の都市を、荒れた山林を綠で覆わなければならない。餘は成長と向上とを物語る逞しく若い力の色だ。そして又優しい喜びに滿ち溢れた愛の色だ。往時の信州を思いおこしてみよう信州は文化の國なり、然り幾多の文化人を世に送つて我が國文化の變遷には偉大な貢獻をなした。信州は電氣の國なり、然り綠蒼とした山林より流出する流りなき清流は數多の發電をなし本邦產業の開發に雄した。

適る山嶽と山の綠を寫した湖とはその孤い心來る旅人を心行くまで慰めた。

かつて詩人の友であつた綠の國よ、汝は何處へ行つてしまつたのか。我が幼時遊びの友として吾を育んで呉れた綠木は何處へ行つたのか。見給え丸裸の山や林、何んの溫もない灰色の都市を。山荒んでなんの文化があろう。水涸れて何んの電氣があろう。何んの

若人の獅子吼

青年團辯論大會

3月25日

新時代の推進へ

めまぐるしい變轉を續ける社會狀勢に未だ曾つてないところの實務を負はされた私達青年が鬼もすれば時代の壓迫に塩え衆ね、前途の目標に不安を覺えるかも知れないとき各分團代表に依り熱烈なる向上への意欲と社會愛への情熱を披瀝して青年の氣魄を遺憾なく發揮した辯論大會が開催され、聽衆に深い感銘を與えた。

青年の斯かる何ものにもめげない前進こそ明日を約束するものであり、終戰以來の混迷を克服する力である。辯論に就いても具体的なものを把握したことに於て一段の進歩がうかゞわれた。

こゝに當日出場辯士の一部の辯論を紹介し讀者各位の共感を喚びたい。

入賞者

一等　竹下義忠　竹下　嘉子

二等　廻口　昭　竹内とみ江

審査員

竹内敬吾、大口靜男、宮下榮法、武田かたい、竹下さと以上五氏

尙竹下義忠、竹下嘉子辯士は同二十八日龜田通育の大會に出場それ〳〵二等三等と獲得、本紙の名よを擔つた。

文化部長

伸びる寶石

竹下　義忠

私は仰ぐる寶石の無罪綴に有る事を發見しました、さてこの伸びる寶石とは何んでせうか、ここに皆樣のお耳に入れる事に致します。

我が國の教育制度は日下根本的な轉換が行われて居る事は皆樣周知の通りでありますその方向は教育の民主化が有り、劃一的な國家主義的教育体系が逆轉して、教育は民衆の手に渡され、地域差と、社會的のバライテイーに富んだ新しい体系の再編成が計畫されて實施されつゝあります。今までの教育制度が社會事實として成立していたと言い得るであろうか、今までの教育は、一つの社會機能として、これを實證的に歸納的に研究する余地が余りにも少なかつたと思います。

敢て擴言するならば、常に文化の土壤の培養が怠られて他力に依つて咲いた美しい花を摘取つて來た感があるとおもいます。皆樣は体驗しなかつたでしようか、學校生活を終わり、一端社會に飛び出した時、教育と社會の余りに薄の深かつた事を、私は痛感致しました。その原因は一体何處にあつたのであろうか？言うまでもありません、家庭―社會―學校の連繫乏しきに外ならないのであります。年に一度か二度の父兄懇話會で先生と父兄が話合う機會を數分得るのみ、後は教師に任せきり、毎日子供がカバンを背負つて出て行き何をしてどの程度の勉強をしているのか知らずに過した父兄が多くはなかつたでしようか？

教育に對する關心が余りにも稀薄でありました、教育は學校のみに在するものではありません、家庭にも、町にも山にも自ら所に在するものであります。

この打開策の大きな現われの一つとして所謂（ペアリーテイチャース、アソーシエーション）即ち父兄と教師の會であります、中にはこのPTAを密附の會と思い込むやうな人が隱々にして見掛けるがこれは誠に遺憾な事であります。勿論教育には經費がつきものでありますが、併し何でもかでも密附で行くと言うような事であつては、地域的、經濟的、精神的要素からして足りない、インフレに依る教育の破滅と言う事も考えられます。眞に子弟を思うならば、そこに自と經費の捻出する工夫と云う事が生れて參りまず、その意味からしましても、PTAは頂大な役割、又地位を占め今後の活躍を期待されるものであります。

その二つと致しまして今度新聞料の社會料が取入れられました事は、皆樣御承知の通りであります。

去る日、マ指令部のシーベルト氏は日本の民主化は青年の變貌にかゝつて居ると强調して青年の資任大なる事を述べています。我々もその覺悟をもつて進んではいますが、あの軍國主義的封建思想に一度身を投じた我々であり、未だ未だ取殘しが澤山有ると思います。この取殘しを完全處理してくれる者はないでしようか。有ります！たつた一つ、それは今學びやにある所の學童又これより學びやに入らんとする子弟、これに待つ他はありません。然しながらこの子弟を良くする悪くするも、これこそ伸ばすも縮めるも、これこそ一つかゝつて我々の實任であります、こゝに私は子弟を資石と換言致します。

今この寶石は何を望み何を求めているでしようか、非痛な叫びは何でありましようか先ず教科書が足りない、校舍が足りない、インフレに依る學用品の粗惡高騰、戰爭の犧牲及社會狀勢に依る人的資源の不足、あらゆる部面に互り不足を訴えていますが、PTAは頂大な役割、又地位を占め今後の活躍を期待されるものであります。

その二つと致しまして今度新聞料の社會料が取入れられました事は、皆樣御承知の通りであります。

去る日、マ指令部のシーベルト氏は日本の民主化は青年の變貌にかゝつて居ると强調して青年の資任大なる事を述べています。我々もその覺悟をもつて進んではいますが、あの軍國主義的封建思想に一度身を投じた我々であり、未だ未だ取殘しが澤山有ると思います。この取殘しを完全處理してくれる者はないでしようか。有ります！たつた一つ、それは今學びやにある所の學童又これより學びやに入らんとする子弟、これに待つ他はありません。然しながらこの子弟を良くする悪くするも、これこそ伸ばすも縮めるも、これこそ一つかゝつて我々の實任であります、こゝに私は子弟を資石と換言致します。

今この寶石は何を望み何を求めているでしようか、非痛な叫びは何でありましようか先ず教科書

汝はそも何者か？

愛和生

「身の程知らず」とは自分で自分のことが判らず、又自分を律することの出來ない人をいう。

私はこゝに前號で發表された、樣名同志會の黑田修二氏の名文（迷文）？に對し、私の見解を述べたいと思う。

第一に黑田氏（樣名同志會とあるからその代表者かも知れない）は私達村民を總稱して「善良なる農民」とほめてその後で「無智な農民」とけなし、私達を「ロボット」と稱し「ロボットから眞面目な人間に立ちかへる時は、今からでも遲くない」と云って、私達を「不眞面目な人間であるぞよ」ときめつけてゐる。不遜、無禮も甚しい次第である。然らば黑田修二君よ。汝のみ有難なる農民であり、又眞面目な人間であるか？汝はそも何者か？

第二に君が「ロボット」を書いた意圖は、共產主義のヒボウを第一の目標とし、特權的地主的なほんの一部の富有階級の代辯者として、苦しい生產に汗と血みどろになって働く大多數の農民に對して、觀念論的な說敎を試みんとしてゐることがかぎはれる。思想や主義やそれから言論は自由であるから君が共產主義をヒボウしようとしまいとそれは勝手であるが、君の言葉は、過去の私達農民や働く人々が極度の壓迫と冷遇を受けて居た、封建時代の地主や貴本家やその手先の官僚共の宣傳と同じような、共產主義はコワイもの、人をだますものといった丁度小供に、狸やじじなの話をするような論法だ。それこそ、私達國民の九十五％を占める農民や勞働者を「ダマソウ」とするインボウに外ならない。

私達は何樣であろうが、何主義であろうが、私達の味方であり、私達の先頭に立つて働いて、私達皆の生活が豐になる樣に眞劍に考えて呉れる黨を支持する。

かゝるが故に君の全文からハッサンする「共產主義はいけないぞ」と云うこと自體が私達の思想の自由を束縛せんとする意圖に外ならない。汝こそ、我々を「ロボット」と侮辱するものであろう！

第三に「一部農民委員會の指導者が、村民を煽動して村を混亂させて居る」と君は述べてゐるが、どこにその事實があるか。偏見も甚しい。

又君が農民がこの不當な立場に甘んぜよと云うならば、君は吾々農民の敵であり、日本の農民化を「ハム害毒」であると斷じた勞働者と農民の利害は相反する」と云う君の見解は極めて誤つてゐることである。この理論は幕前々月の時報に「シャッキン」と題して詳しく說明されて居るからこゝに繰返さないが、不當に高い稅金も喜んで出せ。買うものは何でも高いヤミ値で買つても、不當に安い供出價段で農作物もシボりとられよ。そして窮乏に甘んじて、どうにかやつてゆけ」と云う意味であろう。

「乏しきを分ち」とは實に良い言葉であるが、果して農民が、この言葉のような公平な立場に置かれて居るかどうか若し君がこの農民の立場が公平な立場にありと斷定するならば、君の誤しい偏見であり君がオジケもなく一文を投資し得る程の價値はあるまい。

第五、最後に「勞働者と農民の利害は相反する」と云う君の見解は極めて誤つてゐることである。この理論は幕前々月の時報に「シャッキン」と題して詳しく說明されて居るからこゝに繰返さないが、不當に高い稅金も喜んで出せ。買うものは何でも高いヤミ値で買つても、不當に安い供出價段で農作物もシボりとられよ。そして窮乏に甘んじて、どうにかやつてゆけ」と云う意味であろう。

「乏しきを分ち」とは實に良い言葉であるが、果して農民が、この言葉のような公平な立場に置かれて居るかどうか若し君がこの農民の立場が公平な立場にありと斷定するならば、君の誤しい偏見であり君がオジケもなく一文を投資し得る程の價値はあるまい。

又君が農民がこの不當な立場に甘んぜよと云うならば、君は吾々農民の敵であり、日本の農民化を「ハム害毒」であると斷じた

勤勞

野食T A生

敗戰に依つて日本人が受けた精神的、肉体的のショックは實に大きなものがある。恐らく開闢以來の一大ショックである。反動的な此のショックに依つて併立した日本人は精神的にいわゆる失望的、沈澱狀態にあるのは明白な事實である。特に希望の薄い中に於ても、我々の直接關係の深い勤勞面に明白に見る事が出來るのは眞に遺憾に堪えない所である、此れに依つて因る勤勞意欲の低下傾向こそ現下再建日本に重大なる使命を自ら阻害して居る。眞に愛すべき事である。一人々々の眞の目醒めに依つてこそ黎明日本の春が來るのだ。爛漫たる春の訪れとなるのだ、これこそ生れ變つた新しい日本の光明を見出す何物にも勝る唯一の道なのだ。

こゝに於て日本人自身の勤勞面を一考察して見よう。元來日本人は勤勞を非常に尊んで來たのである。最近は勿論農漁、都たるを問わず同一に衰弱の体である。この勤勞は今昔に變りはない飽く迄も神聖なものでなくてはならないのだ、我々にあたえられた最高の名譽でもあるのだ。然し乍ら見ると意いこの勤勞を輕視し己の立場のみ主張した非常に狹い我欲勤勞に走る者がいちじるしくその數の增して來た事は誠に殘念な事である、もつと超越した理想の本に於て滔然と闘うべきである勤勞も決して共通なものでもない慢然として動く勤勞も勤勞である、理念も、研究も、努力もすべてみな公共の福祉とゆう大きな眼目に持つて行つた所の勤勞を望むのである特に農村に於ては『土』これである、此の土を一歩も切り離した勤勞は絶對に不可である、勤勞少なる人が只狀況に乘り一部の煽動者、まんまと釣られてゐる人の愚さよ己の主張する誠の勤勞に一段の猛省を促すや切、然れば斯る不道德的行爲は良心的に恥じこれが明らかに成つて來るのである、かゝる人こそ人間本來の姿なのだ。一時の憤も反省に依つて腹が出來るのだ。反省の後に來る愛寡共に進歩の基なのだ、かゝる人こそ先づ腹を練る必要があるのだ。全國天涯地角にどれだけ民主が進歩したろうか、腹の大なる個人の主義の延長が民主主義の姿なのだ、これ以外に何もないのだ、平和ジヤパン、明るい住み良い日本の建設これあつて將來日本の現在及將來に果せられた運命の實務なのだ、こゝろ、そして何食わぬ顏で立派な行爲たりと確信する事なき事や、城の勤勞もなく一方的の事のみ强く强制する指導者行爲者こそ自省互省の余地だらけならん、自省も反省もなく敢て强制するならばそれは民主化促進の大衆組織も只の看板に値するものである、眞に愛村、愛鄉、愛國の勤勞者より自然に生れ出る個々の民主は何か、それが一村、一國の寢なのだ、富なのだ、德不孤必有隣とは古き孔子の言である。

混沌たる世相下、發展期に於ける日本の勤勞者と精神に民主を、外に平和日本の建設これあつて將來日本人の現在及將來に果せられた運命の實務なのだ、これ以外に何もないのだ、平和ジヤパン、明るい住み良い日本の建設これあつて將來日本が全世界の友國に向つて堂々潤歩する近道なのだ、誠意ある勤勞あるのみ。

三月三日　(了)

……◉……

光をめざして

小池清重



私達の目の前には喜びに充ちた輝かしい時代が近づいて居ります。この幸福と希望に充ちた光輝ある時代に向つて進んでいる事を知つて、私は大いなる喜びと感激に夢ではないかとさえ思う時があります。

それは『人類が解放される時が來た』という事であります。『働く人々の時代が來た』という事であります。ロバーツの哲學者ベーゲルは『歷史は解放の過程である』と云つております。この偉大な天才的哲人の直觀は目の前に實證されようとしています。

人類の最初の社會は支配される事を知らぬ、原始共產社會でありました。これが生產力の發展により、遊んでいる者が働く者を支配する、即ち貴族が奴隸を支配する奴隸制度の社會となりました。

これより人類の社會に階級が生れ、支配する者と支配されるものに分れます。

萬葉集の中にも

『稻つけばかかる我が手を
今宵もか殿の若子がとりてなげかむ』

と働かされる奴婢の悲慘なさまがうたわれております。が一方『雪丹よし奈良の都は咲く花の匂うが如く今さかりなり』と歌つた王朝貴族のケンランたる文化と榮華はかゝる奴隸經濟の上にたてられてきました。これが解放を求める被支配者、働く者の窓志によつて、次の農奴制即ち、封建制度の社會となり、更に解放を求めて「貸銀勞働者」となつた、現在の資本主義社會となりました。この資本主義社會となつてこれに對抗するように組織を『赤』だとか、過激だとか、惡宣傳をして村民のこゝに結集するを恐れ防いでいましたが、この人達も組織をもつてこれに對抗するようになつて二つの勢力は對立していり、階級鬪爭はさけられないのであります。そして階級運動が拙手となつて歷史は今日まで前進して來ました。この歷史の事實を、プルジョア學者や反共を叫ぶ支配者の代辯人はあくまで歪曲し、ごまかして眞實を働く人々に知らせまいとつとめております。

私達働く者はこの人類にとつて最後の敵對構成である資本主義社會を突破し、社會主義の社會を實現によつて、人類の社會から階級は消え、働く者は解放されるのであります。こゝまできて働く者にとつて前厚の歷史は終りを告げ歷史は必然性から自由の段階に入るのであります。そして働く者は眞の自由と幸福を得るのであります。

こうした解放への道は自然にすらゝゝゆけるものでしようか、否働く者の上にたつて働く者を支配し、搾取してきた支配勢力（資本家、大地主官僚）は解放させまいと必死に反抗し、抑壓し搾取を維持强化（惡稅、インフレ等）しようとします。この勢力の闘爭は中央の政治ブタイにあるばかりでなく農村の中にもあるのであります。これは私達の村の現情を見ればいちばんよく分ります。

農村で村の政治經濟の實權は地主がもつており、戰爭中天下り的な官、強制供出等專制的な政治が行はれて來ましたが、敗戰となり民主主義となつて凡ての抑壓がとり除かれるや進步的農民は農民自らの組織をつくり、農民の利益を守つて反動政治に抗し土地改革の徹底を期し民主主義革命を進めて來ました。これを農民委員會といつて居ります。ところがこの農民勢力即ち、民主主義勢力が土地改革をすゝめつゝ伸びると都合の惡い人達が居ります。そしてこの組織を『赤』だとか、過激だとか、惡宣傳をして村民のこゝに結集するを恐れ防いでいましたが、この人達も組織をもつてこれに對抗するように確立によつて封建制（地主）勢力を倒そうとしているのであります。どうして農ジョア民主主義革命であります。この革命を行うのはプルジョアジーでなく勞作農民し、働く者の義を愚弄し働く者の正しい方向を防がんとする階級社會の害生虫はやがて消えてゆきます。

歷史の流れに反するものは凡てファシズムの方向へゆき農民勢力に反抗するものこの危險を胚胎しておりますけれども、働く者は何れの方向へ進むかが正しいか解るのであります。この事が解らぬ爲、若い者が歷史の流れに反した方向に走つて民主主義の妨害となり歷史の齒車を逆轉させようとしています。これが二つの勢力の本質で働く者はいづれの方向にゆくべきか分つた事と思います。この本質をみきわめず村の農民運動を考えるのは虛偽とごまかしであります。躍進した農民勢力は税金闘爭に立上り總力にむかつて解放の斧をふり上げて現在日本の革命の段階はプルであります。どうして農民勢力の進展に對抗して、これを防ごうとする組織が起つたのでしよう。これは封建制度が根本的に反對物であり、それは封建勢力の殘滓である事は言うまでもありません。紙の上（法律）で革命はできても實際は農村に封建勢力が殘り、おくれた農民を引きづつて組織を作り、土地改革を阻み、協同組合に勢力を殘そうとし、民主主義の妨害となり歷史の齒車を逆轉させようとしています。これが二つの勢力の本質で働く者はいづれの方向にゆくべきか分つた事と思います。この本質をみきわめず村の農民運動を考えるのは虛偽とごまかしであります。躍進した農民勢力は税金闘爭に立上り總力にむかつて解放の斧をふり上げております。この運動の成長をおそれ煽動だとか、プロ獨裁だとか虛偽とデマをふりまわし、働く者の義を愚弄し働く者の正しい方向を防がんとする階級社會の害生虫はやがて消えてゆきます。

封建制とは口にされながら多く解つていないと思います。それは、奴隸制度では働く者は主人の財產物で牛馬の如く働く結果となり、或はどつちつかずの中立に坐つているのであります。

封建制とは何であるかはつきりと知らなければ解らないのであります。封建制を知る事によつて兩勢力抗爭の本質が知り、働く者は何れの方向へ進むべきかが解るのであります。この事が歷史の流れに反した方向に走つて民主主義の妨害に働く結果となり、或はどつちつかずの中立に坐つているのであります。

封建制とは口にされながら多く解つていないと思います。それは、奴隸制度では働く者は主人の財產物で牛馬の如く働く結果となり、或はどつちつかずの中立に坐つているのであります。

封建制とは何であるかはつきりと知らなければ解らないのであります。封建制を知る事によつて兩勢力抗爭の本質が知り、働く者は何れの方向へ進むべきかが解るのであります。この事が歷史の流れに反した方向に走つて民主主義の妨害に働く結果となり、或はどつちつかずの中立に坐つているのであります。

封建制とは何であるかはつきりと知らなければ解らないのであります。封建制を知る事によつて兩勢力抗爭の本質が知り、働く者は何れの方向へ進むべきかが解るのであります。この事が歷史の流れに反した方向に走つて民主主義の妨害に働く結果となり、或はどつちつかずの中立に坐つているのであります。

青年の有り方に就て
營運各界代表、顧問に聞く
青年團の團

三月二十七日午後八時より役場の階上に文化部主催で開かれた、

青年團に關する事に於ても自主的であり修養機關でなければならない。青年團として（會として政治方面）行動に移す事はいけない。青年團全員が互に理解し親睦を計る事は眞から村を愛するという氣持を植えつけてゆく爲にも意味があると思う。

組織等は網羅組織で仕事は出來ないと云うが實際問題を考え開拓してゆく所に修養がなければならないが、國としての行動する事は多くの矛盾があると思う。聽て公約的なものを望むが或る部の人は容易でないと考え、或る部の人は容易すぎると考えるだろう、これはあまりに年令の差がありすぎるからだと思う、この不滿を去る爲に小グループをつくつたようなものを作り、其のう、例を取ると不足分の計畫修養等を持れるとよいと思う大きな人達は年下の者を正しい方向へみち引いてゆくと云う氣持を常に持つて居て戴きたい。

青年が世の推進力であるといわれるのは純眞であり情熱的であるからだと思う、それを忘れず進んで戴きたい。修養とは自己の完成だと小さく考えずに擴々な事柄に直面したられるを研究し、實行してこそ青年だと思う、よく青年は亂れていると聞くがこれは生活に空虛を感じ目的が定まらないから、又民主主義と云うものが未だ新しくよく理解されなかつたり、訓練されていない所にあるのだと思う。每月來る映畫についてはもうすこし試寫しぎん味するゆとりが持ちたい日から受ける修養が一番感じ易い。各村等で叫ばれている公民館の問題等小夜更けて君を想えば幻の何か知らゝゝゝと迫るあり

文藝

詩

私の然望

佐藤　直子

銀前のぼろをかくすよりあふれる眞實で相手を包む私はそう云う女性をなつかしむ

如何に見えるかよりも如何にあるかに心配する如何に見せるよりも如何に歩むかに心配する

私は起ち上らんとす星は私に光を與え給らん永遠の若さをもちたいあじわいの深い心

春雨によせて

白玉のような春雨にわが心の濁れゆきし日しのびよる雨音にじつときゝ入るすゝりなく遠く又近く

悲しき思出を誘うごとくはるけき追憶を恨むがごとくさみしく落ちた春雨の音又あらぬ日はらら悲しS M

短歌

ノグラ

地に伏して口ずからの心眞清水の土の匂いを親しみにけり

窓燒きの窗こもろう山峽に櫻の花は咲きそめにけり　東前山　小池　民子

小夜更けて君を想えば幻の何か知らゝゝゝと迫るあり　西前山　野　菊

なつかしき友の便りを待ちおれば今宵も靜かに寒雨ぞふる　松井あや子

春ながら豐解の雪のおぼろ月　眞と見ても窓を影かな

俳句

ノグラあさい

初つばめ朝の光と窓にくる　西前山　T生

雪晴れて眞白き峯立ち春風や何か知らねど遠き言

編集後記

◎眠る山野もいつしか微笑み消新の躍動が開始され大地にむかい村民の皆樣大きくそして强く建設の鍬を振つて居られる事と思います。

◎殘雪先生御退職村民一同唯々永年の御勞力に對する感謝と共に惜別に堪える次第であります。

◎森林組合よりの特望として記載せる緑化運動に村民の皆樣、村肥が爲大いに實行致しましよう。

◎去る三月辯論大會中の一部辯論を記載しました。辯士と共に村民相協力し即日實行に移されん事を希望します。

◎私達の弱みと致す所は改革中の村づくり、皆樣の愛村の香り豐な眞心の叫びをのせる事だと思います。

◎四月號も大變おくれました事を深くお詫び致します。いよゝゝ農繁期になつて參りますが村民皆樣の積極的御投稿を切にお願い致します。

時報原稿募集

論說、文藝、其の他投稿は每月十日迄にお願い致します

時報部

機械化の御相談は
電化農村
松田へ

モーター、トランス、電動農機具、農地ポンプ、其の他電氣機械一般

上田市松尾町
松田產業株式會社
上田支店
電話三四八・七八番

西塩田時報

第15號

發行人　眞田勝人
編輯人　佐藤直道
長野縣小縣郡西鹽田村手塚
發行所　西鹽田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

眞實を愛せ！

東前山　黒坂忠久

國を衰滅せしむるものは道德力の衰退であり、國の實在性は道德的なものにおいて成立する、民主主義社會においては個人の道德的秩序維持への努力が強く要求される。道德的秩序は自然法則が自然を支配するように人生を支配するものではない。人間が獨身機性によつて初めて道理の支配を實現するものである、現在の社會が混亂を來たしておるのも他に原因もあろうが道德的缺如が多大の原因となつていると思う。私達はこの原因を追究すると共に「自由」なるものを再考し自由と表裏の關係にある責任を考究すると共に道德的秩序の維持に努力したならば眞の民主主義社會の建設も早急に行なわれることを確信する。人間は自然と異なり目的を立て、活動し道理を感覺する自由者である、動物であればその時々の衝動に從つて行動し又外部との關を有つのみであるが、人間は衝動のまゝ行動するわけには行かない、又內面的爭鬪即ち良心的苦鬪をもたなければならない、しかも自分でさしと考えることは何をしてもよいかと詰うに必ずしもそうではない、それが一般的消德秩序に合致しなければ非常に誤つた行動に陷る場合がある。しかしこの一般的なものは一々の場合に私達に示されてゐるものでもない、これに對し私達は社會の理法に合致するかを省察し一々の場合を洞察して自己の責任に於いて決斷しなければならない、各自に道が實現されずして社會に道は行なわれない、自己を實實な意味において醒當にすることによつて全体を醒當にしなければならないと思う。

日本の將來は若い我々の將來であり次の世代を背負う重大な任務がある。若い我々の思想と眞實が日本の將來がどうならるかを考慮せねばならない、眞の民主主義社會を建設するのも、獨裁的社會にするのも青年の思想と眞實が決定的に左右する。若い我々の內にある日本の立場を再確認すると共に復興に努力せねばならない。日本の復興は日本人自らが努力してなすべきである、しかしその復興も米國の援助が決定的に左右する事を知つたならば我々は今後如何にあるべきか判斷出來得ると思う、社會の局部的現實にとらわれず自由に誠實にものを考え、眞實を愛し、道理へ等の資本的な優れた經營協同組合の活動に俟つものが大きくなつて來ます。

一部富農階級の自己的な機械化等では眞の機械の能率化は困難と共に何等これが國の生産費低減は容易でなくなります。

而どうしてこんな極少經營の非能率的な農業が日本に起つたか、これも一應了解せねばならぬと思います

第一は現物小作料がベラ棒に高く、耕營收益をねらうよりも小作料收益をねらつた方が余程有利だからであります

第二は農產物の價格が安すぎたから、農家が他人を雇つて居つたでは、採算が赤字になりますので勞賃を必要としない家族勞力で足りる經營が安くならざるを得ない關係があります。農作物が安いと云う事と從來の小作制度との關係からおこります。

高い現物小作料によつて表現される様な小作制度がありますと、農作物は本來市場に出るべき筈以上の量が市場に出ます。つまり自家消費に當る部分の不足はどの位かと云う、平均して年間必要量の半分になる、つまり手許に殘る食糧では半年分しかない、これ等の農家は自由經濟時代でも賣つて居る部面と、買わねばならない部面とがあり此の二つの部面は耕地の上に區別がある譯ではないが、農家の生產はこの二つの面の生產の統一であると言うと思います。從つて本來市場に出るべき筈は、生產物の中から前者の部面、即ち自家消費部分を差引いた剩余分、即ち後者の部分に當るものだけでなければならないと、ところが小作制度の支配の下では自家消費部分まで含めて市場に引き出されてしまう譯です

即ち地主が、小作料として生產物の約半分を取りあげ、しまふと、殘余をもつてしては自家消費食糧を補して行く爲が出來ぬ、と云う農家が小作人の約半分もあります

而もそれ等の農家の自家消費部分の半分が市場に賣り出される、もと〳〵小生產者の場合に生產物の賣り手は直接の生產者自身であるのが原則であるのに、日本の場合は地主も亦賣り手になると云う特徴です、日本では從來、市場に出る過半の米が地主階級の惡化に伴う小作米で占められて居つたのです。

（以下次號へ）

農地改革の後に來るもの

齋藤儀雄

昭和二十年八月十五日、日本はポツダム宣言を受諾して今迄の指導者により、目がくらみ國が敗れると共に連合軍の指令により、侵略戰爭の根源であつた、封建的な土地制度の改革が實施されました、之も本來はポツダム宣言を受諾した日本政府の責任であつたのが、之が履行のサボタージにより、連合軍の指令となつたものである。

而之の土地改革（第二次農地調整法）も內容的には極めて不備なものであり、即ち之の運營の大部分が農地委員會の權限であるので、之を構成する農地委員が進歩的なものか地主的な溫存にあるかによつて日本農業の前途に未だ明瞭がありません。

けれども之の土地改革の進行によつて　日本農業に一大革命がもたらされるべきのは必然となります。つまり自家消費に當る部分の不足はどの位かと云う、平均して年間必要量の半分になる、つまり手許に殘る食糧では半年分しかない、これ等の農家は自由經濟時代でも賣つて居る部面と、買わねばならない部面とがあり此の二つの部面は耕地の上に區別がある譯ではないが、農家の生產はこの二つの面の生產の統一であると言うと思います。從つて本來市場に出るべき筈は、生產物の中から前者の部面、即ち自家消費部分を差引いた剩余分、即ち後者の部分に當るものだけでなければならないと、ところが小作制度の支配の下では自家消費部分まで含めて市場に引き出されてしまう譯です

即ち地主が、小作料として生產物の約半分を取りあげ、しまふと、殘余をもつてしては自家消費食糧を補して行く爲が出來ぬ、と云う農家が小作人の約半分もあります

而もそれ等の農家の自家消費部分の半分が市場に賣り出される、もと〳〵小生產者の場合に生產物の賣り手は直接の生產者自身であるのが原則であるのに、日本の場合は地主も亦賣り手になると云う特徴です、日本では從來、市場に出る過半の米が地主階級の惡化に伴う小作米で占められて居つたのです。

（以下次號へ）

政治と青年

友枝茂田和

私は現今の青年諸氏に望む社會生活に於て私達の唯一の特長は正しく強りない純粹性を持つて居る點であろうと思う。從つて惡い意味に於ける政治的野心家ではない事である。人間を見失つた理論からは眞の民主主義政治は決して行われるものでは無いと思う。敗戰後の日本に於ては大小の政治運動が行われて居るが、その多くが全く多感な青年がこれに動かされいや動かなければならない。しかし青年は戰時中と何ら變らない「ロボット」的な物であるとしたならば新日本建設の途方もない重荷を負わされる事は出來ないやその意欲さえ失つて居たのであると思う。敗戰、經濟の混亂の日本の現象の中に於ても見る私達青年の特質は常に利用し、政治を通じて自己の欲望を達成しようとする戰爭指導者に存すると私は言いたい。しかし青年はその直情性の故に批判の精神を失いやすい事も事實である。

物事を、政治を批判し得る事である。政治はあくまで人間の幸福の爲にあるべきものである。人間を見失つた政治は決して行われるものでは無いと思う。敗戰後の日本に於ては大小の政治運動が行われて居るが、その多くが全く多感な青年がこれに動かされいや動かなければならない。しかし青年は戰時中と何ら變らない「ロボット」的な物であるとしたならば新日本建設の途方もない重荷を負わされる事は出來ないやその意欲さえ失つて居たのであると思う。敗戰、經濟の混亂の日本の現象の中に於ても見る私達青年の特質は常に利用し、政治を通じて自己の欲望を達成しようとする戰爭指導者に存すると私は言いたい。しかし青年はその直情性の故に批判の精神を失いやすい事も事實である。

兒童福祉法

制定の事情について

厚生課

終戰後戰災孤兒、浮浪兒をはじめ不良少年、少女等所謂要保護兒の急激な增加、乳幼兒の保健狀態の低下等社會狀態の惡化に伴う、彼兒童の生活低能に關する繁相を呈することになり、兒童の問題を家庭のみにまかせておくことが出來なくなつたので兒童の保護對策について資任を國自ら持つことが絕對必要となつたので、從來の關係法規を綜合統一したのが兒童福祉法であり、昭和二十三年四月一日より全面的に實施されることになつたのであります。この法律の趣旨は浮浪兒の救濟を先決問題として勞働の禁止、矯正教育等の手で右に述べた事をお互に守つて明るい村　明るい日本を建設しようではありませんか。

一、守れ道德犯する罪を
二、氣を付け心の隙に
　　惡犯罪
三、犯すに一時、罪は一生
四、犯罪をスルな
　　サセるなお互に
五、村の監察我等の手で

右に述べた事をお互に守つて明るい村　明るい日本を建設しようではありませんか。

心　空巢ねらい

事業部員

村民の皆樣防犯に御協力下さい。

終戰後我が國の犯罪はどうでしようか。

皆樣も程日新聞紙上で御覽の如く强盜詐僞等數々の犯罪が澤つております。我等敗戰日本とはいえ誠に情ない現狀ではありませんか。今年は社會事業部では防犯ポスターを張り防犯に努力致しておりますが、事業部でいくら防犯に努力しても皆樣一人〳〵が防犯に能力が無ければあの恐しい犯罪を打破する事は容易ではありません。これより農業期に向い農外住宅の空不在となる場合が多々あります故、家の戸締に御注意下さい。

記

一、守れ道德犯する罪を
二、氣を付け心の隙に
　　惡犯罪
三、犯すに一時、罪は一生
四、犯罪をスルな
　　サセるなお互に
五、村の監察我等の手で

右に述べた事をお互に守つて明るい村　明るい日本を建設しようではありませんか。

衛生メモ

○生魚のイキを保つ爲には、買つたらすぐに腸と尾を取り除きましよう。

○大根の病氣に果汁は良いのですが胃酸過多症と糖尿病には良くありません。

○腦溢病患者には砂糖、みりんの糖分とグリコーゲンの多い牡蠣に特物です。甘味には少量のサッカリンが適當です。

○喘氣に豆類、豚に小豆は大變良いのですが、重曹を入れて煮るとビタミンBが破壞され全く効果がありません。

○生のアスパラガスには、アスパラヂンという結晶性物質があるので腎臟病、心臟病に特効があります。

○便秘にはブドウ、ブドウ酒紅茶、番茶はタンニン酸があるので良くありません。コーヒーは下劑的作用をします。又朝醒水を飲むのは非常に効果的です。

公民館設立運動始す

實年團では去る五月二十七日公民館設立運動を强力に展開本年以內に設置を目標に運進する事に決定、次の準備委員員が擧げられた

眞田勝人　宮澤良雄
春原秀登　宮越和子
瀧澤幸　東川周
佐藤直道　大日六平
横内よしえ　市村晴男
（青年團文化部）

變遷と藝術的意氣の挿繪

重田勝人

私達が新聞や雜誌の小說を讀むとき一番そして直ぐ目立つのは其處に添えられてある挿繪である。小說を聞いたときそれを讀む前に誰しもが先ず挿繪に眼を注ぐであろう、そして讀み終つたなら又挿繪を見直すのを忘れないであろう、そして挿繪の何如に依つてその小說の人氣に大きい影響の有ることを誰しもが感付いて居ること、と思う。

然らば此の位い大衆に親しまれ關心を寄せられて居る挿繪とは藝術的に何如なる意義を持つていてどんな變遷をしてきているであろうか。

私は挿繪を語る前に、藝術とは何如なるものかから考えてみ度い。然しこの問題はこれに附隨した處の美の問題或いは戀愛の問題等と同じく非常にむづかしい事柄で、東西古今の哲學者も完全な定義を下していない。

莫大な勞力や費材を費やし場合によりては生命の犧牲をも省みない藝術運動とは一体人間生活に何如なる價値をもたらし何如なる意義があるのであろう。

科學は眞理を明かにする知的發理である標に藝術は一般の趣味を高めんとする情的發現である、人間の心を大別すると思想と感情とに二分する人間が此の世に絕對的な一個人であり個一人としての生活の營みであつたなら、藝術や言語の必要はなかつたであろうが團体生活を營む人間社會に於ては互いに氣持を同じくする事が一大必順要件になつた、故にお互いの結合の必要と言語に依つて思想を傳え藝術に依つて感情を表現して來たのである。藝術は美とか神の表現を本質としたものでも無く、まして過剩の精力を放散すべき遊戲でも快樂でも無いのであつて、人々の思想や經驗を傳える言語が人と人とを結合する手段となる如く藝術も又之と同じ役目を果して居るのであつて、其の表現する感情により人と人とを結び合せて共々に同一感情に結合させ人生及個人を全人類の幸福に向はしめる人類必須欠くべからざる本能的な手段として其の意義を有しているのである。古代人の感情は其の表現された藝術に依つてそれに接する現代人に傳動する事が出來、現代人の感情も又現代人相互に同一感情に渡る事が出來得ると共に、後世人にも傳える事が出來るのであつて其處に氣持の結合が生れてくるのである。

吾々が映畫を見音樂を聽く場合、全員同一に喜び同一に悲み感激する。私は此の時の感激を吾々日常生活の上に持續する事が出來たならと日頃事あるごとに考えてゐる。

斯く考えるとき藝術の價値ほどこで評價すべきかと云う事が自づから解つて來る。すなわちそれに依つて居る內容の有否と共に、作者の感情の表現されて居る程度と大衆に理解され得る程度に依つて定むべきもので大衆に何んの感動をも伴わないものであつたなら、作者自身主觀的には如何なに良いと思つても疑がわしいものになるのである。

倘こゝに一寸附言して置きたいのは感情の傳動と刺戟の立分けである、最近巷に泡濫してゐるエロ文藝などの類は感情を刺戟興奮させるのみであつて、藝術的には何んの價値も無いのみかかえつて害悪すらするものであることに考えをお持ち度いものである。

藝術は一國文明の標尺であるし、人間は既に三万年前に繪を描いている。約二万年前に人類が生息したと云うスペインのアルタミラ洞窟には當時の人類の描いた壁畫が立派に遺つており、當時より一万年昔に遡つて同じ種類のものがフランスに於て發見されて居るとの事である。

今から三万年前石器時代のアルタミラの洞窟地方には未だ氷河に覆われていて、類人猿から進化したという繪を描く事も知らないネアンデタール人が住み、マンモスや毛の長い馬や同じ棲息屋など今ではもう見る事の出來ない動物が生息していたが、北アッリカから北上して來たクロマニヨンと呼ばれる優秀民族が彼等を追いはらつて次第にその洞窟を占領して彼等が繪を描いたらしく、當時の動物が題になつている。

近年科學の發達により寫眞技術が進歩し自然に劣らないまでの天然色寫眞も出來る標になつた。然しこれは決して繪畫の世界を侵蝕するものではない、「この繪は寫眞の標だ」とか「一本物の標だ」とかよく聞く言葉であるが、繪畫の世界はもつと〳〵遠大なのである。

私は今春機あつて上野の泰西名畫展を觀た、確か「壺」と題した米國著名畫家の作品の前に立止つた時、眞實の人間が窓から此方を覗いてゐるんではないか……と自分の目を疑つて見直した。いや假物よりも奇麗なのだ、今にも話しかけそうな婦人の表情、眼の輝き、皮膚の色彩、机にころげ落ちた壺、假物より據つているとはこのことであると今更ながら感じを新にした、レオナルド、ラファエロ、ミケランジエロ、等の作品想像だに餘りある。

近來藝術を規模の大小に依り第一藝術、第二藝術と分ち詩歌俳句等は假值の低い標に云うが如きあるが之等を藝術の本質から考えた場合決してかような批判をドするので無い、藝術は思想の表現を第一義としたのでは無いからであつて挿繪についてもこれと全く事が云い得るのである。

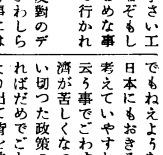
純正繪畫と雖も大衆社會の支持を失つては存在價値を失うのであるがまして大衆的の挿繪に付ては説明を要しないのである。挿繪は決して單なる小說の說明ではない、小說の內に含まれている世界を繪畫と云う別の形式により再び表現し文學世界と合致してより以上高度化す。そこに挿繪としての價値があり藝術的眞意があるのである。そして製版印刷と云う制約の中に活かさなければならない

特殊性を見のがしてはならないのである。（以下次號）

……○……

集いの一角

竹內知



大湯の中に近在の面姓の人るから近頃の事はわからねエー

前者頭がはげていて中農そうだ、後者温湯に入っているわりに小柄な人でどこやら窓々といったタイプかな、

といったふぼで何考えるのでもなく火の用心のあやしげなポスターをみていた。前から話し合つてゐたいろいろしい東のゆつぱの中はさわがしい、どうやら話しの模様は稅金の問題らしい。その湯つぼ談議をきいた。「ねえねえエー」ゆごをあてて聞いた。頭のはげた人、目をくるりとさせた、どうも不滿らしい、そして口を尖らし氣嫌なゝめ「とんでもねえエー」あんた家だつて俺らの湯にこぶしをあて其の上にあげの立つ湯の出口にいた五十才位の人はやゝ興奮めいていつた。

やはり溫度が高いらしい「一体いたい稅金はどこを基準にして決めてくれたのかわからねエー、俺らあ家あたり五千の上かゝつて來やした。まあ今度のやつは誰だつて右から左に出せる譯がありやすあ」「えエー又々」それ以上の抵抗もなし小柄な頭こつくり「あんたちあたりは、五千でも一万でもようがあすが、わしら所じや近頃は配給物でも買えねえ仕末ですや。闇とは違えのねえような配給物でも配給だといえば買わなきや敗戰ごから國の敗政の切り廻しがいたらしく、當時の動物が題になつている。

近年科學の發達により寫眞技術が進歩し自然に劣らないまでの天然色寫眞も出來る標になつた。然しこれは決して繪畫の世界を侵蝕するものではない、「この繪は寫眞の標だ」とか「一本物の標だ」とかよく聞く言葉であるが、繪畫の世界はもつと〳〵遠大なのである。

私は今春機あつて上野の泰西名畫展を觀た、確か「壺」と題した米國著名畫家の作品の前に立止つた時、眞實の人間が窓から此方を覗いてゐるんではないか……と自分の目を疑つて見直した。いや假物よりも奇麗なのだ、今にも話しかけそうな婦人の表情、眼の輝き、皮膚の色彩、机にころげ落ちた壺、假物より據つているとはこのことであると今更ながら感じを新にした、レオナルド、ラファエロ、ミケランジエロ、等の作品想像だに餘りある。

近來藝術を規模の大小に依り第一藝術、第二藝術と分ち詩歌俳句等は假值の低い標に云うが如きあるが之等を藝術の本質から考えた場合決してかような批判をドするので無い、藝術は思想の表現を第一義としたのでは無いからであつて挿繪についてもこれと全く事が云い得るのである。

純正繪畫と雖も大衆社會の支持を失つては存在價値を失うのであるがまして大衆的の挿繪に付ては説明を要しないのである。挿繪は決して單なる小說の說明ではない、小說の內に含まれている世界を繪畫と云う別の形式により再び表現し文學世界と合致してより以上高度化す。そこに挿繪としての價値があり藝術的眞意があるのである。そして製版印刷と云う制約の中に活かさなければならない

特殊性を見のがしてはならないのである。（以下次號）

……○……

○詩

自責

くみ子

今宵——

じり〳〵と貧の鞭に

追いつめられた心よ

その眼は

慘酷なまでに冷たく

暗い　夜のカンバスに

何とかなしい

自畫像を描くのか

ぼんやりと線のうすれた

その顏に

二つの瞳が

うろ〳〵と迷つて

いるような

自己を持たない

意志の弱い

みじめな自畫像よ

やつぱりお前は

不安定な弱さ以外に

何もく

持つてはいなかつたのか

ぎり〳〵と

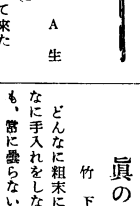
つきつめた心の底から

突如

せきを切つて

流れ出ずる慟哭の奔流よ

狂ほしくも　又哀しく。



朝

野倉TA生

一、一日の朝がきた
希望の朝がやつて來た
再び我が身邊に
昨日の雨も何時しか晴れて
青い故郷の山々は
澄み切つた朝の太陽に
一、黎明一日の朝が來た
蒼海のそれに似て
こんぺきの爽快さ
殘れる星の影さえ見えず
吹飛ぶ昨日の邪想
青空の澄んだ其れに似ん

一、朝は再び訪れん
明るい希望の朝ならんに
求め上明日の青空を
そよ風に乘せて夢を送らん
輕いステップに心は踊る
朝は生活のスタートライン

一、朝は山より谷から野へ
小鳥さえづる希望の朝だ
餌を求めて繼しき
我が子に
我も其の小鳥に似て
朝だ夜明だ微笑みだ
今日一日の幸を求めて
今日一日の青空に祈らん。

○短歌

竹內あき

もえもえて
もえもえてこもれる日々の
ものうさも在りなれてわが
明け暮すなり

竹下襄忠

山狹の川邊に一灯動く見ゆ
導壁取るらし晩春のよい

野倉齊藤あや子

ぬかるみに生命の燈を背負いくる吾が苦しみも家の爲なら

野倉志げ

幾すじか銀の色して粟櫻の淺みどり縫う五月雨の糸

眞の喜びと眞の幸福

竹下勉

どんなに粗末にしてもどんなに手入れをしないで居つても、常に曇らないものを何故始めから持せてくれなかつたかと云うのか、贅澤な事を云つてはいけない。それではお前達は眞の喜びと幸福を味う事が出來ないのだ。

まるでロボットになつてしまうではないか、ともすれば曇らんとするものを油斷なく手入して、常に光らせて置く所にこそ、眞の喜びが湧き眞の幸福が生れてくるのだ。

愛と光を慕う心

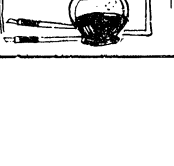
竹下勉

幼なかつた頃の事です。終日遊び疲れて家に歸えつた時家の中が明るく母が待つて居てくれると飛び立つ程うれしかつたが、母も居らずあかりもついていない夜だか泣き出したいような淋しい氣持になつたものです。

×

じめ〳〵した梅雨がからと晴れて青葉若葉に初夏の陽が眩かに照りそう朝の喜び！夜あけの霧がともなく晴れて、空高く澄み切つた小春日和の快よさ！光を求める心です。慈愛をしたう心です。

編後記



○青葉若葉の風薫る水無月の慾々繁忙の候と成り村民の皆樣食糧增産に緊褌一番御奮闘あらん事を切望します。

○「地改革の後に來るもの」並に「挿繪の變遷と藝術的意義」の兩文の半分は紙面の都合上次號に回しました

○公民館の設立に就ては、實年團に於てその設立運動を展開する事に成りましたが皆樣に於かれても深い關心のもと一日も早く設立を見る樣御勞力願ひます。

○本號は原稿の蒐集意の如くならず二面記載のやむなきに至りました事を御諒承願うと共に今後多忙に向ふ一方ではありますが振つて御投稿され事を希望致します。

新しき器具を備えました
近代的な魅力!!
モダン　パーマネント　ウエーヴ
カーソン美容院
別所本通

昭和23年6月25日　西塩田時報　第16號　(1)

西塩田時報

第16號

發行人　軍田勝人
編輯人　佐藤直道
長野縣小縣郡西塩田村手塚
發行所　西塩田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

直視せよ公民館

公民館設立準備委員會

梅雨に明け暮れる農繁の季々な事情や環境に依り、村の自主的な盛り上る力によつて定められる可きものでありま民各位の御理解と絶大なる御協力を賜り度いと存ずるものであります。以下駄筆をろうし皆樣にも深い關心をお持ちになると思われる、この問題に就き御說明申上げ御參考に供し度いと存じます。

×

『公民館は鄉土振興を目的として社會教育に當り、生活の向上、文化の啓發、産業の發達を期し、村内各社會教育團体、文化團体、其の他の團体の綜合調整を圖り、各團体の事業の圓滿なる遂行を補足し、且つ公民館は其の施設を充實して、教養、研究、休育、娯樂、慰安、其の他の目的のために提供する』。これが今日云われて居りますところの公民館の趣旨であります。此の大きな變革期の中にあつて我々の新しい生活、新しい村を築き上げるときに公民館はこの革新的な原動力となり經濟を中心とする農業協同組合と共に鄉土の双璧となるものであります。

戰後縣下の公民館の設置情況は二百餘ケ町村に及びそれ〳〵活潑な事業に當り、殊に下伊那の龍丘村其の他の公民館では通學不便なる定時制高等學校に代る學校をさえ開こうとして居ることが報導されて居ります。小縣郡下でも神科、東鹽田等の公民館は相當な成績を擧げつゝあります。

元來公民館はそれ〴〵の地方のものであります。公民館の形態も、その内容も村の種

農地改革の後に來るもの

齊藤儀雄

（第五號一面よりの續き）

かくて小作制度の存在の結果、農作物が本來農民が貰り出る以上に市場に流れる結果、農作物の價格が安くなる。工業生産物と比べて格安となる。農作物が格安であることは從來の小作制度と均衡がとれた事は以上によつて理解されます。

事情がかくの如くでありますので今度の改革によつて、小作料の金納化が行われますと地主の保有米がなくなり、生産農民が優先的に保有米を確保する事になります。

そうすると農作物は自家消費部分を除いた、剩余部分だけしか商品化されなくなり、農産物は生産力が高まり、剩余部分が多くならない限り從來より出なくなります。從つて農産物の價格が上らざるを得ないのは必然で、工業生産物と均衡をとる迄に値上りすると云う疑化を起すであろうと思います。

此の値上りによつて農業の勞力も、工業の勞力も對等に評價された處に到達し、農産物を作る農に費した勞力に對して堂々と賃金を支拂つても、採算のとれる所まで農産物價が昇すると思います。

從つて經營が家族勞力のせまい限界を越えて伸びない第二の原因、即ち農産物が不當に安すぎると云う狀態は第一の原因即ち農地改革が行われることによつて解消し得る事になります。

よつて結論としては土地改革が、ある程度進行してしまえば今後の日本農業にも大經營が生れて來るであろうと豫想されます。

それは農地改革によつて農民は慨ね自作農になりますが、この自作農がはけしい競走の中に置かれる事は從來と同樣であります。

競走のある處必ずその競走に勝つものの負けるものとの分化が必然的に出て來ます。

かくて小作制度の存在の結果經營を擴げて行くでしよう。今度の農地改革の法令により、又農地改革以後に於ける所有權の移動或は經營關係の移動は制限して居ります。

併し之れは單に制限にすぎないものであつて禁止ではない。又經濟の原則を禁止し得るものではありませんので改革の效初は平等の自作農で出發しても、結局その中に伸びる自作農と伸びない又おとろえて行くでしようが、この際從來ならば家族勞力以上に土地を手に入つた場合には小作に出して小作料を取る方向をとつたが、今度はそう行かない反當一石で五十七圓の小作料では小作に出すことは馬鹿らしい事になり、それよりは他人の勞力を雇つても自分で全部の土地にわたつて經營する方向がひらけ始めることでしよう。かくて從來の地主は、或は地主に向つて上昇したものは今後は自作農經營者に、或は純粹の經營者に向つて伸びます。

その反面に落ちる者は自己の所有面積を失つて行くにつれ經營も小さくなり、家族勞力も消化出來ない狀態になつて來ます。

從つて土地を手ばなすか、小作料を拂うかうちいずれか一方を選ばなければならなくなつて來るからです。

家族勞力本位の農業が行われて行くと從來ならば小作料を拂つて小作地を借りることが出來さえすれば經營は或る程度の大きさに保ち、家族を養つて行けたものが、今度は誰もつぎ込んで如何に單位面積當りますので自己の所有地の上で消化し切れない家族勞力は之を直接に賣り出して生計の補充をしなければならなくなります。

而してさきの破り上る農家の方は今迄よりもより大きな經營の方向に進み、從つて勞力の需要が農業部門の中で今までよりも開けるということになります。かくて從來ならば自作兼小作或ひは小作兼自作農小作にして小作に近づいて行く零落層は今度は自作農勞働者となつて勞働者に近ずいて行くことになります。

かくて農業經營に與勞働の充ぬいて生産手段を充實し、勞力を節約するかと云う競走になります。たとえばモーターの設備をすると云う樣なことが少々無理しても行われます。

この樣に生産手段が少しでも擴充され改良されて來ると經濟の生産手段の改良擴充、つまり機械化の方向が經營の內部的傾向となつて來るからです。

從つてコストを下げる點

西塩田時報

第17號

發行人　重田勝人
編集人　佐藤直道
發行所　長野縣小縣郡西鹽田村手塚　西鹽田青年團
印刷所　上田市馬場町　秀信社

農業協同組合解決え

本村農業協同組合設立問題は愈に宮澤村長、黒坂農業會長の兩氏より前號の本紙に詳細の報告がありましたが、本問題は此の儘推移を許さざる事件であります。ので先般本村の長老齋藤、黒坂、武田の三氏は種々協議され武田村會議長の同意を求め村會議員大字總代の合同會議を辯協協議の結果三長老に村會議長に調停を委託する事になりましたので四氏は直ちに兩團體と數回に渉り交渉の結果兩團體に於ても欣然其の意を迎える事に決しましたので本月二十六日役場會議室に於て村會議員大字總代兩團體代表竝同左記協定書の調印式を擧げ今春來の難問題も目出度く玆に圓滿解決、西鹽田村農業協同組合の健全なる發足を見るに至りたるは幸とする處で有ります。

協定書

西鹽田村農業協同組合設立の爲め建設連盟、農民委員會の兩團體は左記の通り協定し之を嚴守するものとす。

一、建設連盟、農民委員會の兩團體は過去一切のゆきがかりを捨て兩團體の實權に於て公正明朗なる農業協同組合の設立に協力すること。

二、農業協同組合の設立は全村民の總意によるものなること。

三、農業協同組合の設立に當つては過の本村研究會に於て發表せる協定書を再確認すること。

四、尚に手塚區農民委員等側の提出せる不信任狀は之を撤回すること。

五、建設連盟の發起せる農業協同組合へ全村民の加入に協力すること。

六、農業協同組合の基本方針は發起人の計畫せる方針に基き會長の兩氏より前きの之に協力すること。但し出資總額一口の金額及各戸の引受口數は前回通りとすること。

七、發起人若干數を增員すること。

八、役員の選出について一切を調停者に委任すること。

九、常務役員についても右に同じ。

十、農業協同組合の設立を圓滑ならしめ且つ村内の明朗化を圖るため、兩團體は左記申合をなし各實任者へ要望すること。

一、土地問題に關して起る事件は土地管理委員會、土地經營協議會の兩團體協議の上解決すること。

一、農業協同組合設立後は定款第二條第五項の趣旨に基き土地部の設立を推進し、土地管理委員會、土地經營協議會の兩團體は土地部へ移管し解散すること。

一、村内各種團體は村内に於ける特殊思想的行動を排し、農業協同組合の健全なる發達に協力すること。

昭和二十三年七月二十六日

調停者　武田市左衛門
仝　齋藤重太郎
仝　黒坂重市郎
仝　武田助左衛門

建設連盟代表　金澤重威
農民委員會代表　中澤多七

公民館について

瀧澤英一

此の頃各村々には公民館が建設されて居る樣で有りますが本村には未だ公民館の設立の出來得ざることは甚だ遺憾に堪えない次第であります。設立に當つては鄕土の青年達が中核的な役割を演ずるのでありますが、特に村の青年團がその推進力となつて働くことは勿論の事と思います。今日では青年團等で其の準備委員があげられて公民館設立運動に發足された樣でありますそれは今日で町村民主化の爲に公民館が不可欠のものと考えられる樣になつて來た。又公民館は青年團自身の民主化の爲にも必要な施設と考えられる樣になつて來たからであると思います。それでは我々は一体公民館とは如何なる意義を持ち又どんな働きを演じているか、又どうして公民館が生れねばならなかつたか等の諸問題に就いて我々は知つて置く必要があると思います故述べて見たいと思います。

㈠、公民館とは如何なる意義を有し及びその働きはどうか

A、公民館は新しき鄕土を生む原動力であると思います。公民館の内容も町村における政治、經濟、文化等のあらゆる分野の機能を一應包含している。理想的に言えば自分達の生活を又其の環境を少しでも良い方にしようとする村民の熱意にコツてその具体的建設のプログラムとして公民館が村民の心の中に生れることが望ましいのである。公民館は決して狹い村生活の爲の新しい施設で無く寧ろ新しい時代に處して新しい村を生み出す革新的原動力なのである。

B、公民館は町村社會教育團体の基盤である。民主主義的な町村社會ではあらゆる機能がそれ〴〵その獨自性を發揮して、しかも全一的な町村社會の爲の綜合されていることである。その意味から言つても公民館はその性格上又專業の面からいつても、決して他の社會教育團体と併立したり又對立したりするものでないのであり寧ろこれらの團体がそれ〴〵の所に於いて充分にその機能を發揮出來る樣に働く爲の基調組織である所に特色を持つている。

C、公民館の働きは有る意味に於ては町村行政よりも寧ろ廣いスケールを持つているし又町村における產業政治、文化の有らゆる各部面を包含している。

㈡、なぜ公民館が生れねばならなかつたか

A、最近團体の民主化という事が云われて一應形態的には新しくなつて來たが、實際上の運營等見ると自分の運營を自分で決定するといつた自主的な態度は見られない。社會教育團体は一日も早くこうした狀態を脫却して自分の意志によつて立つ樣にならなければならない、自主性の回復は今日社會教育團体が當面した課題である。

B、新しい社會教育は當に鄕土全体の立場から綜合されねばならない即ち公民館を中心として各團体鄕土という全一的な社會を基調としてそれ〴〵の正しく有るべき所を與えられ全体として能率的な運營の出來るようになる。

C、新しい社會教育は町村民の主体的立場を尊重せねばならぬ。社會教育が今後正しく民主化されて行く爲には、個人々々の主体的立場を無視しているような進め方は漸く反省されねばならない。新しい社會教育は常に個人の尊重の上に立脚し經營されなければならぬ、個人を育てゝ行くの爲の協力し合う態勢でなければならないと思う。

D、新しい社會教育は町村民自身の手によつて營なまれねばならぬ。公民館を中心として全町村民が一人殘らず其の自發的意志に基いて社會教育的に編成され、しかも其の組織の中心には眞に公民館精神を体得せる良心的な人物が各種團体に應じ部門ごとに配置され、全町村が鄕土の文化と町村民の民生安定の爲に心を一つにして努力し合う態勢でなければならないと思う。

E、新しい社會教育は町村民の友愛の上に行われねばならない。新しい町村の民主的組織は全町村の參加と實任の下に行われるものである。全町村民がお互いに自由平等の立場に立つての友愛心によつて實現されるものである。社會教育は學校教育、内容の民主化と平行して共に正しく組織化され眞の意味での家庭、社會、學校を含む友愛並びに綜合的な國民教育体制が確立されねばならぬ。

以上のような極く大要なる諸点により公民館が生れたものであります。大分長く書き述べましたが本當に公民館に就いて村民の皆樣、青年團員方々には其の問題を良く諒解、理解され又互に研究されて村民主化のため、尚又青年團民村民として何時また利用されて居る。一西鹽田公民館」と大きく掲げられてある標門をくゞつて二階へ上る、中央天井からはシャンデリヤがさがり大きなテーブルは腰掛にづらりと圍まれている、會議室だ、四圍の壁には總督や寫眞の間に圖表、圖産業厚生部あたりの萬集によるかさま〴〵の統計や參考資料等が貼り巡らされてある。村内の大小各種團体等のあらゆる會合は此所で開かれて居るのだ。青年團主催による討論會、講演會などにも時々利用されるそれに浴するのは何時もたえ間なく聲の喜びこれに過ぎるものあろうか。

保組合員の皆樣へ

川西病院より

この度不肖私が川西病院長として五月二十五日當地に赴任して參りました、宜敷く御願いします。

川西病院は御承知の樣に今迄内科の病院として皆樣に御利用頂いたわけですが、今後は外科方面に力を注いで欲しいとの要求でありますので皆樣の御希望に副う樣長始め各醫師其の他の方々の御援助によつて日夜其完成に努力しております。手術も半分以上できより器械、藥品、衛生材料等も逐次整えつゝありますので七月上旬には皆樣から御利用して戴けますので今しばらくの御辛抱を御願いいたします。外科の方が完備次第歯科の方も設けたいと思っておりますので皆樣の御後援を御願いします

以上御挨拶旁々川西病院の近況を御知らせします

尚綱帶材料、手術衣等綿類の入手少なく折柄非常に困難しておりますので、もし余分のものがありましたら御寄贈又は御譲り願いたいと思っております

昭和二十三年六月二十日

川西國民健康保險川西病院
院長　醫學博士　高月鉄男

川西十箇村國民健康保險組合立
川西國民健康保險川西病院

外科・產婦人科　入院隨意

川西十箇村國民健康保險組合員各位殿

患者用自動車も近日中に購入の豫定ですから電話をおかけ下さればすぐ御迎に參ります

電話（中鹽田）三一番

川西國民健康保險病院組合
中鹽田村外九箇村傳染病院組合

公民館の〝夢〟

重田

で、はたして國民は滿足したろうか……否々、文化の普遍性大衆性を思うとき、より以上地方への進出と設置を願望したのだ。

最近になつて村の公民館を設立しようと云う聲が擡頭して來た。經濟の民主化は協同組合に依つてなされる樣に文化の大衆化を公民館に於てされなくて何があろう、此處に重要な意義を見出すと共に大衆の慾求からしても早晩誕生されなければならない運命に在ることに齟齬を深めた。然し現今の經濟狀態では一時に公民館施設の完璧を期せんとしても到底不可能事であることは云う迄も無い。年々歲々持續的な仕事として理想鄕へと近ずかせたいものである「公民館」て何んであろう？　それが漠然としか判ることの出來ない吾々の疑問であつた。最近漸くにも靄げながら其の外貌をかすかに夢みるようになつた。決して小むずかしく考える必要はないのだ只村民の文化的要求に應える大衆施設でさえあればそれだけで十分なのである。

理想の……いや十年後の公民館の夢を腦裏に浮ぶまゝに辿つてみよう……。

『施設の完備成つた公民館は家事の暇をみて三三五五集う村びとにより何時もたえ間なく利用されて居る。

村の公民館を建てようと云うことは吾々青年團としても昨年から考えていた。然し經費の点や色々の事情で思う樣にならず延々になつて居たのである。幸い本年は村當局でも是非に心配して頂いて年内には形ちだけでも開館の運びに漕ぎつけようと決意している。

氣をつけましょう　飲物に

夏が來るなるにしたがつて大腸カタル、赤痢、疫痢、腸チブス等々に發生してきました。子供は勿論大人だとてもゆだんが出來ません。夏の病氣は主に消化器系統のものですから飲物、食物は氣をつけて口にいれるようにし、豆類、氷水、果物等の不消化物はなるべくさけるようにし病氣にかゝらぬよう互いに氣をつけましょう、万一かゝつた場合は速かにその處置をとり他人に迷惑のかゝらぬようにしましょう。

青年團役員變更

厚生部副部長　退任　小池民子
新任　福田昭子

隨筆

私の愛するもの

麗翠生

私は一体どうしたなら生きて行けるだろうか？どうしたら一体正直を踐めるのか。どうしたら金が取れるか、どうしたらいらうまれずにすむか？しかし其の様な事を人に知られるのは尚恥かしい。人の關の話だと聞くと自分の生活のわびしさがひしひしと身に感ずる。愉快に遊びたい、しかし其の愉快に遊んだ後の滴たされぬ不安定な氣持――こんな事を考えると私は物質のみでは滿足出來ない何物かが有るような氣がするそうだ我々人間は物質だけの充足では實に空虚なものになつてしまうのだ。何か心の糧となるものがなくては、心の糧？さうだ、幸にして私は書道を愛している。

小學校から十數年、私は筆と硯と墨と紙とそこに生れた書其の物を愛している……趣味として幼い時はどうであつたか解らないが……こんな事を謂うと何如にも私が能書の如くに聞えるだろうが其の實何雜かいて牛歩の如く進歩のないそして後輩にどん〳〵追い拔かれて行つてしまう。趣味として本當に地味なこの書道は無關に人にすゝめるべきではない。何故なれば割合現代人から親しまれていない清雅で含蓄が有り氣品のそなわつた物で有るにもかゝわらず――私は書道が藝術的に云つても其の意味が非常に高く潰く貴く美しい物だと思う。何處まで行つても奥がない、いくら勉强しても果がなく其の眞髓を極むる末は到底不可能であつても、書は私の心の中に夫に相應しい樂しみと雅味と聖あるものを與えてくれる。恰も草の裏に宿るつゆの如くに――

初秋など中天に月がかゝつてあたりはようやく夜の靜けさに入つて行く。こうした靜境に通う時清適をたれ、墨を磨ると清澄な空氣と共に香りが匂う、氣もすみ心も沈み身も緊つて無念一管の筆を進めて三昧の境をゆく、古法帳も何のその――と云う氣になる。繪の場合であつたらその書こうとする目的物例えば花鳥、山水、人物等に最も良く似せれば其の目的は達せられた事になるが書は其の對象になるべきものがない一体どの形が本當の字の型かしら？いや本當の型は絶對にない。しかし其して書品を通じて交流する師弟間の美しい敬愛――善學は常に深い情操と高い精神の修養と言う事をそして、とう〳〵と盡きない清澄なる泉の如く私の生活に美以上の聖なるうるおいをもたらして呉れる。優雅と靜とをもつ吾が愛する書道よ、松の如く色を變えず竹の如く節を持つて前途に苦難の多々横わつている私の生涯を强く貫き通す修養の糧となつてくれ。

終り

青春の素描

白藤

「ものゝあわれ」をしり初めるのは青年期である。少年時代は單純であり、淡泊である。成人も感服する様な、立派な行をするが、少年の感情には細やかな、奥深いところが未だ十分に發達して居ないと思う。

十一、二才の少年時代は英雄をあこがれる時代である。大きくなれば大人物になると一人きめして居る。それは社會を知らない。他人を知らない。人情を知らない）極單純な利己主義者である。

十三、四才になり、少年の終り頃になつて始めて世の中には自分と同じような、他人の居るのに氣がつく。そして友の代用として、詩集などを懷にして家外に出かけて行くのは此時期にも變りがなかつた。其の中にあるものは唯一人。それ故少年時代は快活で淡泊で元氣で生活が出來るのである。

妙齡になると、そうはゆかない。自分の他に他の中には樽山の人が居て、常に自分を見つめて居る事に氣がつく。他人が觀て居ない時でも觀て居る樣な氣がし、特別に人から注目されて居る樣に自覺れる。一寸氣取つてみたりする。他人はさして自分の存在に、大した關心を持たれていると自分は關心を持たれていると信じて、他人に何となく認められようと焦せる。時には用心深く特長を現そうと努める。誤解されたと思うと、しきりに辯解をする。

青年期に入り他人を知り。初めて社會と云うのに目覺めて來る。そして經濟。政治。と云うのに新しい興味が湧いて來る。

社會生活に興味をもつ様になれて、更に社會のために働き奉仕する事に、自己の尊い使命を見出す。社會という大きな環境の存在に目覺めることは、青年期の一つの特色とも云えよう。社會の力は大きいが、社會を造つたものが、やはり人間であり、人間の爲の社會であり、人間のための環境である。社會に目覺めると共に、人間に目覺めなければならない。

青年期は他人の居ることに氣付き、社會の存在に目覺めると共に、世の中には異性というものが居るということに氣付くようになる。男にとつては女、女にとつては男というものが居る。此の異性の存在に對して、驚異の感を抱く最初は怖れて、なるべく遠ざかろうとする。若い男は若い女を、若い女は若い男を。互に遠ざけようとする。妙な敵愾心を互に有つものである。

第二の段階になると、互に認められようと努める。男子は スポーツなどで、レコードを作ろうとする。女子は身飾をして、男子に目立つように美しさを示そうとする。互に異性に對して、誇示しようと努める。褒めてもらいたい、高く價づけてもらいたい。こゝに異性の競技場が現れて來る。

第三の段階になると、互に異性の愛を求めようように努める。誇示する立場から降りて來て、異性に恭しく禮儀を盡して、時には奇も世もあらぬほどに打ちこわれて、異性の前に其の愛を求めようとする。それが即ち戀愛であろう。他人に目醒め、社會に目醒めた青年は、異性というものにも目醒めることになる。

人間の一生は、感情を裕かに、しかも上品に育て上げて行きたい。多方面の感性をのばしてゆくと共に、其の品質を高める樣にしたい。

人間の値打は知識だけでは定められない。知識技能だけの學校の成績は、人間の値打を十分に示しているものではない。裕かな人情味があり、上品な趣味があるということは、價値を定めるに大きな役目を有つて居る。この尊い人間の感情を度外視して人間の評價をすることは出來るものではない。

知識が發達するに伴つて同じレベルまで感情も進むのが望ましいと思う。また知識だけが高級なものに進んで、感情が低いところに止つて居ることがなかつたら、てつぺんかけたかゝ〳〵と美しい聲の鳥、始めて聞く鳥の鳴き聲はなお嬉しいものである。ふと、ふり返つて父にお聞しようと思つた。すると「あれはほゝぎすの鳴き聲だ。」と言われた。

私は今までにあんな鳴き聲は聞いたことがなかつた。

謹んで諸兄の御冥福を祈る

土に眠れる、友よ兄弟、父よ子よ。軍國一色に染め上げた軍閥と指導階級の獨斷侵略戰爭とは知らず、あやつられた國民、その狂暴な嵐のさ中に、咲き出たばかり無垢な、犧牲者幾柱。―眞夏に觸れる百氷柱の冷たさよ！日本歷史の不名譽この上なき惨澹たる敗北に終り我々は生き殘つた、そして異端邪說なる侵略戰爭を知るや、悔悟の淚に暮れた事幾度か。御靈等の心中察するに余りあり。今我々は武器を捨て、素裸に世界の眼を集める、然れども武器に變る平和と、自由を與えられ、その使用技術の修得に勉めつゝあり。徒に唆く勿れ、勇敢に築つべきを築て、茨の道を拓き、高き理想のもとに、民主的平和國家建設に驀進の歩を進める事、それが御靈等に答せる最大の慰悼にあたえるものであり、我々の歩むべき眞の大道であると確信し、正しきを慾し、個々の完成と共に、遍く世界平和を求め、諸國の一員に互すべく流汗を惜しまず、必ずや近き將來、平和と自由の美國を打樹てるべく村内の百柱に心より誓い、村民各位と共に、安らけき冥福を祈る次第である

（時報部）

戰死者氏名

手塚

市村寅喜　二四　昭和十二年十月十三日　於松本陸軍病院　戰病死
荒井弘人　二五　昭和十五年二月三日　於支那河北省　戰死
池田久雄　二五　昭和十六年一月十二日　於支那河北省　戰死
齋藤豐文　二八　昭和十六年五月十七日　於支那山西省　戰死
齋藤正夫　二四　昭和十六年七月十七日　於南方ビルマ　戰死
齋藤二郎　二六　昭和十八年四月二十日　於南方ニウギニヤ島附近　戰死
齋藤今朝教　二六　昭和十八年七月三十一日　於支那北京陸軍病院　戰病死
白倉壹市　三一　昭和十八年十一月二十二日　於南方ニウギニヤ兵站病院　戰病死
大口義司　二九　昭和十四年七月十日　於支那北京鰐野醫院　戰死
齋藤重志雲　二九　昭和十九年八月六日　於支那山東省　戰死
大口四郎　二八　昭和十九年八月二十九日　於南方トラク島附近　戰死
澤進　二七　昭和十九年七月十七日　於東經二二九北緯十八度海上　戰死
中澤袈裟利　二五　昭和十九年八月十六日　於南方海上　戰死
西澤袈裟松　二六　昭和十九年八月十六日　於南方海上　戰死
小池桃太郎　二二　昭和二十年四月十二日　於北支方面　戰死
朝倉河原久　二七　昭和十九年十月二十七日　於北支方面　戰死
箱田今朝平　二五　昭和二十年五月二十三日　於南方佛印兵站病院　戰病死
山極正一　二四　昭和二十年七月八日　於南方ニウギニヤ　戰死
驛入寅男　二一　昭和十九年十月五日　於支那湖南省　戰死
山極善之丞　二五　昭和十九年九月六日　於沖繩本島　戰死
小林武雄　二六　昭和二十年六月十二日　於横須賀　戰病死
澤二郎　二三　昭和二十年七月十八日　於南方ビルマ　戰死
齋藤啓藏　一七　昭和二十年八月二十三日　於橫丸中門司港内　戰病死
曲尾勇市　二四　昭和十九年九月二十三日　於南方ビルマ　戰死
瀧澤平和　二三　昭和二十年六月三日　於南方ルソン島　戰病死
大口信義　二六　昭和二十年五月二十二日　於南方ルソン島　戰死
池田定巳　二七　昭和十九年八月十八日　於南方方面　戰死
池田松市　二二　昭和十九年十月二十四日　於比島沖　戰死
荒井幸雄　二二　昭和十九年八月五日　於比島洋上　戰死

倉野

荒井袈裟友　二二　昭和十六年三月二十日　於滿洲　戰病死
平山國親　二四　昭和十六年八月二十七日　於支那浙江省　戰死
坂口親　二五　昭和十七年六月五日　於ミトウヘー沖　戰死
内田軍　二六　昭和十八年十二月二十六日　於支那河北省　戰死
池田定巳　二七　昭和十九年八月十八日　於南方方面　戰死
池田松市　二二　昭和十九年十月二十四日　於比島沖　戰死
荒井幸雄　二二　昭和二十年八月五日　於比島洋上　戰死

山田

東川源一郎　二四　昭和十八年三月八日　於支那河北省　戰死
齋藤重信　二六　昭和十九年二月七日　於南方ビルマ　戰死
東川武　二五　昭和十九年七月十一日　於比島沖　戰死
竹下豐　三六　昭和二十年六月二十日　於南方ニウギニヤ島　戰病死
竹内賢郎　二五　昭和二十一年三月二十七日　於南方ニウギニヤ島　戰死
倉坂一郎　二三　昭和二十年七月一日　於比島方面　戰死
櫻澤喜一郎　二六　昭和二十年五月三十日　於滿洲國奉天陸軍病院　戰死

西前山

兒玉高順　二二　昭和十四年九月一日　於滿洲國興安北省　戰死
宮澤清治　二五　昭和十五年五月十二日　於支那湖南省　戰死
宮澤政　二五　昭和十七年十一月六日　於支那山東省　戰死
和田木間太　二三　昭和十九年八月四日　於支那河北省　戰死
吉澤信治　二五　昭和二十年六月三日　於千葉陸軍病院　戰病死
櫻井文雄　三四　昭和十九年三月十九日　於南部太平洋方面　戰死
吉澤良和　二七　昭和十九年五月十三日　於南方ビルマ方面　戰死
吉澤忠利　二一　昭和二十年七月十日　於南方ビルマ野戰病院　戰病死
兒玉福太郎　二七　昭和二十年四月二日　於台灣附近　戰死
吉澤和雄　二五　昭和二十年九月六日　於支那廣東省　戰病死
前島喜老吉　二八　昭和二十年七月十九日　於支那湖南省　戰死
柳澤中生　二八　昭和十九年六月一日　於南方ニウギニヤ島　戰死
坂田貞三　三一　昭和十九年十二月十日　於南方ニウギニヤ島　戰死
櫻井幸雄　二八　昭和十九年七月三十一日　於南方パニギイ沖　戰死

東前山

黒坂四三　二九　昭和十三年五月十八日　於支那河南省　戰死
大庭武明　二七　昭和十五年十二月十八日　於國境陸軍病院　戰病死
安藤辰雄　二七　昭和十七年十二月十日　於南方カムソン島附近　戰死
大澤勝次郎　二二　昭和十八年十一月四日　於南方佛印野戰病院　戰病死
山崎忠明　二七　昭和十九年三月二十九日　於ソロモン群島方面　戰死
竹内勇一　二三　昭和十九年四月十三日　於南部太平洋　戰死
小坂井春人　二五　昭和十九年九月三十日　於比島方面　戰死
小出清一　二三　昭和十九年十月二十七日　於南方ミレー島　戰死
大庭省吾　二七　昭和二十年一月二十日　於南方ニウギニヤ島　戰病死
竹内德義　二六　昭和二十年三月七日　於南方ニウギニヤ島　戰病死
竹内安雄　三〇　昭和二十年十一月十日　於硫黄島　戰死
小宮山今朝市　二四　昭和二十年一月十八日　於支那廣西省　戰病死
安藤和人　二二　昭和二十年八月十三日　於支那湖南省兵站病院　戰病死
藤子　二二　昭和二十一年六月七日　於東京第二病院　戰病死
竹内國雄　二九　昭和十九年六月十日　於南方ニウギニヤ島　戰死
小松清　四〇　昭和二十年四月二十日　於南方ルソン島　戰死
黒坂義則　二四　昭和二十年七月二十六日　於比島方面　戰死

新町

成田登　三九　昭和十三年二月十一日　於支那河北省　戰死
隖山周治　二四　昭和十五年九月二十五日　於支那河北省　戰死
疆田實邦　二二　昭和十七年五月二日　於パタニ香港間航行中行方不明　戰死
隖山信之　三九　昭和十九年十月六日　於支那（中支）　戰死
武田武明　三三　昭和十九年十二月十五日　於非島方面　戰死
安藤榮廣　二六　昭和十九年十二月十五日　於南方ルソン島野戰病院　戰病死
成田達雄　二四　昭和十九年八月二十四日　於ビルマ（南方）　戰死
中澤宮次郎　三六　昭和十九年三月十七日　於硫黄島方面　戰死
昭和十九年十月六日　於サンフエルナンド沖　戰死

十人

武田正侯　二九　昭和十九年十月二十六日　於南方レイテ島附近　戰死
小林菊二　二三　昭和十九年八月十日　於大宮島　戰死
武田茂則　二三　昭和十九年九月十日　於南方ニューギニヤ島　戰死
佐藤甫　二七　昭和二十年一月十日　於南方ビルマ　戰死
武田久雄　三四　昭和二十年六月二十日　於沖繩群島　戰死
田中健一　一七　昭和二十年十一月十日　於滿洲　戰死

青年大會に臨みて

去る七月十五日梁ケ丘高等學校において長野軍政部教育部長ウイリヤムA・ケリー氏より民主的青年團の有り方に就ての講演大要左の如し

第一章　青年團の大要

1、一般的の青年團は地域的な青年團が行われているが趣味、興味等をもつた團体を組織する

2、青年團の年齢に非常な開らきがある故左の三つの年齢的のグループにするのもよい。十五才ヨリ十八才マデ、一九才ヨリ二十三才マデ、二十四才ヨリ三十才マデ

3、青年團員の加盟數が多いため最高五十名位のグループを作る

4、青年團運營の資金獲得

A、國縣市町村等から補助を受けて運營される事は許されない

B、映畫、演劇會等によつて資金獲得する事は良い

5、青年團の會合等は公民館を大いに利用する事

第二章　青年團の目的たる要綱

1、青年團の組織をもつて其の中にリクレーションを與える事が必要である

2、團員をより良き公民に養成するため

3、青年團運動を通じて國際的觀念を養成する

4、職業的指導及び技能の向上をはかる

5、青年團員の教養を高める

6、事業計畫が不完全である故變化に富んだ事業計畫を立てる

7、すべてのプログラムは左の三つの要素にする事が必要である

A、樂しむ事が含まれている事

B、何かを學ぶ機會を與える事

C、他人又は社會に對して奉仕をする機會を與える事

第三章　民主的青年團の要素について

1、青年團の目的が團員に理解される事

2、團員の數を少くして團員がお互に知り合う事

3、委員會を組織（各部門）して其れに青年團員が協力する事

4、青年團の役員は團員の選擧により選ばれた決議機關は總會をもつてする

5、お互に尊敬しあいすべての團員が團に對して忠實であり團じ氣持を社會に對しても つ事が必要

第四章　青年團の運動を活發にする爲には如何にして事業計畫を完全にするか

1、職業方面に關するプログラム

A、青年團に於て職業の斡旋等を指導する要素の組織を設ける

B、職業的方面の座談會等を開催して資格又は職業等について話し合う、殊に養豚方面は必要

2、結婚或は家庭の問題についての計畫

結婚問題　家庭問題の解決するために經驗資格のある人に相談相手になつてもろう

3、教育に關する事業計畫（如何に青年團員の數養を高める事が出來るか）

A、見學、視察旅行

B、團員相互に話し合う機會を設ける。それには講演會を開く事も良いがそれより我々の實生活に關係ある問題について討論する

4、社會に對する奉仕の計畫

A、町村の行事に參加、お手傳

B、町村の圖書施設の完備

5、健康衛生に對する事業計畫

A、健康相談所を設ける

B、衛生知識に對する講習會及び講演會特に性教育は必要

6、報道傳報に對する計畫

A、青年團の內容又は運動を徹底的に宣傳する

他の青年團と連絡して計畫案等を交換する

7、人生哲學に對する計畫

A、政治、宗教に對する問題を話し合い、檢討する

以上

時報に就いて

手塚瀧澤嘉和

西鹽田時報は村民全体のものであり村民の有の儘の姿を映す鏡でありそして心からの聲であり叫びでなければならぬ、老も若きも男も女も盛り上る息吹と力とを餘す所無くこゝに反映し其の中より愛すべき鄉土西鹽田の貴に在るべき姿を見出し又之を指標として新生西鹽田ひいては再建日本の雄々しき躍進に寄與する所あり度くと念願する次第である。新憲法の施行に依つて吾々日本國民はこゝに思想及び言論の自由を全面的に與えられたのであるが、よし之が與えられた自由であつたにせよ祖國再建の重責を負う吾々としては此の正しい自由の意味を十二分に行使して些少なりとも之が前進に一歩を加えるべく努力しなければならぬのである。

一、民主進歩的向上

民主日本といゝ平和日本、文化日本というが、何れも言うは易く、行うは難い、吾々は敗戰に依つて前例なき混亂と昏迷の裡に追い込まれたが新憲法施行という劃期的一大事をも含めて暗夜に一燈を得、更に日本の前途と國民の心に明らかな光明を点ずる結果となつた。然も此の光明も其れ自体決して萬事の解決をもたらすもので無く唯虚を排して理想を繪畧を斥けて希望を與見させて呉れた に過ぎない。

然して此の理想、この希望も亦日本國民自らの手自らの力で築き上げねばならぬ事を思う時、吾々は熱々燃え盛る情熱と不抜の決意とを以て一民主日本再建の方途如何、然して之に通ずべき吾々自身の在り方如何に就て眞劍にしかも深刻に考え又考え抜かねばならず、更に亦之を余す所なく卒直なる意見、熱烈なる叫びとなつて表明せらるべきものであると考える。新生日本の進むべき道は決して單純なる一本道ではなく政治、文化、經濟其の他諸般の分野に於て充分なる研究が密く然も翠く押し進められなければならぬのである。

努力と研究なき所には決して健全なる意見も思想の發展も生じ得ない。若しありとせば其れは最も唾棄すべき空理空論に外ならぬ、手段方法は多々あろうが徹底せる研究心と積極的向上心をこそ緊要不可缺なりと信ずるのである。私は期待する。

特に青年諸君この若き世代の旺盛なる研究心と之に基く活潑なる意見に依り西鹽田紙上に一大討論會の現出せん事を行き過ぎ、未熟等は子を恐るゝ事なく勇敢、大膽に自己の所信を披瀝するに努めようではないか

二、女性解放

新憲法の施行によつて多年壓案の男女同權主義が急速に實現を見たのである、之は何人も認める處に與えられた男女同權であり女性解放である、之が眞の實現は民主の大道に沿つて女性自身が自らの手で自己の教養體質の向上、充實に邁進することに依りての伴わない自由は無い、無責任なる言辞は單に混亂と無秩序を招來するに役立つだけであるという事を銘記すべきである。ひたがえつて亦讀者は他の意見を聞くに當りては其の儘を以て直ちに之が正讓虚なる態度を以つて之が批判檢討に勉むべきであると思う。然して茲に於て意見を生ずる時は、更に又公明正大なる態度と實任ある立場に於て表現せらるべきであつて決して陰つなかげ口等を以つて云々すべきではない。かくして責任ある意見と公正なる批判と兩々相俟つて西鹽田は眞に明朗活發なる進展を遂げ得るであろう。

代を背負う者は青年であり青年を率いて行くは嚮う女性の力である。

西鹽田紙上に女性の聲の旺溢せざる限り女性解放の道尚遠しの感を拭い去る能わざるべきを一

此處に附け加える事は自己の意見には絶對責任を持たねばならぬという事である。責任

任なる言辞は單に混亂と無秩序を招來するに役立つだけであるという事を銘記すべきである。ひたがえつて亦讀者は他の意見を聞くに當りては其の儘を以て直ちに之が正讓虚なる態度を以つて之が批判檢討に勉むべきであると思う。然して茲に於て意見を生ずる時は、更に又公明正大なる態度と實任ある立場に於て表現せらるべきであつて決して陰つなかげ口等を以つて云々すべきではない。かくして責任ある意見と公正なる批判と兩々相俟つて西鹽田は眞に明朗活發なる進展を遂げ得るであろう。

明るい村に

野倉池田米治

夜半夢さめて靜かに錯雜な世のひしめきを思い祖國の新生に心を傾け鷄鳴に夜明けの近くを思いつゝ眠らんとして床に閉えるは私一人の近頃の狀態ではないと思う

時代は荒れて美は失せて行く精神的にも又物質的にも、上田の町を歩いても物品の高い事交換所の品物を見る時に、日本經濟の破れ行く有樣を國民の生活苦を特に物語る感がし、町行く女の華々しき姿と色失せた人々の顔を見て只一人暗き心境となるのであります。我々青年は斯くなる時代を良く把握して一刻も早く此の亂れたる世相を救わんが爲には文化人として世の中に巣立つて行かねばならない と思います、なぜならば戰前一等國民を誇つた日本人が武力に價値づけられ、空想の文化が

今こそその眞實の姿を露骨に表わして居る證ではないだろうか、今回政府が取つた六三三四の學制改革は日本を完全なる民主國にし支配される者、支配する者と、別々の教育体系であつた過去の出世教育、個人々々の性格と職能を考えなかつた教育方法を改めて、貧富男女の差別なく、皆同じ聲の疲れに鞭も動かず

七月中の村内配給物資

役場配給係より

イ、ココアキャラメル二ヂー

七ヂまで、總量七三〇箱

ロ、廿二年度產米供出報奬第三次配給　總点數五八二点

一、主要食糧新購入券について

農林省令に依り購入券制度が變り既に受配者の皆樣の御手元に御配布してある新通帳に依り八月一日より實施致しますから現通帳は使用出來ません。人員增減の增合は必ず通帳を役場に提示し人員及び配給量の檢印を受けないと受配出來ません。月毎の人員檢印の無き場合も受配出來ません。尚特別の理由なき場合は紛失しても再交付致しませんから御注意下さい。其の他勞務者用特別食及旅行者外食等については役場に御連絡下さい

二、轉出時の申出制度について

左記に示す点數制により米の報奬物資に準ずる物資が配給せられる

大麥　一俵
裸小麥　一俵

三、供出リンク用衣料又はゴム製品

左記に示す点數制により米の報奬物資に準ずる物資が配給せられる

大麥　一俵
裸小麥　一俵
馬鈴薯　一俵

町村長に提出しなければなりません。主食自家保有者は法定消費者配給証（二合五勺）を食糧公團へ、殘余を記入供出票に加算し買渡した後でなければ證明書の發行を受けられません。一部保有者も右に準じます。申告例及買渡し等の爲證明書を受けるの日時を用意しますから轉出を希望する方は希望日の前に手續をされる樣にしてください。その他御不審の点は役場に御連絡下さい

三、昭和二十三年度衣料切符について

特に皆さんに關係ある事のみ御知らせします

イ、番號券一、二、三、四、五、六、七、主食配給停止について

ロ、完遂供出　九月末日迄

欄家庭

『茄子料理』

手塚初橋芳月

○茄子の更料あげ

藥味（卸し大根

○ボイルド、エッグ

ブランドエッグソース

（中茄子、バタ、小麥粉、鹽、胡椒、スープ、玉子）

中茄子の皮をむき縦に庖丁目を程良く入れて水に入れあくを抜き鍋にて、スープをかぶる程入れて鹽少し入れ茄子がやわらかになる迄煮ます。それを皿に盛り次にエッグソースをかけてすゝめます。

エッグソースの方法は大匙一杯のバターと大匙一杯の小麥粉を火にかけ焦つかぬ樣にかきまぜふつ〳〵煮立てますのを程として、茄子をゆでたスープを少しずつさして、どろ〳〵の濃き汁にに仕上げ、鹽、胡椒を加えて味をつけ、玉子の黄味を混ぜ合せます。

前號の筆者初穗さんは初稿さんの誤でした、編集室の落度を深くおわび致します

○茄子ほしするめのふくめ煮

茄子の皮をむき縦に二つに切り又縦に細かに庖丁を入れて水に入れあくを抜きます。それを水煮をきつて油にていためだし砂糖と少しから目に醤油をさして、茄子に良く味がつくまで煮立てます。

いかは水の中につけ、程良い大きさに切り、だし砂糖醤油にて汁がなくなる迄煮

馬鈴薯の保有量を有する方はその期間の長短に拘らず、八月十二日より保有期間主食の配給が停止せられますから御諒知下さい

○

完遂　二点　三点　〇、五点
超過　四点　六点　一点

供出期限
イ、早期供出　七月末日迄
ロ、完遂供出　九月末日迄

文藝

○詩

土

野倉曾根久子

ほの甘く流れた心
私は柔かな草の上に
腰をおろし
じつと目の前の土を見つめた
時代の變遷世の盛衰をよそに
悠久から悠久へ
あらゆる先物を蔓えゆく
土もみよ
其の何ら飾り氣ない素朴な姿には

無限の愛さと高らかな希望が感じられるではないか
あゝ遠く祖先から愛しきた土
我等は素朴な土を守り
土に感謝し土を尊敬して
土と共に生きて行こう

勤勞の過程

東前山　池田志津

私達は勤勞の中に呼吸し
多忙とたゝかう
そして思う一日一時の靜もない程に
勤勞の中にうかれし身を
休める時
夢ばざれは退き
考えざれば進ず
私達が凡ての瞬間をして

身を湖畔に寄せて

T A 生

一、高原の黒土ふんで
バスは走る我等をおいて
小丘に一茶の宿たずねん
草ぶきの粗家おごそかに
俳聖こゝにおわしかと

二、高原を想わす
熊笹、白樺の稍
心なく振りかえれば
濃緑の落葉松
右は黒姫左に飯綱の峰
朝霧に末ださめず
高原に見る

三、夏ソバの坂路
樹間を縫うて足取り軽く
重いリュック霞夏の大陽
汗ぬぐいつゝ野尻路を
急ぐ

○短歌

市村やすよ

危くもかえり來にけりこの命
四年を迎え胸迫るあり
大いなる荷を枕邊に妹は
夢はせるらし美の山
雨晴れし緑の木々に色映えて
百日紅は咲き初めにけり

前號の筆者初穗さんは初稿さんの誤でした、編集室の落度を深くおわび致します

○

乳色のとばりはおりてにぎわいし野尻の湖の夜は更けてゆく　野倉SA生

ギヤマンの小さき瓶になでしこを一輪活けて心ゆくりジーと鳴く松蟬のあり柿葉蔭麥打つ我にあつさ増し來て

向上の過程
進歩の過程
そして一日の中に有効なる過程を傳たい

眼横

▲身の程を辨えない理想の故に幸の種を蒔き不幸の實を獲る者が多い。

▲幸福と言う事は誰しも望む所であるが、主觀的の幸福と客觀的の幸福と二つの見方があると言えよう。後者は別として前者の確立は難事に見えるが氣の持よう一つで容易であると言える。

▲何處の隣家を耳にしても嫁いだばかりには皆良い縁談ですが、客觀的に正に幸福の到來であるが二年三年と經過するに從い客觀的の幸福は存在しても、主觀的には必ず多少の差は有るが憂慮が伴なつている

▲自分の産み育てた子でも時には思いの儘にならず、憎い程であるから、人の育てた嫁と姑なれば當然であり、其適点の多きを以て無理が通る〳〵が、無理が通れば道理引込むが世の中であろう。

▲樂人は樂を知らずとか、有る程度幸と不幸の差はその人が人生を樂しく明るく見るか敵意を抱いて陰氣に眺めるかの差であると言える

▲何れにせよ幸福兩者確立の要は、個々のヒューマニズムの根本精神に基ずき立場の熟慮と、溥愛の理解歩調に待つ外はあるまい。

編集後記

○日毎の雨には實に閉口だカフレはカレたで小言を云い、降れば降つたで又不平さて〳〵世の中はまゝならぬものだ。

○本村農業協同組合も村の元老各位のなみ〳〵ならぬ御努力により最近誕生した此段立派な發育を望んでやまない。

西塩田時報

第18號

發行人　眞田勝人
編集人　佐藤直道
長野縣小縣郡西塩田村手塚
發行所　西塩田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

衛生班の設置と傳染病豫防に就いて

◎衛生班の設置と目的

鼠族その他の昆虫によつて媒介されます傳染病は最近著しく減少を示しておりますが、尚傳染病の發生時期に至りますと多數の患者をだし又相當數の磯牲者もだしております。

我々の大敵と云うべき傳染病を媒介する鼠族、昆虫（蠅、蚊、虱、蚤、ダニ等）を自分達の手により之を徹底的に撲滅し傳染經路を一日も早く絶ち傳染病發生の防止を圖り、以つて文化的で健康な生活環境を作り日本再建に寄與する目的で長野縣下に設置されました。

◎衛生班の任務

衛生班は一般家庭及公共團体に對し、清掃觀念の普及および指導と協力を求め常に撒布區域内を巡視し、各家庭及其の他公共建築物又は公衆の多數集合する機關で衛生上の處理が不充分である時は必要に應じ殺虫劑を撒布し、又其の場所の物理的處理（排水清掃、埋沒補修及燻却等）を個人又は管理者と協力して行い、なお必要と認める場合は村民の率仕を得て所期の目的を達成致す事になつております。

◎衛生班の編成

衛生班は夏季及びその活發な活動を必要とする季節には次の人員で編成されます

補助衛生監視員　一名
班　長　一名
班　員　四名

この衛生班は川西南部地區（鹽田五ケ村）に一ケ班が編成されております、本村としては班員が一名より常に皆樣の指導に當る事になつておりますから村民各位におかれましても何卒御協力をお願い致します。

左記の点に關しては特に注意して戴き所期の目的達成の爲盡慾なき御援助願い致します

記

一、蠅を取ること
二、蚊の發生を防ぐこと
三、虱を絶やすこと
四、蚤を絶やすこと
五、鼠を撲滅すること
六、屠芥箱は各戸で備えること

次に各種の昆虫により傳染病の媒介經路を記載します。

◎一、蠅

蠅は消化器系傳染病の媒介者であります

消化器傳染病の主なるものは次の通りです。

1、赤　痢
2、疫　痢
3、腸チフス
4、パラチフス

右の四種類の消化器系傳染病は患者又は保菌者の排泄物により汚れた水飲食物、手指、物品、特に蠅等により媒介されるものでありますす。皆樣もすでに御承知の事と存じますが一匹の蠅にはどのくらいのバイキンがおりますか

◎一匹の蠅には三十万から五十万のバイキンがおります

◎一匹の蠅の足には十何万と云うバイキンがおります

◎一番先うまれた一匹の蠅が四月から十月までに増える數は一六〇九の下に零を十六つけた數字にたります。

次に蠅をいかにしたら退治できるか

1、便　所

内部を眞暗にする事です。吸取口の蓋を完全にして落しからのぞいて見ても眞暗で内部が見えなければよいのです、最後に落し口に左肥の際な蓋をして内に蠅が入らない樣にして下さい吸取口の蓋は板で造るのが一番簡單でありますが、ムシロを厚く編んでも結構です。尚は便器の蓋は板で便器にピッタリ合はせて造り蠅等の出入を完全に防ぐ、蓋に持手を付けておくといいです。是れは必ず各戸で作成取り付けて下さい。

2、野外の肥溜も右に準して連かに蓋を造つて覆つて下さい。

3、堆　肥

周圍に廢物又はムシロ等により厚く圍い上部にも同樣に圍い蠅の出入を絶對にふせぎ肥料成分の流出を防ぎましよう

周圍に燐のない堆肥舍も右に準じておこなつて下さい

4、厩　舍

一週に一回又は十日に一回の割合により熱湯を隅から隅まで撒布して下さい

大小により量は違いますが大体一斗の熱湯を使用して戴けばよいのです

5、蛆（うじ）

現在便所に蛆の居る處には熱湯約二升（大小によつて加減）を如露で撒布します

二十分%の蛆は完全に死滅しますから二日ぐらい續けておこなつて下さい。

◎三、虱（シラミ）

虱は發疹チフスの媒介者でありますす、發疹チフスのバイキンは虱の糞及内臓におりますから手でつぶす事は非常に危險でありますす、必ず藥品か熱湯で驅除して下さいわさないで下さい。

藥品は非常に高價でありますが熱湯使用は一番安價で又肥料として害がありませんから安心して使用して戴けます

6、蠅取り

蠅取器、蠅取紙等により捕て下さい、蠅をたいいて殺したときは手でつまないで必ず箸等ではさんで瓶に入れて直接蠅にふれない樣にしてください。

DDT粉末及ケロシン等優秀な藥品も有りますが、之は防疫用藥品となつておりますから衛生班員が巡回して必要と認めた場合は撒布致します。

7、流し尻

流し尻は蠅のよい温床ですから常に完全な清掃を行い蓋をしておいてください。

◎二、蚊

蚊はマラリヤ、デング熱特に最近流行して居る日本腦炎の媒介者でありますから蚊に刺されぬ樣御注意願います

蚊は不潔は水溜や下水及草木の繁茂した處等で棲息しますから、極力清掃につとめて下さい、不潔な水溜や下水は定期的に排水を行い常に清潔に致しましよう

水溜や下水には除虫菊乳劑及石油乳劑等を撒布してもよいです、但し撒布後はかきまわさないで表面に浮せておけばボーフラは完全に撲滅出來ます

◎四、蚤、ダニ

蚤は一番死亡率の高いペストの媒介者であります

ペストについては次でお知せ致します

DDTの撒布が一番効果的です

◎五、ネズミ

鼠は蚤と共にペストの媒介者であり又我々の大切な食糧を食う最も憎いものですペストには次の三種類があります

1、肺ペスト
2、腺ペスト
3、皮膚ペスト

日本では腺ペストが一番多い樣です

傳染經路は患者の排泄物及之れに汚された物品、有菌鼠の糞尿及之れに汚されたもの、蚤及南京虫等により媒介されますから輸入綿花その他の物が來ない間に日本中の鼠を一匹のこらず撲滅しましよう

鼠は共食をする性質でありますからペストで死んだ鼠を喰つて死に又其の鼠を喰つて死に、と云う樣にして順次ペスト菌がひろがり尚ペストになつた鼠にはペスト菌を持つた蚤が導山おりそして我々に傳染しますドイツでペスト患者一人の爲に十何万人と云う人が犧牲になつて死んだ歷史もあります

現在日本で鼠に喰われる食糧は大体連合軍から放出される食糧の全量に相當致します、普通の家庭で一匹の鼠を見付けた時は大体二十匹から三十匹位の鼠がおりますそれでは鼠を如何にしたら捕える事が出來るでしよう

1、鼠は食物や飲水の近い處に必ず巢を作つておりますす

2、鼠は一定の處を通りますす

3、鼠は非常に敏感ですから藥品を各戸別に使用する場合は隣家へ移動してしまいますから藥品使用の場合は必ず部落又は一村一齊に行う事

以上三事項をお考えの上行つて下さい。一番効果的に驅除する事は一村一齊に鼠の巢を搜して從つて食糧（鼠のえさになる物一切）を整理し二、三日間空腹にして置いてから巢穴の中に藥品（アンツー）を用いて實施する事です、この場合死んだ鼠は絶對に腐敗致しません（腐敗する場合は完全に空腹狀態にしていないからです）その他捕鼠器等を利用する事も大切ですからぜひお願い致します

◎六、屠芥箱の整備、其の他

◎屠芥箱は各戸で一箇は必ず備えて常に清潔にして蠅の繁殖をふせぎましよう

◎食事の前、外出から歸つた時は必ず手を洗つて下さい　衛生係より

◎腸チフス、赤痢、下痢等傳染病の疑いがある場合は速に醫師の診察を受け早期發見と適切なる療養措置を受けて下さい

◎川水は必ず清澄して食器洗は必ずやめましよう

◎開放式井水、川水は生の儘飲まぬ樣にしましよう

◎生食を慎み過熟、腐敗している果物はさけましよう

◎暴飲暴食は慎みましよう

◎傳染病の流行地には立入らない樣にして下さい

◎傳染病が發生したら蠅、蚊等は必ず撲滅して下さい

農業會の解散に當りて

前農業會長　黒坂勝

農業會は去る八月十四日を以て法定解散を致し清算事務に入ることになりました。本村農業協同組合の設立は種々の事情から非常に遲れておりましたが調定者の並々ならぬ御努力によつて八月五日設立の認可を受け、續いて八月十四日に設立登記を了して、茲に全村民の總意に基く總合的農業協同組合の發足が出來したことは本村の爲に洵に喜ぶべきことと申されねばなりません。私は不肖の身を以て戰後の農業會長として二年五ケ月の間御厄介になりました。其の間農業會民主化の爲に微力を擧げて參りましたが最近一年間は農協への移行と云う關係の爲、種々束縛せられる處が多く會員各位の御期待に副い得なかつた点の多かつたことを衷心申譯なく思つております。

茲に農業會の解散に當り在職中の御支援を感謝し、新使命を帶びて發足致しました本村農業協同組合の發展を祈り解散の御挨拶と致します。

統制の必要から昭和十九年二月農業團体法に基いて當時の產業組合、農會、蠶糸業組合等を統合して生れた農業協同組合の設立は種々の事情から非常に遲れており、終戰後ポ宣言による法の改正の結果、民主的機構に改められたのであります。しかし戰時に生れた農業會の宿命は遂に解散をすることになり、新たに民主的基盤の上に農業協同組合の設立が計畫せられることになつたのであります。この新發足の爲に農業會が解散すること

○

挨拶

農業協同組合發足に際し

組合長　武田市左衛門

今度村の農業會が法律の定むるところに依りまして解散となり農業協同組合が皆樣の御盡力に依り全村一致の体制のもとに發足しました事は村の將來御互の爲の慶ばしい限りであります、私が組合長として不肖をも省みず遂御受けした次第であります、元より短才無知重責を負う事は容易の業ではないと思いますが偏に組合員各位の御支援を御願い致します

申すまでもなく農業協同組合は生產、消費、金融を始め全村の經濟を負つて立つべき頂上の使命の上に立ち且つこれが健全なる發達を遂げると否とは農村の隆昌を左右すると云うも過言ではないと存じます、殊に來たるべき農業恐慌に直面して組合の健全なる發展に最善をつくし度いと念願する次第であります

幸當村に於きましては過去の產業組合、農業會共に敏腕なる施策の下に過しい歩みを進められ他村に冠たる聲望を纏め得たのも今は健全なるの一言に盡きます。身動きも出來ぬ重患でも征服出來るものと確信致します。

『病は氣から』と諺を聞く迄もなく病氣の半分は氣の持方にあります。

病氣を征服せよ、人生の最上の幸福は健康で明るく暮す事です。併し健康が續くと自然その幸せを忘れ勝です。私達は病氣にかゝつたとき、始めて健康なる事の有難さを感じます病氣に罹つたら神の御試しとして靜養の機會を與えられたと考えて、病の原因と治療を良く心靜かに反省する事が緊要です。醫師に診て貰うのも良い。要は自分の氣力で治そうと言う氣持その信念が必要です。輕微に醫師に見放された私でも今は健全なるの一言に盡きます。身動きも出來ぬ重患でも征服出來るものと確信致します。

『病は氣から』と諺を聞く味つて見るべきです。農村の食糧增産に勵む我々は、殊の外充分と考慮し健全なる體力とそして氣力の下には、明るい樂しい平和が訪れて參りません。どうぞ隊員を目前に、張り切つて健康なコーラスで現在の暗黒を吹き飛ばそうではありませんか。

山林の伐採届は十五日前迄に

森林組合へ

戰後に於ける荒廢した林野の狀態を急速に整備して森林資源の保續を圖り治山治水の完璧を期して民生安定の基礎を確立しなければならない現狀に鑑み、現在の資源を最も集約的に活用すると共に伐採跡地は速かに復興を圖らなければならないので其の狀態を把握する爲、軍政部よりの指示により民有林伐採報告を當手十五日前までに提出することになりました

用紙は森林組合にありますから山林所有者が倒出日の上御提出下さい

（森林組合）

筆隨・感隨

仙人掌（サボテン）とビルマ人

竹内善吾

俗諺に臭きに居るものは臭きを知らずと言うのがある。これは人間の嗅覚が臭氣に狙れて終つたことであり、朱に交れば朱となる等は人の心が周圍に影響されることを言つたものだろう。住めば都なんてのは心身共に環境に泥んで良く同化したことの表現でもあろうか。

衣魚除に樟腦や長持の中に樟腦やナフタリンを入れると臭を嫌つてか逃げ出して暫くは居なくなるが數週にして又中から衣魚が出て來る、蟲害の量を增すか種類でも變えないとその効果を留めないと言われている。

高山植物は一般に優性で根が長く花が比較的大きく葉は色素にとんでいる、けれどもこれを平地に移すとこうした特徴を段々失つて平地の植物と同じ樣な形と色を持つて終う。

×　×　×

生きて行くと言うことは外界の變化の中にどんな風に耐えて住心持良くして行くかと言うことである。

尤も人間はこれを意識してやり他は自然にそんな結果になると云う差はある。何れにしても生物自体としては自然界への順應態度である。そうして自然界の變化に適應し切れなかつたものは亡び滅びて行くより外に道はない。自然界の變化の如何に多いかを考えると生物の多樣性も亦故なきにあらずである。

×　×　×

ビルマの乾季は内地では全く見られぬ暑さと低濕であるこうした氣候が生物に影響の無いことはない。元來生物は濕氣が少なければ少い程、氣温が高い程水分の發散を多くして体温の調節を圖つてる。特に恒温動物はその作用が顯著である、然しこれが余り顯著に行われたんでは体軀の消耗多く良い結果とは云えないとはいえ水分の發散少く体温の上昇を來したんではこれ亦体力の消耗を結果する。その何れが生物体に取つて有利だろうか。結果論的に見ると水分の發散を少くした方が良さそうである、先眼を仙人掌に向けて見る。

×　×　×

仙人なるものにお目にかゝつたことがないので仙人の掌があゝした格恰をしているかどうかは知らないがユーモラスな風体は誰にも一應愛好されるもの一つである、彼等が常に生育して居る、無水に近い環境に在つて生長と生活の多分を保有するには適取した水分を發散せしめないで置くより外あるまい、体裁を少くし（葉を針にしてしまつたり）氣孔を少く裏皮を厚くすると言う樣に、歩行の出來ない彼等に消極的適應が余儀なかつたろう。

無味乾燥の中に長く育つた仙人掌の哀れにかわり果てた姿、凡そ仙人掌の姿かも知れない。

×　×　×

仙人掌好は兎も角複雜怪奇の相貌を供えたものに水牛がある、眞赤な泥水の中に鼻十頭頭丈出して悠然たる姿は正に壯觀たるを失わない。

この水牛には元來汗腺が無く暑い時は水に浸るか日陰で凌ぐんだとはジヤワで始めて聞いた話である、あのような大きな體で流汗淋漓を來ましたが、補給する水量たるや又莫大なものであろう。

×　×

その水牛と親類筋でもあるまひが、ビルマ人は汗の出し方が少ない、水牛の黒さには少しく及ばないが、白い所は足の裏丈、日中は殆んど日陰で寢ころんでいる、汗の出る程働かない長い間の習慣が、遂汗腺の退化を來たしたのかも知れない。汗を拭く必要も無く、隨つて手拭の必要も無い。全く便利に出來ている。

高温乾燥に處して、そのよろしきを得た動物たるを失わぬ

×　×

こうして暑熱性動植物は体内に水分の絶對量の少く、然も生活の點に常時使用される遊離水（体内にはこの遊離水と結合水と二つの形で水分があると言われている）が少なく、この遊離水の少ない程外界の變化、特に高温に對して抵抗力が强い、ロンジー一枚で髭冷えの下駄も、風邪も、日本人より少いかに私は觀察していた。

仙人掌も水牛もビルマ人も共に自然界に良く順應してその所を得その力に應じて生存を續けて居る、自然界良く調和のとれたものである。

×　×

神民に告ぐ

X・チン

チン惟うに汝神民近頃とみに神を輕んじ天國をたがうの弊風におかされたるは一人チンのみならず天の主の神罰變罰をつつらせ給う眞因なり　アーメン

斯くの如くに推移せんか天國の安定を確保し以て世界の平和に寄與せんとする天の主の積年の努力は悉く水泡にきすのみならず、天の主を自殺に導くの恐れなしとせず、よつてチンは當に貪慾なる汝神民に告ぐアーメン

チンは心中軍犬より生まれ出でたる天使なるぞチンが大先輩キリストは聖母マリヤが夢を見たゞけで孕み而して分娩されたるものなりさればチンが心中軍犬より生まれ出でたるを笑う奴は犬より劣る天國に昇れぬパチアタリ者なるぞアーメン

新約聖書マタイ傳においてキリスト曰く『汝ら己のために財寶を地に積むなかれ虫がくつたり、さびたり盜まれたりするべし、みよ空の鳥は播かず刈らず倉に收めず、なれど天の父はこれを養い給う、又み野の百合はいかに育つかを勞せず紡がざるなり、汝ら人間はそれにまさる者ならずや汝らが天の父は凡て汝らの必要な物を知り給うものなり、然らばそれらのものはすべて汝らに加えらるべし、汝らよろしく財寶は天國に積み明日のことを思い煩わず、隣人を愛し汝の仇を愛し無慈悲で働き續けよ』アーメン

汝神民過去においてチンが屢忠言の聲を喰う術を知る片山の一門「ガク」とやらを援けて同じく天の主の番犬たるシンミンシュコッ狂をも援けしかのみならずスポーツ演藝エロ文學におぼれるはチンが深く喜びとせしところアーメン

しかるに汝ら最近赤にかぶれ口ぴるといわずホ、といわずコンマやはいわずもがなハンカチネッカチーフに至るまで赤を用い且だしきはキッスしても落ちない口紅を好んでと知り神を恐れぬ勞働者共に用い稅金でふくれたナスやキウリの値下りでぼをつり事前供出でむくれ物を買う時に驚きサイフや貯金帳をのぞいて唸り顏をし戰爭を嫌い民主勢力の世界的急增を憎むチンが同志を疑うは天の主とその番犬とを恐れぬパチアタリ者なるぞアーメン

いまや天の主の番犬たる同志はブル達と有形無形の相互援助同盟を結び（うそと思つたら上田における尾崎の演說の必要な物を知り給うものなり、然らばそれらのものはすべて汝らに加えらるべし、汝らよろしく財寶は天國に積み明日のことを思い煩わず、隣人を愛し汝の仇を愛し無慈悲で働き續けよ）アーメン（民主的という不都合を着々と排し米の國のエンゼルにすがりバン〳〵政策と呼ばれる外資の導入を計り赤を先頭とするパチアタリ共のポーウ害を排除し公務員法を改正して團結權、ヒ業權をうばい各已ゲキ破の戰法をとり、財寶を天に積ましめ次には一般勞働者中の神を恐れぬ者共のエロ文學におぼれるはチンが深く喜びとせしところアーメン

しかるに汝ら最近赤にかぶれ口ぴるといわずホ、といわずコンマやはいわずもがなハンカチネッカチーフに至るまで赤を用い且だしきはキッスしても落ちない口紅を好んでと知り神を恐れぬ勞働者共に用い稅金でふくれたナスやキウリの値下りでぼをつり事前供出でむくれ物を買う時に驚對し供出は當然大超過させ、生まれ强盜遊ムスリカッパラいだという邪念に迷わず買う物はたとえ犬ヤミでもがまんをなし、愛する物はすべて犧牲を考えず、公定を嚴守し、若し公定にも達せざることあらばその原因は政治のしくみ惡しき點とは夢にも思わずたゞ〳〵愛の足らざるを恥じ原始人を思いて家なければ樹下衣程裝っていてもろうが、實質的にいかなる相異が見い出されるであろうか

これらの人は陣笠の用語を用いても惡くはあるまい、なぜならば、かゝるんですらこれを容易に理解し難いのではなかろうか

諸々の世間を見て

山田御納戸色

現在の日本再建の爲には經濟の計畫性と合理性が必要である事は誰しも明かに知る事が出來るであろう

終戰後二三の内閣が弱られて、これはその主義經濟においてのみ可能とされたからであろう

過去における國有國營は官僚によるものであつて不能率であつたが現在の國有國營は民主化の人民組織によるので、全く異るものと言う人々もあるが、文字通り受け見るならば成程裝っているであろうが、實質的にいかなる相異が見い出されるであろうか

これらの人は陣笠の用語を用いても惡くはあるまい、なぜならば、かゝるんですらこれを容易に理解し難いのではなかろうか

戰爭を放棄したわが國民は今だにロシア語であるカンバニアの語を用い、これを耳するが如き言にまどわされず、一人當り一万圓以上の稅金の用意をなし（金なくば衣類、家具類ヤミ成金の隆興ファッションに出して耳を揃えるズムを恢弘し、速かに彈壓を強化し外國にイエ關しい取つて天國の榮を保全せんことを期すアーメン）近く必ずやつてくる凱華には赤だけを排し、他はいづれに投ずるも五十歩百歩の天國への道なることを無くなるなどという石川五右衛門の醜見したる公式を破るが如き言にまどわされず、一再三再四確認し肝に銘じおくべしアーメン

天の主の御愛天國にありチンは汝神民の民共愚鈍に信イしプル及び政治ボス高級官僚の貪慾時使用される遊離水（体内にはこの遊離水と結合水と二つの形で水分があると言われている）が少なく、この遊離水の少ない程外界の變化、特に高温に對して抵抗力が弱い、ロンジー一枚で髭冷えの下駄も、風邪も、日本人より少いかに私は觀察していた。

公民館の役員がきまりました

去る七月三十一日各種團体館長　宮瀬峰壽
機關代表者の協議會に於て本村公民館設立に關し御協賛を戴き、降つて八月二十一日第一回委員會を開催、館則の制定、役員の選任をなし此處に待望の西瓜田村公民館が發足しました。今秋には開館式を擧げ度いと考えて居ます。之が運營の方針などにつき皆樣の御意見を賜り度く存じます役員に付ては種々なる方面より推薦あります取り敢えず決定の分をお知らせ致します。

副館長　竹内敏吾
委員　武田かたえ
常任委員
全　中村忠人
全　武田市左衛門
全　宮澤兵部
全　宮下榮法
全　竹内博
十人　佐藤知
小林正木
新町　吉澤雄治
西前山　石川信悟
手塚

青年よ叫ぼう

Y S 生

「光陰矢の如し」とは昔からよく言われた言葉である、我々青年の一日一日の生活は將來又現在を負つているものであると思う

デモクラシーは我々に今までの封建思想のあらゆる壓迫から自由を與えてくれた、當初はこの自由をはきちがえた爲社會から、青年に對する惡評がいろ〳〵あつたが知れないが社會も青年期には行き過ぎが多くて、反省があるものだと認めてくれる一方惡評するだけでなく光を與えてくれなければならないと思う。現在は惡評がすらいで來ている。これは「反省した我々青年が眞に平和な文化日本を築く實任は時代の若い青年に有るんだ」と深く自覺したからではないでしようか

人間が道德上の行爲をするにあたつては其の行爲に對し責任を負わなければならない事は、明らかである。であるから理想を持つた我々青年も社會に負けずに行き過ぎが多いかも知れないが常に反省し、責任をもつた所の公明正大を叫ぼうではないか

人口動態

(六月分)

◎出生の部

出生者氏名　五月　增夫長女
野倉荒井良子・亮三
東前山竹内　由久
樋口光子　佐藤高紹
新町川谷ふさ江　德藏
東前山春原千秋
新町保科博文　博二
手塚池田滋五郎
栃木縣手塚宏志
北佐久今井京一
浦里中村充夫
丸子　深澤かおる

(七月分)

西前山吉澤惠美子
十人　廣瀨和雄　久男長男
手塚若林信廣
東前山竹内和彦　長男長男
山田竹下かよ子
手塚西澤好太郎　保男長男

(六月分)

◎死亡の部

東前山　瀧澤金井
新町　小福田寅作
新町　福田敏
手塚　齊藤國次郎
西前山　宮澤敏子
十人　佐々木華
手塚　齊藤とり

64 73　64　71 50

◎婚姻の部

池田　福吉　野倉へ
願下ぶえ　屋代町より
黒坂　大六　東前山へ
山本千代子　東内村より
池田　俊雄　伊藤久美子
富士山村へ
山岸　貞德　殿城村へ
畑中喜久代　手塚より
山極　直衛　手塚へ
管沼　藝子　上伊那郡中澤村より

神科村へ
竹内　一子　東前山より
安原　男　手塚へ
市川　君子　別所村より

(七月分)

高橋　常雄　小諸町へ
成澤かなえ　東前山より
翠川　滿治　長久保古町より
小山あやの　手塚へ
星合億右エ門　靈津村へ
宮越本　新町より

(六月分)

皆様へのお知らせ

民生委員法施行に就て

役場厚生係

終戰後の混然たる社會事情の下、多數の戰災者、引揚者傷痍者、在外留守宅家族、其の他の生活困難な人々に對し國と して各種の保護をなすことを當面の目標として、人權尊重と言う立場から、社會援護を國の責任として實行して參る趣旨で、概に、生活保護法が新しい劃期的社會立法の一として施行され、民生委員の手によつて實行に移されて居ることは、皆樣の御承知の通りであります。

然し乍ら、この援護の問題は實に至難なる事業であり、且つ又、一時もみのがすことの出來ない頗大なる社會事業の一として、益々强化されなければならないのであります。その意味に於て、昭和二十三年七月二十九日民生委員法が施行されました。

これは援護の第一線機關たる民生委員の活動が、如何に新日本建設の大事業の一翼を荷いつゝあるか、その重要さを如實に表わした法律であります。

此の法律がその立法の精神を生かして立派に活用されるか否かは一つに懸つてその運用にあります。法の運用に當られる方々は勿論擴く一般の人々がよくこの精神を理解せられ、本村に於ける援護事業に御協力下されるよう希望こゝに時報の一端をかりて民生委員法の內容をお知らせ致したいと思います。

民生委員法は生活保護法に基き活動する民生委員に對し規定された法律であります。從つて、民生委員は生活保護法におきましては、市町村長の補助機關となり、又兒童福祉法におきましては當然兒童委員に充てられることになつているので、それ〳〵生活保護並びに兒童福祉の第一線機關として活動することになつております。このほか、民生委員は一般に共同社會の世話役として、其の職務は現下の社會情勢上ますく重要性を增し、國民生活と密接不可分なる關係を有するに至つたのであります。

次に本法律の內容の主なるものをお知らせしますと、

第一に民生委員の選出方法の民主化をはかつておりまして、民生委員の推薦母体たる民生委員推薦會の構成及び選出方法を民主化し、併せて民生委員審査會の構成をも極力民主化いたしております。

第二に推薦された者が不適當であると認められた場合には、縣知事は民生委員推薦會に對し再推薦を命じ得ることとなつております。

第三に民生委員たるの資格要件は左の通りです

(イ)公民權を有すること。

(ロ)人格識見高く社會の實情に通じ、且つ、社會福祉の增進に熱意があつて、兒童及び妊產婦の保護保健其の他福祉に關する事項について相談に應じ、指導し得る素養を有すること。

(ハ)職務遂行に相當の時間を割き得る余裕を有すること。

(ニ)本來の職務が多忙のため若しくは、高齡病弱のために民生委員としての職務を行うことの困難な者又は、破廉恥罪等民生委員であるにふさわしくない非行のあつた者は適當でないこと。

(ホ)議會の議員官廳又は、地方公共團体の職務は適當でないこと。

以上五つの要件の缺わつた者を推薦致しますと、民生委員審査會に於て審査し、適當と認められた者は厚生大臣から委囑されるのであります。

第四に特別の理由がある場合には、民生委員は任期中でもこれを解囑出來ることゝなつております。

第五に民生委員は、その職務を遂行ずるに當つては、個人の人格を尊重し、その身の上に關する秘密を守り、人種信條、性別、社會的身分、又は門地によつて、差別的又は優先的な取扱をすることがあつてはならないと規定されております。

第六に民生委員の任期を三年としてあります。

第七に縣知事は民生委員の指導訓練に從事する專門の吏員を置かなければならないことになつております。

以上簡單に民生委員法の內容についてお知らせ致しましたが、中々民生委員の仕事は重要なる職務だけあつて、其の運用も亦至難であります。

村民の皆樣は、民生委員の職責の如何に重大なるものであるかを御理解下さいまして本村に於ける援護事業發展强化の爲に御協力をお願い致す次第であります。

農政部より

〝麥〟と〝燐酸〟

昔から「麥は肥で作る」と言われて居る程麥には肥料が必要であるが今日の事情では未だ好きなだけの肥料をやる事は望めない。

作物は麥に限らず何れの作物でも窒素、燐酸加里の肥料三成分が必要であるが、どの成分が特に必要なのか、その種類と程度とは、それ〴〵の作物により違いがあるばかりでなく、土質、氣候、その他の條件によつて、大きな相違がある。

麥は各種の作物の中でも取りわけ燐酸を必要とするものであるから、それだけに燐酸肥料の効果も大きい。一水稻には燐酸の効き目は少ないが麥作にはその効果は大である」という例は至る處に見られる。

水稻に於ける無燐酸區と三要素との間に收量の差はないが、麥作の小麥では三要素區の收量は無燐酸區に比べて反當り六斗七升の增收となつて居る。ところが、今日此れ程麥に効き目のある燐酸が非常に不足しているから、隨つて此の不足をどう切り拔けるかと云う事は麥作上非常に大切な事であります。

⊙土質繁榮と燐酸

作物が燐酸を必要とする程度は色々な條件と深い關係があるが、中でも最も關係の深いのは土質である。土質によつては非常に燐酸が不足していて、そのために麥ばかりでなく、どんな作物を作つても收量のあがらないという所が相當多い。

高原や台地又平地でも、これから開墾しようとする樣なところなどは一般に燐酸の不足が著しいところが多い。しかし一方また燐酸の豐富なところも少くない。一般に「沖積層」と云つて河川の沿岸などは燐酸の不足は見られない。

また、いづれの作物も燐酸を必要とする程度は、その土地の氣候あるいはその年の天候によつてもちがつて來る。一般に寒い處程燐酸が必要で、暖い處ほど少くてすむ。

燐酸不足と麥の品種

一般に小麥は大麥よりも燐酸が少くてすむと言われる。小麥農林六六號、農林二七號農林一六號などは燐酸不足に耐える力が强いと言われている。

⊙燐酸不足と麥の栽培法

麥の作り方を工夫するのもまた燐酸不足對策の一つである播種時期、まき方、土入れ麥踏みなど麥の作り方を少し工夫すれば燐酸不足による減收を少くすることが出來る。播種時期を早めて生育が遲れない樣にして根張りを良くすると、又幾分厚播の方が收量が多い。

⊙燐酸の自給資源

燐酸肥料の乏しい今日ではその給源の大半を自給肥料にまたねばならない。堆肥其の他の自給肥料の中には燐酸を多量に含んで居るが、自給肥料は多くの場合腐慣的に施されている爲、その中にどれ位の燐酸が含まれているか餘づかないでいる者が多い。

堆肥や廐肥の中に含まれている肥料分は、その材料、作り方、腐熟の程度などによつて相當大きな開きがあるが、普通

窒素〇・二五―〇・七五%
燐酸〇・二三―〇・三七%
加里〇・二五―〇・七五%

の間である。なお堆肥の燐酸加里は腐熟の程度が進むほど含量が多くなる。今から燐酸の含量を〇・二五%とし、堆肥を反當二〇〇〆施せば約五〇〇瓦の燐酸をやつすことになり、これを一六%の過燐酸石灰に換算すると三〇〇瓦に相當する。

堆肥の中の燐酸は全部がすぐ效く性質のもの（速效性）ではないから過石の中の燐酸にくらべていくぶん劣りしたければならない点もあるが燐酸を吸收する力の强いところでは過石の燐酸は水に溶けた性質のものであるために土に吸收されるおそれがあるのに對し堆肥の中の燐酸はそんな作用を受けないためかえつて効目が多いと言えると思う。事實堆肥の燐酸は燐酸を吸う力の强い處では特に效き目が多い。但し未熟の堆肥を播溝に多量に施すと麥の生育を害するから、必ず完熟させたものを施すことが大切である。

鷄糞もまた貴重な燐酸肥料の自給資材で、乾燥したもの中には約三%の窒素に對し三五%の燐酸がふくまれているしかし、鷄糞の燐酸は遲效性のものであるから、その効目は過石の燐酸の四―九割とされて居る。夏季は氣溫が高いため分解が早いが、冬季は氣溫が低いため分解が遲くれるので、鷄糞の燐酸は麥には比較的效き目は低い。

米、麥も燐酸も三―四%含んでるから燐酸の重要な自給資源であるが、家畜の飼料として利用すべきであるが、直接肥料とする場合多く施すと麥の生理を害するから、反當三―五〆程度とすべきである

草木灰は加里肥料とされているが、たいていのものは一―二%すなはち加里の半分位の燐酸を含んでいる

⊙燐酸の施し方

燐酸肥料は施し方により、ある程度その肥效を高めることが出來る。したがつて燐酸肥料の配給の少い今日では、それを上手に施してその效き目を高めることが燐酸不足の軍要な對策である。

⊙施肥の時期

燐酸は麥の根張りに必要な成分であるから、必ず基肥として施すことが必要である。この燐酸を追肥として施す時は效き目は少くなる

而し現在の狀況では基肥としても全量施すことは不可能であるから、手に入り次第に早く手に使うことも燐酸不足の補いとして役立つことになる。以上麥肥としての燐酸の効果についてのあらましを述べたが、その根本は堆肥を多く施すことである。この堆肥を基本として過石その他の金肥や草木灰などの燐酸を有效に利用し、一方麥の作り方によつて其不足を補つてゆけば、燐酸不足による麥の減收は、或る程度防ぐことが出來、その努力は必ずむくいられるものと確信するものである

× ×

本年郡下の傳染病の發生狀況について

―自七月一日―至八月二十五日―

	赤痢	疫痢	腸チフス	日本腦炎	合計
上和田	五名	七名(死二)	二名(死一)	三名(死一)	十七名(死四)
神科		一名	一名		二名
鹽津					二名(死一)
城			一名		一名
俵					二名
鷄		二名(死一)			三名(死二)
丸子			一名(死一)		二名(死一)
長久保新町			二名(死一)		二名
川尻		一名			二名(死一)
鹽津					二名(死一)
長田					一名
中鹽田	九名	二名(死一)	一名		十二名(死一)
川浦	一名				一名
泉					一名
田里					一名(死一)
浦木		一名			一名
青		一名			二名
合計	二〇名(死一)	十一名(死三)	八名(死三)	十三名(死四)	五十二名(死十一)

川西病院の開院に就て

長らくお待せせいたしました川西病院も去る八月十日開院式を擧行することができまして川西十ケ村國民健康保險病院として愈々發足する運びとなつております。

昭和二十三年八月廿三日

川西國民健康保險
川西病院長
醫學博士　高月　鐘男

組合員各位殿

皆さんへ!!

皆さんは御自身の可愛いお子さんを無責任な人々によつて勝手に監督されている樣な學校にはやりたくない事でしょう。

十月五日の選擧には必ず責任感の强い方だけを選んで下さい。十月五日に選擧される教育委員は皆さんの大切なお子さん方がやがて就學なさる學校に對して絶体的な支配權を持つようになるでしよう。ですからこの委員は賢明に愼重に選んで下さい。

愼に教育の理想を代表する樣な人を選んで下さい。

村民の皆樣

覺の味

秋

リンゴは　美味しく安い

東前山

木下果樹園

芦田政令批判

H M 生

國家公務員法が芦田内閣に依り政令として改正施行された之は明かに憲法に反するものであり、農民に對する事前供出割當、作付割當、强權發生活低度の低い事は連合軍最高司令部勞働環境キレン氏の言を讀んでも明かなる事實でもある

公務員法改正により、官公勞務者の團結權、團体交渉權を奪い、勞働基準法及び其の他の公務員法は之に從うものである事が明記されて居る、此の政令が如何にもつともらしく見えていながら間違いであり、農民の絕對反對の聲は高まり、職場放棄、檢擧、罷免は全國に及びつゝある

何故反對するか、今勞働者は働いても働いても食えないそれは物價があまりにも高く賃金があまりにも低いからである一體に生産は低下するインフレは上昇する、生活は愈々苦しくなる、ますゝ生産の低下する、經濟は破局の段階迄に來て居る、だが然之を建直すにはより高度に生産を高めなければならない、そこで最低限度の生活を保證せよと交渉し、あらゆる耐乏を續けて生産復興に闘が續けて來た矢先である

處が政令により最低限度の生活を營むべく賃上の要求も出來ない、八時間勞働を十時間働いても小言も云えない、首切り、企業整備等に反對しても直ちに檢擧罷免等戰時中戰前ファッシズム閉のとつたそれと同じく、前歐州大戰後ヒットラーナチ政權の歩みと何等違う事もなく再度ファシズムの台頭とも見るべきものがある

勞働者の生活は憲法に保證されて居るにもかゝわらず、生活低度の低い事は連合軍最高司令部勞働環境キレン氏の言を讀んでも明かなる事實でもある

今全世界の勞働者は大同團結し「ファッシズム」打倒のスローガンを先頭に自由と平和と平等の聲かな明るい世界を築く爲に闘つて居る、此の戰列に伍し世界永遠の平和を宣言し、眞の民主々義を確立せんとする全國民の九五%を占める勤勞大衆が芦田政令に反對する事は無理もない當然な必然的な出來事と申さねばなるまい

又政令の適用により農村に及ぼす影響は何か？先づ國家權力により勞働運動、農民運動を抑える、勤勞階級の政勢の弱まるに乘じて企業整備を行い大益首切りを斷行する、失業した勤勞者は農村に歸る農村は益々苦しくなる、と總体的に農民は首が廻らなくなつて仕まり、再び破產、借金に相關し農民の大多數はプロレタリアートに成りドつて行く、國内消費に足りない商品が勤勞者の購買力がなくなるから消化されない（うそだと思つたら街の店頭を見るが良いだろう）物が概にだぶついて居るがちよつくら値段はドがらない、其處で中小商工業者はつぶれて行く、產業が全面的にくずれて行く、外國に依存しなければやつて行けない、此處で民族が破滅するか再び軍國主義者や金融獨占資本家によつてあのいまわしい戰爭を生む侵略戰爭をくり擴げるか（米ソ戰爭のうわさがしきりに流布されて居る今日非常な危險性があると相像せざるを得ない）

かくなるとするならば民主々義はおろか民族の不幸であぼつかない結果となる事は言を挨つ過ぎに於て何度も證明された資本主義の矛盾とは之を稱するものであり、この政策を强行し、國民に民族を愛する人々と共に戰つて行くべきであろうが、次世を背負う青年である以上政治を作るべきは當然であり、殊にこの未曾有の段階にあり混迷せる世相にあつてこそ民主革命の先驅者たらんとする事は言うまでもあるまい▲政黨色と政治性とは區別出來るが諸方を見聞するに、過去に於て、青年團運動として取上げられた有る種の運動が有る政黨的な色採をもつものとされ、しばゝ「大体青年團は修養團体であるべきだ一等と言われた事も遠い夢話でわない、その爲か一般に青年の政治性なる言語に證病の感が有る▲野球熱が高まり青年團も盛んにやつているが、やるのは時代の要求「制約を要す」の然らしめる所で致方ないとして、勞働基準法どころか、婦女子は勿論十五才以下の學生まで勉强もそこゝに野良に引出し、過重勞働をしいる現狀でありながら野球の時間をうみ出す爲にと早起をしたり無理を重ねて音と變らぬ手勞働を惜しまない有樣にも拘らず、諦感に呑まれスポーツに、リクレーション其の他に必要の時間を最初に取入れるには、如何にすべきかと言つた事に、案外無關心の人がいるようだ、前記の樣なことに危險に取んで考える人が一人でも多くなる事が農村の光を增し直接、間接に政治的解決への確たる第一步でもある事は疑いない▲卑怠政治的解決が必要缺件となるが、我々青年の政治表明についても誤診を避け眞劍に討究し持てるアイデアリズムを一日も早く現實に置換したいものである

勞働基準法等は勿論夢國の話であり、夕方のリクリエーション等は考えにも及ばない▲青年は實質を愛し、眞實の爲に戰つて行くべきであろうが、次世を背負う青年である以上政治を作るべきは當然であり、殊にこの未曾有の段階にあり混迷せる世相にあつてこそ民主革命の先驅者たらんとする事は言うまでもあるまい▲政黨色と政治性とは區別出來るが諸方を見聞するに、過去に於て、青年團運動として取上げられた有る種の運動が有る政黨的な色採をもつものとされ、しばゝ「大体青年團は修養團体であるべきだ一等と言われた事も遠い夢話でわない、その爲か一般に青年の政治性なる言語に證病の感が有る▲野球熱が高まり青年團も盛んにやつているが、やるのは時代の要求「制約を要す」の然らしめる所で致方ないとして、勞働基準法どころか、婦女子は勿論十五才以下の學生まで勉强もそこゝに野良に引出し、過重勞働をしいる現狀でありながら野球の時間をうみ出す爲にと早起をしたり無理を重ねて音と變らぬ手勞働を惜しまない有樣にも拘らず、諦感に呑まれスポーツに、リクレーション其の他に必要の時間を最初に取入れるには、如何にすべきかと言つた事に、案外無關心の人がいるようだ、前記の樣なことに危險に取んで考える人が一人でも多くなる事が農村の光を增し直接、間接に政治的解決への確たる第一步でもある事は疑いない▲卑怠政治的解決が必要缺件となるが、我々青年の政治表明についても誤診を避け眞劍に討究し持てるアイデアリズムを一日も早く現實に置換したいものである

欄外スポーツ

熱血溢るゝ若人の祭典

本團主催部落對抗野球並にバレー大會

優勝の榮冠は何處へ？

前夜來の雨もからりと晴れて此所西山田3—手塚2　第二回戰　西前山13—東前山5　第三回戰　十八18—野倉1　（コールドゲーム）　第四回戰　山田16A—西前山2　第五回戰　十八1—新町0　優勝戰　山田7—十八0

◎バレー　優勝　手塚　二位　新町

尙各試合を通じて優秀なる選手を選出來る九月五日五ケ村大會に備ふ

我等代表左の通り　東川　延秋　黒坂　忠久　荒井　時夫　大口　六平　倉澤伊一郎　竹ド　正友　佐藤　九六　市村　晴男　佐藤　嘉人　山極　孝男　中澤　孝男　倉澤　邦美　山極　敦友　岡田九目雄

◎バレー　宮澤　宋子　小宮山タキ　齋藤　敏子　大口ふじ子　中井　榮子　吉池　幸子　岡田八重子　日向　夏子　山極　睦　竹ド　眞枝　田村すみ子

◎野球　第一回戰　山田3—手塚2　第二回戰　西前山13—東前山5　第三回戰　十八18—野倉1　（コールドゲーム）　第四回戰　山田16A—西前山2　第五回戰　十八1—新町0　優勝戰　山田7—十八0

◎バレー　優勝　手塚　二位　新町

尙各試合を通じて優秀なる選手を選出來る九月五日五ケ村大會に備ふ

我等代表左の通り　東川　延秋　黒坂　忠久　荒井　時夫　大口　六平　倉澤伊一郎　竹ド　正友　佐藤　九六　市村　晴男　佐藤　嘉人　山極　孝男　中澤　孝男　倉澤　邦美　山極　敦友　岡田九目雄

◎バレー　宮澤　宋子　小宮山タキ　齋藤　敏子　大口ふじ子　中井　榮子　吉池　幸子　岡田八重子　日向　夏子　山極　睦　竹ド　眞枝　田村すみ子

榮冠我等が上に燦たり

鹽田五ケ村連青

鹽田五ケ村連合青年團野球並にバレー大會は、若人の意氣の下に華々しく展開された。初秋の風に波打つ稻田は若人の力闘を祝するが如く、悠々たり。

死闘を期す各村選手精鋭は早やくも戰の坩場に投じられ九月五日午前九時より保科　友幸

初秋と云えども未だ日盛は殘暑炎天下のひざしを受け、色とりどりの洋傘に開まれた中鹽田學校グランドは歡喜明朗若活潑の中に試合は進む。

野球は第一回不戰勝、富士山對西鹽田は四点のリードで勝ち決勝戰へ進む。吾が選手は窮氣益々高揚日頃の腕に物を云わせ、優勝戰東鹽田對西鹽田は見事六点のリードにて宿望の榮冠を得たり。あゝ選手の顏に應援者の群にかくし切れぬ喜びの色が湧き立つた。憶えば戰後三星霜常に功ならんとして成らず痛哭涙をのんで今日に至る。かくして日夜不斷の精進は遂に報いられ朝來は成つた。吾々は來るべき郡の大會を向へて今後の自重を誓つた

バレーも主將の下によく敢闘せしが遂に成らず中鹽田選手の壓倒的な技術に倒れ二位を得たり。一日に亘る歡喜と敢闘の中に大會は終了す。初秋の日は既に決し平和な稻田をかすめる軟かい風に迎えられ堂々歸村せり。選手諸君よ有り難う。應援團よ有難たう

本大會の成績左の通り

西鹽田　0002314A—6
富士山　0000200026

◎優勝戰

西鹽田　東
優勝　西鹽田—西—×中鹽田
二位　西—〇東鹽田
中鹽田—富—〇西鹽田
東鹽田　富士山—×別所

東鹽田　0000400303—10
中鹽田　0300010004

◎バレー

西鹽田2—0東鹽田
西鹽田2—0富士山
西鹽田2—0別所
西鹽田0—2中鹽田
優勝　中鹽田
二位　西鹽田

（市村記）

文藝

詩　湖畔

T A 生

一　大きなリックごとりとドし
　　懷い湖面に視線を投げて
　　小さいボートの爽快レース
　　疲れのひとゝき芝生の上で
二　高なる胸をボートにはせ
　　細いたばこの味さえ知れず
　　踊りこころをおさえてはけば湖畔を靜かに散つて消ゆ
三　小鳥少なしテント家多し
　　思いくの一夜の宿
　　湖畔の別莊屋根のみ出して
　　一夜の宿の勝りて樂しさ

秋立つ朝

竹下　勉

一　秋が來た　秋が白く
　　來て御らん
　　あの遠い山脈の
　　線の細さ美しさ

初秋の宵

T A 生

　　あゝ靜寂
　　初秋の夜
　　流れ來る秋虫の音色
　　宵空の星ド
　　輕く散かな其のリズムと
　　ちぎれ雲に映ずる月
　　其の山は其の峰は
　　鐵城の尾根
　　自然の美は
　　天然の勇にしてそは何
　　遠くは月と雲
　　そして海ほのめく遠聞の通山
　　近くは歌う
　　コーロギとキリギリス
　　初秋の宵
　　あゝ我只寂寞

短歌

みゆき

長雨に古き寺の庭に生ふる
百日紅も色あせて咲く
　　野會　竹內つよし
震災の地に生くる人々を尙降りつゞく雨に偲ばる
リクリエーション身輕に興ずるケリー氏のモダンライフの標題ひみる

横眼

忠義

▲何年も前から問題のサンマータイム制が、本年五月より實施された、農村に在つてのサンマータイム制はどの樣な變化を與えたか、未だに多くを太陽を時計としている農村であり、夕方のリクリエーション等は考えにも及ばない▲青年は實質を愛し、眞實の爲に戰つて行くべきであろうが、次世を背負う青年である以上政治を作るべきは當然であり、殊にこの未曾有の段階にあり混迷せる世相にあつてこそ民主革命の先驅者たらんとする事は言うまでもあるまい▲政黨色と政治性とは區別出來るが諸方を見聞するに、過去に於て、青年團運動として取上げられた有る種の運動が有る政黨的な色採をもつものとされ、しばゝ「大体青年團は修養團体であるべきだ一等と言われた事も遠い夢話でわない、その爲か一般に青年の政治性なる言語に證病の感が有る▲野球熱が高まり青年團も盛んにやつているが、やるのは時代の要求「制約を要す」の然らしめる所で致方ないとして、勞働基準法どころか、婦女子は勿論十五才以下の學生まで勉强もそこゝに野良に引出し、過重勞働をしいる現狀でありながら野球の時間をうみ出す爲にと早起をしたり無理を重ねて音と變らぬ手勞働を惜しまない有樣にも拘らず、諦感に呑まれスポーツに、リクレーション其の他に必要の時間を最初に取入れるには、如何にすべきかと言つた事に、案外無關心の人がいるようだ、前記の樣なことに危險に取んで考える人が一人でも多くなる事が農村の光を增し直接、間接に政治的解決への確たる第一步でもある事は疑いない▲卑怠政治的解決が必要缺件となるが、我々青年の政治表明についても誤診を避け眞劍に討究し持てるアイデアリズムを一日も早く現實に置換したいものである

◇編集後記◇

○虫の音と共に訪れた秋、鹽田の里は黃金の波に豐年萬作じや、最後まで緒をしめて頑張りましよう。

○傳染病に油斷をしないよう氣を付けましよう。

西鹽田時報

第19號

發行人　重田勝人
編集人　佐藤直道
長野縣小縣郡西隣田村手塚
發行所　西鹽田青年團
上田市馬場町
印刷所　秀信社

農村の建設

K H 生

先づ日本建設は民主々義の自覺から始まる事となつた。これは形式的には劃期的な新憲法により基本的人權性や特權的のものゝ否定となり實際的には社會家庭の方般に亘つて個人の自由が强調せられる事となつた。これが農村には封建の殼を脫ぎ捨て科學的に民主的に發展すべく目醒づけられたのである。其の後の進駐狀況は如何であるか殘念乍ら腹心に堪えないと云うべきではなかろうか、事實は停滯か逆轉かを考える節が多いのである。畜力機械力の導入から電化の問題等も遲々として進まないし共同作業等もだん〳〵姿をけして倍々個人經營への色彩を濃くして來ている。これでは革新と相反し民主化もなく地位向上も望めない、ではこれは抑々いかなる理由に依るのか農民に取つては重大な問題である、其の原因はインフレ經濟ではなかろうか停まる所を知らないインフレーはは人々の計畫的生活を不可能にによる百年の計はおろか五年の計一生の計も立たない。結局現在を今日を最も都合よく處理して行く事が一番勝である。土地改革により封建性打破に一役つとめたが土地の細分化と云う点ではいよ〳〵集約經營の必要を强化し個人主義へ拍車をかける結果となつたのである。現在の如き小規模の農業經營では支出をなくして收入を多くすればよい、生産技術も科學も機械もこの次である原始的でも野鍬でも時に勘定の良い方が得であるこの樣な現在の經濟界の動向は農民にとつて益々不利であり物價高と高額稅金の前に動きが取れず、立往生の姿である全く農民に取つては賣る物は安く買う物は高く解散前と何等變りがない。農民の生活はもがけば沒落の危險性があるので現實の一線に堅くつかまつているのである、但し例外者は此の變動の機を利用して富農への移動をしている、新しい日本は民主的で文化的でなくてはならない新しい日本の農業はどこまでも文化的科學的でなくてはならない眞に近代農業として世界の水準の中にその位置を求めなければならないそれにはどこまでも封建性封建臭から解放、蝉脫した耕作農民の自覺による協同の力にまたなければならない、現實の段階において農業協同組合の活發と堅實な發展にあるのである、實に農民大衆の團結と協力と勇氣とのみが農民の地位と經營とを保證するものである

農業協同組合を訪れて

ぼか〳〵と暖い秋日和の〇月〇日吹く小風に誘われて突然おいらが組合を訪ねた。右え行かうか左え曲ろうか記者は初の訪門の事とて戸惑ひ乍らも飛込んだ。

何時にもない多忙な業務の余暇をさいて組合長の武田さんと專務理事の齊藤さんは明るい笑顔で之を迎え、二人を圍んで所信を聞いてみた。

記者　長い間遲々として進まなかつた協組設立の問題も立派に設立され運營面に於ても基本線を固められたと思はれますが如何ですか。

齊藤　運營面に於ては、綜合的な面と部分的な面があると思います。勿論兩面共に密接な關係あり、綜合的な面に於ては全村的の見地から民主團體や休の代表を含め運營委員會と言う樣な機關を設け、其の內部に部分的なたとえば、農事婆數の拂込が完全に行はれて居を造り此の樣な機關に於て研究討議され理事會に於て執行される。特に若い青年の活發な意見を運營面に反映してほしいと思います。

記者　現在本村內情の如く農委、種苗があり、青年團が比較的に經濟的に關心が薄くぼやつとして居る樣な狀態なんですが、此の機に緖紮した中に於ては相當困難じやないかと思うんです。それで部落懇談會の樣な形で農協の方から村民に呼かけそれから發足して村一本の本當の民主的な方向で行くと言う樣な事は如何なもんでせう。

武田　當然そう行かなければならないと思います。そして老若男女の本當の意志を反映される方向に行かなければ記者　出資金の問題なんですが、未だ同意書に明記した株數へ拍車をかける結果となつたのである。現在の如き小規模の農業經營では支出をなくして收入を多くすればよい、生産技術も科學も機械もこの次である原始的でも野鍬でも時に勘定の良い方が得であるこの樣な現在の經濟界の動向は農民にとつて益々不利であり物價高と高額稅金の前に動きが取れず、立往生の姿である全く農民に取つては賣る物は安く買う物は高く解散前と何等變りがない。農民の生活はもがけば沒落の危險性があるので現實の一線に堅くつかまつているのである、但し例外者は此の變動の機を利用して富農への移動をしている、新しい日本は民主的で文化的でなくてはならない新しい日本の農業はどこまでも文化的科學的でなくてはならない眞に近代農業として世界の水準の中にその位置を求めなければならないそれにはどこまでも封建性封建臭から解放、蝉脫した耕作農民の自覺による協同の力にまたなければならない、現實の段階において農業協同組合の活發と堅實な發展にあるのである、實に農民大衆の團結と協力と勇氣とのみが農民の地位と經營とを保證するものである

やればと思う点を二、三例を引くと、二毛作可能田が勞力上作付されて居ない處の麥作付未利用資源採集に依る家畜の增殖、田園の改修、今迄原料農業であつた面を商化して行く等が考えられます

武田　その他時間を生む事に依り文化的な向上が圖れる

記者　職員問題に就ては

武田　原則的に完全雇傭で進み度いと思つて居ります

齊藤　役員と職員か主從關係の樣な風習が非常に强いんですが、もつと職員が感情を素直に表現し、各職場毎に研究合力之を持ちよりかえつて役員にせきかける位であつて欲しい。結論としてもつと强力な從業員組合であつてほしいと言う事です。

記者　預金面は

武田　農村の特殊事情で收入のある時は多いのですが賣ろう物が高い時期だから平均さみしくなる傾向です

記者　預金面でも見られる樣に農業不況が刻々と激烈化して來る、財布をたゝいて土地は買つたが、零細農がほとんど農村をしめて居る。而も職場の處置資金の一部貸出、資材の斡旋等を協組の表面的な仕事として居りますけれ共基本は各部落が中心で電化委員諸氏の連攜の下に行はれて居ます

記者　施設の所有は協同組合のものでなく各部落の所有と言う譯ですね、そおすると配線、設備、機具等の問題にしても將來性のある樣に考えて居られると思いますが、全村を協組の力で電化すると云ふ樣な計畫ではない譯ですね

齊藤　えゝ、本來なれば協組の力で全村電化の目標なんですが、中部配電との電力の問題緊との資材の問題等で一次二次と計畫してやるより仕方がないと思います。此處にも獨占資本家對農民の利害、今の官僚統制の惡い点等何える

武田　結局は政治ですね、この解決が無かつたら今當面してゐる電化問題もその他技術上の問題も本當に達成される事は無いと思います

齊藤　具体的な面に於てこお政治、經濟、文化の密接なる關係のある事『政治によつて經濟を裏付けその政治、經濟に依つて文化を形体づける、又其文化に依つて政治、經濟に影響を及ぼす』との事を再念しつゝ二時間に亘る座談を辭した。

何處から聞えるともなく利用部のモーターが新らしいリズムを送つて吳れた。

記者はこのリズムに乘つて晴れた空を仰ぎ、のびゆく新らしい村え歩を進めた。

（時報部）

……◇……

作文　直江津旅行の思いで

六西　黒坂すみ江

六月六日　その日は私たちの修學旅行の日でありました。私はその日がきまつてほんとうに、はれやかな氣持になりました。そうしてこのたのしい六日の日をほんとうにうれしくくりしくまつていましたよ〳〵。まちにまつたその日がやつて來ました。出發の前夜にお母さんにみんな用意をすぎるとも直江津に着きました。屋代、しのの川中島の平野を汽車の中からながめて間もなく長野驛につきました。長野からりんごの汽車に乘りかえました。

だんだん直江津へ近づきますみんなはうれしいやらたのしいやらでなんともいわれないほどうれしくなりました。私はなんだか汽車によつたのか氣持がへんになりました。縣さかいがすぎて春日山驛に着きました。そのころは十一時ごろでした。それから春日山へと歩きました。すずしい氣持よく感じました。汽車の中はこんでいたのでとてもむしあつかつた道をあるいているときなどその風が、ほほをつたわつてからだにまでしみこみました。それから春日山につくと、そこでおひるをたべました。

そこをおりてくるとそこはもう有名ないちご一野でしたどこまでもつづいている田んぼ、もう田植はほとんどすんでいました。その沖中の道路をすぎるとも直江津に着きました。遠くに日本海が光つて見えるようになりました。またこれから谷濱まで歩かなければなりません。つかれた足をひきづつて歩るいていくと谷濱にちかいところは右がわに海左に山とゆうようにけしきのよいところが見れるようになりました。いまでつかれていた、足も海を見てからきゆうに、くたびれがぬけてもこみあつていてまるですしづめでした。汽車はゆれだしました。間もなく北疆民に着きました。屋代、しのの川中島の平野を汽車の中からながめて間もなく長野驛につきました。長野からりんごの汽車に乘りかえました。

だんだん直江津へ近づきますみんなはうれしいやらたのしいやらでなんともいわれないほどうれしくなりました。私はなんだか汽車によつたのか氣持がへんになりました。縣さかいがすぎて春日山驛に着きました。そのころは十一時ごろでした。それから春日山へと歩きました。すずしい氣持よく感じました。汽車の中はこんでいたのでとてもむしあつかつた道をあるいているときなどその風ふと谷濱で遊んだ前の日から今日のことを思いだしましたしばらくして海岸を立ちました。それからまた直江津からりんごの汽車にのりこみ汽車は行くときよりすいていましたが眞晝でしたので中の方はむし暑くいやにへんな感じでした。ようやく長野に着きました。直江津から長野まではたいへん長いように思われました。どんなみじかい間でも長く思われてなりません。上田驛に着きました。長野から上田までも長いように思われました。今度上田からもりんごの電車に乘ようやく中鹽田の驛に着きました。あまり長いこと汽車や電車にのつていましたのでつかれましたがたのしい旅行をして來たので口にだしませんでした中鹽田から十人の森に着きそこでかいさんしました。それから家に歸つてその晩は早くねましたほんとうにたのしい旅行でした。

人口動態

八月分

◎出生

部落名		世帶主	次	年齡
手塚	齋藤純子	市次	三	40
新町	福田英人	英雄	一	49
手塚	小宮八重子	三二郎	一	36
〃	〃	原田弘雄	仁	57
西前山	櫻井正明	獨一		
十人	齋藤よし子	七作		
新町	箱田映一	輝雄		
手塚	吉野公敏	袈裟人		

◎死亡

東前山	龍澤よしの		
〃	〃	春原正藏	
西前山	丸山陸世		
山田	齋藤米理		

◎婚姻

齋藤輝雄	十人へ	
諸口咲子	上田より	
吉澤三雄	西前山より	
北澤はま子	中鹽田村本鄕へ	
竹下保太郎	山田より	
長澤きく	東京都へ	

（以下二面へ）

青年よ情熱を持て

手塚 H Y 生

超國家主義、軍國主義の嵐の後に一瞬時にデモクラシーと言うおくり物を得た、通俗には人間性洞察の上に立つて始めて確立さるべき主義をかくも易々と我々の手中に入得たる事により稍もすると自己を中心とした便宜的、手段的なものに愚用する傾向が見られ事を成する、已自身に對し其の眞にあるべき姿を把んとの努力がたりぬ樣に思われる感が無いでもない。我々は常に時代の如何を問わず眞實なものを追求し正しいと言う理念の基に事を成し遂げずんば止まない情熱を持たねばならない、我々青年は情熱的なあまり輕擧になりやすく、とかく行きすぎが多い場合もないでもない、主觀的には正しいと思つておる事であつても客觀的には惡い場合がある、聖賢孔子が云つた如き「青年は簡狂にして制する所なし」と、もろ〳〵の社會的運動や政治問題などに就いては特に反省し思考せし後これに當るべきものである。思考は人間の偉大性であるが考えた事にも間違いは有る所からいろ〳〵の悲劇が生れるのである、故に我々は自身良心的な行動言語なりといつても安閑とする事なく常に理智的に努力せねばならぬのである、破壞的な戰爭によつて被つた物質的な損失により又賠償により新生日本、文化日本の建設のためには我々は千仞の谷よりはい上る樣な勇氣と努力と情熱がなければ文化國家建設など到底望む事が至難であろう、とかく農村人は大自然を相手に生活を營む關係上どうしても消極的になり勝ちなものであるいわゆる天變、氣候、水害其の他諸般の自然現像に左右される事から心理的にも自然に同化せられどうにもならぬとかしても無駄であるとか、あきらめるとかいう事に慣らされ自ら進取的な力を失つて居るのである、一例を戀愛に就いても

西塩田時報

第20號

發行人　重田勝人
編集人　佐藤直道
發行所　長野縣小縣郡西鹽田村手塚
　　西鹽田青年團
印刷所　上田市馬場町
　　秀信社

市町村農調委選擧にあたり

市町村農業調整委員の選擧はいよ〳〵十一月三十日全國一齊に行われる。

この市町村農調委はさきの二十四年度産米の事前割當において、はじめて適用をみた食糧確保臨時措置法にもとづく最初の選擧である事はすでに周知の筈である。更に市町村農調委選擧は地方、都道府縣農調委の選擧の皮切りとして行われる所に益々、選擧の重要性が認識し、かつその意義に深い關心を持たなくてはならない。地方、都道府縣農調委はそれ〴〵農調委の中から互選されるものであるから市町村農調委は農調委員構成の基幹となり、選ばれた委員が不適當な人物であればそのまゝその不適當委員が都道府縣農調委を構成し、折角の機關が僅か市町村農調委選擧の失敗だけで何の意味も持たなくなる、かゝる點に重大な使命を帶びる市町村農調委選擧を目の前に控えて、農民は如何なる人物をえらぶか愼重な反省と研究が强く要望される。この際先づ考えなければならない事は今回の選擧方法のうち農地委員のそれと異る点がある事である。即ち農地委員の選擧では階層別に地主、自作、小作側からそれ〴〵何人かを選ぶのであるが農調委にあつては一かゝる制限は一切なく一かゝる選擧權を有する者は總べて世帶主だけであつて、隨つて公選委員十五名がすべて地主によつて占められる事も考えられる。主要農産物の事前割當に際して公正かつ合理的意思を反映すべき機關が地主によつて滿されたとき果して期待されるような耕作農民の意思を代表してくれるであろうか、大なる疑問をいだかざるを得まい、この弊害を除起する爲め法文にも選擧規定にもない。結局選擧權を有する農民一人々々の自覺をまつより他はない。考慮すべき第一は以上の如く自分達の階層を代表する人を選ぶという事が將來に禍根を殘さない唯一の方法であり、次にこの選擧は法的には立候補性をとつてない点であつて、これは選擧の意義、效果を失事のないようにとられた措置で、立候補性にすると各部落ごとにとかく、定員數だけ候補者を推薦するような事があり無投票當選となつてしまうからであろう、だが事實と、前の町村制による町村會議員の選擧のように、農民がおたがいの間から適任者を立てる事はかまわない、そこで先の第一の條件とからみ合う事があるがこれでも農民は積極的にお互の間から適任者を立てるように心掛け、ボス其の他の不當なる勢力團体の一方的選擧におわらざるよう余程の覺悟が必要である、問題の第三はすべての選擧において、いわれる如く棄權は絶對避けなければならない、愈度收穫期の多忙な農村ではあるが、將來自分達の作つた農作物の供出を決め、其の他あらゆる自分達の農業計畫を決める委員をえらぶのであり、從來の諮問機關である食糧調整委員とはまるでその性格が異なる事をよく考慮して有資格者は殘らず投票する事がのぞましい。とくに代理投票をゆるされている事は棄權を强くいましめている譯である。しかし選ばれた委員の中には時として期待にはづれた委員が出る事もあろうが、農民にはリコールの道が與えられている委員會の議事は公開である、農民は極力これに出席し、委員會を監視し、自分等の機關である農調委に對し絶えず本當に農民の意思を代表しているかどうか見守つてゆかなければならない。

農業新聞より

豫防接種法に就て

衛生係より

豫防接種法についてはかねて新聞及ラジオ其の他により皆樣はすでに御承知の事と存じますが、去る六月の國會に於て審議中でありましたが六月三十日に公布され七月一日より施行されました。

茲に御參考までに主要点を記載致します。

第一條　この法律は、傳染の虞がある疾病の發生及まん延を豫防するために、豫防接種を行い、公衆衛生の向上及增進に寄與することを目的とする。

第二條　この法律で「豫防接種」とは、疾病に對して免疫の效果を得させるため疾病の豫防に有效である事が確認されている免疫原を人体に注射し、又は接種することをいう。

2、この法律の定めるところにより豫防接種を行う疾病は、左に掲げるものとする。

一、痘そう
二、ジフテリア
三、腸チフス
四、パラチフス
五、百日せき
六、結核
七、發しんチフス
八、コレラ
九、ペスト
十、しよう紅熱
十一、インフルエンザ
十二、ワイル病

3、この法律で「保護者」とは、親權を行う者又は後見人をいう。

第三條　何人も、この法律に定める豫防接種を受けなければならない。

2、十六才に滿たない者及び禁治産者については、前項の規定にかゝわらず、その保護者において、その者に豫防接種を受けさせるため必要な措置を講じなければならない。

第四條　左に掲げる者は、十六に滿たない兒童、生徒その他これらに準ずる者、禁治産者又は十六才に滿たない者の前條第二項の義務を履行していない場合には、その保護者に對し、同項の義務を履行すべき旨を指示しなければならない。

一、乳兒院、保育所その他の兒童福祉施設の長
二、郵校、病院その他これらに準ずる施設の長
三、小學校入學前六月以內に入學する者又は小學校卒業前六月以內に卒業する者

第五條　市町村長は、この法律の定めるところにより、保健所長の指示を受け、定期の豫防接種を行わなければならない。

第六條　都道府縣知事は、疾病のまん延豫防上必要があると認めるときは、豫防接種を受けるべき者の範圍及期日を指定して、臨時に豫防接種を行い、又は市町村長に行わせることができる。

第七條　市町村長は、豫防接種を受ける定期にある者の豫防接種を受ける期日を指定しなければならない。

第八條　市町村長は、前條の規定により指定した期日に豫防接種を受けないか、又はこれを受けた證據の不明なる者があるときは、さらに期日を指定して、又は直ちに、豫防接種を行わなければならない。

第九條　疾病その他の事故のため、指定期日に豫防接種を受けることのできなかつた者又はその保護者は、その指定期日後七日以內にその事由を添え、市町村長に猶豫を申請することができる。

第十條　痘そうの豫防接種は左に掲げる定期においてこれを行う。但し痘そうにかかつていた者又はかゝつたことのある者については、保健所長の證明書により、これを免除することができる。

一、生後六月から生後十二月に至る期間
二、前號の定期の豫防接種を受けた者又はその保護者は、その指定期日後七日以內にその事由を添え、市町村長に猶豫を申請することができる。

第十一條　ジフテリアの豫防接種は、左に掲げる定期においてこれを行う。

一、生後六月から生後十二月に至る期間
二、前號の定期の豫防接種後滿三十才に至るまでの間において毎年
三、小學校入學前六月以內
四、小學校卒業前六月以內

2、この法律の定めるところにより、結核の豫防接種を行うときは、あらかじめツベルクリン反應檢査を行わなければならない。

第十二條　腸チフス又はパラチフスの豫防接種は、左に掲げる定期においてこれを行う。但し腸チフスにかゝつていた者又はかゝつたことのある者については、保健所長の證明書により、これを免除することができる。

一、生後二月から生後十二月に至る期間
二、小學校入學前六月以內
三、小學校卒業前六月以內

第十三條　百日せきの豫防接種は左に掲げる定期においてこれを行う。但し百日せきにかゝつている者又はかゝつたことのある者については、保健所長の證明書により、これを免除することができる。

一、生後三月から生後六月に至る期間
二、前號の定期の豫防接種後十二月から十八月に至る期間

第十四條　結核の豫防接種は左に掲げる定期においてこれを行う。但し結核にかゝつているか、又はツベルクリン反應が陽性の者で胸部レントゲン檢査の結果、結核性變化を認めない者については、保健所長の證明書により、これを免除することができる。

一、生後六月以內
二、前號の定期の豫防接種後滿三十才に至るまでの間において毎年

2、この法律の定めるところにより、結核の豫防接種を行うときは、あらかじめツベルクリン反應檢査を行わなければならない。

第十五條　この法律で定めるもの外、豫防接種の實施方法に關して必要な事項は省令でこれを定める。

第十六條　省略

第二十五條　左の各號の一に該當する者は、これを三千圓以下の罰金にする。

一、第三條第一項若しくは第二項又は第四條第一項の規定に違反した者
二、第十條第四項の規定に違反した者

第二十六條　左の各號の一に該當する者は、これを二千圓以下の罰金にする。

一、第十條第一項又は第二項の規定に違反した者
二、第十一條第一項又は第二項の規定に違反した者
三、第十二條第一項又は第二項の規定に違反した者

第二十七條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。（6醫師は定期の種痘を受けた者を檢診したときは種痘證を交付しなければならない。7前項の場合において、種痘證の交付を受けた者又はその保護者は規定の日時に檢診を受けさせなければならない。）

第二十八條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第二十九條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第三十條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第三十一條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第三十二條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第三十三條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

作文

〝鐵城山キャンプ〟

中三年　小山保人

今年の夏休は私達二年生にとつては二度と持つことの出來ない最後の休です。

それで大いに樂しく又有意義に過したいと思い、夏休の生活という本を買つた、近所の子供達を集會部を作つたり色々な豫定をたてました。十五日十六日と鐵城山へキャンプにいく計畫をたてました。さて盆に入り、日が近づいて來ました。近所から一ぱんごう一をかりたり、學校から「てんと」をかりて、人の話によれば蚊がたくさんいるなどいつているからカヤも持ち、又いろ〳〵な食物などもたくさん持つてリックサックにいつぱいつめていきました。ところが五人で行く所三人しかいかれませんでした。ほとけばあさから登つて行きましたそのうちに道が大水の爲にツベルクリン反應檢査を行わなければならない。

第十五條　この法律で定めるもの外、豫防接種の實施方法に關して必要な事項は省令でこれを定める。

第十六條　省略

第二十五條　左の各號の一に該當する者は、これを三千圓以下の罰金にする。

一、第三條第一項若しくは第二項又は第四條第一項の規定に違反した者
二、第十條第四項の規定に違反した者

第二十六條　左の各號の一に該當する者は、これを二千圓以下の罰金にする。

一、第十條第一項又は第二項の規定に違反した者
二、第十一條第一項又は第二項の規定に違反した者
三、第十二條第一項又は第二項の規定に違反した者

第二十七條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第二十八條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第二十九條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第三十條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第三十一條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第三十二條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

第三十三條　第十條第六項又は第十一條第六項又は第十二條第六項の規定に違反した者は、これを千圓以下の罰金に處する。

青少年不良化と〝精神檢査〟

手塚小池培夫

青少年不良化の問題は今日もっともわれわれの胸を惱ませる問題である。終戰後は戰災孤兒浮浪兒をはじめ不良少年少女等いわゆる要保護兒は急激の增加を示している。そして現在約二万の子供が敎護院の世話になり約三万の子供が兒童相談所へつれてこられその他十万ぐらいの子供が不健全な健康にも適しないような處に育ち約二十万の子供は世話をしてやらなければならないといわれている。わが國に於てはこれら兒童の問題を家庭にのみまかせておくことができなくなり、兒童の保護福祉について責任を國自から持つことが絶對必要になつたので兒童福祉法が制定され兒童福祉司や相談所員や兒童委員が各家庭を訪問し、不良兒浮浪兒精神薄弱兒等いわゆる要保護兒童の發見と保護指導に万全を期することを期待されている。しかし一たび不良の道を歩んだものを正道に引きもどすことが如何に困難なことであるかは長年の感化敎育の歷史が物語つている。ゆえに不良化對策の最善の道は、不良化を未然に防止することが先決問題となる。これには種々の方法が考えられるが、兒童に精神檢査を行い不良化傾向の早期發見をなし、問題兒に適切な指導を加えることが最も重要なことであると思われる。

精神檢査は大きく分けて、知的な方面の働きの全体を調べようとする知能檢査と、知的でない感情意志の方面を調べようとする性格檢査とに分けられる。檢査法も種々ありその目的によつていろいろ試みられているが、愛育研究所の牛島襄友氏が不良化傾向の早期發見を目的として研究したもの二種類發表し

1 家庭の經濟狀態は中位か
2 兩親揃い、よき和合をなすか
3 兩親の愛情すこぶる濃厚か
4 兩親の躾方は適當か
5 兩親の敎育方針は一致しているか
6 兩親の敎育態度は一貫しているか
7 兩親は子供の友達關係をよく知つているか
8 兩親は子供の學業に關心をもつているか
9 兩親は子供の性質をよく理解しているか
10 兩親は子供の缺點を指摘するか
11 兩親は子供の長所を認めているか
12 兩親は子供の缺點を指摘するか
13 兩親は子供の長所を認めているか
14 兩親は子供の缺點を指摘するか
15 兩親は子供の長所を認めているか
16 兩親は子供の缺點を指摘するか
17 兩親は子供の長所を認めているか
18 兩親は子供の缺點を指摘するか
19 兩親は子供の長所を認めているか
20 兩親は子供の缺點を指摘するか

ましくない者」については本尺度で更にくわしくしらべどの点にその問題があるかを明らかにしていくことが大切である。

環境尺度簡易評定尺度

一、家庭に破婚問題があつたかどうか

1 夫婦別居或は離緣、子供との間も不良。

2 夫婦別居、或は離緣、しかし子供との間はよし。

3 夫婦間に問題絶えず。

4 夫婦の愛情うすし。

5 兩親揃い、よき和合をなす。

右の1から5までの中であてはまるのにしるしをつけ1なら一点2なら二点5ならば五点と採点する。以下同じ。

二、家庭内の一般雰圍氣はどうか。1 家族間に何の組織もなく混雜無統制個人的、家庭々々病氣欠席と遲刻あり。5 無遲刻精勵、喜んで責任をとる。2 幾分混雜氣味、組織化乏しく靜かな讀書時間殆どなく、子供は家庭外に遊び場所または賭み場所をつくる。3 對話氣付可、常に話もなく不和もない狀態子供も同樣、家庭間の關係を考えたり改善を願つたりすることなし。4 相當よく統制されている。しかし雰圍氣幾分緊迫感あり。5 よく統制され家族間の感情および結びつきの点においてすぐれている。

三、子供に對する態度はどうか。1 完全放任むしろ憎惡的子供も自分が家で歡迎されていないことを知つている。2 干渉多く一々氣をつけ、がき大將から守りすぎ學校の宿題をもしてやる。3 無關心、子供の精神的方面より身体的方面にむしろ注意を拂う。4 大体よき態度、時々かんしゃくを起す、また感情的になる。5 健全な世話とよき態度。

四、子供の家に對する態度はどうか。1 反抗的、家を嫌い無視する、悪い仲間と遊ぶ。2 從うように見えて大体我儘勝手、兩親を自分の利のために利用する。3 從順だが理窟をいいたがる、幾分不機嫌で頑固。4 扱い易い、大体の場合に從順、相當に幸福。5 よく適應し幸福で從順。

五、遊び友だちはどんなか。1 完全に放任、不良少年（または少女）と交際する、性的惡習あり。2 友多く大概家人の目の屆かない所で遊ぶ。3 あまりつき合わぬ、互に關心なくひとりで働き遊ぶのを好む。4 數名あり、その中に年長者も年少者もあり中に少しどうかと思う性質の者あり。5 友は五六人、明白に好ましく善良で健全。

六、學校の出席工合はどうか。1 大部分欠席放浪、家庭の協力なし。2 不規則にある期間休む、兩親は出欠に無頓着、子供の口實で欠席させる。3 口實になるものがあると欠席する、兩親は學校に出席させようと努力す。4 規則的、時に嘘言、盜みを行う全然信用できない。3 普通、だが注意して取扱わぬと誘きを起す、自制心なし。4 一般には態度良好、しかし時々現われる欠点二つあり。5 良好、殆ど問題を起すことなし。

以上の手續目の中、全部二点ならば合計二十点で平均点は二点となるわけであるが、三点五点二点というように、まちまちになるのが普通でその合計点を出し平均を求め評定表に參照する。

評定	細分	点	平均
良	上下	4 9	4.3—4.8
普通	上下	3 7	3.0—4.2
不良	上中下	2 4 1 8 1 2	2.0—3.6 2.9—2.3 1.7—

右の環境性格簡易評定尺度で檢査され若し好ましからざる点が認められたならば本尺度で再檢査をした方がよい。その結果新しい指導法が生まれる。マイナス二の段階以下は不良で注意を要すべきもので、普通正常見冊中に約八%含まれている。

なお評定にあたつては、

1 他人と相談せず評定者の判斷を記入すること。2 一々の性質につき評定する時には、その点以外の性質はかえりみずに評定すること。一般的の好き嫌いで左右されてはいけない。3 評定の困難なる性質はそのままにして、しるしをつけないこと。

この檢査は新制中學生を中心として作られているが、幼兒や青年にも適用してよい。

（西蒲田小學校敎諭）

家庭欄

野生ホップ素のパンの製法

山田竹下嘉子

材料

一、パン種の製法

水一升、ホップの花十個、鹽小匙一杯、メリケン粉十匁、馬鈴薯五十匁、水一升にホップ十個、馬鈴薯（普通の煮る位の大きさに切つた物）を火にかけて馬鈴薯が柔かくなつたら火より下して潰すだけ取り出して摺鉢にて良くすりつぶします。そこへメリケン粉を加える場合は薯をなるべくやわらかにゆで良くすりつぶします。

この場合良くこねる程よいのです、良くこねましたらそれを六當分に、ちぎり、まるめてその上にぬれ布巾を掛けて二、三十分其のまゝにしておきます。

適當の時間になりましたらは其の一つを横縦細かに庖丁を入れて、こねばちかまないの上等に良くたゝきつけます、それはガスをぬく爲めです。よくたたきつけましたら形を整えます。

燒く器を油にてふき其の中にパンを並べ其の上にぬれ布巾を掛けて日光に二、三時間當てゝおきます、此の間ぬれ布巾の上に鐵板かフライパンの如きものをのせておきますと、その際ぬれ布巾に注意して絶對に布巾の乾かぬ樣にしておきます、布巾が乾きますと菌が死んでふくらみません、二三時間位で良くふくらみきつた時炭火にて燒きます。

イーストにてふくらむのは何故でしようか？

それは原料の持つバクテリヤによつて、自然發酵したものが更に酵母の活動によつて發酵し炭酸ガスが發生するからです、これにて燒きましたパンは、さめてもふわ〳〵して買つて來るパンの樣になります。

どうぞ皆樣、化學原料ばかりたよらずに是非野生から取るこの野生ホップを利用下さい。

（終）

人口動態

十月分

◎出生の部　世帶主

新町　小林　淳一　丈助
山田　竹下　通廣　亥地人
東前山　鷲原惠美子　德太郎
新町　小山　幸子　佐平
手塚　齋藤　久惠　茂一郎
十人　佐藤　正夫　眞

十一月分

手塚　市村さちよ　重藏
新町　小林　久子　隆久

●死亡の部　十月分

手塚　原田　りつ　71才
十人　武田　しげ　80才
西前山　矢澤　とく　84才
東前山　黒坂三千代　69才
手塚　齋藤　太郎　71才
東前山　鷲澤　みち江　24才

◎婚姻の部

吉池　勝信　豐里村より
中村　トク　萩原　元善　武石村へ
荒井シヅ子　野倉より
室賀村へ　英一
宮澤　久世　西前山より
小林　隆久　新町へ
荒木久仁子　東京都より

○詩

辯天島の一時

（野尻湖にて）

志律

閑靜な小島に
ほつと一息
思わずノート開けば
何處からか
快き小鳥のリズム
大木の茂つた宇賀神社に
我れは憩れ
自然を味わう獨占の歡喜
山野の紅葉は
誇るが如く我れに微笑む
深き想いにうたれつゝ
岸邊歩めば出發の艤
友が叫ぶ
あゝ名殘を惜む
又何時かみん……
美しき西方の空を
靄裡にスケッチし
靜かに小島を立つた

御寫眞は

御婚禮寫眞、團体の記念寫眞、御家族寫眞等々すべて多少にかゝわらず御用命の程を（出張無料）特に出張寫眞は、電話上田一〇三一番

大森寫眞館へ

上田公園入口

俳句

山田天狗俳壇
竹下照子

大風のあとの賑わし栗ひろい
竹内文利
風ありて山路賑わし栗ひろい
竹下勉

御寄附

大澤三平殿五千圓

前島雄之助殿三百圓

右寄年園へ御寄附下さいました、紙上をもつて厚く御禮申し上げます

後記

さむ〳〵とふる時雨の音をきゝながら一日の勞働に疲れた体をむちうつ少しでもよいものを皆樣のお手もとに、と思いましたが燈火親しむの頃とはいいながら忙しい折柄原稿不足の爲發行のおくれた事をおわび致します。したがつて記事も時期おくれのものもありますがあしからず御覽讀の程を

今年も後あます所一ケ月になりました、悔のない年がおくられるよう皆でがん張りましよう

短歌

秋

龍澤　敏

都なる友に見せばや秋景色
　朧か幸も分ちあえん
雨風もいとわず務めはたしたるかゝしの姿あわれにぞ見ゆ
　荒井しづ子
手を取りて共に泣くなん泣く人のいたむ心に心合せて
　H
岩石のドになりたるまゝにして　野菊の花は陽に向いさく
風落ちて靜かになりしこの夜は霜の降るらし窓身にしむ

染物の御用は ことぶきへ…

日本一良く染りさめない桐生染粉が過日入荷致しました、御利用下さい